E-Class

Sedan / Stationwagon

取扱説明書

表記と記載内容について

マーク	内容
⚠	**警告** 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
(環境マーク)	**環境** 環境保護のためのアドバイスや守っていただきたいことです。
!	**注意** けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
i	**知識** 知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
▶	操作手順などを示しています。
(▷ ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。

メルセデス・ベンツ車をお買い上げいただきありがとうございます

運転される前に、この取扱説明書をお読みいただき、特に安全面と警告事項についてのご理解を深めてください。お客様自身と周りの人々を危険から守り、お車を最大限に楽しんでいただくことができます。

お客様の車両の装備や名称はオプションや仕様により異なる場合があります。記載されているすべての機能がお客様の車両には装備されていない場合があることにご留意ください。

表紙の画像はイメージであり、日本仕様とは異なる場合があります。

この取扱説明書のイラストは主に左ハンドル車のものを使用しています。右ハンドル車では、車両の部品の配置や位置、そして操作方法が異なる場合がありますので、ご注意ください。

取扱説明書には 100 km/h を上回る車両速度での性能データおよび車両状況も記載されています。ただし、公道を走行するときは常に、その場所で適用される法定速度または制限速度に従ってください。

メルセデス・ベンツは車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、 この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

以下のものは、車両の一部ですので、 常に車両に搭載してください。

- 取扱説明書
- 整備手帳
- 車両に付属のすべての補足版

また次のオーナーに車両をお譲りになる場合は、必ずすべての書類をお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームはお客様が安全で快適な運転をされることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

車両に搭載されている取扱説明書について

本車両には、以下の取扱説明書が搭載されています。

- 印刷版取扱説明書（本書）
- デジタル版取扱説明書（COMAND システムに収録）

印刷版取扱説明書

印刷版取扱説明書には、車両の取り扱い方法をはじめ、機能を十分に発揮させるための情報や危険な状況を回避するための情報、万一のときの処置など車両の取り扱いに関する全ての情報が記載されています。

デジタル版取扱説明書

デジタル版取扱説明書には、車両およびCOMAND システムの取り扱いに関する情報が記載されています。

ただし、本国仕様の内容など、お車と異なる記載が含まれています。

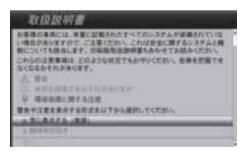
デジタル版取扱説明書の操作方法は 3 ページをご覧ください。

デジタル版取扱説明書の内容に関する訂正事項は 493 ページ以降に記載しています。

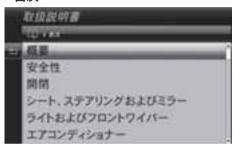
デジタル版取扱説明書の操作方法

デジタル版取扱説明書を閲覧するには、COMAND システムを以下のように操作します。

▶ ディスプレイ上部にある基本機能バーで " [icon] " を選択します。

▶ " **取扱説明書** " を選択します。

▶ 警告や注意に関する項目を表示するかどうかを選択し、" **次へ** " を選択します。

取扱説明書のメニューが表示されます。

" 目次 "

目次には、トピックが印刷版取扱説明書と同じ順序で記載されています。トピックを選択した後に項目を選択できます。

" キーワード検索 "

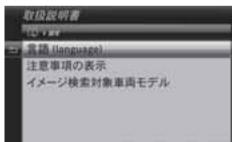
記載項目をキーワードで検索できます。

" イメージ検索 "

記載項目をイメージから検索できます。

" 操作方法 "

デジタル版取扱説明書の操作方法が記載されています。

" 設定 "

言語や警告・注意事項の表示、イメージ検索での対象モデルを設定できます。

一つ上の階層に戻る

▶ " 終了 " または [↩] を選択します。

あ

アクティブパーキングアシスト
重要な安全上の注意事項 255
全体的な注意事項 255
駐車 258
駐車スペースからの退出 259
駐車スペースの検知 256
ディスプレイメッセージ 326
アクティブブラインドスポットアシスト
機能 / 注意 272
設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ） 295
ディスプレイメッセージ 325
アクティブライトシステム 158
アクティブレーンキーピングアシスト
機能 / 注意 276
ディスプレイメッセージ 324
アシストメニュー（マルチファンクションディスプレイ） 292
アダプティブハイビームアシスト・プラス
作動と解除 160
重要な安全上の注意事項 159
全体的な注意事項 160
ディスプレイメッセージ 317
アダプティブブレーキ 94
アダプティブブレーキアシスト
機能 / 注意 88
アダプティブブレーキライト 89
アテンションアシスト
機能 / 注意 271
設定 / 解除 294
ディスプレイメッセージ 322
アンサーバック機能（マルチファンクションディスプレイ） 300
安全
子供を乗せるとき 66
安全システム
チャイルドセーフティシート 66
アンビエントライト
色の設定（マルチファンクションディスプレイ） 298
照度の設定（マルチファンクションディスプレイ） 298
イージーエントリー機能
機能 / 注意 145
クラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能 146
設定 / 解除 301
イグニッションロック
参照 キーの位置
イモビライザー 97
インテリジェントライトシステム
設定 / 解除 297
概要 157
ディスプレイメッセージ 317
ロービームヘッドライトの左側 / 右側通行の設定 298
ウィンタータイヤ
ウィンタータイヤ 460
スノータイヤスピードリミッター（マルチファンクションディスプレイ） 300
ウインドウ
清掃 411
デフロスター 179
ウインドウウォッシャー
重要な安全上の注意事項 490
補給 404
ウインドウバッグ
機能 58
ウォッシャー液
ディスプレイメッセージ 333
ウッドトリム（清掃） 414
運転席
概要 38
運転席ドア
参照 ドア
運転のヒント
塩分処理された路面でのブレーキ性能の制約 220
オートマチックトランスミッション 204
下り坂勾配 220
新品のブレーキパッド / ライニング 221
スノーチェーン 446

滑りやすい路面····················222
全体的な注意事項··················218
冬季の走行······················222
慣らし運転の注意事項··············188
濡れた路面の走行··················221
ハイドロプレーニング現象··········221
ブレーキ························219
AMG セラミック強化ブレーキシステム
································221
ECO 表示·······················218

エアコンディショナー
ウインドウの曇り取り··············179
エアコンディショナーモードの設定··176
温度の設定······················177
温度の設定（後席独立調整）········177
温度の設定（前後左右独立調整）····177
クライメートコントロール（後席独立調整）···························173
クライメートコントロール(後席独立調整）の使用に関する情報················174
クライメートコントロール（前席左右独立調整）·························171
クライメートコントロール（前席左右独立調整）の使用に関する情報··········171
コンビニエンスオープニング / クロージング（内気循環モード）············182
作動 / 停止の切り替え·············174
システムの概要···················170
重要な安全上の注意事項············170
ゾーン機能の設定 / 解除···········178
送風口の調整·····················183
送風配分の設定···················178
送風量の設定·····················178
内気循環モードの設定 / 解除·······181
フロントウインドウの曇り取り······179
余熱ヒーター機能の作動 / 停止·····183
リアコントロールパネル············173
リアデフォッガー··················180
リアデフォッガーのトラブル········181
AC モードの作動 / 停止············175
AC モードのトラブル··············176
AUTO モード·····················176

エアコンディショナーシステム
参照 エアコンディショナー

エアバッグ
ウインドウバッグ···················58
運転席ニーバッグ···················55
エアバッグの取付位置···············54
サイドバッグ······················56
作動······························51
重要な安全上の注意事項·············52
フロントエアバッグ（運転席、助手席）
··································55
ペルビスバッグ····················57

エアフィルター（ディスプレイメッセージ）·························321

エマージェンシーキー
運転席ドアの解錠··················112
機能 / 注意·······················105
車両の施錠························112

エレクトロニック・スタビリティ・プログラム
参照 ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）

エンジン
エンジン番号······················483
オーバーヒート····················403
警告灯（エンジン診断）·············344
始動時のトラブル··················198
ジャンプスタート··················431
停止······························216
ディスプレイメッセージ·············318
ECO スタートストップ機能··········194

エンジンオイル
エンジンオイルレベルの点検·········400
オイルグレード····················488
オイルレベルゲージを使用してオイルレベルを点検する·····················400
温度（マルチファンクションディスプレイ）·····························302
定期的なオイルの交換··············401
ディスプレイメッセージ·············320
添加剤····························488
粘度······························488
補給······························400
油量および消費についての注意······399
容量······························488

エンジン自動始動（ECO スタートストップ機能）…… 196

エンジン自動停止（ECO スタートストップ機能）…… 195

エンジンジャンプスタート
参照 ジャンプスタート（エンジン）

エンジンの始動
キーによる操作…… 192
キーレスゴーによる操作…… 193

エンジンの電子制御部品
トラブル…… 198

オーディオシステム
デジタル版取扱説明書をご覧ください

オートマチックトランスミッション
アクセルペダルの位置…… 204
運転のヒント…… 204
エマージェンシーモード…… 210
エンジンの始動…… 192
オートマチック走行モード…… 206
概要…… 200
ギア変速…… 204
キックダウン…… 204
シフトポジション…… 203
シフトポジション表示（セレクターレバー）…… 202
シフトポジション表示（DIRECT SELECT レバー）…… 201
重要な安全上の注意事項…… 200
ステアリングのギアシフトパドル…… 206
セレクターレバー（AMG 車両）…… 202
走行モード…… 204
走行モード表示（セレクターレバー）202
走行モード表示（DIRECT SELECT レバー）…… 201
ディスプレイメッセージ…… 331
ドライブポジション D の選択…… 202
トラブル…… 210
ニュートラル N の選択…… 202
パーキングポジション P の選択…… 201
発進…… 193
マニュアル走行モード…… 208
マニュアル走行モード M…… 206
リバースギア R の選択…… 201
DIRECT SELECT レバー…… 200

オートマチックトランスミッションのエマージェンシーモード…… 210

オートライト
ディスプレイメッセージ…… 317

オーバーヘッドコントロールパネル…… 46

オイル
参照 エンジンオイル

応急用スペアタイヤ
サービスデータ…… 480
収納…… 476
収納スペース…… 476
重要な安全上の注意事項…… 476
全体的な注意事項…… 476
取り外し…… 476

オドメーター…… 286

温度
エンジンオイル（マルチファンクションディスプレイ）…… 302
外気温度…… 283
設定（エアコン）…… 177
冷却水…… 282
冷却水（マルチファンクションディスプレイ）…… 302

オンラインおよびインターネットの機能
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定…… 363
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択…… 361
接続の確立および終了…… 365

か

外気温度表示…… 283

解錠
車内から（解錠 / 施錠スイッチ）…… 111
非常時の解錠…… 112

懐中電灯…… 418

ガソリン…… 484

カップホルダー
重要な安全上の注意事項…… 387
センターコンソール…… 387
フロア格納式サードシート…… 389
リアシート…… 389

可変スピードリミッター
解除 229
機能 / 注意 227
現在の速度の記憶 228
選択 228
速度の設定 229
LIM 表示灯 227

環境保護
全体的な注意事項 25

冠水路の走行 222

キー
位置（イグニッション位置） 190
エマージェンシーキー 105
エンジンの始動 192
機能 103
コンビニエンスオープニング機能 123
コンビニエンスクロージング機能 123
集中施錠および解錠 104
重要な安全上の注意事項 102
設定変更 104
ディスプレイメッセージ 334
電池の交換 107
電池の点検 106
トラブル 108
紛失 109

キーの位置
キー 190
キーレスゴースイッチ 191

キーレスゴー
解錠 104
キーレスゴースイッチ 191
コンビニエンスクロージング機能 123
重要な安全上の注意事項 103
施錠 104

キーレスゴースイッチ
エンジン始動 192
ディスプレイメッセージ 334

キックダウン
運転のヒント 204
マニュアルギアシフト 209

救急セット 419

給油
給油のしかた 212
重要な安全上の注意事項 210
セルフサービスのガソリンスタンド 212
燃料計 40
AMG 車両についての注意 485
参照 燃料

距離レコーダー
参照 トリップメーター

緊急時点灯機能 163

空気圧
参照 タイヤ空気圧

クリアスイッチ 358

クルーズコントロール
解除 226
機能 / 注意 223
クルーズコントロールレバー 224
現在の速度の記憶および維持 225
作動条件 224
重要な安全上の注意事項 223
選択 224
速度の設定 226
ディスプレイメッセージ 329
LIM 表示灯 224

グローブボックス 371

警告灯 / 表示灯
エンジン診断 344
各部の名称 41
シートベルト 336
車間距離警告 347
助手席エアバッグオフ 69
ディストロニック・プラス 347
燃料タンク 344
ブレーキ 337
冷却水 344
ABS 339
ESP® 341
ESP® オフ 342
ESP® のスポーツハンドリングモード 342
LIM（可変スピードリミッター） 227
LIM（クルーズコントロール） 224
LIM（ディストロニック・プラス） 232
SRS 343

計測（レースタイマー） 303

携帯電話
TEL メニュー（マルチファンクションディスプレイ）291
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータ
項目の作成 363
選択する 361
携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト
選択したプロバイダー 361
呼び出す 360
警報システム
参照 ATA（盗難防止警報システム）
警報システム（ATA）を解除する 97
軽油 486
けん引
けん引フックの取り付け 436
けん引フックの取り外し 436
重要な安全上の注意事項 434
リアアクスルを上げて車両をけん引する 436
両アクスルを接地させて車両をけん引する 436
4MATIC 装備車両に関する注意事項 437
けん引始動（エンジン緊急始動）437
けん引防止機能 98
コートフック 382
コーナリングライト機能
機能 / 注意 158
ディスプレイメッセージ 315
高圧洗浄機器 409
後席
温度の設定 177
故障
参照 パンクしたタイヤ
故障メッセージ
参照 ディスプレイメッセージ
故障メッセージを表示させる
参照 ディスプレイメッセージ
子供
子供を乗せるとき 66
チャイルドセーフティシート 66
小物入れ
アームレスト（下）372
カップホルダー 387
グローブボックス 371
後席 373
収納ネット 373
重要な安全上の注意事項 371
フロントシート下 372
コラプシブル応急用スペアタイヤ
空気注入 478
参照 応急用スペアタイヤ
コンビニエンスオープニング機能 123
コンビニエンスオープン / クローズ（内気循環モード）182
コンビニエンスクロージング機能 123
コンビニエンスボックス 383
コンビネーションスイッチ
ハイビームヘッドライト 156
パッシングライト 157
フロントワイパー 163
方向指示灯 156
リアワイパー 164

さ

サービスデータ
応急用スペアタイヤ 480
タイヤ / ホイール 459
容量 483
サービスプロダクト
燃料 484
ブレーキ液 489
AdBlue® 487
サイドウインドウ
開閉 122
コンビニエンスオープニング機能 123
コンビニエンスクロージング機能 123
重要な安全上の注意事項 121
トラブル 125
リセット 124
リバース機能 122
サイドバッグ 56

サスペンション
サスペンションモードセットアップ画面（マルチファンクションディスプレイ）· 303
サスペンションの制御
AIR マティックサスペンション······ 246
AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション························· 248
サマータイヤ························459
サンバイザー························390
シート
運転席の適正な位置················ 134
概要·························· 135
シートヒーター···················· 142
シートヒーターのトラブル·········· 143
シート表皮の清掃·················· 414
シートベンチレーター·············· 143
シートベンチレーターのトラブル···· 144
重要な安全上の注意事項············ 135
電動ランバーサポートの調整········ 139
パワーシートの調整················ 137
ヘッドレストの調整················ 137
マルチコントロールシートバックの調整 · 139
メモリー機能（設定の記憶）········ 149
ラゲッジルームの格納式サードシート 140
リアシートのバックレストを倒す / 起こす（ステーションワゴン）·········· 377
リアシートのバックレストを倒す / 起こす（セダン）····················· 376
シートベルト
警告灯························336
後席中央シートベルトの着用········ 63
シートベルト警告灯（機能）········ 64
シートベルトの調整················ 63
シートベルトの調整の設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ）···· 301
シートベルトテンショナー·········· 64
シートベルトの解除················ 64
シートベルトの着用················ 62
重要な安全上の注意事項············ 60
高さ調整······················ 63
手入れ························ 415
ベルトフォースリミッター·········· 64
シートベルトテンショナー
機能·························· 64
作動·························· 51
事故の後で························· 65
室内センサー························ 99
指定サービス工場
参照 メルセデス · ベンツ指定サービス工場
始動（エンジン）···················192
自動車
参照 車両
シフトインジケーター（マルチファンクションディスプレイ）···················302
シフトポジション表示（セレクターレバー）···································202
シフトポジション表示（DIRECT SELECT レバー）···························201
車外ライト
参照 ライト
車間距離警告機能
機能 / 注意 ······················ 86
設定 / 解除 ······················ 294
車間距離警告灯······················347
車高
AIR マティックサスペンション······ 246
AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション························· 248
車高（ディスプレイメッセージ）······323
遮光フィルム························394
車載工具··························· 419
車台番号···························483
ジャッキ
収納場所······················420
使用方法······················453
車内ライト
消灯遅延機能（マルチファンクションディスプレイ）····················299
車幅灯（ディスプレイメッセージ）····316
車輪の取り付け
新しい車輪の取り付け··············455
ジャッキアップ····················453
ジャッキダウン····················456
車両が動き出さないよう固定する····452

取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・455

車両
運搬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・437
解錠（キー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
各種の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・296
けん引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・434
ジャッキアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・453
ジャッキダウン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・456
車両が動き出さないよう固定する・・・・452
車両データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・491
施錠（キー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・103
装備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
正しく使用するために・・・・・・・・・・・・・・・29
駐車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・215
データ取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
ディスプレイメッセージ・・・・・・・・・・・・331
電子制御部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・482
発進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・193
非常時の解錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
非常時の施錠・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112

車両データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・491

車両を運搬する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・437

ジャンプスタート（エンジン）・・・・・・・・431

収納式シート（ラゲッジルーム）・・・・・・140

収納スペース
参照 小物入れ

乗員安全システム
エアバッグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
子供を乗せるとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
シートベルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
事故の後で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・50
NECK PRO アクティブヘッドレスト・・58
NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）・・・・60
SRS（乗員保護補助装置）・・・・・・・・・・・51

消灯遅延機能
車外ライト（マルチファンクションディスプレイ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・299
車内ライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・299

助手席エアバッグオフ
トラブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80

表示灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69

使用に関する安全性・・・・・・・・・・・・・・・・・26

診断機の接続部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

スキーバッグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・373

スタートストップ機能
参照 ECO スタートストップ機能

ステアコントロール・・・・・・・・・・・・・・・・・97

ステアリング
イージーエントリー機能・・・・・・・・・・・・145
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・144
スイッチ（マルチファンクションディスプレイ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・283
ステアリングのギアシフトパドル・・・・206
清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・414
調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・144
メモリー機能（設定の記憶）・・・・・・・・149

**ステアリング（ディスプレイメッセージ）・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・326**

ステアリングアシスト（ディストロニック・プラス）
機能 / 注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・240
作動 / 解除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・294
ディスプレイメッセージ・・・・・・・・・・・・329

ストップウォッチ（レースタイマー）・・303

スノータイヤスピードリミッター
設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・300
参照 スピードリミッター

スノーチェーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・446

スピードメーター
セグメント表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・283
デジタルスピードメーター・・・・・・・・・・287
距離単位の選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・296
メーターパネル内・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
参照 メーターパネル

スピードリミッター
可変スピードリミッター・・・・・・・・・・・・227
キックダウン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・229
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・227
スノータイヤスピードリミッター・・・・230
ディスプレイメッセージ・・・・・・・・・・・・328

スペアタイヤ
収納・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・477

スポーツハンドリングモード
設定 / 解除（AMG 車両） ………… 93
スライディンググルーフ
開閉……………………………… 127
参照 パノラミックスライディンググルーフ
スルーローディング……………… 375
セーフティネット
重要な安全上の注意事項………… 382
装着……………………………… 382
施錠
参照 セントラルロッキングシステム
施錠（ドア）
車内から（解錠 / 施錠スイッチ） … 111
非常時の施錠…………………… 112
設定
初期化（マルチファンクションディスプレイ） ……………………… 302
設定メニュー（マルチファンクションディスプレイ）……………………… 296
メニュー概要…………………… 353
設定変更（キー） ………………… 104
セットアップ画面（マルチファンクションディスプレイ）…………………… 303
セレクターレバー
清掃……………………………… 414
センサー（日常の手入れ） ………… 412
洗車（手入れ）…………………… 408
センターコンソール
下部……………………………… 44
下部（AMG 車） ………………… 45
上部……………………………… 43
セントラルロッキングシステム
車速感応ドアロック（マルチファンクションディスプレイ）……………… 300
施錠 / 解錠（キー使用） ………… 103
セントラルロック
参照 セントラルロッキングシステム
ゾーン機能
設定 / 解除の切り替え …………… 178
走行
エンジンの始動………………… 192
エンジンのトラブル……………… 198
キーの位置……………………… 190
重要な安全上の注意事項………… 189
発進……………………………… 193
ECO スタートストップ機能 ……… 194
走行安全システム
アダプティブブレーキ…………… 94
アダプティブブレーキアシスト…… 88
アダプティブブレーキライト……… 89
概要……………………………… 82
車間距離警告機能………………… 86
重要な安全上の注意事項………… 83
ステアコントロール……………… 97
ABS（アンチロック・ブレーキング・システム） ……………………………… 83
BAS（ブレーキアシスト） ………… 84
BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス） ……………… 84
CPA（衝突警告システム） ………… 86
EBD（エレクトロニック·ブレーキパワー·ディストリビューション） ………… 94
ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム） ……………………… 89
ETS/4ETS（エレクトロニック·トラクション・システム） ………………… 90
PRE-SAFE® ブレーキ
（歩行者検知機能付） ……………… 94
走行可能距離……………………… 287
走行時の注意
冠水路の走行…………………… 222
濡れた路面……………………… 220
走行システム
アクティブパーキングアシスト…… 255
アクティブブラインドスポットアシスト ……………………………… 272
アクティブレーンキーピングアシスト 276
アテンションアシスト…………… 271
スピードリミッター……………… 227
クルーズコントロール…………… 223
ディストロニック・プラス………… 230
ディストロニック・プラス（ステアリングアシスト付） …………………… 240
ディスプレイメッセージ………… 322
パーキングアシストリアビューカメラ・261

パークトロニック・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251
ホールド機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 243
レーススタート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 244
360°カメラシステム・・・・・・・・・・・・・・・ 265
4MATIC（フルタイム 4 輪駆動システム）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 251
AIR マティックサスペンション・・・・・・ 246
AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 248

走行モード
オートマチック走行モード・・・・・・・・・・ 206
セットアップ画面（マルチファンクションディスプレイ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 303
表示（セレクターレバー）・・・・・・・・・・ 202
表示（DIRECT SELECT レバー）・・・・ 201
マニュアル走行モード・・・・・・・・・・・・・・ 208
マニュアル走行モード M・・・・・・・・・・・・ 206

走行モード選択スイッチ・・・・・・・・・・・・・・204

走行モード選択ダイヤル・・・・・・・・・・・・・・205

操作システム
参照 マルチファンクションディスプレイ

送風口
グローブボックス送風口の調整・・・・・・ 184
サイド送風口の調整・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・ 183
送風の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
中央送風口の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
リア送風口の調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 185

送風口の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178

送風量の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178

速度制限の設定
参照 可変スピードリミッター

速度の制御
参照 クルーズコントロール

た

タイヤ
新しい車輪の取り付け・・・・・・・・・・・・・・455
応急用スペアタイヤ・・・・・・・・・・・・・・・・ 476
回転方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 451
交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・450
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・442
タイヤサイズ（データ）・・・・・・・・・・・・457
タイヤのトレッド・・・・・・・・・・・・・・・・・・444
耐用年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・445
ディスプレイメッセージ・・・・・・・・・・・・330
点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・443
取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 451
取り外し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・455
保管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 451
ローテーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・450
参照 パンクしたタイヤ
MOExtended タイヤ・・・・・・・・・・・・・・・・445

タイヤ空気圧
空気圧規定値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 447
十分なとき（タイヤフィット）・・・・・・425
不十分なとき（タイヤフィット）・・・・424
ディスプレイメッセージ・・・・・・・・・・・・330

タイヤ空気圧警告システム
再起動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・449
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・449
全体的な注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・448

タイヤフィット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・423

ダイレクトセレクトレバー
参照 オートマチックトランスミッション

タコメーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・282

ダッシュボード
参照 メーターパネル

ダッシュボード照明
参照 メーターパネル照明

タンク
参照 燃料タンク

チャイルドセーフティシート
自動検知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
自動検知のトラブル・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・ 66
助手席に装着・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
推奨チャイルドセーフティシート・・・・・ 77
適切な位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
テザーアンカー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

チャイルドプルーフロック
重要な安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・ 81
リアサイドウインドウ・・・・・・・・・・・・・・ 82

リアドア 81
駐車
エンジンの停止 216
重要な安全上の注意事項 215
助手席側ドアミラーの位置 148
長期間の車両の駐車 218
パーキングアシストリアビューカメラ 261
参照 駐車
参照 パークトロニック
パーキングブレーキ 217
著作権 30
データ
参照 サービスデータ
テールゲート
開口角度の制限 119
緊急時の解錠 121
車外からの開閉 114
車外からの自動開閉 115
車内からの自動開閉 118
車内から開く 119
重要な安全上の注意事項 113
ディスプレイメッセージ 332
ハンズフリーアクセス 116
開いたときの寸法 491
リバース機能 114
テールゲートシルプロテクター 386
テールライト
ディスプレイメッセージ 316
停止表示板 418
ディストロニック・プラス
運転 234
運転のヒント 239
解除 238
機能 / 注意 230
警告灯 347
作動 233
作動条件 233
最低車間距離の設定 236
重要な安全上の注意事項 230
ステアリングアシスト 240
スピードメーターの表示 237
選択 233
ディスプレイメッセージ 326
マルチファンクションディスプレイの表示 237
ディスプレイメッセージ
安全システム 307
エンジン 318
キー 334
車両 331
全体的な注意事項 306
走行システム 322
タイヤ 330
消去（マルチファンクションディスプレイ） 306
メンテナンスインジケーター 405
呼び出し（マルチファンクションディスプレイ） 306
ライト 315
デイタイムドライビングライト
ディスプレイメッセージ 317
設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ） 297
手入れ
ウインドウ 411
ウッドトリム 414
カーペット 415
高圧洗浄機器 409
シート表皮 414
シートベルト 415
自動洗車機 408
車外ライト 412
車内 413
車輪 411
ステアリング 414
セレクターレバー 414
センサー 412
洗車 408
注意 407
ディスプレイ 413
塗装面 410
トリム部品 414
パーキングアシストリアビューカメラ 412
プラスチックトリム 413
マットペイント 410
マフラー 413
ルーフライニング 415
ワイパーブレード 411

360° カメラ ··· 413
テザーアンカー ··· 73
デジタルオーナーズマニュアル
参照 デジタル版取扱説明書
デジタルスピードメーター ··· 287
デジタル版取扱説明書
概要 ··· 2
操作方法 ··· 3
訂正事項 ··· 493
テレビ
操作（マルチファンクションディスプレイ） ··· 290
デジタル版取扱説明書をご覧ください
添加剤（エンジンオイル） ··· 488
電気ヒューズ
参照 ヒューズ
電球
参照 電球の交換
電球の交換
重要な安全上の注意事項 ··· 163
点検
参照 メンテナンスインジケーター
電源ソケット
全体的な注意事項 ··· 393
リアセンターコンソール ··· 393
電子制御部品
注意 ··· 482
電池（キー）
交換 ··· 107
重要な安全上の注意事項 ··· 106
点検 ··· 106
電動ブラインド
参照 ブラインド
電話
着信を受ける ··· 291
通話の拒否または終了 ··· 291
ディスプレイメッセージ ··· 333
電話帳から項目にダイヤルする ··· 291
リダイヤル ··· 292
TEL メニュー（マルチファンクションディスプレイ） ··· 291
ドア
コントロールパネル ··· 47
車速感応ドアロック（スイッチ） ··· 111
車速感応ドアロックの設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ） ··· 300
集中施錠 / 集中解錠（キー使用） ··· 103
集中施錠 / 集中解錠（スイッチ） ··· 111
重要な安全上の注意事項 ··· 110
ディスプレイメッセージ ··· 332
非常時の解錠 ··· 112
非常時の施錠 ··· 112
開く（車内から） ··· 110
ドアミラー
押されて適正な位置にないとき ··· 147
格納 / 展開（自動） ··· 147
格納 / 展開（電動） ··· 147
自動防眩ミラー ··· 148
施錠時の格納（マルチファンクションディスプレイ） ··· 301
調整 ··· 146
メモリー機能（設定の記憶） ··· 149
リセット ··· 147
リバースポジション機能 ··· 148
ドアロック
車速感応 ··· 111
冬季の使用
サマータイヤでの走行 ··· 445
スノーチェーン ··· 446
冬季の走行 ··· 222
M+S タイヤ ··· 445
盗難防止警報システム
けん引防止機能 ··· 98
室内センサー ··· 99
盗難防止システム
イモビライザー ··· 97
ATA（盗難防止警報システム） ··· 97
読書灯 ··· 161
塗装面（日常の手入れ） ··· 410
トランク
解錠（エマージェンシーキー） ··· 120
車外からの開閉 ··· 114
車外からの自動開閉 ··· 115
車内からの自動開閉 ··· 118

重要な安全上の注意事項 ············ 113
ディスプレイメッセージ ············ 332
独立施錠 ························ 120
ハンズフリーアクセス ·············· 116
開いたときの寸法 ·················· 491
リバース機能 ····················· 114
トランクの最大積載量 ················ 491
トランクフロア下の収納スペース ······ 384
トランクリッド
ディスプレイメッセージ ············ 332
開いたときの寸法 ·················· 491
トランスミッション
参照 オートマチックトランスミッション
取扱説明書
車両装備 ························· 26
トリップコンピューター（マルチファンクションディスプレイ）·················· 286
トリップメーター
数値のリセット（マルチファンクションディスプレイ）···················· 287
呼び出し ························· 286
トリム部品（清掃）················· 414

な

内気循環モードの作動 / 停止 ·········· 181
ナビゲーション
メニュー（マルチファンクションディスプレイ）························ 288
慣らし運転
最初の約 1,500km まで ············ 188
重要な安全上の注意事項 ············ 188
セルフロッキング式リアディファレンシャルロック装備車両 ················· 188
ニーバッグ ························· 55
荷物固定用リング ···················· 378
荷物の積み方（積載のガイドライン）·· 370
ネット一体式ラゲッジルームカバー ···· 379
燃費（マルチファンクションディスプレイ）·························· 287
燃料
給油 ···························· 212
グレード（ガソリン）·············· 484
重要な安全上の注意事項 ············ 484
走行可能距離の表示 ················ 287
タンク容量 / 予備燃料量 ··········· 484
添加剤 ·························· 486
燃料計 ··························· 40
燃料消費に関する情報 ·············· 487
燃料消費の表示 ··················· 287
燃料漏れ（トラブル）·············· 214
グレード（ディーゼル）············ 486
平均燃費 ························ 286
AMG 車両 ······················· 485
燃料および油脂
重要な安全上の注意事項 ············ 484
ウォッシャー液 ··················· 490
エンジンオイル ··················· 488
冷却水（エンジン）················ 489
燃料キャップ
参照 燃料給油口
燃料給油口
開閉 ···························· 212
非常時の解錠 ····················· 213
燃料容量
燃料計 ··························· 40
燃料残量
警告灯 ·························· 344
走行可能距離の呼び出し（マルチファンクションディスプレイ）··············· 287
ディスプレイメッセージ ············ 321
燃料タンク
トラブル ························ 214
容量 ···························· 484
燃料フィルター（ディスプレイメッセージ）··································· 321

は

パーキング
パーキングブレーキ ················ 217
パーキングアシスト
参照 アクティブパーキングアシスト

パーキングアシストリアビューカメラ
全体的な注意事項 261
"後退駐車"機能 264
作動 / 解除 262
清掃 412
COMAND ディスプレイの表示 262
パーキングブレーキ
重要な安全上の注意事項 215
警告灯 337
ディスプレイメッセージ 310
パーキングヘルプ
アクティブパーキングアシスト 255
参照 ドアミラー
参照 パークトロニック
パーキングライト
ディスプレイメッセージ 316
点灯 / 消灯 155
パークトロニック
解除 / 作動 254
警告表示 253
重要な安全上の注意事項 251
センサーの範囲 252
トラブル 255
ハイウェイモード 158
灰皿 392
ハイドロプレーニング現象 221
ハイビームヘッドライト
アダプティブハイビームアシスト・プラス 159
ディスプレイメッセージ 316
点灯 / 消灯 156
バッグフック 379
バックライト（ディスプレイメッセージ） 316
発進
オートマチックトランスミッション 193
バッテリー（車両）
ジャンプスタート 431
充電 429
重要な安全上の注意事項 426
ディスプレイメッセージ 320
電圧 491
容量 491
パドルシフト 206
バニティミラー（サンバイザー内） 390
パノラミックスライディングルーフ
開閉 128
重要な安全上の注意事項 126
電動ブラインドの開閉 130
トラブル 131
リセット 130
リバース機能 126
レインクローズ機能 129
パワーウインドウ
参照 サイドウインドウ
パンク
MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ） 422
パンクしたタイヤ
車両の準備 421
タイヤフィット 423
ハンズフリーアクセス 116
ハンドブレーキ
参照 パーキングブレーキ
ビークルプレート 482
ヒーター
参照 エアコンディショナー
非常時の解錠
運転席ドア 112
車両 112
テールゲート 121
燃料給油口 213
非常時の車両の施錠 112
非常点滅灯 157
ビデオ
DVD の操作 290
デジタル版取扱説明書をご覧ください
ヒューズ
エンジンルーム内のヒューズボックス 438
交換する前に 438
重要な安全上の注意事項 438
トランク内のヒューズボックス 439
配置表 438
ラゲッジルーム内のヒューズボックス 440

ヒューズ配置表（車載工具）…………419
表示灯
参照 警告灯 / 表示灯
表示灯と警告灯
燃料残量…………344
ヒルスタートアシスト…………194
フォグランプ
強化機能…………159
フューエルリザーブ
参照 燃料
ブラインド
電動ブラインド（パノラミックスライディングルーフ）…………129
リアウインドウの電動ブラインド…………391
リアサイドウインドウのブラインド…………391
ブラインドスポットアシスト
参照 アクティブブラインドスポットアシスト
プラスチックトリム（清掃）…………413
プラスチックフック…………378
ブレーキ
アダプティブブレーキアシスト…………88
運転のヒント…………218
強化ブレーキシステム…………221
警告灯…………337
重要な安全上の注意事項…………219
ディスプレイメッセージ…………307
パーキングブレーキ…………217
ブレーキ液（注意）…………489
ホールド機能…………243
ABS…………83
BAS…………84
ブレーキアシスト
参照 BAS（ブレーキアシスト）
ブレーキアシスト・プラス
参照 BAS プラス
ブレーキ液
注意…………489
ディスプレイメッセージ…………311
ブレーキ液レベル…………405
ブレーキライト
アダプティブブレーキライト…………89
ディスプレイメッセージ…………316
フロアマット…………394
フロントウインドウ
参照 ウインドウ
フロントワイパー
参照 ワイパー
分割可倒式シート…………375
ヘッドライト
内側の曇り…………161
参照 オートマチックヘッドライトモード
ヘッドレスト
調整…………137
調整（リア）…………138
取り外し / 取り付け（リア）…………139
ラグジュアリーヘッドレスト…………138
ベルト
参照 シートベルト
ベルトフォースリミッター
機能…………64
作動…………64
ホールド機能
解除…………244
機能 / 注意…………243
作動…………244
作動条件…………243
ディスプレイメッセージ…………324
ホイール
交換…………450
締め付けトルク…………457
重要な安全上の注意事項…………442
清掃…………411
清掃（警告）…………451
点検…………443
ホイールサイズ / タイヤサイズ…………457
保管…………451
ローテーション…………450
ホイールボルトの締め付けトルク…………457
方向指示灯
ディスプレイメッセージ…………315
点滅させる…………156
保護システム
参照 SRS（乗員保護補助装置）

補助保護システム
参照 SRS（乗員保護補助装置）

ボックス（コンビニエンス）··········383

ボトルホルダー······················389

ボンネット
アクティブボンネット（歩行者保護）397
重要な安全上の注意事項············396
ディスプレイメッセージ············332
閉じる····························399
開く······························398

ま

マットペイント（日常の手入れ）······410

マフラー（手入れ）··················413

マルチファンクションステアリング
概要······························ 42
マルチファンクションディスプレイの操作
································283

マルチファンクションディスプレイ
アシストメニュー··················292
オーディオメニュー················289
基本ディスプレイ··················286
コンフォートサブメニュー··········301
車両サブメニュー··················300
重要な安全上の注意事項············282
設定初期化サブメニュー············302
設定メニュー······················296
操作······························283
ディストロニック・プラス··········237
点検メッセージの表示··············406
トリップメニュー··················286
ナビメニュー······················288
表示内容··························285
メーターサブメニュー··············296
メッセージメモリー················306
メニューの概要····················285
メンテナンスメニュー··············295
ライトサブメニュー················297
レースタイマー····················303
AMG メニュー ····················302
DVD ビデオの操作 ················290
TEL メニュー······················291
TV の操作·························290

ミラー
参照 ルームミラー
参照 ドアミラー
参照 バニティミラー（サンバイザー内）

無線機
装着······························482

メーターパネル
警告および表示灯·················· 41
ディスプレイ······················ 40

メーターパネル照明··················297

メッセージ
参照 ディスプレイメッセージ

メッセージメモリー（マルチファンクションディスプレイ）······················306

メモリー機能························149

メルセデス・ベンツ指定サービス工場··· 28

メルセデス・ベンツ純正部品·········· 25

メンテナンス
参照 メンテナンスインジケーター

メンテナンスインジケーター
注意······························405
特別な点検が必要なとき············406
メンテナンスインジケーターのリセット
································406
メンテナンスメッセージ············405
メンテナンスメッセージの非表示····406
メンテナンスメッセージの表示······406

メンテナンスメニュー（マルチファンクションディスプレイ）····················295

や

**余熱ヒーター機能（エアコンディショナー）
····································183**

予備（燃料タンク）
参照 燃料

ら

ラジエター··························399

ライセンスライト（ディスプレイメッセージ）·······························317

ライター ·······························**392**
ライト
アダプティブハイビームアシスト・プラス ································ 159
アクティブライトシステム·········· 158
アンビエントライトの色の設定（マルチファンクションディスプレイ）······ 298
アンビエントライトの照度の設定（マルチファンクションディスプレイ）······ 298
インテリジェントライトシステムの設定 / 解除··························· 297
コーナリングライト················ 158
コンビネーションスイッチ·········· 156
車外ライト残照機能の設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ）···· 299
車外ライトの設定·················· 152
車幅灯··························· 155
デイタイム ドライビングライトの設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ）··························· 297
パーキングライト················· 155
ハイウェイモード················· 158
ハイビームヘッドライト··········· 156
パッシングライト················· 157
非常点滅灯······················ 157
フォグランプ強化機能············· 159
ヘッドライトのオートモード········ 153
ヘッドライトのパッシング·········· 157
方向指示灯······················ 156
メーターパネル / スイッチの照度設定（マルチファンクションディスプレイ）·· 297
ライトスイッチ··················· 152
リアフォグランプ················· 154
ルームライト消灯遅延機能の設定 / 解除 ·······························299
ロービームヘッドライト··········· 153
ロケイターライティングの設定 / 解除（マルチファンクションディスプレイ）·· 299
参照 警告灯 / 表示灯
参照 電球の交換
参照 ルームライト
ライトセンサー（ディスプレイメッセージ） ·······························**317**
ラゲッジルーム······················**370**
ラゲッジルームカバー················**379**
ラゲッジルームの拡大················**377**
ラゲッジルームフロアボード··········**385**
ラジエターカバー····················**399**
ラジオ
放送局の選択····················· 289
デジタル版取扱説明書をご覧ください
ラップタイム（レースタイマー）······**303**
ランバーサポート
電動ランバーサポートの調整········ 139
リア
送風口の調整····················· 185
送風量の調整····················· 178
リアウインドウの電動ブラインド····**391**
リアシート
ディスプレイメッセージ············333
リアデフォッガー
機能の作動 / 停止 ················· 180
トラブル························· 181
リアビューカメラ
参照 パーキングアシストリアビューカメラ
リアフォグランプ
ディスプレイメッセージ············ 316
点灯 / 消灯 ······················· 154
リアベンチシート
バックレストを倒す / 起こす ······· 376
リアワイパー
作動 / 停止の切り替え ············· 164
ワイパーブレードの交換············ 166
リターンスイッチ····················**357**
リバースギア
選択····························· 201
リバース機能
サイドウインドウ················· 122
スライディングルーフ············· 126
電動ブラインド··················· 129
トランクリッド / テールゲート ····· 114
パノラミックスライディングルーフ·· 126
ルーフの最大積載量··················**491**
ルーフライニングとカーペット（清掃）415

ルーフキャリア······················**386**
ルームミラー
自動防眩ミラー··················· 148
ルームライト
アンビエントライトの色の設定（マルチファンクションディスプレイ）······298
アンビエントライトの照度の設定（マルチファンクションディスプレイ）······298
概要····························· 161
緊急時点灯機能··················· 163
自動点灯························· 162
手動点灯························· 163
読書灯··························· 163
メーターパネル / スイッチの照度設定（マルチファンクションディスプレイ）··297
レーススタート（AMG 車両）
作動させる······················· 245
作動条件························· 244
重要な安全上の注意事項············ 244
レースタイマー（マルチファンクションディスプレイ）························**303**
冷却水（エンジン）
温度（マルチファンクションディスプレイ）···························302
温度計··························· 282
警告灯··························· 344
重要な安全上の注意事項············ 489
定期的な交換····················· 403
ディスプレイメッセージ············ 318
補給····························· 402
レベルの点検····················· 402
冷房
参照 エアコンディショナー
レインクローズ機能
スライディングルーフ·············· 128
パノラミックスライディングルーフ·· 129
ロービームヘッドライト
ディスプレイメッセージ············ 315
点灯 / 消灯 ······················ 153
左側 / 右側通行の設定 ············· 298
ロケイターライティング（マルチファンクションディスプレイ）················**299**

わ

ワークショップ
参照 メルセデス・ベンツ指定サービス工場
ワイパー
トラブル（フロントワイパー）······ 167
フロントワイパー·················· 163
リアワイパー······················ 164
ワイパーブレードの交換············ 165
ワイパーブレード
交換（フロントウインドウ）········ 165
交換（リアウインドウ）············ 166
重要な安全上の注意事項············ 165
清掃····························· 411
輪止め···························**452**

英字

12V 電源ソケット
参照 電源ソケット
4ETS
参照 ETS/4ETS（エレクトロニックトラクションシステム）
4MATIC （フルタイム 4 輪駆動システム）
································**251**
360° カメラシステム
広角機能························· 270
作動条件························· 267
重要な安全上の注意事項············ 266
障害物検知······················· 270
清掃····························· 413
全体的な注意事項·················· 265
分割画面または全画面表示モードを選択する ···························268
リバースギアを使用して作動させる·· 267
COMAND システムを使用して作動させる
································ 267
COMAND ディスプレイの表示 ······268
SYS スイッチを使用して作動させる ·267
ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）
機能 / 注意 ······················· 83
警告灯··························· 339
重要な安全上の注意事項············· 83

ディスプレイメッセージ 307
ACモードの作動 / 停止 175
AdBlue®
サービスインジケーター 407
重要な安全上の注意事項 487
ディスプレイメッセージ 321
容量 488
AIRマティックサスペンション
機能 / 注意 246
ディスプレイメッセージ 323
AMGメニュー 302
AMG RIDE CONTROLスポーツサスペンション 248
ATA（盗難防止警報システム）
機能 97
警報の停止 98
待機状態にする / 解除する 97
BAS（ブレーキアシスト）
機能 / 注意 84
BASプラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）
機能 86
重要な安全上の注意事項 85
全体的な注意事項 84
BlueTEC（AdBlue®） 487
CDモード（マルチファンクションディスプレイ） 289
COMANDコントローラー 356
COMANDコントローラーのスイッチ 357
COMANDコントロールパネル 355
COMANDシステム
メニュー概要 353
デジタル版取扱説明書をご覧ください
COMANDディスプレイ
清掃 413
COMANDオンラインおよびインターネット機能
参照 オンラインおよびインターネットの機能
CPA（衝突警告システム）
アダプティブブレーキアシスト 88
作動 / 解除 294
車間距離警告機能 86
全体的な注意事項 86
ディスプレイメッセージ 312
DIRECT SELECTレバー 200
DVDオーディオ
操作（マルチファンクションディスプレイ） 289
DVDビデオ
操作（マルチファンクションディスプレイ） 290
EASY-PACKコンビニエンスボックス 383
EASY-PACKスルーローディング 377
EASY-PACKテールゲートシルプロテクター 386
EASY-PACKラゲッジルームカバー 379
EASY-PACKフロアボード
開閉 385
重要な安全上の注意事項 385
EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）
機能 / 注意 94
ディスプレイメッセージ 310
ECO表示
機能 / 注意 218
マルチファンクションディスプレイ 286
ECOスタートストップ機能
エンジン自動停止 195
概要 194
自動エンジン始動 196
重要な安全上の注意事項 194
設定 / 解除 196
全体的な注意事項 194
ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）
機能 / 注意 89
警告灯 341
設定 / 解除（AMG車両） 92
設定 / 解除（AMG車両を除く） 293
重要な安全上の注意事項 90
スポーツハンドリングモード 92
全体的な注意事項 89

ディスプレイメッセージ…………… 307
特性…………………………………… 91
AMG メニュー(マルチファンクションディスプレイ) ………………………302
ETS/4ETS ………………………… 90

ESP® スポーツハンドリングモード
警告灯………………………………342

ETS/4ETS（エレクトロニック・トラクション・システム）………………………90

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置………………………………… 71

LIM 表示灯
可変スピードリミッター…………… 227
クルーズコントロール……………… 224
ディストロニック・プラス………… 232

M+S タイヤ …………………………445

MOExtended タイヤ ………………422

MP3
操作…………………………………289
デジタル版取扱説明書をご覧ください

NECK PRO アクティブヘッドレスト
作動…………………………………… 58
作動後のリセット…………………… 59

NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト
作動…………………………………… 58
作動後のリセット…………………… 59

PRE-SAFE®
機能の仕方…………………………… 60
ディスプレイメッセージ…………… 312

PRE-SAFE® ブレーキ
機能…………………………………… 94
警告灯………………………………347
重要な安全上の注意事項…………… 95
設定 / 解除 ………………………294
全体的な注意事項…………………… 94
ディスプレイメッセージ…………… 312

SRS（乗員保護補助装置）
警告灯………………………………343
警告灯（機能） …………………… 51
ディスプレイメッセージ…………… 313
概要…………………………………… 51

環境保護

全体的な注意事項

環境に関する注意

Daimlerは、包括的な環境保護の一つとして対策を明確にしています。それは、地球上で少しずつ使われ、自然と人間双方の要求に注意を促す、我々の存在の源となる自然資源のためです。

環境に配慮した方法で車両を操作することも、環境を保護する一助になります。

燃費やエンジン回転、トランスミッション、ブレーキ、タイヤの摩耗具合は、以下の要因に左右されます。

- お客様の車両の使用状況
- お客様の個人的な運転スタイル

お客様は、いずれの要因にも影響を及ぼしています。以下のことにご留意ください。

使用状況

- 短距離の走行は燃料消費を増やす原因となります。
- タイヤの空気圧が常に適正であることを確認してください。
- 不要な重量物は積載しないでください。
- 必要でないときは、ルーフラックを取り外してください。
- 定期的な車両の整備は、環境保護に貢献します。整備の間隔を守ってください。
- 点検整備は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

個人的な運転スタイル

- エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。
- 車両を停止したままのエンジン暖機は行なわないでください。
- 注意して運転し、前方の車両との適切な距離を保持してください。
- 頻繁な、または急な加速やブレーキ操作は避けてください。
- 適切なタイミングでギアを変え、それぞれのギアの使用は、エンジン最高回転数の2/3までにとどめてください。
- 渋滞しているときは、エンジンを停止してください。
- 車両の燃費に注意してください。

メルセデス・ベンツ純正部品

環 境

Daimler AGでは、新品同様の品質を持つ、リサイクルしたアッセンブリーやパーツも供給しています。新品と同様の保証が適用されます。

! 以下の部位の周辺には、エアバッグやシートベルトテンショナー、また乗員保護装置のコントロールユニットやセンサー類が取り付けられています。

- ドア
- ドアピラー
- サイドシル
- シート
- ダッシュボード
- メーターパネル
- センターコンソール

これらの部位にオーディオなどのアクセサリーを取り付けないでください。修理や板金作業を行なわないでください。乗員保護装置の作動効果が損なわれるおそれがあります。

アクセサリーを装着するときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に作業を依頼してください。

メルセデス・ベンツにより承認されていない安全性に関わる部品、タイヤおよびホイール、ならびにアクセサリーなどを使用する場合は、車両の操作に関する安全性を損なうおそれがあります。ブレーキシステムなどの安全に関連したシステムが故障するおそれがあります。メルセデス・ベンツ純正部品または同等の品質の部品のみを使用してください。タイヤやホイール、アクセサリーなどは必ず、車両用に明確に承認された製品のみを使用してください。

メルセデス・ベンツでは、純正部品や定期交換部品、アクセサリーに対して、それらの信頼性や安全性、適合性が明確に車両に適しているかをテストしています。メルセデス・ベンツでは、継続的に市場調査を行なっていますが、純正でない部品の使用を認めていません。公的に承認されている、または試験機関によって独自に承認されている場合でも、メルセデス・ベンツ車でのそのような部品の使用については、メルセデス・ベンツは責任は負いかねます。

メルセデス・ベンツ純正部品を注文するときは、常に車台番号（▷460 ページ）を確認する必要があります。

取扱説明書

車両の装備

装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書と整備手帳は重要な書類ですので、車内に保管してください。

使用に関する安全性

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

規定の点検整備または必要な修理を行なっていないと、故障やシステム故障を引き起こすおそれがあります。事故の危険性があります。

規定の点検整備、必要な修理は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できない、または全くできません。

これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

⚠ **警告**

電子部品、ソフトウェア配線への改造は、それらの機能およびその他のネットワークでつながっている構成部品の機能を損なうことがあります。特に、安全にかかわるシステムに影響が生じるおそれがあります。結果として、車両の機能が適切に作動しない、あるいは走行安全性が危険にさらされることがあります。けがや事故の危険が高まります。

また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。電気装備および電子機器に関するすべての作業および改造はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で必ず行なってください。

! 以下のときは、車両が損傷することがあります。

- 高い縁石や舗装されていない道路で車両が立ち往生したとき
- 縁石や道路のくぼみなどの障害物の上を速すぎる速度で走行したとき
- 重量のある障害物がボディ下部やシャーシの部品にぶつかったとき

このような状況では、ボディ、ボディ下部、シャーシ部品、ホイール、タイヤが目に見える損傷はなくとも損傷するおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあり、事故の場合には、設計されている負担に耐えることができないおそれがあります。

ボディ下部のパネルが損傷しているとき、葉、草または小枝のような可燃性の素材が、ボディ下部とボディ下部パネル間に堆積することがあります。これらの素材が排気システムの熱い部品に長時間触れると、発火するおそれがあります。

そのような場合には、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検および修理を受けてください。走行中に、走行の安全性が損なわれていると感じた場合は、周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

診断機接続部

診断機の接続部は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で診断機器のみを接続するように想定されています。

⚠ **警告**

機器を診断機の接続部に接続すると、車両システムの操作に影響を与える場合があります。車両の走行安全性が損なわれることがあります。事故の危険性があります。

いかなる機器も車両の診断機の接続部に接続しないでください。

⚠ **警告**

運転席の足元の荷物は、ペダルの動きを妨げたり、または踏まれたペダルを抑えてしまうことがあります。車両の操作および走行安全性をおびやかします。

事故の危険性があります。運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。ペダル周囲に常に十分な空間があることを確認するために、フロアマットは操作の妨げにならないように、ペダルから十分に離してしっかりと装着してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

! エンジンが停止しているときに診断機の接続部の装備品を使用すると、スターターバッテリーが放電することがあります。

診断機器を診断機の接続部に接続すると、例えば排出ガスモニター情報のリセットにつながります。これにより、次回の主要な点検の際の排出ガス試験の要件に適合しなくなることにつながります。

日常点検および点検整備

お客様自身の責任において日常点検と定期検査を行なうことが法律で定められています。それぞれの検査手順についての詳細情報は、整備手帳をご覧ください。

オートマチックトランスミッションの操作

全体的な注意事項

適切にご使用いただくために、オートマチックトランスミッションを使用する前に、特徴や操作に関連する事項についての理解を深めてください。

オートマチックトランスミッションの特徴

クリープ現象

エンジンがかかっていてトランスミッションがシフトポジション D または R のときは、駆動輪に動力が伝達されています。その結果、アクセルペダルを踏んでいなくても、車両が動き出します。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場

メルセデス・ベンツ指定サービス工場は、車両に必要とされる適切な作業を行なうための、必要とされる専門的な知識、工具および資格があります。これは特に安全に関する作業に当てはまります。

整備手帳にある注意に従ってください。以下の作業については、必ずメルセデス·ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

- 安全に関する作業
- 整備やメンテナンス作業
- 修理作業
- 改造、装着、交換
- 電子部品の作業

メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。

正しく使用するために

警告ステッカーをはがすと、お客様や他の方々が危険を認識できないことがあります。警告ステッカーははがさないでください。

車両を運転しているときは以下の情報に従ってください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 本説明書のサービスデータ
- 道路交通法
- 自動車に関係する法律と安全基準

車両に記憶されているデータ

車両に装備されている数多くの電子部品はデータメモリーを装備しています。これらのデータメモリーは、以下に関する技術情報を一時的または恒常的に保存します。

- 車両の作動状態
- 発生した事象
- 故障

一般的に、この技術情報は構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態について記録します。

例えば、以下を含みます。

- フルードレベルなどのシステム構成部品の作動条件
- ホイール回転数 / 速度、減速、横方向の加速度、アクセルペダルの位置などの車両の状況メッセージおよび個別の構成部品
- ライト、ブレーキなどの重要なシステム構成部品の故障および異常
- エアバッグの作動、スタビリティコントロールシステムの介入などの特殊な走行状態での車両の反応および作動条件
- 外気温度などの外気条件

このデータは以下の技術的なことにのみ使用されます。

- 故障や不具合の検知および改良の支援
- 事故後などの車両機能の解析
- 車両機能の最適化

データを使用して、車両の動きをたどることはできません。

お客様の車両が整備を受けたときは、この技術情報が発生事象データメモリーおよび故障データメモリーから読み出されます。

例えば以下の整備が含まれます。

- 修理整備
- 整備処理
- 保証
- 品質保証

この情報は、メルセデス·ベンツ指定サービス工場の認定された従業員（メーカーを含む）が特別な診断機を使用して読み出します。必要に応じて、より詳細な情報を取得します。

故障が解決されたあと、情報は故障メモリーから消去されるか、絶えず上書きされます。

車両を操作する場合、その他の情報と併せて（必要に応じて、該当機関に相談し）、この技術データから個人を特定することができる場合があります。以下の例が含まれます。

- 事故レポート
- 車両への損傷
- 目撃者証言

お客様と合意したその他の追加機能によって、特定の車両データも車両から取得することができます。追加機能は、非常時の車両位置などを含んでいます。

著作権の情報

全体的な注意事項

車両やその電子部品に使用されているフリーおよびオープンソースのソフトウェアのライセンスに関する情報は、下記のウェブサイトで入手できます。

http://www.mercedes-benz.com/opensource

お車をご使用いただく際の注意事項

保証の適用

! 車両の操作を行なうときや車両に損傷が発生したときは、必ず本書に記載されている指示に従ってください。指示に従わないで発生した車両の損傷については、保証の対象外になります。

走行する前に

夏季の取り扱い

- 夏を迎える前にエアコンディショナーの冷媒に不足がないか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
- オーバーヒートの予防策として、いつもより頻繁に冷却水量を点検してください。

エアコンディショナーの臭いについて

車室内外のさまざまな汚れやほこりがエアコンディショナー内に取り込まれることにより、エアコンディショナーからの送風に臭いがする場合があります。

日ごろの状態と異なるとき

エンジンをかけたとき、いつもと異なる音やにおいを感じたり、駐車していた場所に水やオイルの跡が残っているときは、すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ドアを開くと

ドアを開くと、一部の装置が自動的に動き始め、作動音などが聞こえることがありますが、異常ではありません。

燃えるものは積まない

燃料を入れた容器や可燃性のスプレー缶などを積まないでください。万一のときに引火や爆発のおそれがあります。

子供を乗せるとき

子供には操作させない

思わぬけがの原因となりますので、子供にドアやトランクまたはテールゲート、パノラミックスライディングルーフなどを開閉させないでください。

開口部から身体を出さない

子供がサイドウインドウやパノラミックスライディングルーフなどの開口部から身体を出さないように注意してください。

走行時の注意事項

エンジンの始動前

- ブレーキペダルは必ず右足で操作してください。不慣れな左足で操作すると、事故を起こすおそれがあります。
- ブレーキペダルを踏み込んだときに、ペダルが一定のところで停止することやペダルの踏みしろの量を確認してください。

停車

停車中はエンジンの空ぶかしをしないでください。万一、トランスミッションのポジションが走行位置になると、車が急発進して事故を起こすおそれがあります。

駐車

- 後退したあとは、すぐにトランスミッションをポジション P か N にするように心がけてください。R になっていることを忘れてアクセルペダルを踏み込み、車が後退して事故を起こすおそれがあります。
- 駐車時や車から離れるときは、必ずシフトポジションを P にして、パーキングブレーキを確実に効かせて、エンジンを停止してください。

寒冷時の取り扱い

積雪

ボディやウインドウに雪が積もったときはすべて取り除いてください。走行中に雪が落ちて視界を妨げるおそれがあります。

ドアやトランクまたはテールゲートの凍結

- ドアやトランクまたはテールゲートが凍結して開かないときは、開口部周囲にぬるま湯をかけ、解凍してから開いてください。また、キーシリンダーにはぬるま湯がかからないようにしてください。
- 再凍結を防止するため、余分な水分はきれいに拭き取ってください。
- 凍結したまま無理にドアやトランクまたはテールゲートを開こうとすると、周囲の防水シールやウェザーストリップを損傷するおそれがあります。

ワイパーなどの凍結

ワイパーやドアミラー、ウインドウ、スライディングルーフなどが凍結しているときに、無理に動かすとモーターを損傷するおそれがあります。

周囲にぬるま湯をかけるなどして、必ず解凍してから操作してください。

ボディ下側の着氷

- 走行前にボディ下部やフェンダーの内側を点検してください。ブレーキ関連部品やステアリング関連部品、サスペンションなどに雪や氷塊が付着していたり凍結していると、ボディを損傷したり、ステアリング操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。
- 雪や氷塊が付着しているときは、ぬるま湯をかけるなどして、部品やボディを損傷しないように注意しながら、雪や氷塊を取り除いてください。
- 走行中にも、はね上げた雪や水しぶきが凍結し、氷となってボディ下部やフェンダーの内側に付着し、ステアリング操作ができなくなるおそれがあります。休憩時などにこまめに点検し、雪や氷塊が付着しているときは、大きくなる前に取り除いてください。

乗車前に

靴底などに付着した雪や氷を落としてから乗車してください。ペダルを操作するときに滑ったり、車内の湿度が高くなってウインドウの内側が曇りやすくなります。

スタッドレスタイヤについて

スタッドレスタイヤを装着した場合、正しい空気圧に調整してあっても、マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧警告システムに関する警告メッセージが表示されることがあります。

空気圧を点検して必要に応じて調整した上で、取扱説明書を参照してタイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

駐車するとき

寒冷時や積雪地での駐車時は以下の点に注意してください。

- パーキングブレーキが凍結するおそれがある場合は、パーキングブレーキを使用せず、トランスミッションをポジション **P** にシフトして、確実に輪止めをしてください。
- できるだけ風下や建物の壁、日光の当たる方向にエンジンルームを向けて駐車し、エンジンが冷えすぎないようにしてください。
- 軒下や樹木の陰には駐車しないでください。雪やつららが落ちてきてボディを損傷するおそれがあります。
- エンジンを毛布でカバーしたり、フロントグリルの内側にダンボールや新聞紙などを挟まないでください。放置したままエンジンを始動すると、火災や故障の原因になります。

全体的な注意事項

運転するときの注意事項

服用後の運転が禁止されている薬や、酒類を飲んだ後は絶対に運転しないでください。

日射に関する注意事項

- ウインドウなどに吸盤を貼り付けないでください。吸盤がレンズの働きをして、火災が発生するおそれがあります。
- メガネやサングラスを車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温になるため、レンズやフレームが変形したり、ひび割れするおそれがあります。

ライターに関する注意事項

- ライターを車内に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを操作したときにライターの操作部に触れてライターが誤作動し、火災が発生するおそれがあります。
- ライターをグローブボックスや小物入れなどに入れたままにしたり、車内に落としたままにしないでください。

  荷物を押し込んだときやシートを操作したときにライターの操作部に触れてライターが誤作動し、火災の危険性があります。

キーに関する注意事項

キーをポケットやバッグなどに入れたときに意図せずにスイッチが押され、トランクまたはテールゲートが開くことがあります。キーを携帯する際は十分注意してください。

自動車電話、携帯電話の使用

運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

きびしい条件下での運転

発進、停止を繰り返す市街地走行、山間部や路面の悪い道路などきびしい条件下での走行が多いときは、タイヤやエアクリーナー、エンジンオイル、エンジンオイルフィルター類の点検整備や交換を、定期的な交換時期よりも早く行なうことが必要になります。

取扱説明書に記載されている装備・機能

お客様の車両の装備や機能はオプションや仕様により異なる場合があります。
オプションや仕様により異なる装備・機能については、以下の表をご覧ください。

安全性

NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト
助手席チャイルドセーフティシート自動検知（助手席エアバッグオフ表示灯を含む）
BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）
CPA（衝突警告システム）
PRE-SAFE® ブレーキ
盗難防止システム

オープン / クローズ

キーレスゴー
自動開閉トランクリッド
ハンズフリーアクセス
パノラミックスライディングルーフ（電動ブラインドを含む）

シート、ステアリングとミラー

ラグジュアリーヘッドレスト
マルチコントロールシートバック
ラゲッジルームのフロア格納式サードシート（ステーションワゴン）
シートヒーター
シートベンチレーター

ライトおよびフロントワイパー

リアワイパー

エアコンディショナー

クライメートコントロール（後席独立調整）
（エアコンディショナーモード、余熱ヒーター機能、リアサイド送風口を含む）

走行と停車

セルフロッキング式リアディファレンシャルロック
ディーゼルエンジン（予熱表示灯を含む）
マニュアル走行モード
ECO 表示
AMG セラミック強化ブレーキシステム
ディストロニック・プラス（車間距離警告灯を含む）
レーススタート
AIR マティックサスペンション
AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション
4MATIC（フルタイム 4 輪駆動システム）
360° カメラ
アクティブブラインドスポットアシスト
アクティブレーンキーピングアシスト

マルチファンクションディスプレイと表示

燃料消費の表示
AMG メニュー

COMAND システム

インターネットラジオ

収納と機能

スキーバッグ
後席のスルーローディング
リアシートのスルーローディング（セダン）
荷物固定用リング
バッグフック（セダン）
B&O サウンドシステム
EASY-PACK テールゲートシルプロテクター（ステーションワゴン）
補助サンバイザー
リアドアウインドウのブラインド
リアウインドウの電動ブラインド（セダン）
フロアマット

メンテナンスおよび手入れ

アクティブボンネット

万一のとき

MOExtended タイヤ
タイヤフィット

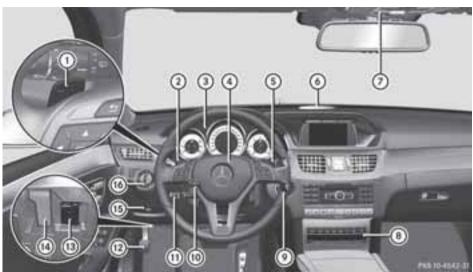
ホイールとタイヤ

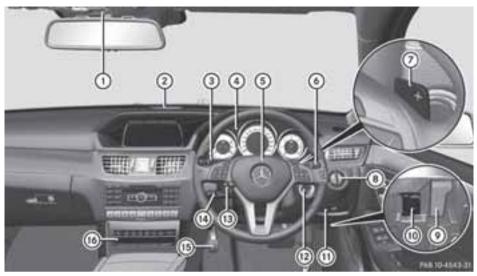
タイヤ空気圧警告システム
DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）
スポーツパッケージ（コード 950）
エクステリアスポーツパッケージ（コード P96）
応急用スペアタイヤ
（応急用ミニスペアタイヤ、コラプシブル応急用スペアタイヤを含む）
ラゲッジルームフロア下の小物入れ

サービスデータ

AdBlue®

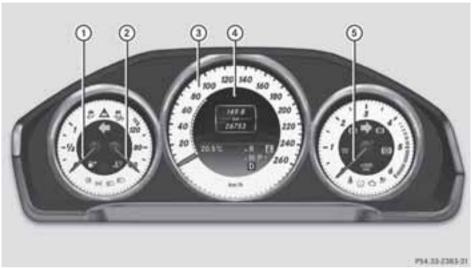
運転席 38
メーターパネル 40
マルチファンクションステアリング 42
センターコンソール 43
オーバーヘッドコントロールパネル 46
ドアコントロールパネル 47

運転席

	機能	ページ
①	ステアリングのギアシフトパドル	206
②	コンビネーションスイッチ	156
③	メーターパネル	40
④	ホーン	
⑤	DIRECT SELECT レバー	200
⑥	パークトロニック警告表示	253
⑦	オーバーヘッドコントロールパネル	46
⑧	エアコンディショナー	169
⑨	エンジンスイッチ キーレスゴースイッチ	190 191
⑩	電動調整式ステアリングの調整	144

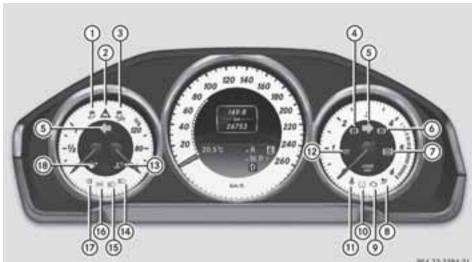
	機能	ページ
⑪	クルーズコントロールレバー	224 227 232
⑫	パーキングブレーキペダル	218
⑬	診断器接続部	27
⑭	ボンネットを開く	398
⑮	パーキングブレーキを解除する	218
⑯	ライトスイッチ	152

	機能	ページ
①	オーバーヘッドコントロールパネル	46
②	パークトロニック警告表示	253
③	コンビネーションスイッチ	156
④	メーターパネル	40
⑤	ホーン	
⑥	DIRECT SELECT レバー	200
⑦	ステアリングのギアシフトパドル	206
⑧	ライトスイッチ	152
⑨	ボンネットを開く	398
⑩	診断器接続部	27

	機能	ページ
⑪	パーキングブレーキを解除する	218
⑫	エンジンスイッチ キーレスゴースイッチ	190 191
⑬	電動調整式ステアリングの調整	144
⑭	クルーズコントロールレバー	224 227 232
⑮	パーキングブレーキペダル	218
⑯	エアコンディショナー	169

メーターパネル

ディスプレイ

	機能	ページ
①	燃料計	
②	冷却水温度	282
③	セグメント付きスピードメーター	283
④	マルチファンクションディスプレイ	281
⑤	タコメーター	282

i マルチファンクションディスプレイでメーターパネル照明を調整します。(▷297 ページ)

警告および表示灯

	機能	ページ
①	ESP®	341
	SPORT スポーツハンドリングモード（AMG 車両）	342
②	距離警告	347
③	ESP® 解除	341
④	ブレーキ（赤色）	337
⑤	方向指示灯	156
⑥	ブレーキ（黄色）	337
⑦	ABS	339
⑧	SRS	343
⑨	エンジン診断	344
⑩	この警告灯には機能はありません。	

	機能	ページ
⑪	シートベルト	336
⑫	ディーゼルエンジン：予熱	193
	ESP®（AMG 車両）	341
⑬	冷却水	344
⑭	ハイビームヘッドライト	156
⑮	ロービームヘッドライト	153
⑯	車幅灯	155
⑰	リアフォグランプ	154
⑱	燃料残量	344

マルチファンクションステアリング

	名称	ページ
①	マルチファンクションディスプレイ	283
②	COMAND ディスプレイ：デジタル版取扱説明書をご覧ください。	
③	[音声認識ボタン] 音声認識の作動：別冊の取扱説明書をご覧ください。	
④	[受話拒否ボタン] 受話拒否、または終了 電話帳 / 通話履歴の終了 [発信ボタン] 発信、または受話 リダイヤルメモリーへの切り替え [+][−] 音量の調整 [消音ボタン] 消音	284

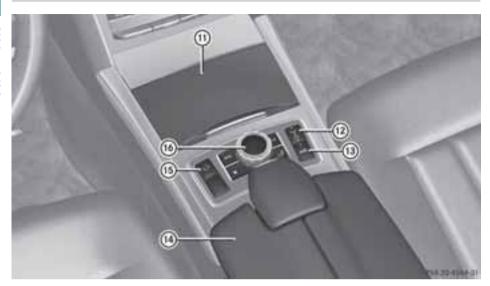
	名称	ページ
⑤	[◀][▶] メニューの選択	284
	[▲][▼] サブメニューの選択またはリストのスクロール	284
	[OK] 選択の確定	284
	ディスプレイメッセージの消去	306
⑥	[戻るボタン] 戻る 音声認識の解除：別冊の取扱説明書をご覧ください。	284

センターコンソール

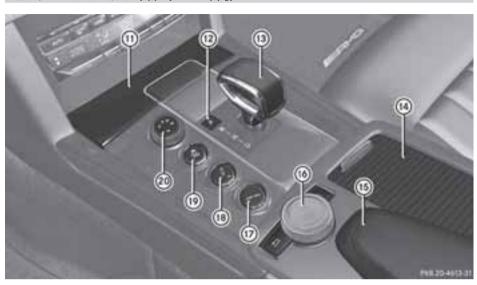
センターコンソール、上部

	機能	ページ
①	COMAND システム：デジタル版取扱説明書をご覧ください。	
②	シートヒーター	142
③	シートベンチレーター	143
④	パークトロニック	254
⑤	ECO ECO スタートストップ機能	194
⑥	非常点滅灯	157

	機能	ページ
⑦	助手席エアバッグオフ表示灯	71
⑧	盗難防止警報システム表示灯	97
⑨	リアシートのヘッドレストの格納	138
⑩	セダン：リアウインドウの電動ブラインド	391

センターコンソール、下部（AMG 車両を除く車種）

	機能	ページ
⑪	灰皿	392
	ライター	392
	カップホルダー	387
⑫	SPORT COMF サスペンション設定の調整	247
⑬	車高の調整	247

	機能	ページ
⑭	小物入れ	372
⑮	走行モード選択スイッチ	204
⑯	COMAND コントローラー：デジタル版取扱説明書をご覧ください。	

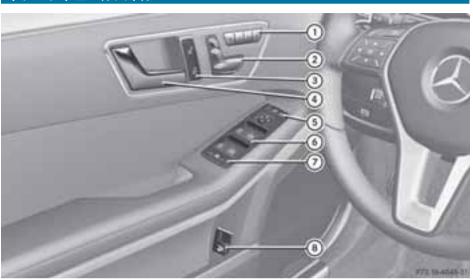
センターコンソール、下部（AMG 車両）

	機能	ページ
⑪	灰皿 ライター	392 392
⑫	パーキングポジション **P** にする	216
⑬	セレクターレバー	202
⑭	カップホルダー	387
⑮	小物入れ	372
⑯	COMAND コントローラー：デジタル版取扱説明書をご覧ください。	

	機能	ページ
⑰	AMG サスペンション制御の呼び出し / 記憶	250
⑱	サスペンション設定の調整	249
⑲	OFF ESP®	89
⑳	走行モード選択ダイヤル	205

オーバーヘッドコントロールパネル

	機能	ページ
①	リアルームライトの点灯／消灯の切り替え	161
②	ルームライト自動コントロールのオン／オフの切り替え	161
③	右側読書灯の点灯／消灯の切り替え	161
④	けん引防止機能の解除	98
⑤	ルームミラー	148

	機能	ページ
⑥	電動ブラインド付きパノラミックスライディングルーフの開閉	127
⑦	室内センサーの解除	99
⑧	左側読書灯の点灯／消灯の切り替え	161
⑨	フロントルームライトの点灯／消灯の切り替え	161

ドアコントロールパネル

	機能	ページ
①	[M] [1] [2] [3] シート、ドアミラー、ステアリング設定の記憶	149
②	パワーシートの調整	137
③	車両の解錠 / 施錠	111
④	ドアレバー	110
⑤	ドアミラーの電動調整および格納 / 展開	146
⑥	サイドウインドウの開閉	121

	機能	ページ
⑦	リアサイドウインドウのチャイルドプルーフロックの設定 / 解除	82
⑧	トランクリッド / テールゲートの開閉	118

役に立つ情報……………………………50
乗員安全システム………………………50
子供を乗せるとき………………………66
走行安全システム………………………82
盗難防止システム………………………97

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

乗員安全システム

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

保護システムを改造すると適切に機能しなくなります。システムが設計どおりに乗員を保護できなくなります。事故の際に保護機能を果たせず、また不意に作動することもあります。けがをする危険性が高まります。

保護システムの部品を改造しないでください。また、決して配線、電子制御部品やソフトウェアを改造しないでください。

エアバッグシステムは障害のある方にも適合しています。さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

シートベルトや SRS（乗員保護補助装置）は相互に補完し、連動して作動する乗員保護装置です。これらは、あらかじめ想定した特定の事故の状況においてけがの危険性を低減し、乗員の安全性を高めます。ただし、シートベルトとエアバッグは外側から車両に侵入した物に対する保護は一般的には行ないません。

乗員保護装置の機能を十分に発揮させるため、以下の点に注意してください。

- シートやヘッドレストが正しく調整してある（▷134 ページ）
- シートベルトが正しく着用してある（▷60 ページ）
- エアバッグが作動した場合に制限なしで膨らむことができる（▷52 ページ）
- ステアリングが正しい位置に調整してある（▷144 ページ）
- 保護システムが改造されていない

エアバッグは、シートベルトを着用した乗員の保護機能を高めます。ただし、エアバッグはシートベルトを補足する補助的なシステムに過ぎず、シートベルトの代わりになるものではありません。車両にエアバッグが装備されていても、乗員全員が常に正しくシートベルトを着用する必要があります。エアバッグは、あらゆる種類の事故で作動するわけではありません。例えば、正しく着用されたシートベルトによる保護機能をエアバッグの作動によって高めることができない場合はエアバッグは作動しません。

エアバッグの作動はシートベルトが正しく着用されている場合にのみ、保護を高めることができます。シートベルトはまず、エアバッグとの最適な位置に車両の乗員を保つ補助になります。さらに正面衝突などの際に、シートベルトは衝撃を受けた方向に同乗者が移動しないようにします。

SRS（乗員保護補助装置）

概要

SRS は、以下のシステムで構成されています。

- SRS 警告灯
- エアバッグ
- クラッシュセンサー付きエアバッグコントロールユニット
- フロントシートベルト用および後席の外側シートベルト用シートベルトテンショナー
- フロントシートベルト用および後席の外側シートベルト用ベルトフォースリミッター

SRS は、事故の際に乗員が車室内の部品にぶつかる危険性を低減します。また事故の際に乗員が受ける衝撃を緩和させます。

SRS 警告灯

⚠ 警告

SRS が故障している場合は、大幅な車両の減速を伴う事故の際に、保護システムの構成部品が不意に作動したり、またはまったく作動しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検および修理を受けてください。

SRS の機能は、イグニッションをオンにしたときやエンジンがかかっているときに定期的に診断されています。そのため、不具合が発生すると早い時期に検出することができます。

メーターパネルの SRS 警告灯 は、イグニッション位置を **1** にすると数秒間点灯します。また、イグニッション位置を **2** にすると点灯し、エンジン始動後に消灯します。エンジンがかかっている間に SRS 警告灯 が消灯したときは、SRS の構成部品の作動準備が整っています。

以下のときは、不具合が発生しています。

- イグニッション位置を **1** にしたときに数秒間点灯しない。
- イグニッション位置を **2** にしたときに点灯しない。
- エンジンを始動して数秒後に、SRS 警告灯 が消灯しない。
- エンジンかかっているときに、SRS 警告灯 が再度点灯する。

シートベルトテンショナーおよびエアバッグの作動

衝突の初期段階で、エアバッグコントロールユニットは、以下のような車両の減速度または加速度に関する重要な物理的データを判断します。

- 衝撃の作用した時間
- 方向
- 衝撃の強さ

これらのデータを判断して、エアバッグコントロールユニットは衝突の初期段階でシートベルトテンショナーを事前に作動させます。

車両の縦方向の減速度または加速度がさらに大きくなると、フロントエアバッグも作動します。

車両には、衝撃の大きさに応じて作動力を 2 段階に制御するデュアルステージ式フロントエアバッグが装備されています。エアバッグコントロールユニットは、衝突の際に車両の減速度または加速度を評価します。第 1 段階では、フロントエアバッグは乗員の負傷を防ぐのに最適なガス圧で膨らみます。数ミリ秒以内に第 2 段階の作動基準値に達すると、フロントエアバッグは最大限に膨らみます。

シートベルトテンショナーとエアバッグの作動基準値は、車両の減速度または加速度に応じて適切に設定されます。このプロセスは事前に実行されます。作動決定プロセスは、衝突の初期段階で早い時期に行なわれる必要があります。車両の減速度や加速度、衝撃の方向は、基本的に以下の要素によって決まります。

- 衝突時の衝撃エネルギーの分散度
- 衝撃の角度
- 車体の変形状態
- 車両と衝突した物体の特性

衝突の発生後に検知される要素は、エアバッグの作動条件とは必ずしも一致しません。また、エアバッグを作動させる基準とはなりません。

衝突時にボンネットやフェンダーなど車体が著しく変形していながら、エアバッグが作動しない場合があります。変形しやすい衝撃吸収部品のみが衝突の影響を受け、エアバッグを作動させるのに十分な減速度に達していない場合です。反対に、車体の変形状態が軽度であってもエアバッグが作動することがあります。縦方向のボディメンバーなど高剛性の部品が衝撃を受けたため車両の減速度が十分高いレベルに達した場合などです。

ⓘ フロントのシートベルトテンショナーは、フロントシートのシートベルトのプレートが正しくバックルに差し込まれている場合にのみ作動します。

ⓘ 事故の際に、すべてのエアバッグが作動するわけではありません。各エアバッグシステムは、それぞれ独立して作動します。

エアバッグシステムの作動条件は、事故の大きさ（特に車両の減速度または加速度）および以下のような事故の形態に基づいて決まります。

- 正面衝突
- 側面衝突
- 横転

エアバッグ

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

エアバッグは補助的な保護をもたらしますが、シートベルトの代わりになるものではありません。

エアバッグの作動が原因による重大な、または致命的なけがの危険性を軽減するため、以下の注意事項をお守りください。

- 妊娠中の女性も含めて、乗員全員が常にシートベルトを正しく着用し、バックレストをできるだけ垂直にしてシートに深く腰かけてください。ヘッドレストは、中央部が目の高さになるように調整してください。
- 身長約 1.5m 未満または年齢 12 歳未満の子供は常に、適切なチャイルドセーフティシートに固定してください。

- 乗員全員がシート位置を正しく調整し、エアバッグとの間隔をできるだけ確保してください。運転席シートの位置は、車両を安全に運転できるものでなければなりません。運転者の胸部は、運転席エアバッグカバーの中央からできるだけ離れていなければなりません。
- 助手席シートはできるだけ後方に移動してください。特に、助手席にチャイルドセーフティシートを装着して子供を乗せるときは助手席シートを後方に移動することが大切です。
- 車両乗員、特に子供は、サイドバッグ / ウインドウバッグが作動するウインドウの周辺には頭部を寄りかからせないでください。
- 助手席シートのエアバッグが無効になっている場合を除いて、後ろ向きのチャイルドセーフティシートを助手席シートに装着しないでください。チャイルドセーフティシート検知システム装備車の助手席に、センサー付き純正チャイルドセーフティシートを装着する場合は、助手席エアバッグが無効になります。助手席エアバッグオフ表示灯 [ ] が点灯し続けます。

  車両の助手席にチャイルドセーフティシート検知システムが装備されていない場合や、後ろ向きのチャイルドセーフティシートにチャイルドセーフティシート自動検知用のトランスポンダーがない場合は、必ず後席に装着してください。助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。
- 衣服のポケットに重い物やとがった物を入れないでください。
- 特に走行中は、運転席・助手席フロントエアバッグの格納部にもたれかかったりしないでください。
- ダッシュボードの上に足をのせないでください。
- ステアリングは外側のみを握ってください。それにより、エアバッグを十分に膨らませることができます。ステアリングの内側を握った状態でエアバッグが作動すると、運転者がけがをするおそれがあります。
- ドアに寄りかからないでください。
- エアバッグ作動範囲と乗員の間に人やペットまたは荷物を置かないでください。
- バックレストとドアの間に物を置かないでください。
- アシストグリップやコートフックに、コートハンガーなどのかたい物をかけないでください。
- ドアにカップホルダーなどのアクセサリーを取り付けないでください。

エアバッグは瞬時に作動する必要があるため、エアバッグの作動によりけがをする危険性を排除することは不可能です。

⚠ **警告**

エアバッグカバーを改造したり、ステッカーのような物を貼る場合は、エアバッグが正しく機能できなくなることがあります。けがをする危険性が高まります。

エアバッグカバーを改造したり、またはそれらに物を貼らないでください。

⚠ **警告**

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。

⚠ **警告**

エアバッグが作動した後は、エアバッグの部品は熱くなっています。けがの危険性があります。

エアバッグの部品に触れないでください。

作動したエアバッグは、できるだけすみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

衝突の際にエアバッグが作動すると、乗員の身体の移動を抑えて拘束します。エアバッグが作動するときに、作動音が聞こえ、空中に少量の粉末が放出されることがあります。作動音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。放出された粉末は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。この粉末を吸い込むと、ぜんそくや肺疾患のある方は一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な空気を車内に取り込んでください。SRS 警告灯 [SRS] が点灯します。

エアバッグの格納場所には、"AIRBAG"の表示があります。

ⓘ エアバッグが作動した後は、車両がまだ走行できる場合でも最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場までけん引してください。

エアバッグの取付位置

エアバッグ	取付位置
運転席エアバッグ	ステアリングパッド部
助手席エアバッグ	グローブボックス上部のダッシュボード部
運転席ニーバッグ	ステアリングコラム下部の運転席パネル
サイドバッグ	運転席および助手席シートのバックレスト外側側面、ならびに後席バックレスト外側側面

ペルビスバッグ	運転席および助手席シートのバックレスト外側側面下部
ウインドウバッグ	A ピラー側方から C ピラーのルーフフレーム

フロントエアバッグ

! 助手席シートには重い物を置かないでください。システムが助手席シートに同乗者がいると誤って判断する原因になります。衝突の際に助手席側の乗員保護装置が作動して交換する必要が出るおそれがあります。

運転席エアバッグ ① はステアリング正面で膨らみ、助手席エアバッグ ② はグローブボックスの正面と上部で膨らみます。フロントエアバッグは、運転者と助手席乗員の頭部や胸部を保護する効果を高めます。

それらは以下のときに作動します。

- 衝突の初期段階で、車両の縦方向に一定以上の高い加速度または減速度を検知したとき
- エアバッグの作動が、シートベルトによるものに補助的な保護をもたらすとシステムが判断したとき
- 車内の他のエアバッグとは独立して

フロントエアバッグが作動する時間は、シートベルトが着用されているかどうかによって異なります。

車両が横転した場合は、通常はフロントエアバッグは作動しません。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知装備車両：助手席フロントエアバッグ ② は、助手席に乗車しているとシステムが検知した場合にのみ作動します。センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯は点灯しません（▷70 ページ）。

チャイルドセーフティシートが助手席に装着されている場合、以下のときはセンターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯しません。

- チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダーを内蔵していないチャイルドセーフティシートが装着されているとき、または
- トランスポンダー内蔵チャイルドセーフティシートが正しく装着されていないとき

運転席ニーバッグ

運転席ニーバッグ ① はステアリングコラムの下で作動します。フロントエアバッグと一緒に作動します。運転席ニーバッグは前面衝突の際に特定の規定値を超えるとフロントエアバッグと一緒に作動するように設計されています。運転席ニーバッグは、正しい位置で着用されたシートベルトと組み合わされて最適に作動します。運転席ニーバッグは、運転者の以下のようなけがを軽減して乗員保護効果を高めます。

- 膝のけが
- 大腿部のけが
- 下肢のけが

サイドバッグ

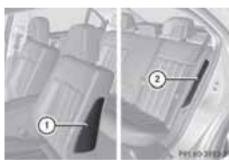
⚠ **警告**

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。

⚠ **警告**

エアバッグを制御するセンサーがドアの内部にあります。ドア、ドアパネル、または損傷したドアに改造が行なわれたり、作業が正しく行なわれていないと、センサーの機能が損なわれることがあります。したがって、エアバッグは正しく機能しなくなることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。けがをする危険性が高まります。

ドアまたはドアの部品を改造しないでください。ドアまたはドアパネルの作業は常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

サイドバッグ（例：セダン）

フロントサイドバッグ ① およびリアサイドバッグ ② は外側シートクッション脇で作動します。

作動したときは、衝撃が発生した側の車両乗員の胸部を補助的に保護します。ただし、以下は保護しません。

- 頭部
- 頸部
- 腕部

サイドバッグは以下のように作動します。

- 衝撃を受けた側で
- 側方の衝撃など、車両の横方向で高い加速度または減速度を伴う事故の初期で
- シートベルトの使用とは独立して
- フロントエアバッグとは独立して
- シートベルトテンショナーとは独立して

車両が横転した場合は、サイドバッグは通常は作動しません。システムが横方向の車両の高い減速度または加速度を検知し、サイドバッグの作動によってシートベルトによりもたらされるものに補助的な保護を与えると判断した場合に、サイドバッグは作動します。

ペルビスバッグ

⚠ 警告

シートカバーによって、シート内蔵のエアバッグの作動を遮る、または妨げることがあります。その結果、エアバッグは設計されているように車両乗員を保護することができません。加えて、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能が制限されることがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

フロントシートには、シートカバーを使用しないでください。

ペルビスバッグ ① は、衝突が発生した車両側の車両乗員の保護レベルを高めます。

ペルビスバッグは、シートクッション側面の下部付近で膨らみます。それらは以下のときに作動します。

- 衝撃を受けた側で
- 側面衝突などの初期段階で、車両の横方向の加速度または減速度が高くなったとき
- シートベルトの着用に関係なく
- フロントエアバッグの作動とは独立して
- シートベルトテンショナーの作動とは独立して

車両が横転した場合、ペルビスバッグは通常は作動しません。システムが横方向の車両の高い減速度または加速度を検知し、ペルビスバッグの作動によってシートベルトによりもたらされるものに補助的な保護を与えると判断した場合に、ペルビスバッグは作動します。

ウインドウバッグ

助手席側のウインドウバッグ（例：セダン）

ウインドウバッグ ① は、車両の衝撃が発生した側の乗員の（胸部や腕ではなく）頭部の保護レベルを高めます。

ウインドウバッグはルーフフレーム側面に内蔵され、A ピラーから C ピラー間の範囲で作動します。

ウインドウバッグは以下の条件で作動します。

- 側面衝突などの初期段階で、車両の横方向の加速度または減速度が高くなったとき
- 衝撃を受けた側で
- 車両が横転し、作動することによってシートベルトによるものに追加の保護がもたらされるとシステムが判断した場合の運転席と助手席側で
- シートベルトの着用に関係なく
- 助手席乗員の有無に関わらず
- フロントエアバッグの作動とは独立して

NECK PRO アクティブヘッドレスト / NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

以下の場合にヘッドレストの機能が損なわれることがあります。

- 例えばコートハンガーのような物をヘッドレストに取り付けている
- ヘッドレストカバーを使用している

そのような場合は、事故のときにヘッドレストが意図された保護機能を果たすことができません。加えて、ヘッドレストに取り付けられている物が車両の他の乗員を危険にさらすおそれがあります。けがをする危険性が高まります。

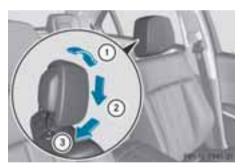
ヘッドレストに物を取り付けたり、ヘッドレストカバーを使用しないでください。

NECK PRO アクティブヘッドレスト / NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストは、運転者および助手席の乗員の頭部および頸部への保護を高めます。特定の強さの後方衝突のときに、運転席と助手席の NECK PRO アクティブヘッドレスト /NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストが前方および上方へ移動します。これにより、頭部のより良い支持をもたらします。

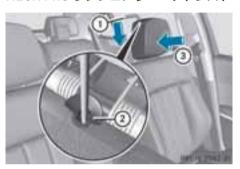
事故で NECK PRO アクティブヘッドレスト /NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストが作動した場合は、運転席および助手席の NECK PRO アクティブヘッドレスト /NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストをリセットしてください。次の後方衝突のときに補助の保護を行なうことができません。作動した NECK PRO アクティブヘッドレスト /NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストは前方に移動し、調整できなくなります。

後方衝突の後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で NECK PRO アクティブヘッドレスト /NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストの点検を受けることを、メルセデス・ベンツは推奨します。

リセット

NECK PRO アクティブヘッドレスト

NECK PRO アクティブヘッドレスト(例:セダン)

- ▶ NECK PRO アクティブヘッドレストのクッション上部を矢印 ① の方向に前方に傾けます。
- ▶ NECK PRO アクティブヘッドレストのクッションを矢印 ② の方向に停止するまで押し下げます。
- ▶ 手のひらで、NECK PRO ヘッドレストのクッションを固定されるまで矢印 ③ の方向に後方にしっかりと押します。
- ▶ もう一方の NECK PRO アクティブヘッドレストでも同様の作業を行ないます。

NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト

NECK PRO ラグジュアリーヘッドレスト

- ▶ 車両の書類入れからリセットツール ① を取り出します。
- ▶ NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストとヘッドレストのリアカバーの間にあるガイド ② にリセットツール ① を差し込みます。
- ▶ ヘッドレスト作動機構がカチッと音がしてはまるまで、リセットツール ① を押し下げます。
- ▶ リセットツール ① を引き抜きます。
- ▶ 手のひらで、NECK PRO ラグジュアリーヘッドラストのクッションを固定されるまで矢印 ③ の方向に後方にしっかりと押します。
- ▶ もう一方の NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストでも同様の作業を行ないます。
- ▶ リセットツール ① を車両の書類入れに戻します。

ⓘ NECK PRO ラグジュアリーヘッドレストのリセットが困難な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にこの作業を依頼してください。

PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）

❗ シートの前後位置を調整するときは、足元やシート後方に物がないことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

PRE-SAFE® は、特定の危険な状況で、乗員を保護するために予防的な措置を行ないます。車両に PRE-SAFE® システムが装備されていても、事故のときのけがの可能性をなくすことはできません。

常に実際の道路や天候状況に適するように運転スタイルを合わせ、先行車両との間に十分に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

PRE-SAFE® は以下のときに作動します。

- 緊急ブレーキの状況などで BAS が作動したとき
- ディストロニック・プラス装備車両で、BAS プラスが強力に介入したとき
- ディストロニック・プラス装備車両で、レーダーセンサーが特定の状況で差し迫った衝突の危険を検知したとき
- 物理的限界を超えて車両が著しくアンダーステアやオーバーステアになるなど、危機的な走行状況になったとき

PRE-SAFE® は検知した危険な状態に応じて、以下のように作動します。

- フロントシートベルトを引き込み、シートベルトの張力を高めます。
- 助手席シートが好ましくない位置にある場合は調整されます。
- ドライビングダイナミックシート装備車両では、シートクッションおよびバックレストのサイドサポートの空気圧を高めます。
- 車両が横滑りすると、スライディングルーフおよびサイドウインドウが少しの隙間のみを残して閉じます。パノラミックスライディングルーフ装備車両では、完全に閉じます。

事故につながることなく危険な状況が過ぎた場合は、PRE-SAFE® がシートベルトの張力を緩めます。ドライビングダイナミックシートのサイドサポートの空気圧が再度低下します。PRE-SAFE® により行なわれたすべての設定が元に戻ります。

シートベルトの張力が緩まないとき

▶ 停車中に、バックレスト角度やシートの前後位置を少し動かします。シートベルトの張力が緩み、ロック機構が解除されます。

シートベルトの調整、PRE-SAFE® に内蔵されたコンビニエンス機能についてのさらなる情報は、" シートベルトの調整 "（▷63 ページ）にあります。

シートベルト

重要な安全上の注意事項

 警告

シートベルトを正しく着用していなかったり、シートベルトがバックルに確実に差し込まれていないと、シートベルトの本来の保護機能が十分に発揮されません。事故のとき、状況によっては乗員が致命的なけがをするおそれがあります。

妊娠中の女性も含めて、乗員全員が常にシートベルトを正しく着用し、バックレストをできるだけ垂直にしてシートに深く腰かけてください。ヘッドレストは、中央部が目の高さになるように調整してください。

- シートベルトは身体に密着させ、ねじれのないように着用してください。コートなどの厚手の衣類は着用しないでください。肩ベルトは肩の中央にかけてください。絶対に首や脇の下には通さないでください。また、シートベルトを引き上げて上半身に密着させてください。腰ベルトは、腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。必要であれば、ベルトを少し押し下げた後、再び引き戻してたるみを取ってください。
- とがった物やこわれやすい物にベルトストラップをかけないでください。これは特に、メガネ、ペン、鍵などが衣類の中、または表面にあるときが当てはまります。事故の際にシートベルトが損傷して裂け、運転者や他の乗員がけがをするおそれがあります。
- 各シートベルトは必ず 1 人の乗員が使用します。絶対に子供を膝の上に座らせて走行しないでください。急な進路変更時や急ブレーキ時、衝突時に子供を保護することができなくなります。その結果、子供と他の乗員が致命的なけがをするおそれがあります。
- 身長約 150cm 未満の乗員は、シートベルトを正しく着用することができません。そのため身長約 150cm 未満の乗員は、体格に応じた専用の乗員保護装置を使用してください。
- 身長約 150cm 未満または 12 歳未満の子供は、シートベルトを正しく着用することができません。そのため、車両の適切なシートに装着した適切なチャイルドセーフティシートに常に固定してください。さらなる情報は、本取扱説明書の " 安全性 " の章にある " 子供を乗せるとき " をご覧ください。チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着指示に従ってください。
- 乗員が着用しているシートベルトで荷物などを固定しないでください。

⚠ 警告

バックレストをできるだけ垂直に近い位置にしないと、シートベルトの保護機能が十分に発揮できません。ブレーキ操作時または事故発生時に身体がシートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などにけがをするおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。常にシートが垂直に近い位置にあることを確認してください。

⚠ **警告**

以下の場合は、シートベルトは意図された保護機能を発揮しないことがあります。

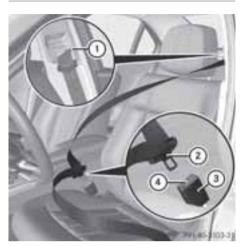
- シートベルトが損傷している、改造されている、極端に汚れている、漂白されている、または着色されている
- シートベルトのバックルが損傷している、または極端に汚れている
- ベルトテンショナーまたはベルトアンカーが改造されている

事故が起こった際は目には見えない場合でも、たとえばガラスの破片によりシートベルトが損傷していることがあります。改造または損傷したシートベルトは、事故のときなどに裂けたり、または作動しないおそれがあります。改造されたベルトテンショナーは突然作動したり、または必要なときに作動しないおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シートベルト、ベルトテンショナー、ベルトアンカーまたは慣性リールを改造しないでください。シートベルトが損傷していない、擦り切れていない、そして汚れていないことを確認してください。

メルセデス・ベンツは、お客様のメルセデス・ベンツ車専用に承認されたシートベルトのみを使用することを推奨します。

シートベルトは、事故のとき、乗員の身体の移動を最も効果的に抑えるための手段です。これにより、乗員が車内の部品にぶつかることを防ぎます。

シートベルトの着用

シートベルト（例：セダン）

▶ シートを調整し、バックレストをほぼ垂直の位置に動かします（▷134 ページ）。

▶ シートベルトをベルトガイド ① からゆっくり引き出します。

▶ ねじれがないように、シートベルトの肩の部分を肩の中央に、腰の部分を骨盤にかけます。

▶ プレート ② をバックル ③ に差し込みます。

シートベルトの調整：必要な場合は、運転席および助手席シートベルトが上半身に自動的に調整されます。

▶ 必要であれば、シートベルトを適切な高さに調整します（▷63 ページ）。

▶ 必要であれば、肩ベルトを上方に引いて、シートベルトを身体に密着させます。

解除スイッチ ④ でのシートベルトの解除に関する情報は、（▷64 ページ）をご覧ください。

シートベルトの調整

シートベルトの調整は、運転席および助手席シートベルトが乗員の上半身に密着するように、自動的にシートベルトを調整します。

以下のときは、シートベルトが少し引き込まれます。

- シートベルトのプレートをバックルに差し込んだ後、イグニッション位置を **2** にしたとき
- イグニッション位置を **2** にした後、シートベルトのプレートをバックルに差し込んだとき

シートベルトの調整は、乗員とシートベルトの間にたるみを検知すると、一定の締め付け力を適用します。調整している間は、シートベルトを強くつかまないでください。

マルチファンクションディスプレイを使用してシートベルトの調整の設定および解除を切り替えることができます（▷ 301 ページ）。

シートベルトの調整は、PRE-SAFE® コンビニエンス機能に内蔵された一部です。PRE-SAFE® に関するさらなる情報は、"PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）"（▷ 60 ページ）にあります。

シートベルトの高さ調整

フロントシートのベルトの高さを調整することができます。

ステーションワゴン：外側リアシートのベルトの高さも調整することができます。シートベルトの上部が肩の中央にかかるような高さにベルトを調整します。

▶ **上げる：**ベルトアンカーをそのまま押し上げます。ベルトアンカーは好みの位置に調整できます。

▶ **下げる：**ベルトアンカーのリリース ① を押して保持します。

▶ そのままベルトアンカーを下にスライドさせます。

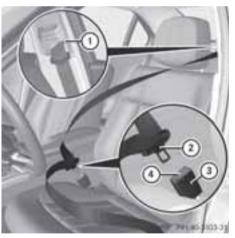
▶ ベルトアンカーのリリース ① を放し、ベルトアンカーがロックされていることを確認します。

後席中央シートベルトの着用

左側リアシートのバックレストを前方に倒した後、元の位置に起こしたときは、中央リアシートのシートベルトがロックすることがあります。ロックすると、シートベルトが引き出せなくなります。

▶ **中央リアシートベルトを解除する：** バックレストのベルトの引き出し口でシートベルトを約 20mm 引き出し、再度それを放します。シートベルトが巻き取られ、ロックが解除されます。

シートベルトの解除

! シートベルトが完全に巻き取られていることを確認してください。ベルトが完全に巻き取られていないと、シートベルトやプレートがドアに挟まれたりシート機構に引っかかることがあります。その結果、ドアやドアトリムパネル、シートベルトを損傷するおそれがあります。損傷したシートベルトは保護機能を果たすことができなくなるため、必ず新品と交換してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

シートベルト（例：セダン）

▶ バックル ③ の解除スイッチ ④ を押します。

▶ シートベルトのプレート ② をベルトガイド ① に戻します。

運転者および助手席乗員のシートベルト警告

メーターパネルのシートベルト警告灯 [ ] は、すべての乗員にシートベルトの着用を促します。警告灯は点灯し続けるか点滅します。また、場合によっては警告音も鳴ります。

運転者と助手席乗員がシートベルトを着用したときは、シートベルト警告灯 [ ] が消灯し、警告音が停止します。

運転者と助手席乗員がシートベルトを着用した場合は消灯します。

i シートベルト警告灯 [ ] についての詳細は " メーターパネルの表示灯と警告灯、シートベルト "（▷336 ページ）をご覧ください。

シートベルトテンショナー、ベルトフォースリミッター

⚠ **警告**

作動した火薬式シートベルトテンショナーは作動しなくなり、意図した保護機能を発揮できなくなります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

そのため、作動した火薬式シートベルトテンショナーは、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

! 助手席に乗車していない場合は、助手席シートベルトのプレートをバックルに差し込まないでください。衝突の際にシートベルトテンショナーが作動することがあります。

i 電子モーターによって作動する PRE-SAFE® のベルトテンショナーは、必要なときに応じて作動させることができ、交換の必要はありません。

フロントシートベルトと後席外側のシートベルトには、シートベルトテンショナーとベルトフォースリミッターが装備されています。

シートベルトテンショナーは、衝突時にシートベルトを瞬時に巻き上げ、乗員の身体に密着させる働きをします。

シートベルトテンショナーは、適切でないシート位置や正しく着用していないシートベルトを補正しません。

シートベルトテンショナーは、乗員をバックレストに引き寄せることはしません。

シートベルトテンショナーは、以下の場合にのみ作動します。

- イグニッションがオンである
- 保護システムが作動可能である。"SRS 警告灯 [SRS] " をご覧ください (▷51 ページ)。
- フロントシートベルトの各ベルトのプレートがバックルに固定されている

後席の外側リアシートのシートベルトテンショナーは、シートベルトの固定状態に関わらず、独立して作動します。

シートベルトテンショナーは、事故の形態や大きさに応じて、以下のような場合に作動します。

- 正面衝突または追突の際に、衝突の初期段階で車両の縦方向の減速度または加速度が急激に大きくなった場合
- 側面衝突の際に、衝撃を受けた反対側で車両の横方向の加速度または減速度が急激に大きくなった場合
- 車両が横転した状況で、補助的な保護をもたらすとシステムが判断したとき

シートベルトテンショナーが作動した場合は、作動音が聞こえ、少量の粉末が放出されることもあります。作動音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。放出された粉末は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。ぜんそくや肺疾患のある方は、この粉末により一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な空気を車内に取り込んでください。SRS 警告灯 [SRS] が点灯します。

ベルトフォースリミッター付きシートベルトでは、ベルトフォースリミッターが作動して衝突時に巻き上げたベルトの拘束力を緩め、乗員の身体に加わる負担を軽減します。

フロントシートのベルトフォースリミッターは、減速力の一部となるフロントエアバッグと同期しています。その結果、かかる負荷はより広い範囲に分散されます。

事故の後で

交通事故の後

▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。

▶ 非常点滅灯を点滅させます。

▶ パーキングブレーキを効かせます。

▶ 周囲の安全を確認して、乗員は車から降りてください。

▶ 危険な場所に誰も近づかないようにしてください。フェンスなどで区切られた安全な場所に乗員を避難させてください。

▶ 適切な場所に停止表示板を置いてください。

自動車専用道路や高速道路では、後続車両に警告するため、停止表示板を使用することが法律で義務付けられています。

車が動かなくなったとき

▶ シフトポジションを **N** にします。

▶ パーキングブレーキを解除します。

▶ 安全な場所まで車を押して移動してください。

必要な場合は、同乗者か付近の人に救援を求めてください。オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にできない場合、運転者と乗員は危険な範囲からただちに離れてください。

ⓘ イグニッションをオンにして車輪が回転し始めると、車が自動的に施錠されます。そのため、車を押すときやダイナモメーターで性能をテストするときなどは、車外に閉め出されるおそれがあります。

ⓘ 踏切内で車が動けなくなったときは、ただちに踏切の非常スイッチを押してください。緊急を要する場合は、非常信号用具も使用してください。

子供を乗せるとき

チャイルドセーフティシート

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

急な進路変更時やブレーキ時、衝突時などに子供が致命的なけがをするのを防ぐため、以下の点に注意してください。

- 身長が 1.50m 未満で年齢が 12 歳未満の子供は、車両の適切なシートに装着した専用チャイルドセーフティシートに常に固定してください。シートベルトは子供向けに設計されていないため、このことが必要となります。
- 助手席シートに装着した後ろ向きチャイルドセーフティシートに子供を固定して運搬しないでください。例外：車両にチャイルドセーフティシートセンサー（助手席）が装備されていて、チャイルドセーフティシート用トランスポンダー装備のチャイルドセーフティシートに子供が固定されている場合。
- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向かうようにシートベルトの高さを調整します。

- 絶対に子供を膝の上に座らせて走行しないでください。急な進路変更時や急ブレーキ時、衝突時に発生する力により、子供を保護することができなくなります。子供が車内の部品に激しくぶつけられ、致命的なけがをするおそれがあります。

⚠ **警告**

チャイルドセーフティシートが適切なシート位置に正しく取り付けられていない場合は、意図した保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに子供を保護することができません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用方法に従ってください。チャイルドセーフティシートの底面全体が常にシートクッションに接触していることを確認してください。チャイルドセーフティシートの下または背面にクッションなどの物を置かないでください。チャイルドセーフティシートには、必ず専用の純正シートカバーを使用してください。損傷したカバーを取り替えるときは、必ず純正品を使用してください。

⚠ **警告**

チャイルドセーフティシートが正しく取り付けられていない、または固定されていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに外れるおそれがあります。チャイルドセーフティシートが投げ出されて、乗員にぶつかるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

使用していないときでも、常にチャイルドセーフティシートを正しく取り付けてください。常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。

⚠ **警告**

事故で負荷を受けたチャイルドセーフティシートやその固定装置は、意図した保護機能を発揮できないことがあります。事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに、子供が保護されません。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

事故で損傷したり、または負荷を受けたチャイルドセーフティシートはただちに交換してください。チャイルドセーフティシートを再度取り付ける前に、チャイルドセーフティシートの固定装置をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

⚠ **警告**

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ **警告**

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

お子様が車両に乗車するときは、お子様の身長、年齢、体重に合った適切なチャイルドセーフティシートを使用して、お子様の身体を固定してください。チャイルドセーフティシートに子供を正しく固定するために、常にチャイルドセーフティシートメーカーの装着指示に従ってください。乗員保護装置はできるだけ適切なリアシートに装着してください。走行時は子供が固定されていることを常に確認してください。

メルセデス・ベンツは、リストに挙げられているチャイルドセーフティシートの使用をお勧めします（▷77 ページ）。適切なチャイルドセーフティシートについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

後ろ向きチャイルドセーフティシートを中央のリアシートに取り付けないでください。

ⓘ チャイルドセーフティシートを清掃するときは、メルセデス・ベンツ純正のカーケア用品のご使用をお勧めします。このことに関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

助手席でのチャイルドセーフティシート

⚠ 警告

助手席フロントエアバッグが無効になっていないときは、以下のように対処してください。

- 助手席エアバッグが作動すると、助手席のチャイルドセーフティシートに固定されている子供が重大な、または致命的なけがをするおそれがあります。エアバッグが作動したときに子供が助手席エアバッグのすぐそばにいる場合は、特に危険です。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートを助手席に装着して、子供を乗せないでください。後ろ向きチャイルドセーフティシートは、必ず適切なリアシートに装着してください。

⚠ 警告

- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向かうようにシートベルトの高さを調整します。

以下では、助手席フロントエアバッグは無効になりません。

- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）非装備車両
- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）装備車両で、チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダー付きのチャイルドセーフティシートが助手席に装着されていない場合
- チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）装備車両で、助手席エアバッグオフ表示灯 [表示灯] が点灯しない場合

⚠ 警告

このような危険に注意を促すため、ダッシュボードの側面と助手席側サンバイザーの両側に警告ステッカーが貼られています。純正のチャイルドセーフティシートについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

例：助手席側サンバイザーの警告表示

後ろ向きチャイルドセーフティシートの警告マーク

無効になっていないエアバッグによって保護されているシートには後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。これにより子供に致命的な、または重大なけがにつながるおそれがあります。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知

⚠ 警告

- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは助手席に装着しないでください。
- 後ろ向きチャイルドセーフティシートは適切なリアシートに装着してください。

または

- 助手席には必ず前向きのチャイルドセーフティシートを装着し、助手席シートをできるだけ後方に下げてください。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向かうようにシートベルトの高さを調整します。
- メルセデス・ベンツ指定サービス工場でチャイルドセーフティシート検知システムの点検を受けてください。

チャイルドセーフティシート検知システム（助手席）が正しく機能し、検知することができるように、チャイルドセーフティシートの下にクッションなどを置かないでください。チャイルドセーフティシートの底面全体をシートクッションに接触させる必要があります。不適切に装着されたチャイルドセーフティシートは、事故のときに意図された保護機能を発揮することができず、けがにつながることがあります。

⚠ 警告

例えば、助手席シートの上にある以下のような電子機器が、チャイルドセーフティシート自動検知システムの機能に影響を与えるおそれがあります。

- ノートパソコン
- 携帯電話
- スキーパスまたはアクセスパスのような信号の送受信を行なうカード

助手席フロントエアバッグが不意に作動したり、事故の間に意図されたように機能しないことがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

上記に記載された機器または類似の機器を助手席シートに置かないでください。

車両の助手席にチャイルドセーフティシート検知システムがない場合は、専用のステッカーによって示されます。ステッカーは、助手席側ダッシュボードの側面に貼付されています。助手席ドアを開いたときに、このステッカーが見えます。

助手席チャイルドセーフティシート自動検知非装備車両：イグニッション位置を**1** または **2** の位置にまわした場合は、助手席エアバッグオフ表示灯が短時間点灯します。しかし、表示灯に機能はありません。助手席にチャイルドセーフティシートセンサーがあることは示していません。

チャイルドセーフティシート用助手席センサーシステムは、チャイルドセーフティシート検知システム用トランスポンダー付きの専用メルセデス・ベンツチャイルドセーフティシートが装着されているかを検知します。この場合は、助手席エアバッグオフ表示灯 ① が点灯します。

助手席エアバッグが無効になります。

ⓘ チャイルドセーフティシート検知システムにより助手席フロントエアバッグが無効になっている場合でも、助手席側の以下のものは有効になったままです。

- サイドバッグ
- ペルビスバッグ
- ウインドウバッグ
- シートベルトテンショナー

リアシートの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置

⚠ 警告

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートは、体重が 22kg 以上でチャイルドセーフティシートに内蔵されたセーフティベルトを使用して固定されている子供には十分な保護効果をもたらしません。

例えば、事故のときに子供が正しく固定されないなどのおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

子供の体重が 22kg 以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定される ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーでも固定してください。

チャイルドセーフティシートを装着するときは、メーカーの装着指示およびチャイルドシートの正しい使用に関する説明に従っていることを確認してください。

⚠ **警告**

チャイルドセーフティシートは、車両の適切なシートに正しく装着されていないと、保護機能を発揮することができません。事故、急ブレーキまたは突然の進路変更のときに、子供を保護することができなくなります。子供が重大な、または致命的なけがをするおそれがあります。

そのため、チャイルドセーフティシートを固定するときは、必ず製品に付属の取付説明書の指示およびチャイルドセーフティシートの正しい使用方法に従ってください。

安全のため、リアシートではメルセデス・ベンツ車両のためにテストおよび承認されたISOFIX対応チャイルドセーフティシートのみを使用してください。

正しく装着されていないと、チャイルドセーフティシートが外れ、子供と他の乗員が致命的なけがをするおそれがあります。チャイルドセーフティシートを装着したときは、左右のISOFIX固定リングに確実に固定されているか必ず確認してください。

❗ISOFIXチャイルドセーフティシートを装着するときは、中央リアシートのシートベルトを挟み込まないように注意してください。シートベルトが損傷するおそれがあります。

ISOFIX対応チャイルドセーフティシートを装着するときは、ISOFIX固定装置①の保護キャップ②を内側に倒します。

▶ ISOFIX対応チャイルドセーフティシートを左右のISOFIX固定装置①に取り付けます。ISOFIX対応チャイルドセーフティシートを装着するときは、チャイルドセーフティシートメーカーの指示に従ってください。

ISOFIXは、専用設計されたチャイルドセーフティシートのリアシートへの規格化された固定システムです。ISOFIX対応チャイルドセーフティシート用の2つのISOFIX固定装置は、リアシートの左および右に取り付けられています。

テザーアンカー

重要な安全上の注意事項

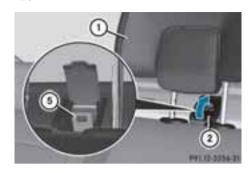
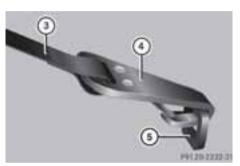
⚠ 警告

リアシートのバックレストがロックされていない場合は、事故、急ブレーキまたは急な進路変更のときに前に倒れるおそれがあります。結果として、チャイルドセーフティシートが意図した保護機能を発揮できません。ロックされていないリアシートのバックレストは、事故のときなどに、さらなるけがの原因になることもあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

テザーアンカーを取り付けた後は、常にリアシートのバックレストをロックしてください。リアシートバックレストのロックに関するマルチファンクションディスプレイのメッセージに注意してください。

テザーアンカーは、ISOFIX で固定されたISOFIX 対応チャイルドセーフティシートと後席を補助的に接続します。これにより、けがの危険性をさらに低減する補助を行ないます。

リアシートのバックレストがロックされていない場合は、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告音も鳴ります。

セダン

テザーアンカーは、リアシートのヘッドレストの後方にあります。

▶ ヘッドレスト ① を引き上げます。

▶ テザーアンカー ⑤ のカバー ② を開きます。

▶ ヘッドレスト ① の下の 2 本の支柱の間にテザーアンカーベルト ③ を通します。

▶ テザーアンカーフック ④ をテザーアンカー ⑤ に掛けます。

▶ テザーアンカーベルト ③ にねじれがないことを確認します。

▶ テザーアンカー ⑤ のカバー ② を閉じます。

▶ 必要であれば、ヘッドレスト①を再度少し下げて戻します（▷138 ページ）。テザーアンカーベルト③の正しい取り回しを妨げていないことを確認してください。

▶ テザーアンカーで、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。そうするときは、メーカーの装着指示に従ってください。テザーアンカーベルト③が締まっていることを確認します。

ステーションワゴン

テザーアンカーは、リアシートバックレストの背面にあります。

▶ ヘッドレスト①を引き上げます。

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバー③（▷381 ページ）を取り外します。

▶ ヘッドレスト①の下の 2 本の支柱の間にテザーアンカーベルト⑥を通します。

▶ テザーアンカーフック⑤を後席のバックレスト②背面のテザーアンカー④に掛けます。

▶ テザーアンカーベルト⑥にねじれがないことを確認します。

▶ 必要であれば、ヘッドレスト①を再度少し下げて戻します（▷138 ページ）。テザーアンカーベルト⑥の正しい取り回しを妨げていないことを確認してください。

▶ テザーアンカーで、ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを装着します。そうするときは、メーカーの装着指示に従ってください。テザーアンカーベルト⑥が締まっていることを確認します。

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバー③（▷381 ページ）を取り付けます。

チャイルドセーフティシートの適切な位置

車両には、欧州経済共同体基準 ECE R44 により承認されたチャイルドセーフティシートのみを装着してください。

▶ **助手席にチャイルドセーフティシートを装着する：**助手席シートを最も低く、最も後方の位置に動かします。

▶ シートベルトの高さを最も低い位置に調整します。

ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

下表の記号説明

X このカテゴリー（適応体重）の子供には適切でないシート

U この体重カテゴリーでの使用が承認された"ユニバーサル"カテゴリーのチャイルドセーフティシートに適合

L 推奨チャイルドセーフティシートに適合"純正チャイルドセーフティシート"（▷77ページ）をご覧ください。

助手席シート

カテゴリー（適応体重）	助手席エアバッグが解除されない	助手席フロントエアバッグが解除されている
カテゴリー 0：10kg以下	X	L
カテゴリー 0+：13kg以下	X	L
カテゴリー I：9～18kg	L	L
カテゴリー II：15～25kg	L	L
カテゴリー III：22～36kg	L	L

助手席チャイルドセーフティシート自動検知装備車両：助手席エアバッグを無効にするためには、"ユニバーサル"カテゴリーに属している、チャイルドセーフティシート自動検知用トランスポンダー付きのチャイルドセーフティシートを装着しなければなりません。このときは、助手席エアバッグオフ表示灯が点灯していなければなりません。

リアシート

カテゴリー（適応体重）	左、右	中央
カテゴリー 0：10kg以下	U	U
カテゴリー 0+：13kg以下	U	U
カテゴリー I：9～18kg	U	U
カテゴリー II：15～25kg	U	U
カテゴリー III：22～36kg	U	U

ⓘ フロア格納式サードシート装備車両（ステーションワゴン）：チャイルドセーフティシートについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

例：純正チャイルドセーフティシートの認証ラベル

" ユニバーサル " のチャイルドセーフティシートは、オレンジ色の認証ラベルと "universal" の文字が目印です。

" ユニバーサル " カテゴリーのチャイルドセーフティシートは、" ベルト付きチャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性 " または "ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性 " の表にしたがって U または IUF と表示されたシートで使用できます。

セミユニバーサルチャイルドセーフティシートは、認可ラベルに "semi universal" の文字が記されています。これらは、車両およびシートがチャイルドセーフティシートメーカーの車両モデルリストに載っている場合に使用できます。詳しくは、チャイルドセーフティシートメーカーにお問い合わせになるか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートの装着のためのシートの適合性

下表の記号説明

X　この体重やサイズのカテゴリーで ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適さない ISOFIX の位置

IUF　この体重カテゴリーでの使用が承認された " ユニバーサル " カテゴリーに属している ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合

IL　推奨しているような ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートに適合。" 推奨チャイルドセーフティシート " （▷77 ページ）をご覧ください。

メーカーは、適切な ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートも推奨しています。そのためには、お客様の車両とシートがチャイルドセーフティシートメーカーのモデルリストに掲載されていなければなりません。詳しくは、チャイルドセーフティシートメーカーにお問い合わせになるか、メーカーのウェブサイトをご覧ください。

幼児用ベッドカテゴリー（適応体重）

サイズ等級	装備	左右リアシート
F	ISO/L1	X
G	ISO/L2	X

重量カテゴリー 0：10kg 以下、約 6 ヶ月以下

サイズ等級	装備	左右リアシート
E	ISO/R1	IL

重量カテゴリー 0+：13kg 以下、約 15 ヶ月以下

サイズ等級	装備	左右リアシート
E	ISO/R1	IL
D	ISO/R2	IL
G	ISO/R3	IL

重量カテゴリー I：9 ～ 18kg、約 9 ヶ月～ 4 歳

サイズ等級	装備	左右リアシート
D	ISO/R2	IL
C	ISO/R3	IL
B	ISO/F2	IUF
B1	ISO/F2X	IUF
A	ISO/F3	IUF

推奨チャイルドセーフティシート

助手席シートにチャイルドセーフティシートを装着するとき：

▶ 助手席シートを最も低く、最も後方の位置に動かします。

体重カテゴリー 0：10kg 以下、約 6 ヶ月以下

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラス
認証番号（E1...）	03 301146 04 301146
注文番号（A000...）	970 10 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応

体重カテゴリー 0+：13kg 以下、約 15 ヶ月以下

メーカー	Britax Römer
タイプ	ベビーセーフプラス
認証番号（E1...）	03 301146 04 301146
注文番号（A000...）	970 10 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応

体重カテゴリーI：9 ～ 18kg、約 9 ヶ月 ～ 4 歳

メーカー	Britax Römer	Britax Römer
タイプ	デュオプラス	デュオプラス
認証番号 (E1...)	03 301133 04 301133	03 301133 04 301133
注文番号 (A000...)	970 11 00	970 16 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応	非対応

体重カテゴリー II/III：15 ～ 36kg、約 4 ～ 12 歳

メーカー	Britax Römer	Britax Römer
タイプ	キッド	キッド
認証番号 (E1...)	03 301148 04 301148	03 301148 04 301148
注文番号 (A000...)	970 12 00	970 17 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応	非対応

メーカー	Britax Römer	Britax Römer
タイプ	キッドフィックス	キッドフィックス
認証番号 (E1...)	04 301198	04 301198
注文番号 (A000...)	970 18 00	970 19 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応	非対応

推奨 " ユニバーサル "ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート：

幼児用ベッドカテゴリー

サイズ等級	F、G
メーカー	-
タイプ	-
認証番号（E1...）	-
注文番号（A000...）	-
チャイルドセーフティシート検知システム	-

カテゴリー 0：10kg 以下

サイズ等級	E
メーカー	-
タイプ	-
認証番号（E1...）	-
注文番号（A000...）	-
チャイルドセーフティシート検知システム	-

カテゴリー 0+：13kg 以下

サイズ等級	E	–
メーカー	Britax Römer	–
タイプ	ベビーセーフ ISOFIX プラス	–
認証番号（E1...）	04 301146	–
注文番号（A000...）	B6 6 86 8224	–
チャイルドセーフティシート検知システム	非対応	–

カテゴリー I：9 ～ 18kg

サイズ等級	D、C、B、A
メーカー	–
タイプ	–
認証番号（E1...）	–
注文番号（A000...）	–
チャイルドセーフティシート検知システム	–

サイズ等級	B1
メーカー	Britax Römer
タイプ	デュオプラス
認証番号（E1...）	03 301133 04 301133
注文番号（A000...）	A 000 970 11 00
チャイルドセーフティシート検知システム	対応

チャイルドセーフティシート自動検知のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
センターコンソールの助手席エアバッグオフ表示灯が点灯する。	助手席シートに、チャイルドセーフティシートセンサー用トランスポンダーを内蔵するメルセデス・ベンツ純正チャイルドセーフティシートが装着されている。そのため、助手席エアバッグが無効になっている。
	⚠ **警告** 助手席シートにチャイルドセーフティシートが装着されていない。チャイルドセーフティシートセンサーが故障している。 イグニッションをオンにしたときに、SRS 警告灯 が点灯する、および / または助手席エアバッグオフ表示灯が短時間点灯しないこともあります。 けがの危険性があります。 ▶ 助手席シートの座面に以下のような電子機器が置いてあるときは取り除いてください。 • ノートパソコン • 携帯電話 • IC カードや磁気カード 助手席エアバッグオフ表示灯が点灯したままの場合 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

チャイルドプルーフロック

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより、他人や他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ 警告

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

⚠ 警告

子供を車両に乗せて走行している場合は、以下のおそれがあります。

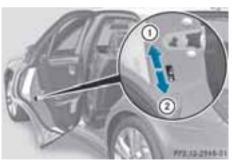
- ドアを開くことにより、他人や他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

事故やけがの危険性があります。

子供を車両に乗せて走行する場合は、チャイルドプルーフロックを常に設定してください。車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

以下のチャイルドプルーフロックを作動させることができます。

- リアドア
- リアサイドウインドウ

リアドアのチャイルドプルーフロック

リアドアのチャイルドプルーフロック（例：セダン）

リアドアのチャイルドプルーフロックを使用して、各ドアを個別にロックできます。チャイルドプルーフロックでロックされているドアは、車内から開くことができません。車両が解錠されているときは、車外からドアを開くことができます。

▶ **設定する：**チャイルドプルーフロックレバーを矢印の方向 ① に押し上げます。

▶ チャイルドプルーフロックが正常に設定されていることを確認します。

▶ **解除する：**チャイルドプルーフロックレバーを矢印の方向 ② に押し下げます。

リアサイドウインドウのチャイルドプルーフロック

▶ **設定 / 解除する：**スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が点灯している場合は、リアサイドウインドウの操作はできません。運転席ドアのスイッチを使用してのみ、操作が可能です。表示灯 ① が消灯しているときは、後席のスイッチを使用しての操作が可能です。

走行安全システム

走行安全システムの概要

この章では、以下の走行安全システムに関する情報を記載しています。

- ABS（**A**nti-lock **B**raking **S**ystem：アンチロック・ブレーキング・システム）（▷83 ページ）
- BAS：（**B**rake **A**ssist **S**ystem：ブレーキアシスト）（▷84 ページ）
- BAS（**B**rake **A**ssist **S**ystem）プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）（▷84 ページ）
- CPA（衝突警報システム、アダプティブブレーキアシストおよび車間距離警告機能）（▷86 ページ）
- アダプティブブレーキライト（▷89 ページ）
- ESP®（**E**lectronic **S**tability **P**rogram：エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）（▷89 ページ）
- EBD（**E**lectronic **B**rake force **D**istribution：エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）（▷94 ページ）
- アダプティブブレーキ（▷94 ページ）
- PRE-SAFE® ブレーキ（歩行者検知機能付き）（▷94 ページ）

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせなかったり、注意が散漫になった場合は、走行安全システムは事故の危険性を低減することはできません。また、物理的法則を超えることもできません。走行安全システムは、運転の補助のために設計された単なる支援にすぎません。先行車両との距離や車両の速度、適切なブレーキ操作の責任は運転者にあります。常に実際の道路や天候、交通状況に応じて運転スタイルを合わせ、先行車両との間に安全な距離を保ってください。注意して運転してください。

ⓘ 記載している走行安全システムは、タイヤと路面との間に十分な接触があるときにのみ、可能な限り効果的に作動します。タイヤ、および推奨されるタイヤのトレッドの最小深さなどの注意事項に特に注意してください（▷442 ページ）。

冬の走行状況では常にウィンタータイヤ（M+S タイヤ）を、必要であればスノーチェーンを使用してください。このようにすることでのみ、本章に記載されている走行安全システムが可能な限り効果的に作動します。

ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）

全体的な注意事項

ABS は、ブレーキ時に車輪がロックしないようにブレーキ圧を制御します。それにより、ブレーキを効かせているときに、ステアリング操作を続けることができます。

イグニッションをオンにしたときは、メーターパネルの黄色の ABS 警告灯 (ABS) が点灯します。エンジンがかかっているときは消灯します。

重要な安全上の注意事項

ⓘ " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

⚠ **警告**

ABS に異常があるときは、ブレーキ時に車輪がロックすることがあります。ステアリングでの操縦性およびブレーキ性能が著しく損なわれることがあります。さらに、他の走行安全装備が解除されます。

横滑りや事故の危険が高まります。

注意して運転してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で ABS の点検をしてください。

ABS が故障している場合は、走行安全システムを含めた他のシステムも作動しません。ABS 警告灯（▷339 ～ 341 ページ）とメーターパネル（▷307、308、310 ページ）に表示されるディスプレイメッセージの情報に従ってください。

路面の状況に関わらず、ABS は約 8km/h 以上の速度から作動します。滑りやすい路面では、軽くブレーキを効かせただけでも ABS は作動します。

ブレーキ操作

▶ **ABS が作動したとき：**ブレーキを効かせる状況から脱するまで、ブレーキペダルをいっぱいに踏み続けてください。

▶ **強い制動力が必要なとき：**ブレーキペダルをいっぱいに踏んでください。

ブレーキを効かせているときに ABS が作動した場合は、ブレーキペダルに振動を感じます。

ブレーキペダルの振動は、危険な道路状況を知らせることができ、走行中に特別な注意を喚起させるものとして機能します。

BAS（ブレーキアシスト）

全体的な注意事項

BAS は、緊急ブレーキ状態で作動します。ブレーキペダルを素早く踏み込むと、BAS が自動的に制動力を高めて制動距離を短縮します。

重要な安全上の注意事項

i " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください（▷83 ページ）。

⚠ **警告**

BAS が故障している場合は、緊急ブレーキの状況での制動距離が長くなります。事故の危険性があります。

緊急ブレーキの状況では、ブレーキペダルを思いっきり踏んでください。ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキ操作

▶ 緊急ブレーキの状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABS が車輪のロックを防ぎます。

ブレーキペダルから足を放すと、ブレーキは通常の作動状態に戻ります。BAS が解除されます。

BAS プラス（飛び出し検知機能付ブレーキアシスト・プラス）

全体的な注意事項

i " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください（▷83 ページ）。

走行時に BAS プラスが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが作動可能でなければなりません。

センサーシステムおよびカメラシステムの支援により、BAS プラスは以下の障害物を検知できます。

- 車両の進路に長時間ある物
- 車両の進路を横切る物

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。

BAS プラスは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特有な特徴を使用して歩行者を検知します。

レーダーセンサーシステムまたはカメラシステムが故障している場合は、BAS プラス機能は制限されるか、または使用できなくなります。その場合も、ブレーキシステムはブレーキ倍力装置および BAS とともに機能し続けます。

i " 重要な安全上の注意事項 " に記載されている制限に従ってください（▷85 ページ）。

BAS プラスは、車両または歩行者との衝突の危険性を最小限にし、またはそのような衝突の影響を低減するために運転者を支援します。BAS プラスが衝突の危険を検知した場合は、ブレーキ操作時に支援を行ないます。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

BAS プラスは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。

そのような場合は、BAS プラスは以下のようになります。

- 不必要に介入する
- 介入しない

事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

⚠ **警告**

BAS プラスは、以下では反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- カーブを走行するとき

そのため、BAS プラスはすべての危険な状況下で作動するとは限りません。事故の危険性があります。常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知が困難になることがあります。

レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 他のレーダー発信源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起きている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車が別の車線を走行している
- レーダーセンサーシステムの検知範囲内に急に車両が入り込んだ

カメラシステムによる検知は以下のときも困難になります。

- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている
- 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑
- 暗い
- 以下の場合
  - 例えば、車両の進路に歩行者が急に入り込む
  - 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなる
  - 歩行者が他の障害物により隠れている
  - 人の特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラシステムの設定と作動を点検してください。

機能

衝突を避けるために、BAS プラスは以下の場合に必要な制動力を計算します。

- 障害物に接近し、さらに
- BAS プラスが衝突の危険を検知した

30km/h 以下の速度で走行しているとき：ブレーキペダルを踏むと、BAS プラスは作動します。

BAS プラスからのブレーキ操作の支援は、できる限り最後の瞬間に行なわれます。

30km/h 以上の速度で走行しているとき：ブレーキを素早く踏むと、BAS プラスは交通状況に適した度合いにブレーキ圧を自動的に高めます。

BAS プラスは、7km/h ～ 250km/h 間の速度範囲内で、先行車両との状況が危険なときにブレーキ操作の支援を行ないます。

約 70km/h までの速度で、BAS プラスは以下に反応します。

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者
- 進路を横切る障害物

ⓘ BAS プラスが特に強力な制動力を要求する場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

▶ 緊急ブレーキの状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABS が車輪のロックを防ぎます。

以下の状況では、BAS プラスが解除され、ブレーキは通常通り作動します。

- ブレーキペダルを放した
- 衝突の危険性がなくなった
- 車両前方に検知される障害物がなくなった
- アクセルペダルを踏んだ
- キックダウンを作動させた

CPA（衝突警告システム）

全体的な注意事項

CPA は、以下の項目に記載されている距離警告機能およびアダプティブブレーキアシストから構成されています。

車間距離警告機能

重要な安全上の注意事項

ⓘ " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください （▷83 ページ）。

⚠ 警告

車間距離警告機能は、以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- カーブを走行するとき

そのため、車間距離警告機能はすべての危険な状況で警告を行なうとは限りません。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

⚠ 警告

車間距離警告機能は、常に障害物および複雑な交通状況を明確に識別できるわけではありません。

そのような場合は、車間距離警告機能は以下のようになることがあります。

- 不必要な警告を発する
- 警告を発しない

事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、車間距離警告機能のみに頼らないでください。

機能

▶ **設定 / 解除する**：マルチファンクションディスプレイで車間距離警告機能を設定または解除します（▷294 ページ）。

車間距離警告機能が設定されていない場合は、アシスト一覧表示に [icon] マークが表示されます。

車間距離警告機能は、先行車両との衝突の危険性を最小限にし、衝突の影響を低減させるために運転者を支援することができます。車間距離警告機能が衝突の危険を検知すると、視覚的および聴覚的に警告が発せられます。車間距離警告機能は、運転者の操作なしに衝突を避けることはできません。

車間距離警告機能は、以下の速度で警告を発します。

- 約 30km/h またはそれ以上で、数秒間に渡り前方を走行している車両との保たれている距離が不十分な場合。メーターパネルの車間距離警告灯 [icon] が点灯します。
- 約 7km/h またはそれ以上で、先行車両に急激に接近した場合。断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの車間距離警告灯 [icon] が点灯します。

▶ 先行車両との車間距離を広げるためにただちにブレーキを効かせてください。

または

▶ 安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。

システムの特性により、危険な走行状況ではないが、特に複雑な走行状況もシステムの警告表示の原因になることがあります。

レーダーセンサーシステムの支援により、車間距離警告機能は一定時間車両の進路にある障害物を検知することができます。

約 70km/h 以上では、車間距離警告機能は停車または駐車した車両などの静止物にも反応できます。

障害物に接近し、車間距離警告機能が衝突の危険を検知すると、視覚的および聴覚的に運転者に警告を行ないます。

以下のときは特に、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発信源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起きている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車両が他の車線を走行している

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

アダプティブブレーキアシスト

ℹ " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

⚠ 警告

アダプティブブレーキアシストは、障害物や複雑な交通状況を常に明確に識別できるとは限りません。そのような場合は、アダプティブブレーキアシストは以下のようになることがあります。

- 不必要に介入する
- 介入しない

事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

⚠ 警告

アダプティブブレーキアシストは、以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 対向車
- 交差する交通
- 静止している障害物
- カーブを走行するとき

その結果、アダプティブブレーキアシストはすべての危険な状況では作動しない場合があります。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

アダプティブブレーキアシストは、7km/h 以上の速度での危険な状況の間にブレーキを効かせる支援を行ない、レーダーセンサーシステムを使用して交通状況を判断します。

アダプティブブレーキアシストの支援により、距離警告信号は一定時間車両の進路にある障害物を検知することができます。

車両が障害物に接近して、アダプティブブレーキアシストが衝突の危険を検知すると、アダプティブブレーキアシストは先行車両との衝突を避けるために必要な制動力を算出します。ブレーキを力強く効かせると、アダプティブブレーキアシストは交通状況に適したレベルまで制動力を自動的に増加させます。

▶ 緊急ブレーキの状態から脱するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

ABS が車輪のロックを防ぎます。

以下の場合、ブレーキは再び通常通り作動します。

- ブレーキペダルを放した
- 衝突の危険がなくなった
- 車両前方に検知される障害物がなくなった

その後、アダプティブブレーキアシストは解除されます。

PRE-SAFE® 装備車両：アダプティブブレーキアシストが特に高いブレーキ圧を必要としている場合は、PRE-SAFE®（予期乗員保護措置）が同時に作動します。

約 250km/h の車両速度までは、モニター期間の間に 1 度は検知された動いている障害物にも、アダプティブブレーキアシストは反応することができます。アダプティブブレーキアシストは静止している障害物には反応しません。

レーダーセンサーシステムの故障によりアダプティブブレーキアシストが使用できない場合は、完全なブレーキ倍力効果および BAS とともにブレーキシステムは使用可能なままになります。

特に以下の状況では、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発信源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起きている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車両が他の車線を走行している

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

アダプティブブレーキライト

70km/h 以上の速度で停止するまで急ブレーキを効かせた場合は、非常点滅灯が自動で作動します。再度ブレーキを効かせた場合は、ブレーキライトが点灯し続けます。非常点滅灯は、10km/h 以上で走行すると自動的に消灯します。非常点滅灯スイッチ（▷157 ページ）を使用して、非常点滅灯を消灯させることもできます。

ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）

全体的な注意事項

ⓘ " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

ESP® は走行安定性、およびタイヤと路面との間の動力伝達である駆動力をモニターします。

車両が運転者の望む進行方向から外れていると ESP® が判断した場合は、1 本または複数の車輪にブレーキを効かせ、車両を安定させます。また、エンジン出力を調整して、望んでいる進行方向に物理的限界内で車両を保ちます。ESP® は、濡れた路面や滑りやすい路面で発進するときに支援を行ないます。ESP® はブレーキ時の車両を安定させることもできます。

ETS/4ETS（エレクトロニック・トラクション・システム）

ETS/4ETS トラクションコントロールはESP® の一部です。トラクションコントロールは、駆動輪が空転したときに、駆動輪に個別にブレーキを効かせます。これにより、片側が滑りやすい路面などの滑りやすい路面での発進や加速を可能にします。さらに、車輪または駆動力のある車輪にさらなる走行トルクが伝達されます。

ESP® を解除しても、トラクションコントロールは設定されたままになります。

重要な安全上の注意事項

" 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

警告

ESP® が故障している場合は、ESP® は車両を安定させることはできません。さらに、他の走行安全システムは解除されます。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。

注意して運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場で ESP® の点検を受けてください。

! 4MATIC 装備車両：ブレーキテスター上でパーキングブレーキを点検するときは、イグニッションをオフにしてください。

ESP® のブレーキ介入により、ブレーキシステムが損傷するおそれがあります。

! 4MATIC 装備車：機能または性能テストは 2 軸ダイナモメーターでのみ実行してください。そのようなダイナモメーターで車両を操作する前に、メルセデス･ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。駆動系またはブレーキシステムが損傷するおそれがあります。

4MATIC 非装備車両：リアアクスルを上げて車両をけん引するときは、ESP® に関する注意事項に従うことが重要です（▷436 ページ）。

エンジンがかかっているときにメーターパネルの警告灯 [ESP OFF] が点灯し続けているときは、ESP® が解除されています。

警告灯 [ESP] および警告灯 [ESP OFF] が点灯し続ける場合は、故障により ESP® は作動していません。

警告灯（▷341 ～ 343 ページ）とメーターパネル（▷307 ～ 310 ページ）に表示されるディスプレイメッセージに関する情報に従ってください。

以下のときは、故障 / 警告メッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- エンジンをかけた状態で、立体駐車場のターンテーブルで車両を回転させた
- 立体駐車場に入るときなど、長くて狭いらせん状の通路を走行した

以下のような警告灯が点灯することもあります。

- ESP® 警告灯 [ESP]
- ESP® 解除警告灯 [ESP OFF]
- ABS 警告灯 [ABS]

▶ 道路や交通状況に注意しながら、車両を停止します。

▶ エンジンを停止します。

▶ イグニッションをオフにします。

▶ エンジンを再始動してください。

しばらくすると、メッセージが消え、警告灯が消灯します。消灯しない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で原因を調査してください。

ⓘ 推奨されたタイヤサイズの車輪のみを使用してください。そのときのみ、ESP® は正しく機能します。

ESP® の特性

全体的な注意事項

走行を開始する前に ESP 警告灯 [ESP] が消灯した場合は、ESP® が自動的に作動します。

ESP® が作動すると、メーターパネルの ESP® 警告灯 [ESP] が点滅します。

ESP® が作動した場合

▶ どのような状況でも ESP® を解除しないでください。

▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。

▶ 実際の道路や天候の状況に適するように運転スタイルを合わせてください。

ECO スタートストップ機能

ECO スタートストップ機能は、車両が停止すると、自動的にエンジンを停止します。再発進するときに、自動的にエンジンが始動します。ESP® は、以前の設定状況のままになります。**例：**エンジンを停止する前に ESP® が解除されていた場合、エンジンが再始動したときは ESP® は解除されたままになります。

ESP® の設定 / 解除（AMG 車両を除く）

重要な安全上の注意事項

以下の ESP® の状態を選択することができます。

- ESP® を設定する
- ESP® を解除する

⚠ **警告**

ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させせなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。

以下の状況では、ESP® を解除したほうが良いことがあります。

- スノーチェーンを装着しているとき
- 深い雪で
- 砂地や砂利道で

ⓘ 上記に記載されている状況でなくなったら、ただちに ESP® を作動させてください。車両が横滑りしたり車輪が空転し始めたときに、ESP® が車両を安定させることができません。

ESP® の解除 / 設定

▶ **解除する：**（▷293 ページ）

メーターパネルの ESP® 解除警告灯 [ESP OFF] が点灯します。

▶ **設定する：**（▷293 ページ）

メーターパネルの ESP® 解除警告灯 [ESP OFF] が消灯します。

ESP® が解除されているときの特性

ESP® が解除されている場合、1 本または複数の車輪が空転し始めると、メーターパネルの ESP® 警告灯 [警告灯マーク] が点滅します。このような状況では、ESP® は車両を安定させません。

ESP® を解除すると、以下のようになります。

- ESP® は作動せず、走行安全性を高めることはできなくなります。
- エンジントルクの制御は行なわれなくなり、駆動輪が空転することがあります。

  やわらかい路面では、掘る動作につながる車輪の空転により、駆動力が向上します。
- トラクションコントロールは引き続き作動します。
- ブレーキを効かせたときは、ESP® は引き続き支援を行ないます。

ESP® の設定 / 解除（AMG 車両）

重要な安全上の注意事項

以下の ESP® の状態を選択することができます。

- ESP® を設定する
- スポーツハンドリングモードを設定する
- ESP® を解除する

> ⚠ **警告**
>
> スポーツハンドリングモードが設定されているときは、横滑りおよび事故の危険が高まります。
>
> 以下に記載されてる状況でのみスポーツハンドリングモードを設定してください。

> ⚠ **警告**
>
> ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。
>
> 以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。

次のような状況では、スポーツハンドリングモードに設定した方がよいことがあります。

- スノーチェーンを装着している
- 深い雪で
- 砂地や砂利道で
- 車両のオーバーステアやアンダーステア特性が求められる特別に設計された道路を走行する

スポーツハンドリングモードでの、または ESP® を使用しない走行は、非常に熟練した、経験豊富な運転者を必要とします。

ℹ 上記に記載されている状況でなくなったら、ただちに ESP® を設定してください。車両が横滑りしたり車輪が空転し始めたときに、ESP® が車両を安定させることができません。

ESP® の解除 / 設定

▶ **スポーツハンドリングモードを設定する：**スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルのスポーツハンドリングモード警告灯 [SPORT] が点灯します。マルチファンクションディスプレイに SPORT handling mode というメッセージが表示されます。

▶ **スポーツハンドリングモードを解除する：**スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルのスポーツハンドリングモード警告灯 [SPORT] が消灯します。

▶ **ESP® を解除する：**メーターパネルの ESP® 解除警告灯 [OFF] が点灯するまで、スイッチ ① を押します。

マルチファンクションディスプレイに [] OFF というメッセージが表示されます。

▶ **ESP® を設定する：**スイッチ ① を軽く押します。

メーターパネルの ESP® 解除警告灯 [OFF] が消灯します。マルチファンクションディスプレイに [] ESP ON のメッセージが表示されます。

スポーツハンドリングモードが設定されているときの特性

スポーツハンドリングモードが設定されていて、1 本以上の車輪が空転し始めた場合は、メーターパネルの ESP® 警告灯 [] が点滅します。ESP® は限られた程度までのみ車両を安定させます。

スポーツハンドリングモードが設定されているときは、以下のようになります。

- ESP® は限られた程度までのみ走行安定性を確保します。
- トラクションコントロールは引き続き作動します。
- 限られた度合いにエンジントルクが制限され、駆動輪が空転することがあります。

  やわらかい路面では、掘る動作につながる車輪の空転により、駆動力が向上します。
- ブレーキを効かせたときは、ESP® は引き続き支援を行ないます。

ESP® が解除されているときの特性

ESP® が解除されていて、1 本以上の車輪が空転し始めた場合は、メーターパネルの ESP® 警告灯 [] は点滅しません。

このような状況では、ESP® は車両を安定させません。ESP® を解除すると、以下のようになります。

- ESP® は作動せず、走行安全性を高めることはできなくなります。
- 限られた度合いにエンジントルクが制限され、駆動輪が空転することがあります。

  やわらかい路面では、掘る動作につながる車輪の空転により、駆動力が向上します。

- トラクションコントロールは引き続き作動します。
- PRE-SAFE® は作動しなくなります。ブレーキを強く効かせ、ESP® が作動した場合でも作動しません。
- PRE-SAFE® ブレーキは作動しなくなります。ブレーキを強く効かせ、ESP® が作動した場合でも作動しません。
- ブレーキを効かせたときは、ESP® は引き続き支援を行ないます。

EBD（エレクトロニック・ブレーキパワー・ディストリビューション）

全体的な注意事項

EBD は、後輪のブレーキ圧をモニターしてコントロールし、ブレーキ時の走行安全性を高めます。

重要な安全上の注意事項

ℹ 走行安全システムの " 重要な安全上の注意 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

⚠ **警告**

EBD が故障した場合には、急ブレーキ時などには後輪がロックすることがあります。これにより、横滑りして事故が起きる危険性が高くなります。

操縦性の変化に応じて慎重に運転してください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場でブレーキシステムの点検を受けてください。

表示および警告灯（▷340、341 ページ）と、ディスプレイメッセージ（▷310 ページ）の情報に従ってください。

アダプティブブレーキ

アダプティブブレーキは、ブレーキ時の安全性を高めるとともに、さらに快適なブレーキ操作を可能にします。ブレーキ機能に加えて、アダプティブブレーキはホールド機能（▷243 ページ）およびヒルスタートアシスト機能（▷194 ページ）も備えています。

PRE-SAFE® ブレーキ（歩行者検知機能付）

全体的な注意事項

ℹ " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください（▷83 ページ）。

走行時に PRE-SAFE® ブレーキが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムが設定されていて、作動可能でなければなりません。

レーダーセンサーシステムおよびカメラシステムの支援により、PRE-SAFE® ブレーキは一定時間車両の前方にある障害物を検知することができます。

加えて、車両の進路にいる歩行者を検知することができます。PRE-SAFE® ブレーキは、身体の輪郭および直立している人の姿勢のような特徴により歩行者を検知します。

ℹ " 重要な安全上の注意事項 " の項目に記載されている制限に従ってください（▷95 ページ）。

PRE-SAFE® ブレーキは先行車両または歩行者との衝突の危険性を最小限にし、そのような衝突の影響を低減するために運転者を支援します。PRE-SAFE® ブレーキが衝突の危険を検知すると、自動でブレーキを効かせるとともに、視覚的および聴覚的な警告を行ないます。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

衝突の危険を検知すると、PRE-SAFE® ブレーキはまず部分的にブレーキをかけて車両を制動します。運転者がブレーキを効かせない場合は衝突することがあります。続いてブレーキをいっぱいに効かせた後であっても、特に非常に速い速度で接近しているときは、必ずしも衝突を避けられるとは限りません。事故の危険性があります。

常にブレーキをご自身で効かせ、安全確認をしながら、危険回避の操作を行なってください。

⚠ **警告**

PRE-SAFE® ブレーキは、障害物や複雑な交通状況を明確に認識できるとは限りません。

その場合、PRE-SAFE® ブレーキは以下のように作動することがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキをかける
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。

PRE-SAFE® ブレーキが警告を行なったときは、必ず交通状況に十分注意を払いながら、ブレーキを効かせる準備をしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

先行車両との車間距離を十分に維持して衝突を防ぐには、適切にブレーキ操作を行なう必要があります。

⚠ **警告**

PRE-SAFE® ブレーキは、以下のものには反応しません。

- 子供などの小柄な人
- 動物
- 対向車
- 交差交通
- カーブを走行するとき

この結果、すべての危険な状況では、PRE-SAFE® ブレーキは警告や作動を行なわない場合があります。事故の危険性があります。

常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

降雪または激しい雨のときは、検知は困難になるおそれがあります。

レーダーセンサーシステムによる検知は、以下のときも困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 他のレーダー送信機による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が起こっている
- オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行している
- 先行車両が他の車線を走行している

カメラシステムによる検知は以下のときも困難になります。

- カメラが汚れている、またはカメラが覆われている
- 空の低いところにある太陽からなどの、カメラシステムへの眩惑
- 暗い

- 以下の場合
  - 例えば、車両の進路に歩行者が急に入り込んだ
  - 特殊な衣服または他の物により、カメラシステムが歩行者を人として認識しなくなった
  - 歩行者が他の障害物により隠れている
  - 人の特有の輪郭が背景と区別できない

車両のフロント部分が損傷した場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの設定と作動の点検を受けてください。これは、低速走行時の衝突で車両のフロント部分に目に見える損傷がない場合にも当てはまります。

フロントウインドウが損傷した後は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラシステムの設定と作動を点検してください。

機能

▶ **設定 / 解除する：**マルチファンクションディスプレイで PRE-SAFE® ブレーキを設定または解除します（▷294 ページ）。

PRE-SAFE® ブレーキが設定されていない場合は、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に ［OFF］ マークが表示されます。

この機能は、以下の場合に警告を発します。

- 約 30km/h またはそれ以上の速度で、数秒間にわたり、前方を走行している車両との保たれている距離が不十分である。

  メーターパネルの車間距離警告灯 ［△］ が点灯します。

- 約 7km/h またはそれ以上の速度で、先行車両または歩行者に急に接近している。

  断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの車間距離警告灯 ［△］ が点灯します。

▶ ただちにブレーキを効かせ、状況を回避してください。

または

▶ 安全確認のうえ、危険回避の操作を行なってください。

PRE-SAFE® ブレーキは以下の条件下では車両に自動的にブレーキを効かせることができます。

- 運転者および助手席乗員がシートベルトを着用している

および

- 車両速度が約 7km/h および 200km/h の間である

約 70km/h までの速度では、PRE-SAFE® ブレーキは以下を検知することもできます。

- 停止している、または駐車している車両など、車両の進路にある静止している障害物
- 車両の進路にいる歩行者

ⓘ 衝突の危険性が高まった場合は、予期乗員保護措置（PRE-SAFE®）が作動します。

先行車両との衝突の危険性がそのままで、ブレーキを効かせる、回避操作をとる、または著しく加速することを運転者が行なわなかった場合は、フルブレーキを適用する度合いまで、車両が自動緊急ブレーキを効かせることがあります。自動緊急ブレーキは、切迫した事故の直前までは作動しません。

PRE-SAFE® ブレーキは、以下によりいつでも解除することができます。

- アクセルペダルをさらに踏み込む
- キックダウンを作動させる
- ブレーキペダルを放す

PRE-SAFE® ブレーキによるブレーキ操作は、以下の状況では自動的に解除されます。

- 障害物を回避する操作を行なっている
- 衝突の危険性がなくなった
- 車両前方に検知されている障害物がなくなった

ステアコントロール

全体的な注意事項

ステアコントロールは、車両を安定させるために必要な向きの操舵力をステアリングに伝達することで運転者を支援します。

特に以下のときに、ステアリング操作の支援が行なわれます。

- 強くブレーキを効かせたときに、前後の右車輪または左車輪が滑りやすい路面にある
- 車が横滑りをし始めた

重要な安全上の注意事項

ⓘ " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷83 ページ）。

ESP® が故障している場合は、ステアコントロールからの操舵補助は受けられません。ただし、パワーステアリングは作動し続けます。

盗難防止システム

イモビライザー

イモビライザーは、正規のキー以外ではエンジンを始動させせない盗難防止装置です。

▶ **キー操作で待機状態にする：**エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ **キーレスゴー操作で待機状態にする：**イグニッションをオフにして、運転席ドアを開きます。

▶ **解除する：**イグニッションをオンにします。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。有効なキーが車内に残されていると、誰でもエンジンを始動することができます。

ⓘ イモビライザーは、エンジンを始動すると解除されます。

ATA（盗難防止警報システム）

▶ **待機状態にする：**キーまたはキーレスゴー操作で車両を施錠します。

表示灯 ① が点滅します。警報システムが約 15 秒後に待機状態になります。

▶ **解除する：**キーまたはキーレスゴー操作で車を解錠します。

システムが待機状態にあるときに以下の部分を開くと、聴覚的および視覚的な警報が発せられます。

- ドア
- 車（エマージェンシーキーによる解錠）
- トランクリッド / テールゲート
- ボンネット

▶ **キーを操作して警報を停止する：**キーの 🔓 または 🔒 スイッチを押します。

警報が停止します。

または

▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

警報が停止します。

▶ **キーレスゴー操作で警報を停止させる：**車外のドアハンドルを握ります。キーは車外にある必要があります。

警報が停止します。

または

▶ エンジンスイッチに取り付けたキーレスゴースイッチを押します。キーは車内にある必要があります。

警報が停止します。

開いたドアをすぐに閉じても、警報は解除されません。

けん引防止機能

機能

けん引防止機能が待機状態のときに車両の傾きが変化した場合は、聴覚的および視覚的な警報が発せられます。たとえば、ジャッキアップなどにより車両の片側が持ち上げられたときに警報が作動します。

待機状態にする

▶ 以下のことを確認してください。

- ドアが閉じている
- トランクリッド / テールゲートが閉じている

この場合のみ、けん引防止機能が待機状態になります。

▶ キーまたはキーレスゴー操作で車両を施錠します。

約 30 秒後にけん引防止機能が待機状態になります。

解除する

▶ **解除する：**リモコン操作またはキーレスゴー操作で車両を解錠します。

けん引防止機能は自動的に解除されます。

待機状態にならないようにする

▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が短時間点灯します。

▶ キーまたはキーレスゴー操作で車両を施錠します。

けん引防止機能が解除されます。

けん引防止機能は、以下のときまで解除されたままになります。

- 車両を再度解錠し、
- ドアを再度開閉し、
- 車両を再度施錠する

誤った警告を防止するため、以下のような状況で車両を施錠する場合は、けん引防止機能を解除してください。

- けん引される
- フェリーや車両運搬車などに積載する
- 立体駐車場などの可動面に駐車する

室内センサー

機能

室内センサーが待機状態のときに車内で物体の動きを検知すると、視覚的および聴覚的な警報が発せられます。たとえば、車内に人が侵入したときなどに警報が作動します。

待機状態にする

▶ 以下のことを確認してください。
  - サイドウインドウが閉じている
  - スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが閉じている
  - ルームミラーやルーフトリムのグリップハンドルにマスコットなどの掛かっている物がない

これにより、警報の誤作動を防ぎます。

▶ 以下のことを確認してください。
  - ドアが閉じている
  - スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが閉じている
  - トランクリッド / テールゲートが閉じている

この場合のみ、室内センサーは待機状態になります。

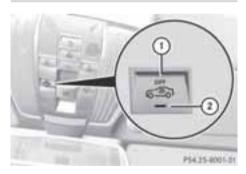
▶ キーまたはキーレスゴー操作で車両を施錠します。

室内センサーが約 30 秒後に待機状態になります。

解除する

▶ キーで、またはキーレスゴーで車両を解錠します。

室内センサーが自動的に解除されます。

待機状態にならないようにする

▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が短時間点滅します。

▶ キーまたはキーレスゴーで車両を施錠します。

室内センサーが解除されます。

室内センサーは以下のときまで解除されたままになります。

- 車両を再度解錠し、
- ドアを再度開いて閉じ、
- 車両を再度施錠する

誤作動を防止するため、以下のような状況で車両を施錠する場合は、室内センサーを解除してください。

- 車内に人や動物が残ったままである
- サイドウインドウが開いたままである
- スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが開いたままである

役に立つ情報……………………………… 102
キー…………………………………………… 102
ドア…………………………………………… 110
トランク / ラゲッジルーム ……… 113
サイドウインドウ………………………… 121
スライディングルーフ…………………… 126

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

キー

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

また、以下のような操作を行い車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション P からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ **警告**

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

⚠ **警告**

キーに、重い物や大きなアクセサリー等を付けていると、エンジンスイッチのキーが不意にまわるおそれがあります。そのため、エンジンが停止するおそれがあります。事故の危険性があります。

キーには重い物や大きなアクセサリー等を付けないでください。操作の邪魔になるアクセサリー等は、エンジンスイッチにキーを差し込む前に取り外してください。

! 強い磁場を発生する物の近くにキーを保管しないでください。磁場の影響で、リモコン機能が正常に機能しなくなるおそれがあります。

強い磁場は、強力な電気設備の近くで発生します。

以下にはキーを近付けないでください。

- 携帯電話や他のキーなどの電子機器
- 硬貨や金属片などの金属物
- 金属ケースなどの金属物の内部

  キーが正常に機能しなくなるおそれがあります。

キーの機能

① 🔒 施錠スイッチ
② トランクリッド / テールゲートを解錠する
③ 🔓 解錠スイッチ

▶ **集中解錠する**：🔓 スイッチを押します。

解錠して約 40 秒以内に車両を開かない場合：

- 車両は再度施錠されます。
- 盗難防止警報システムが再び待機状態になります。

▶ **集中施錠する**：🔒 スイッチを押します。

キーで以下のすべての施錠 / 解錠操作ができます。

- ドア
- トランク / テールゲート
- 燃料給油口フラップ

解錠操作を行なうと、方向指示灯が 1 回点滅します。施錠操作を行なうと、3 回点滅します。

また、施錠時に確認音が鳴るアンサーバック機能を設定することもできます。アンサーバック機能の設定と解除は、マルチファンクションディスプレイで行ないます（▷300 ページ）。

暗いとき、マルチファンクションディスプレイで設定している場合は、ロケイターライティングも点灯します（▷299 ページ）。

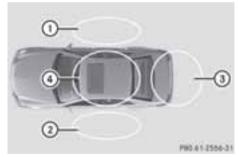
キーレスゴー

重要な安全上の注意事項

⚠ **危険**

ペースメーカーまたは除細動器などの医療用電子機器を使用されている方：

キーレスゴーを使用するときは、キーと車両との間で電波の交信が行なわれます。電磁波が医療機器の機能に影響を与えるおそれがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

車両を操作する前に、医師や医療用電子機器メーカーにキーレスゴーの電波の影響を確認してください。

キーレスゴーアンテナの検知範囲（例：セダン）
① 右側外部アンテナの検知範囲
② 左側外部アンテナの検知範囲
③ リアアンテナの検知範囲
④ 車内アンテナの検知範囲

キーが車内にある場合は、車両乗員の誰もがエンジンを始動できることに留意してください。

集中施錠および解錠

キーレスゴーを使用して、始動、車両の施錠または解錠ができます。このためには、必要なのはキーを携帯することのみです。キーレスゴー機能と従来のキーの機能を組み合わせることができます。たとえば、キーレスゴー操作で車両を解錠し、キーの 🔒 スイッチで施錠することができます。

キーレスゴーで施錠または解錠するときは、キーと対応するドアハンドルの間の距離が 1m 以上になってはいけません。車両とキーとの間で定期的に行なわれる電波交信によるチェックにより、車内に有効なキーがあるかどうかを確認します。以下のときなどに行なわれます：

- 車外のドアハンドルに触れたとき
- エンジンの始動時
- 車両の走行中

▶ **車両を解錠する：**ドアハンドルの内側面に触れます。

▶ **車両を施錠する：**センサー面 ① に触れます。

▶ **コンビニエンスクロージング機能：**センサー面の凹部 ② に一定時間触れます。

コンビニエンスクロージング機能に関するさらなる情報は（▷123 ページ）をご覧ください。

▶ **トランクリッド / テールゲートを解錠する**：トランクリッド / テールゲートのハンドルを引きます。

ロックシステムの設定変更

ロックシステムの設定を変更することができます。これにより、車両を解錠したときに運転席ドアと燃料給油口フラップのみが解錠されます。運転者のみで頻繁に走行する場合は、この設定が便利です。

▶ **設定を変更する**：バッテリーチェックライトが 2 回点滅するまで、約 6 秒間キーの 🔓 および 🔒 スイッチを同時に押します（▷103 ページ）。

ℹ 車両の信号範囲内でロックシステムの設定を変更するために 🔒 または 🔓 スイッチを押した場合は、以下になります。

- 車が施錠されます

または

- 車が解錠されます

このとき、キーでは以下のように作動します。

▶ **運転席ドアを解錠する：**🔓 スイッチを 1 回押します。

▶ **すべてを解錠する：**🔓 スイッチを 2 回押します。

▶ **すべてを施錠する：**🔒 スイッチを押します。

キーレスゴー機能では以下のように作動します。

▶ **運転席ドアを解錠する**：運転席ドアのドアハンドルの内側面に触れます。

▶ **すべてを解錠する**：助手席ドアまたはリアドアのドアハンドルの内側面に触れます。

▶ **すべてを施錠する**：いずれかのドアのドアハンドル外側面に触れます。

▶ **工場出荷時の設定に戻す**：バッテリーチェックライトが 2 回点滅するまで、🔓 および 🔒 スイッチを約 6 秒間同時に押して保持します（▷103 ページ）。

エマージェンシーキー

全体的な注意事項

キーで車両を施錠または解錠できなくなった場合は、エマージェンシーキーを使用してください。

エマージェンシーキーを使用して運転席ドアやトランクリッド / テールゲートを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します（▷97 ページ）。

以下のいずれかの方法で、盗難防止警報システムを停止します。

▶ **キーで警報を停止する**：キーの 🔓 または 🔒 スイッチを押します。

または

▶ エンジンスイッチにキーを差し込みます。

または

▶ **キーレスゴーで警報を停止する**：エンジンスイッチのキーレスゴースイッチを押します。キーは車内にある必要があります。

または

▶ キーレスゴーで車両を施錠 / 解錠します。キーは車外にある必要があります。

エマージェンシーキーを使用して車両を解錠しても、燃料給油口フラップは自動的に解錠されません。

▶ **燃料給油口フラップを解錠する**：エンジンスイッチにキーを差し込みます。

エマージェンシーキーの取り外し

① ストッパー
② エマージェンシーキー

▶ ストッパー ① を矢印の方向に押しながら、エマージェンシーキー ② をキーから矢印の方向に抜きます。

詳しい情報は、以下をご覧ください。

- 運転席ドアの解錠（▷112 ページ）
- トランクの独立施錠（▷120 ページ）
- トランクの解錠（▷120 ページ）
- テールゲートの解錠（▷121 ページ）
- 車両の施錠（▷112 ページ）

キーの電池

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

電池には毒性および腐食性を持つ物質が含まれています。電池を飲み込んでしまうと、深刻な健康上の問題を引き起こすことがあります。致命的なけがをするおそれがあります。

電池は子供の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

環境保護に関する注意事項

電池には環境汚染物質が含まれています。電池を家庭用ゴミとして廃棄することは法律で禁じられています。使用済みの電池は個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください

電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。使用済みの電池は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお持ちいただくか、ボタン電池専用の回収箱に廃棄してください。

電池の交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

電池の点検

▶ 🔒 または 🔓 スイッチを押します。

バッテリーチェックライト ① が短時間点灯すれば、電池は正常です。

バッテリーチェックライト ① が短時間点灯しない場合は、電池が消耗しています。

▶ 電池を交換します（▷107 ページ）。

ℹ 車両の信号範囲内で電池を点検するために 🔒 または 🔓 スイッチを押した場合は、以下になります。

- 車が施錠されます

または

- 車が解錠されます

ℹ バッテリーはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

電池の交換

CR2025 3V の電池が必要です。

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷105 ページ）。

① 電池収納部カバー
② エマージェンシーキー

▶ 電池収納部カバー ① が開くまで、キーの開口部にエマージェンシーキー ② を押し込みます。このときは、電池収納部カバー ① を押さえて閉じないようにしてください。

▶ 電池収納部カバー ① を取り外します。

③ 電池

▶ 電池 ③ が落ちるまで、手のひらでキーを繰り返したたきます。

▶ 電池のプラス面を上にして、新しい電池を差し込みます。このときは、毛羽立ちのない布を使用してください。

▶ 電池の表面に糸くず、脂分、汚れがないことを確認してください。

▶ 電池収納部カバー ① の前側にある凸部を本体に差し込み、押して閉じます。

▶ エマージェンシーキー ② をキーに差し込みます。

▶ 車両で、キーのすべてのスイッチが機能することを確認します。

キーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーを使用して車両を施錠または解錠できなくなった。	キーの電池が消耗している。 ▶ キーの電池を点検し（▷106 ページ）、必要であれば交換してください（▷107 ページ）。 作動しないとき： ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を施錠(▷112 ページ)または解錠（▷112 ページ）してください。
	キーが故障している。 ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を施錠(▷112 ページ)または解錠（▷112 ページ）してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でキーの点検を受けてください。
キーレスゴーを使用して施錠または解錠できない。	キーの電池が消耗している。 ▶ キーの電池を点検し（▷106 ページ）、必要であれば交換してください（▷107 ページ）。 作動しないとき： ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を施錠（▷112 ページ）または解錠（▷112 ページ）してください。
	強い電波源からの干渉を受けている。 ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を施錠（▷112 ページ）または解錠（▷112 ページ）してください。
	キーレスゴーが故障している。 ▶ キーのリモコン機能を使用して車両を施錠または解錠してください ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。 リモコン機能を使用しても車両を施錠または解錠できない場合： ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を施錠(▷112 ページ)または解錠（▷112 ページ）してください。 ▶ 車両およびキーをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーを紛失した。	▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で、キーを無効にしてください。 ▶ ただちに自動車保険会社へキー紛失を報告してください。 ▶ 必要であれば、キーシリンダーも交換してください。
エマージェンシーキーを紛失した。	▶ ただちに自動車保険会社へキー紛失を報告してください。 ▶ 必要であれば、キーシリンダーも交換してください。
キーを使用してエンジンを始動することができない。	バッテリーの電圧が低下している。 ▶ シートヒーター、ルームライトなどの必要としない電気装備を停止してから、再度エンジン始動操作を行なってください。 作動しないとき： ▶ スターターバッテリーを点検し、必要であれば充電してください（▷429 ページ）。 または ▶ ジャンプスタートを行なってください（▷431 ページ）。 または ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。
キーレスゴーによるエンジン始動ができない。キーが車内にある。	車両が施錠されている。 ▶ 車両を解錠して、再度車両の始動を試みてください。強い電波源からの干渉を受けている。 ▶ エンジンスイッチのキーで、車両を始動してください。

ドア

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

子供だけを車内に残した場合、下記のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

また、以下のような操作を行い、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ **警告**

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添うことなく車両に残さないでください。

荷物はなるべくトランク / ラゲッジルーム内に収納してください。積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

車内からドアを解錠して開く

施錠されている場合でも、車内からドアを開くことができます。すでにキーまたはキーレスゴーで車両が施錠されている場合は、車内からドアを開くと盗難防止警報システムが作動します。警報を停止する手順については（▷98 ページ）をご覧ください。

チャイルドプルーフロックによってロックされていない場合にのみ、車内からリアドアを開くことができます（▷81 ページ）。

▶ ドアハンドル ② を矢印の方向に引きます。

ドアが施錠されているときは、ロックノブ ① が上がります。ドアが解錠され、開くことができます。

車内からの車両の集中施錠および解錠

車内から車両を集中施錠または解錠できます。

▶ **解錠する：**解錠スイッチ ① を押します。

▶ **施錠する：**施錠スイッチ ② を押します。

すべてのドアが閉じている場合は、車両が施錠されます。

このとき、燃料給油口フラップは施錠または解錠されません。

キーまたはキーレスゴーで車両が施錠されている場合は、車内から車両を集中解錠することはできません。

施錠されている場合でも、車内からドアを開くことはできます。

チャイルドプルーフロックによってロックされていない場合にのみ、車内からリアドアを開くことができます（▷81 ページ）。

車速感応ドアロック

▶ **解除する：**確認音が鳴るまで、スイッチ ① を押して保持します。

▶ **設定する：**確認音が鳴るまで、スイッチ ② を押して保持します。

ⓘ スイッチを押しても確認音が鳴らない場合、その設定はすでに行なわれています。

イグニッションがオンのときに車輪が回転すると、車両は自動的に施錠されます。

そのため、以下では閉め出されるおそれがあります。

- 車を押すとき
- けん引されるとき
- ダイナモメーターで車両をテストするとき

車速感応ドアロックは、マルチファンクションディスプレイでも設定 / 解除できます（▷300 ページ）。

運転席ドアの解錠（エマージェンシーキー）

車を解錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用します。

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷105 ページ）。

▶ エマージェンシーキーを運転席ドアのキーシリンダーにいっぱいまで差し込みます。

1 解錠

▶ エマージェンシーキーを 1 の位置まで反時計回りにまわします。

運転席ドアが解錠されます。

ℹ 右ハンドル車の場合は、エマージェンシーキーを時計回りにまわします。

▶ エマージェンシーキーを元の位置に戻して、抜きます。

▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

エマージェンシーキーで運転席ドアを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します（▷97 ページ）。

車両の施錠（エマージェンシーキー）

車両を施錠できなくなったときは、エマージェンシーキーを使用します。

▶ 運転席ドアを開きます。

▶ 助手席ドアとリアドア、トランクリッド / テールゲートを閉じます。

▶ ロックスイッチ（▷111 ページ）を押します。

▶ 助手席ドアとリアドアのロックノブが見えていないことを確認します。必要であれば、ロックノブを手で押し下げます（▷110 ページ）。

▶ 運転席ドアを閉じます。

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷105 ページ）。

▶ エマージェンシーキーを運転席ドアのキーシリンダーにいっぱいまで差し込みます。

1 施錠

▶ エマージェンシーキーを 1 の位置まで時計回りにまわします。

ℹ 右ハンドル車は、エマージェンシーキーを反時計回りにまわします。

▶ エマージェンシーキーを元の位置に戻して、抜きます。

▶ ドアとトランクリッド / テールゲートが施錠されていることを確認します。

▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

トランク / ラゲッジルーム

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

内燃エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッド / テールゲートが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッド / テールゲートを開く前に、必ずエンジンを停止してください。トランクリッド / テールゲートを開いたまま走行しないでください。

⚠ **警告**

人、特に子供が長時間極端な温度にさらされている場合は、重大な、または致命的なけがの危険性があります。人、特に子供を付き添いのない状態で車両に残さないでください

! トランク / テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク / テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッド / テールゲートを開いたときの寸法については（▷491 ページ）をご覧ください。

荷物はなるべくトランク / ラゲッジルームに収納してください。積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

トランク / ラゲッジルーム内に、キーを置き忘れないように注意してください。閉め出されるおそれがあります。

自動開閉トランクリッド非装備のセダン：トランクリッドは以下のことができます。

- 車外から手動で開閉する
- 車外から自動で開く
- 車内から自動で開く
- エマージェンシーキーで解錠する

自動開閉トランクリッド装備のセダン：トランクリッドは以下のことができます。

- 車外から手動で開閉する
- 車外から自動で開閉する
- 車内から自動で開閉する
- エマージェンシーキーで解錠する
- 独立施錠する

ステーションワゴン：テールゲートは以下のことができます。

- 車外から手動で開閉する
- 車内から手動で開く（フロア格納式サードシート装備のステーションワゴン）
- 車外から自動で開閉する
- 車内から自動で開閉する
- 開く角度を設定する
- エマージェンシーキーを使用して解錠する

トランクリッド / テールゲートのリバース機能

トランクリッド / テールゲートには自動リバース機能が装備されています。閉じる動作中にかたい障害物がトランクリッド / テールゲートに挟まれた、または動作を妨げた場合に反応します。トランクリッド / テールゲートは再度自動的に開きます。自動リバース機能は単なる補助に過ぎず、閉じている間のトランクリッド / テールゲートへの注意の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

以下では、リバース機能は反応しません :

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 8mm 以下となったとき

リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。

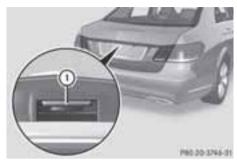
けがの危険性があります。

閉じている動作の間は、身体を閉じる範囲に近づけないようにしてください。

挟み込まれたときは以下のいずれかを行なってください :

- キーの [⊐] スイッチを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのクローザースイッチまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのハンドルを引きます。

車外からの開閉

開く

① ハンドル（例 : セダン）

- ▶ キーの [🔓] スイッチを押します。
- ▶ ハンドル ① を引きます。
- ▶ トランクリッド / テールゲートを上げます。

ステーションワゴン : ハンドル ① を引いたままの位置で保持すると、テールゲートを手動で開くことができます。ハンドルを放した場合は、テールゲートは自動的に開きます。

閉じる

① 凹部（例 : セダン）

- ▶ 凹部 ① またはハンドル（ステーションワゴン）を使用して、トランクリッド / テールゲートを引き下げます。

▶ **ステーションワゴン：**テールゲートをロック部に下げます。

▶ 必要であれば、キーの [🔒] スイッチ（▷103 ページ）またはキーレスゴー（▷103 ページ）で車両を施錠します。

ⓘ キーレスゴーキーがトランク / ラゲッジルーム内で検知された場合は、トランクリッド / テールゲートは施錠されません。

セダン：トランクリッドは再度開きます。

車外からの自動開閉

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

トランクリッド / テールゲートが自動で閉じている間に身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、閉じている動作中にお子様などが閉じる範囲に立っていたり、入り込んだりする可能性があります。けがの危険性があります。

閉じている動作中は、閉じる範囲に誰もいないことを確認してください。

閉じている動作を停止させるためには、以下のいずれかを行なってください：

- キーの [⊡] スイッチを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのクロージングまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのハンドルを引きます。

！ トランク / テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク / テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

ⓘ トランクリッド / テールゲートを開いたときの寸法については（▷491 ページ）をご覧ください。

開く

キーで、またはトランクリッド / テールゲートのハンドルで、トランクリッド / テールゲートを自動で開くことができます。

▶ トランクリッド / テールゲートが開くまで、キーの [⊡] スイッチを押して保持します。

または

▶ トランクリッド / テールゲートが解錠されている場合は、トランクリッド / テールゲートのハンドルを引いて、ただちに再度放します（▷114 ページ）。

閉じる

例：セダン、クローザースイッチおよびロックスイッチ
① クローザースイッチ
② ロックスイッチ

セダン：自動開閉トランクリッド装備車両では、トランクリッドを自動的に閉じることができます。自動開閉トランクリッドおよびキーレスゴー装備車両：トランクリッドを閉じて、同時に施錠することができます。

ステーションワゴン：キーレスゴー装備車両では、テールゲートを閉じて、同時に施錠することができます。

▶ **閉じる：**トランクリッド / テールゲート内のクローザースイッチ ① を押します。

▶ **閉じて施錠する：**
トランクリッド / テールゲート内のロックスイッチ ② を押します。

ℹ トランク / ラゲッジルームにキーレスゴーキーを残している場合は、トランクリッド / テールゲートは施錠されません。

ハンズフリーアクセス

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

車両の排気システムが非常に熱くなることがあります。ハンズフリーアクセスを使用する場合は、排気システムに触れるとやけどをするおそれがあります。けがの危険性があります。センサーの検知範囲内でのみ、足を動かす動作をしていることを常に確認してください。

❗ キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況ではトランク / テールゲートが不意に開くおそれがあります。

- 洗車機の使用
- 高圧式スプレーガンの使用

キーが車両から少なくとも 2m 離れていることを確認してください。

全体的な注意事項

キーレスゴーおよびハンズフリーアクセスで、手を使用せずにトランクリッド / テールゲートを開閉する、または動作を中止することができます。両手がふさがれているときなどに便利です。バンパーの下で足を動かすだけで、この機能を利用できます。

以下の点に注意してください：

- お客様自身がキーレスゴーキーを携帯してください。キーレスゴーキーは車両後方の検知範囲になければなりません。
- 足を動かす動作を行なうときは、地面にしっかりと立ち、車両の後方に十分な空き空間があることを確認してください。凍結しているところなどでバランスを失なうおそれがあります。

（例：セダン）

- センサーの検知範囲 ① 内でのみ、足を動かす動作をしていることを常に確認してください。
- そうしている間は、後方エリアから少なくとも 30cm 離れて立ちます。

- 足を動かす動作を行なっている間は、バンパーと接触しないようにしてください。センサーが正しく機能しないことがあります。
- キーレスゴーキーが車両後方のキーレスゴー検知範囲にある場合、ハンズフリーアクセスが作動することがあります。

  この理由のため、例えば以下を行なう場合は、トランクリッド / テールゲートが意図せず開閉することがあります。

  - 車両後方で物を降ろす、または持ち上げる
  - 車両後部を清掃する

そのような状況では、キーレスゴーキーを他の方に渡さないでください。そうすることで、トランクリッド / テールゲートが意図せず開く、または閉じることを防ぎます。

- 義足でのハンズフリーアクセスの使用では、機能が制限されることがあります。

操作

（例：セダン）

▶ **開閉する：**バンパー下のセンサー検知範囲 ① 内に足を動かします。

トランクリッド / テールゲートが開いている、または閉じている間は警告音が鳴ります。

▶ **数回試みた後でトランクリッド / テールゲートが開閉しない場合**：10 秒以上待ち、バンパーの下で再度足を動かします。

ℹ 長時間バンパーの下に足を入れたままにしている場合は、トランクリッド / テールゲートは開閉しません。この場合は、再度より速く足を動かしてください。

開閉操作を停止させる：

- バンパーの下のセンサー検知範囲 ① で足を動かします
- トランクリッド / テールゲート外側のハンドルを引きます
- トランクリッド / テールゲートのクローザースイッチを押します
- キーの [トランク] スイッチを押します

トランクリッド / テールゲートの動作が停止した場合：

- バンパー下で再度足を動かすと、トランクリッド / テールゲートは反対の方向に作動します。

車内からの自動開閉

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

トランクリッド / テールゲートが自動で閉じている間に身体の一部が挟まれるおそれがあります。さらに、閉じている動作中にお子様などが閉じる範囲に立っていたり、入り込んだりする可能性があります。けがの危険性があります。

閉じている動作中は、閉じる範囲に誰もいないことを確認してください。

閉じている動作を停止させるためは、以下のいずれかを行なってください：

- キーの スイッチを押します。
- 運転席ドアのリモート操作スイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのクローザースイッチまたはロックスイッチを押します。
- トランクリッド / テールゲートのハンドルを引きます。

! トランク / テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、トランク / テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

ⓘ トランクリッド / テールゲートを開いたときの寸法については（▷491 ページ）をご覧ください。

開閉

▶ **開く：**トランク / テールゲートが開くまで、トランクリッド / テールゲートのリモート操作スイッチ ① を引きます。

▶ **閉じる（セダン）：**トランクリッドが閉じるまで、トランクリッドのリモート操作スイッチ ① を押します。

▶ **閉じる（ステーションワゴン）：**イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ テールゲートが閉じるまで、テールゲートのリモート操作スイッチ ① を押します。

車両が停止して解錠されているときに、運転席からトランクリッド / テールゲートを開閉することができます。

テールゲート開口角度の制限（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意事項

! 開口角度を設定するときは、テールゲートを全開するのに十分なスペースがあることを確認してください。テールゲートが損傷する原因になります。開口角度の設定は屋外で行なうことをお勧めします。

設定する

テールゲートの開口角度を制限することができます。最上部の約 20cm 前まで可能です。

▶ **テールゲートを開く：**テールゲートのハンドルを引きます。

▶ **開く操作を希望の位置で中止する：**テールゲート内のクローザースイッチ（▷115 ページ）を押すか、テールゲート外側のハンドルを再度引きます。

▶ **位置を記憶させる：**確認音が 1 回聞こえるまで、テールゲート内のクローザースイッチを押して保持します。

テールゲートを開いたときは、記憶させた位置で停止します。

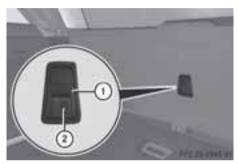
解除する

▶ 確認音が 2 回聞こえるまで、テールゲート内のクローザースイッチ（▷115 ページ）を押して保持します。

車内からテールゲートを開く（フロア格納式サードシート装備のステーションワゴン）

全体的な注意事項

i テールゲートを開いたときの寸法については（▷491 ページ）をご覧ください。

開く

テールゲート内側

▶ **テールゲートを解錠する：**ロックキャッチ ② を右にスライドします。

▶ **開く：**ハンドル ① の上部を引きます。

▶ テールゲートを上に押し上げます。

▶ **テールゲートを施錠する：**ロックキャッチ ② を左にスライドします。

トランクの独立施錠（セダン）

トランクを独立施錠することができます。トランクを独立施錠しているときは、車両を解錠しても、トランクは施錠されたままで開くことはできません。

▶ トランクリッドを閉じます。

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します。

1 基本位置

2 施錠

▶ エマージェンシーキーをトランクリッドのキーシリンダーに確実に差し込みます。

▶ エマージェンシーキーを時計回りにまわして、1 の位置から 2 の位置にします。

▶ エマージェンシーキーを抜きます。

▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

トランクの解錠（セダン）

! トランクは、上方に開きます。そのため、トランクを開くときは、上方に十分なスペースがあることを確認してください。

キーまたはキーレスゴー操作でトランクを解錠できないときは、エマージェンシーキーを使用します。

エマージェンシキーでトランクリッドを解錠して開くと、盗難防止警報システムが作動します。（▷97 ページ）

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷105 ページ）。

▶ エマージェンシーキーをトランクリッドのキーシリンダーにいっぱいまで差し込みます。

1 基本位置

2 解錠

▶ エマージェンシーキーを 1 の位置から 2 の位置まで、いっぱいまで反時計回りにまわします。
トランクが解錠されます。

▶ エマージェンシーキーを 1 の位置に戻して、抜きます。

▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

緊急時のテールゲートの解錠（ステーションワゴン）

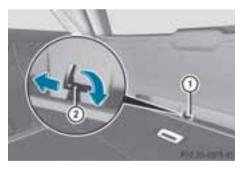
全体的な注意事項

! テールゲートは、上方や後方に大きく開きます。そのため、テールゲートを開くときは、上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。

i トランクリッド / テールゲートを開いたときの寸法については(▷491 ページ）をご覧ください。

テールゲートを車外から開くことができないときは、テールゲートの内側にあるエマージェンシーリリースを使用してください。

フロア格納式サードシート装備車両では、ハンドルを使用して、車内からテールゲートを開くことができます（▷119 ページ)。

開く

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します（▷105 ページ)。

▶ エマージェンシーキー ② をトリムの開口部 ① に差し込みます。

▶ エマージェンシーキー ② を時計回りに 90° まわします。

▶ エマージェンシーキー ② を矢印の方向に押して、テールゲートを開きます。

サイドウインドウ

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サイドウインドウを開いているときに、サイドウインドウが動くにつれて、体の一部がサイドウインドウとドアフレームの間に引き込まれて挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

開いている間は、誰もサイドウインドウに触れないようにしてください。誰かが挟まれてしまった場合は、スイッチを放すか、あるいはスイッチを引いてもう一度サイドウインドウを閉じてください。

⚠ 警告

閉じる範囲に身体を近づけていると、サイドウインドウを閉じる際に挟まれるおそれがあります。けがをする危険があります。

閉じている動作の間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。誰かが挟まれたら、スイッチを放すか、あるいはスイッチを押してサイドウインドウをもう一度開いてください

⚠ 警告

特に付き添いのない状態で子供を車内に残すと、サイドウインドウを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

リアサイドウインドウのチャイルドプルーフロックを作動させます。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

サイドウインドウのリバース機能

サイドウインドウには自動リバース機能が装備されています。閉じている動作中にかたい障害物がサイドウインドウに挟まれた、または動作を妨げた場合には、サイドウインドウは再度自動的に開きます。ただし、自動リバース機能は単なる補助に過ぎず、サイドウインドウを閉じるときの注意の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

以下では、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 4mm 以下となったとき
- リセット中
- リバース機能が作動したすぐあとに再度手動でサイドウインドウを閉じるとき

リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている動作の間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。挟み込まれたら、スイッチを押して、サイドウインドウを再度開いてください。

サイドウインドウの開閉

運転席ドアには、すべてのサイドウインドウのスイッチがあります。サイドウインドウのスイッチは、各ドアにもあります。

運転席ドアのスイッチ操作が優先されます。

① 左フロント
② 右フロント
③ 右リア
④ 左リア

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ **開く**：スイッチを軽く押します。

▶ **閉じる**：スイッチを軽く引きます。

ℹ 手応えがある位置を越えるまでスイッチを操作した場合は、対応する方向に自動開閉作動が開始します。再度操作すると、自動動作を停止できます。

ℹ エンジンを停止するか、エンジンスイッチからキーを抜いてからも、サイドウインドウを開閉できます。エンジンを停止してから約 5 分間、または運転席／助手席ドアを開くまでサイドウインドウを開閉できます。

ℹ リアサイドウインドウのチャイルドプルーフロックが作動しているときは、後席ドアのスイッチではサイドウインドウは操作できません（▷82 ページ）。

コンビニエンスオープニング機能

全体的な注意事項

乗車する前に車内の空気を換気することができます。

キーを使用して、以下を同時に行なうことができます。

- 車両を解錠する
- サイドウインドウを開く
- スライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフおよび電動ブラインドを開く
- 運転席シートのシートベンチレーターを作動させる

ⓘ コンビニエンスオープニング機能は、リモコン操作でのみ行なうことができます。キーは車両のすぐ近くになければなりません。

コンビニエンスオープニング機能

▶ サイドウインドウおよびスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが希望の位置になるまで 🔓 スイッチを押して保持します。

パノラミックスライディンググルーフの電動ブラインドが閉じているときは、電動ブラインドが先に開きます。

▶ パノラミックスライディンググルーフが希望の位置になるまで、再度 🔓 スイッチを押して保持します。

▶ **コンビニエンスオープニングを中断する：** 🔓 スイッチを放します。

コンビニエンスクロージング機能

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

コンビニエンスクロージング機能が作動している場合、身体の一部がサイドウインドウおよびスライディンググルーフの閉じる範囲に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

コンビニエンスクロージング機能を操作しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。

挟み込まれた場合は、以下のように対処してください：

キーを使用して

▶ 🔒 スイッチを放します。

▶ サイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが再度開くまで、🔓 スイッチを押して保持します。

キーレスゴーキーを使用して

▶ ドアハンドルのセンサー面を放します。

▶ ただちにドアハンドルを引いて保持します。

サイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが開きます。

全体的な注意事項

車両を施錠したときに、以下を同時に行なうことができます。

- サイドウインドウを閉じる
- スライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフを閉じる

パノラミックスライディンググルーフ装備車両では、その後に電動ブラインドを閉じることができます。

キーを使用して

▶ **キーレスゴー非装備車両：**キーの先端部を運転席ドアのドアハンドルに向けます。

▶ **キーレスゴー装備車両：**キーは車両のすぐ近くになければなりません。

▶ サイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが完全に閉じるまで、[🔒] スイッチを押して保持します。

▶ すべてのサイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが閉じていることを確認してください。

パノラミックスライディンググルーフ装備車両

▶ パノラミックスライディンググルーフの電動ブラインドが閉じるまで、[🔒] スイッチを再度押して保持します。

▶ **コンビニエンスクロージングを中断する：**[🔒] スイッチを放します。

キーレスゴーキーを使用して

キーレスゴーキーは車外にある必要があります。すべてのドアが閉じている必要があります。

▶ サイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが完全に閉じるまで、ドアハンドルのセンサー面の凹部 ① に触れます。

ℹ センサー面の凹部 ① のみに触れていることを確認してください。

▶ すべてのサイドウインドウとスライディンググルーフまたはパノラミックスライディンググルーフが閉じていることを確認してください。

パノラミックスライディンググルーフ装備車両

▶ パノラミックスライディンググルーフの電動ブラインドが閉じるまで、ドアハンドルのセンサー面の凹部 ① に再度触れます。

▶ **コンビニエンスクロージング機能を中断する：**ドアハンドルのセンサー面の凹部 ① を放します。

サイドウインドウのリセット

サイドウインドウが完全に閉じないときは、リセットしてください。

▶ すべてのドアを閉じます。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ サイドウインドウが完全に閉じるまで、ドアコントロールパネルの対応するスイッチを引きます（▷122 ページ）。

▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。

サイドウインドウが再度少し下降したら、以下の操作を行なってください。

▶ サイドウインドウが完全に閉じるまで、ただちにドアコントロールパネルの対応するスイッチを引きます（▷122 ページ）。

▶ さらに数秒間スイッチを引いたまま保持します。

▶ スイッチを放した後にサイドウインドウが閉じたままになれば、サイドウインドウのリセットが正しく行なわれています。そうでない場合は、再度リセット操作を行なってください。

サイドウインドウのトラブル

⚠ **警告**

サイドウインドウがブロックされた場合、またはリセットした後にすぐに再度閉じる場合、サイドウインドウはより大きな、または最大の力で閉じます。リバース機能は作動しません。このとき、閉じる範囲に身体の一部を挟まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉じている間は､閉じる範囲に身体の一部を近づけないでください。挟まれた場合は､スイッチを放してサイドウインドウを停止するか、またはスイッチを押してサイドウインドウを開きます。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ガイドレールなどに葉などの障害物が挟まっているため、サイドウインドウが閉じない	▶ 障害物を取り除いてください。 ▶ サイドウインドウを閉じます。
サイドウインドウが閉じず、原因がわからない。	閉じているときにサイドウインドウが妨げられ、再度少し開いた場合： ▶ ウインドウが妨げられた後、ただちにサイドウインドウが閉じるまで対応するスイッチを再度引きます。より強い力でサイドウインドウが閉じます。 閉じているときにサイドウインドウが再度妨げられ、再度少し開いた場合： ▶ ウインドウが妨げられた後、ただちにサイドウインドウが閉じるまで対応するスイッチを再度引きます。挟み込み防止機能が作動しない状態でサイドウインドウが閉じます。

スライディングルーフ

重要な安全上の注意事項

この項目では、スライディングルーフおよびパノラミックスライディングルーフの両方について、" スライディングルーフ " という表記で表しています。

⚠ **警告**

スライディングルーフを開閉するときに、ルーフの移動範囲に身体を近づけると、挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

開閉作動中は身体を近づけすぎないようにしてください。

挟まれたときは以下のように対処してください :

- ただちにスイッチを放します。

または

- 自動開閉動作中は、いずれかの方向にスイッチを軽く操作します。

開閉作動が中断されます。

⚠ **警告**

特に付き添いのない状態で子供を車内に残すと、スライディングルーフを操作して挟まれるおそれがあります。けがをするおそれがあります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

! スライディングルーフに雪や氷が付着した状態で操作しないでください。スライディングルーフが故障する原因になります。

スライディングルーフの開口部から物を出さないようにしてください。スライディングルーフのシール部が損傷するおそれがあります。

ⓘ スライディングルーフが開いているときは、通常の風切り音に加えて空気の振動が発生することがあります。これらは、車内の圧力変動が原因で発生します。これらを低減または除去するには、スライディングルーフの開口位置を変更するか、サイドウインドウを少し開いてください。

スライディングルーフのリバース機能

スライディングルーフには自動リバース機能が装備されています。スライディングルーフが閉じている間に障害物が挟まれた、または動作を妨げた場合に、スライディングルーフは自動的に再度開きます。ただし、自動リバース機能は単なる補助に過ぎず、スライディングルーフを閉じているときの注意の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

以下では、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 4mm 以下となったとき
- リセット中
- リバース機能が作動したすぐあとに再度手動でスライディングルーフを閉じるとき

リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている動作の間は、閉じる部分に身体を近づけないようにしてください。

挟まれた場合は以下のように対処してください：

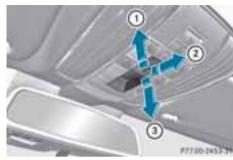
- ただちにスイッチを放します。

または

- 自動で閉じている間は、いずれかの方向にスイッチを操作します。

閉じている動作が停止します。

スライディングルーフの操作

開閉

ルーフオペレーティングユニット
① チルトアップ
② 開く
③ 閉じる / チルトダウン

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ ▤ スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。

ℹ 手応えがある位置を越えるまで ▤ スイッチを操作した場合は、対応する方向に自動開閉動作が開始します。再度操作すると、自動動作を停止できます。

サンシェードは、スライディングルーフと連動して自動的に開きます。サンシェードは、スライディングルーフがチルトアップしているか、閉じているときに手動で開閉できます。

ℹ エンジンを停止するか、キーを抜いた後は、スライディングルーフの操作を続けることができます。この機能は 5 分間、またはフロンドドアを開くまで作動したままになります。

レインクローズ機能

イグニッション位置が **0** のとき、またはエンジンスイッチからキーが抜かれている場合は、以下のときにスライディングルーフが自動で閉じます。

- 雨が降り始めたとき
- 外気温度が極端に高い、または低いとき
- 約 6 時間が経過したとき
- 電力供給に不具合があるとき

車内を換気するため、スライディングルーフがチルトアップしたままになります。

ℹ レインクローズ機能により閉じているときにスライディングルーフが妨げられると、再度少し開きます。そして、レインクローズ機能が解除されます。

以下のときは、スライディングルーフは閉じません。

- スライディングルーフをチルトアップしているとき
- 障害になる物が挟まっているとき
- 車両が橋の下、または車庫の中にいるなど、レインセンサーによりモニターされているフロントウインドウの範囲に雨が落ちていない。

リセット

! リセット操作を行なっても、まだスライディングルーフが開閉しないときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

スライディングルーフがスムーズに作動しないときは、リセットを行なってください。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ スライディングルーフをいっぱいまでチルトアップします。(▷127 ページ)

▶ ▤ スイッチをそのまま数秒間押し続けます。

▶ スライディングルーフが再度全開および全閉できることを確認します(▷127 ページ)。

▶ できない場合は、再度リセット操作を行なってください。

パノラミックスライディングルーフの操作

開閉

オーバーヘッドコントロールパネル
① チルトアップ
② 開く
③ 閉じる / チルトダウン

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ ▤ スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。

ℹ 手応えがある位置を越えるまで ▤ スイッチを操作した場合は、対応する方向に自動開閉動作が開始します。再度を操作すると、自動動作を停止できます。

レインクローズ機能

イグニッション位置が **0** の場合、またはエンジンスイッチからキーが抜かれている場合は、以下のときにパノラミックスライディングルーフが自動的に閉じます。

- 雨が降り始めたとき
- 外気温度が極端なとき
- 約 6 時間経過したとき
- 電力供給に不具合があるとき

車内を換気するため、パノラミックスライディングルーフがチルトアップしたままになります。

ⓘ レインクローズ機能で閉じられているときにパノラミックスライディングルーフが遮られた場合は、再度少し開きます。そして、レインクローズ機能が解除されます。

以下のときは、パノラミックスライディングルーフは閉じません。

- パノラミックスライディングルーフをチルトアップさせているとき
- 物が挟まったとき
- 車両が橋の下、または車庫の中にいるなど、レインセンサーによりモニターされているフロントウインドウの範囲に雨が落ちていない。

パノラミックスライディングルーフの電動ブラインドの操作

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

電動ブラインドの開閉時、身体の一部が電動ブラインドとフレームまたはスライディングルーフ間に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

開閉動作の間は、身体を電動ブラインドの動いている

挟まれたとき：

- ただちにスイッチを放します。

または

- 自動開閉動作中は、いずれかの方向にスイッチを操作します。

開閉動作が停止します。範囲に近づけないようにしてください。

電動ブラインドは日射しから車内を守ります。2 枚の電動ブラインドは、パノラミックスライディングルーフが閉じている状態で開閉することができます。

電動ブラインドのリバース機能

電動ブラインドには、自動リバース機能が装備されています。閉じているときに障害物が電動ブラインドに挟まれた、または電動ブラインドの作動を妨げた場合は、電動ブラインドは自動的に再度開きます。ただし、自動リバース機能は単なる補助で、電動ブラインドを閉じているときの注意に代わるものではありません。

⚠ **警告**

特に、リバース機能は小さな指のように柔らかい、軽いおよび薄いものには反応しません。リバース機能は、これらの状況で挟まれることを回避することはできません。けがの危険性があります。

閉じている間は、身体の一部を電動ブラインドの動いている範囲内に近づけないようにしてください。

挟まれた場合は以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放します。

または

- 自動で閉じている間は、いずれかの方向にスイッチを操作します。

閉じている動作が停止します。

開閉

オーバーヘッドコントロールパネル
① チルトアップ
② 開く
③ 閉じる

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ ▤ スイッチを対応する方向へ押すか、または引きます。

ℹ 手応えがある位置を越えるまで ▤ スイッチを操作した場合は、対応する方向に自動開閉動作が開始します。再度を操作すると、自動動作を停止できます。

パノラミックスライディングルーフと電動ブラインドのリセット

❗ リセット後にパノラミックスライディングルーフおよび電動ブラインドが完全に開かない、または閉じない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡下さい。

パノラミックスライディングルーフや電動ブラインドがスムーズに作動しない場合は、パノラミックスライディングルーフや電動ブラインドをリセットしてください。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ パノラミックスライディングルーフが完全に閉じるまで、手応えのあるところまで ▤ スイッチを矢印 ③ の方向に繰り返し引きます（▷128 ページ）。

▶ ▤ スイッチを引いたまま数秒間保持します。

▶ 電動ブラインドが完全に閉じるまで、手応えのあるところまで ▤ スイッチを矢印 ③ の方向に繰り返し引きます。

▶ ▤ スイッチを引いたまま数秒間保持します。

▶ パノラミックスライディングルーフ（▷128 ページ）および電動ブラインド（▷130 ページ）が再度全開できることを確認します。

▶ できない場合は、再度リセット操作を行なってください。

スライディングルーフのトラブル

⚠ **警告**

スライディングルーフがブロックされた場合、またはリセットした後にすぐに再度閉じる場合、スライディングルーフはより大きな、または最大の力で閉じます。リバース機能は作動しません。このとき、閉じる範囲に身体を挟まれるおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

閉じている間は、閉じる範囲に身体の一部を近づけないでください。挟まれたときは以下のように対処してください：

- ただちにスイッチを放します。

または

- 自動開閉動作中は、いずれかの方向にスイッチを操作します。

閉じている動作が停止します。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
スライディングルーフを閉じることができず、原因が分からない。	スライディングルーフが閉じているときに挟み込みの抵抗を検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。 ▶ スライディングルーフがブロックされたら、ただちにスライディングルーフが閉じるまで、手応えがあるところまでオーバーヘッドコントロールパネルの ▤ スイッチを引いて保持します。スライディングルーフは、より強い力で閉じます。 スライディングルーフが再度挟み込みを検知したため停止し、その位置から少し開いた場合は、以下の操作を行なってください。 ▶ スライディングルーフがブロックされたら、ただちにスライディングルーフが閉じるまで、手応えがあるところまでオーバーヘッドコントロールパネルの ▤ スイッチを引いて保持します。 挟み込み防止機能が作動しない状態でスライディングルーフが閉じます。

役に立つ情報………………………… 134
運転席の適切な位置………………… 134
シート……………………………… 135
ステアリング………………………… 144
ミラー……………………………… 146
メモリー機能………………………… 149

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

運転席の適切な位置

⚠ **警告**

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

▶ シート調整に関する安全上のガイドラインを守ってください（▷135 ページ）。

▶ シート ③ が正しく調整されていることを確認します。

パワーシートの調整（▷137 ページ）

シートを調整するときは、以下を確認してください：

- 運転席エアバッグからできるだけ離れている。
- 通常の起きた位置で着座している。
- シートベルトを正しく装着できる。
- ほぼ垂直の位置になるようにバックレストを調整している。
- 大腿部が軽く支えられるようにシートの角度を調整している。
- ペダルを正しく踏むことができる。

▶ ヘッドレストが適切に調整されていることを確認します。

そのとき、ヘッドレストの中央部によって、後頭部が目の高さの位置で支えられていることを確認してください。

▶ ステアリング調整に関する安全上のガイドラインを守ってください（▷144 ページ）。

▶ ステアリング ① が正しく調整されていることを確認します（▷144 ページ）。

ステアリングを調整するときは、以下を確認してください。

- ステアリングを握ったときに、腕に適度な余裕がある。
- 足を自由に動かせる。
- メーターパネル内のすべてのディスプレイが確認できる。

▶ シートベルトに関する安全上のガイドラインを守ってください（▷60 ページ）。

▶ シートベルト ② を正しく着用していることを確認します（▷62 ページ）。

シートベルトは、以下のように着用してください。

- 身体に密着させる。
- 肩を通るベルトが肩の中央にかかっている。
- 腰を通るベルトが腰骨の低い位置にかかっている。

▶ 走行を開始する前に、ルームミラーおよびドアミラーを道路と交通状況がよく見えるように調整してください（▷146 ページ）。

▶ メモリー機能を使用してシート、ステアリング、ドアミラーの設定を保存します（▷149 ページ）。

シート

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

付き添いのない状態でお子様がシートを調整すると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ **警告**

運転中に以下を行うと、車両のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ **警告**

シートの高さは慎重に調整しないと、挟み込まれて負傷するおそれがあります。特に子供は、電動シート調整スイッチを誤って押してしまい、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートが動いている間は、シート調整システムのレバー部品の下に手や身体などを入れないでください。

⚠ **警告**

シートを調整するとき、シートガイドレールなどに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

シートを調整する場合、身体がシートの動いている部分に触れていないことを確認してください。

⚠ **警告**

ヘッドレストが正しく調整されていない場合は、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および頸部にけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さの位置にあることを確認してください。

⚠ **警告**

バックレストをほぼ垂直の位置に動かしていない場合は、シートベルトは意図された保護レベルを発揮しません。ブレーキ時または事故のときに、シートベルトの下側にもぐり込み、腹部または頸部などがけがを負うおそれがあります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

走行を開始する前に、シートを正しい位置に調整してください。バックレストがほぼ垂直の位置にあり、シートベルトのショルダー部分が肩の中央にかかっていることを常に確認してください。

! シートとシートヒーターの損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

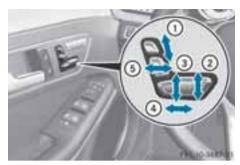
- シートに液体をこぼさないでください。シートに液体をこぼしたときは、すみやかに乾燥させてください。
- シート表皮が濡れたときは、シートヒーターを使用しないでください。シートを乾燥させるためにシートヒーターを使用しないでください。
- シート表皮を清掃してください。詳しくは " 日常の手入れ " をご覧ください。
- シートの上に重い物を載せないでください。また、シートクッションの上にナイフやくぎ、工具などの鋭利な物を置かないでください。シートはできるだけ人を乗せるためだけに使用してください。
- シートヒーターを使用しているときは、ブランケットやコート、バッグ、シートカバー、チャイルドセーフティシート、補助シートなどにより、シートを覆わないでください。

! シートの前後位置を調整するときは、足元やシート後方に物がないことを確認してください。シートや物を損傷するおそれがあります。

i フロントシートには NECK PRO アクティブヘッドレスト（▷58 ページ）が装備されています。フロントシートのヘッドレストは取り外すことができません。

分割可倒式シート非装備車両：リアシートのヘッドレストは取り外すことができません。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

パワーシートの調整

① ヘッドレストの高さ
② シートクッションの角度
③ シートの高さ
④ シートの前後位置
⑤ バックレストの角度

ℹ メモリー機能付パワーシート装備車両：PRE-SAFE® が作動したときに、助手席シートが不適切な位置にある場合は、好ましい位置に移動します。

ℹ シート位置はメモリー機能（▷149 ページ）を使用して記憶させることができます。

ℹ メモリー機能付パワーシートおよび分割可倒式シート装備車両：リアシートのバックレストのロックを解除したときは、状況によってはそれぞれのフロントシートが前方に少し移動します。

ℹ メモリー機能付パワーシート装備車両：シートの前後位置を調整したときは、ヘッドレストも自動的に上下します。

ヘッドレストの調整

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。

エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ **警告**

ヘッドレストが正しく調整されていない場合は、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および頸部にけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さの位置にあることを確認してください。

全体的な注意事項

シートの重要な安全上のガイドラインに従ってください（▷135 ページ）。

フロントとリアシートのヘッドレストを入れ替えないでください。ヘッドレストの高さ、および角度を正しい位置に調整することができません。

電動式ヘッドレストの調整

▶ **ヘッドレストの高さを調整する：**ヘッドレスト調整用スイッチ ① を矢印の方向に上または下にスライドします。

ラグジュアリーヘッドレストの調整

▶ **ヘッドレストのサイドサポートを調整する：**右または左側のサイドサポート ① を希望の位置に押すか、引きます。

▶ **ヘッドレストの前後位置を調整する：**ヘッドレストを矢印 ② の方向に押すか、引きます。

ⓘ 後頭部がヘッドレストにできるだけ近づくように、ヘッドレストを調整します。

リアシートのヘッドレスト

フロントからリアシートのヘッドレストを下げる

▶ スイッチ ① を押します。

リアヘッドレストの高さの調整

例：セダン

一部の車両では、外側ヘッドレストでのみ高さの調整が可能です。

▶ **高くする：**希望の位置までヘッドレストを引き上げます。

▶ **低くする：**ロック解除スイッチ ① を押し、希望の位置になるまでヘッドレストを押し下げます。

ⓘ ヘッドレストを前方に少し引いた場合は、調整に必要な力が少なくなります。

リアシートヘッドレストの角度調整

例：セダン

▶ 希望の位置になるまで、ヘッドレストの上部を引くか、押します。

リアシートのヘッドレストの脱着

⚠ 警告

ヘッドレストが正しく調整されていない場合は、本来の機能を果たすことができなくなります。これにより、事故またはブレーキ作動時に頭部および頸部にけがをする危険性が高まります。

必ずヘッドレストを取り付けた状態で走行してください。走行を開始する前に、ヘッドレストの中央が乗員の目の高さの位置にあることを確認してください。

例：セダン

分割可倒式シート装備車両でのみ、リアヘッドレストを脱着することができます。

▶ リアシートのバックレストのロックを解除して、少し前方に倒します(▷376、377 ページ)。

▶ **取り外す：**停止するまでヘッドレストを引き上げます。

▶ ロック解除スイッチ ① を押し、ヘッドレストをガイドから引き抜きます。

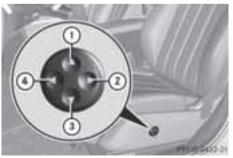
▶ **取り付ける：**支柱の切り欠きが進行方向右側になるようにして、ヘッドレストを差し込みます。

▶ 所定の位置にロックされる音が聞こえるまで、ヘッドレストを押し下げます。

▶ ロックされるまで、リアシートのバックレストを起こします。

マルチコントロールシートバックの調整

COMAND システムを使用して、マルチコントロールシートバックを調整できます。詳しい情報はデジタル版取扱説明書をご覧ください。

電動ランバーサポートの調整

① バックレストのサポート位置を上げる
② バックレストのサポートを弱くする
③ バックレストのサポート位置を下げる
④ バックレストのサポートを強くする

背中を最適にサポートできるように、フロントシートのバックレスト形状を調整できます。

ラゲッジルームのフロア格納式サードシート（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意

⚠ 警告

リアベンチシートのバックレストが起きた位置で固定されていない場合は、走行中にバックレストが倒れることがあります。そのような場合は、シートベルトが意図された保護機能を果たさないことがあります。けがをする危険性が高まります。

リアシートのバックレストが垂直位置でロックされていることを確認してください。

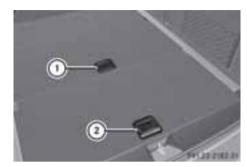
ラゲッジルームのフロア格納式サードシートは、身長 1.40m 以下および体重 50kg 以下の方にのみ適しています。

積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

最大許容重量は、以下により減少することがあります：

- オプション装備
- 車両の積載量
- トレーラーのけん引

フロア格納式サードシートを使用するときは、ネット一体式ラゲッジルームカバー(▷381 ページ)を装着してください。

ラゲッジルームのフロア格納式サードシートを展開する

▶ リアシートのバックレストが垂直位置でロックされていることを確認してください。

▶ ラゲッジルームカバーのグリップ部を上方（▷380 ページ）に動かします。

▶ ロック解除グリップ ① を手前に引いて、フロア格納式サードシートのバックレストを前方に引き出します。

▶ シートベルトをフック ③ にかけます。

▶ ロック解除グリップ ② を引いて、フロア格納式サードシートのシートクッションを着座位置になるまで引き出します。

▶ バックレストが完全に固定されるまで、シートクッションを押し下げます。

▶ ヘッドレストを上方に引き出します。

シートクッションの脱着

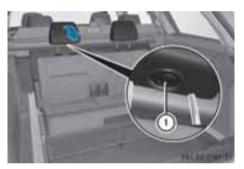
車両がパンクした場合などに、ラゲッジルームフロアボードを持ち上げたい場合には、シートクッションを取り外さなければなりません。

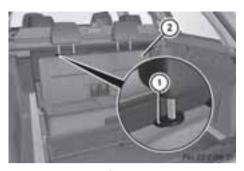
▶ **シートクッションを取り外す：**シートクッション ② を上方に引き、シートクッションガイド ① から取り外します。

▶ **シートクッションを取り付ける：**シートクッション ② を図のように少し傾けた状態で、シートクッションガイド ① に、後方 ③ から押します。

▶ シートクッション ② を元の位置 ④ に固定されるまで、前方に倒します。

フロア格納式サードシートを収納する

▶ タブ ① を持ってシートクッションを上方に引き、元の位置にロックされるまで押し込みます。

▶ ロック解除スイッチ ① を押して、ヘッドレストを下げます。

! 損傷を避けるため、ヘッドレストをヘッドレストガイドに完全に押し込んでください。そして、シートベルトのバックルをバックレストのガイド部分に差し込んでください。

▶ 解除スイッチ ① を押して、ヘッドレストを完全に押し込みます。

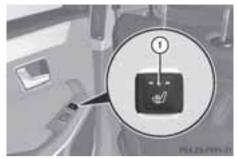
▶ バックレスト ② を、元の位置にロックされるまで押し込みます。

シートヒーターの作動 / 停止の切り替え

作動 / 停止

⚠ 警告

シートヒーターを連続して使用すると、シートクッションおよびバックレストが異常に過熱する原因となります。高温により、温度変化を検知できにくい乗員や、異常な高温に対処できない乗員の健康に悪影響を与えたり、低温火傷を起こすおそれがあります。けがの危険性があります。したがって、シートヒーターを連続して使用しないでください。

運転席シートおよび助手席シート

リアシート

スイッチの 3 つの赤い表示灯は、選択したレベルを表します。

運転席および助手席：約 8 分後に、レベル **3** からレベル **2** に自動的に切り替わります。

リアシート：約 5 分後に、レベル **3** からレベル **2** に自動的に切り替わります。

約 10 分後に、レベル **2** から **1** に自動的に切り替わります。

レベル **1** に設定した約 20 分後に、自動的に停止します。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします （▷190 ページ）。

▶ **作動させる**：希望のヒーターレベルに設定されるまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

▶ **停止する**：すべての表示灯が消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

ℹ バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートヒーターが停止することがあります。

シートヒーターのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シートヒーターが短時間で停止したり、作動しない。	多くの電気装備が作動しているため、バッテリー電圧が非常に低くなっている。 ▶ リアデフォッガーやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。 バッテリーが十分に充電されれば、シートヒーターは自動的に作動します。

シートベンチレーターの作動 / 停止の切り替え

作動 / 停止

運転席シートおよび助手席シート

スイッチの 3 つの青い表示灯は、選択したレベルを表します。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **作動させる**：好みのレベルになるまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

▶ **停止する**：表示灯が消灯するまで、スイッチ ① を繰り返し押します。

ⓘ バッテリー電圧が非常に低下した場合は、シートベンチレーターが停止することがあります。

ⓘ コンビニエンスオープニング機能（▷123 ページ）を使用して、サイドウインドウやスライディングルーフを開くことができます。運転席のシートベンチレーターが最も強いレベルで自動的に作動します。

シートベンチレーターのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
シートベンチレーターが短時間で停止したり、作動しない。	多くの電気装備が作動しているため、バッテリー電圧が非常に低くなっている。 ▶ リアデフォッガーやルームライトのような、必要のない電気装備を停止してください。 バッテリーが十分に充電されれば、シートベンチレーターは自動的に作動します。

ステアリング

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

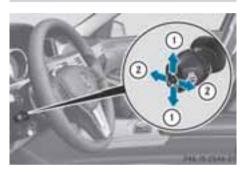
- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ 警告

子供がステアリングを調整するとステアリングに挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

電動調整式ステアリングの調整

① ステアリングの上下位置の調整
② ステアリングの前後位置の調整

ℹ その他の関連事項：

- イージーエントリー機能（▷145 ページ）
- 設定の記憶（▷149 ページ）

イージーエントリー機能

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

イージーエントリー機能がステアリングを調整するとき、ご自身だけでなく、他の乗員、特にお子様が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

イージーエントリー機能が調整を開始している間、ステアリングの動いている範囲にだれも近づかないように注意してください。

挟まれたときは以下のように対処してください：

- メモリー機能スイッチを押します。

または

- ステアリングが動いた方向とは逆の方向に、ステアリング調整レバーを動かします。

作動が停止します。

⚠ **警告**

付き添いのない状態で、お子様がイージーエントリー機能を作動させた場合、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

⚠ **警告**

イージーエントリー機能が作動している間に発進すると、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

イージーエントリー機能の作動が終了してから、発進してください。

イージーエントリー機能は、運転席への乗り降りを容易にする機能です。

イージーエントリー機能は、マルチファンクションディスプレイで設定 / 解除できます（▷301 ページ）。

イージーエントリー機能が作動しているときのステアリングの位置

以下を行なうと、ステアリングが上方に移動します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- イグニッション位置が **0** または **1** のときに運転席ドアを開く。

ⓘ ステアリングが上がりきっていない場合にのみ、ステアリングは上方に移動します。

走行するときのステアリングの位置

以下を行なうと、ステアリングは以前設定した位置に戻ります。

- 運転席ドアを閉じる
- 運転席ドアを閉じて、イグニッション位置を **0** から **1**、または **1** から **2** にする

イグニッションをオフにしたときに、またはメモリー機能で設定を記憶したときに、最後のステアリング位置は記憶されます（▷149 ページ）。

クラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能

事故などのときにクラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能が作動すると、運転席ドアを開いたときにステアリングが上方に動きます。これは、イグニッション位置にかかわらず作動します。これにより、車両の外への脱出や乗員の救出を容易にします。

クラッシュセンサー連動式イージーエグジット機能は、マルチファンクションディスプレイでイージーエントリー機能を設定しているときにのみ作動します(▷301 ページ)。

ミラー

ドアミラー

ドアミラーの調整

⚠ **警告**

運転中に以下を行うと、車のコントロールを失うおそれがあります：

- 運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングまたはミラーを調整する
- シートベルトを着用する

事故の危険性があります。エンジンを始動する前に、運転席シート、ヘッドレスト、ステアリングおよびミラーを調整し、シートベルトを着用してください。

⚠ **警告**

ドアミラーに写る像は実際よりも小さく見えます。実際には、ドアミラーで見るよりも近くにあります。これは、車線を変更する際など、後続の道路使用者との距離感を見誤る可能性があるということです。事故の危険性があります。

そのため、肩ごしに直接斜め後方を見て、実際の距離を確認してください。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします（▷190 ページ）。

▶ 左側ドアミラースイッチ ① または右側ドアミラースイッチ ② を押します。対応するスイッチの表示灯が赤色に点灯します。

しばらくすると表示灯は消灯します。表示灯が点灯しているときに、調整スイッチ ③ を使用して、選択したミラーを調整できます。

▶ ドアミラーが正しい位置に調整されるまで、調整スイッチ ③ を上下方向または左右方向に押します。交通状況が良く視認できなければなりません。

凸面のドアミラーにより、広い視野が確保されます。エンジンを始動した後にリアデフォッガーを作動させ、外気温度が低い場合は、ドアミラーが自動的に温められます。最大 10 分間温められます。

ドアミラーを電動で格納 / 展開する

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします（▷190 ページ)。

▶ スイッチ ① を軽く押します。

左右のドアミラーが格納 / 展開します。

ℹ 走行している間は、ドアミラーが完全に展開していることを確認してください。振動するおそれがあります。

ℹ 47km/h 以上で走行している場合は、ドアミラーを格納することはできなくなります。

ドアミラーの設定

バッテリーの接続が外れたり、完全に放電した場合は、ドアミラーをリセットする必要があります。マルチファンクションディスプレイの " 施錠時のドアミラー格納 " 機能を設定しているときに、ドアミラーは格納されません(▷301 ページ)。

▶ イグニッション位置を **1** にします(▷190 ページ)。

▶ スイッチ ① を軽く押します。

ドアミラーを自動で格納 / 展開する

マルチファンクションディスプレイで " 施錠時のドアミラー格納 " 機能が設定されている場合は、以下のようになります(▷301 ページ)。

- 車外から車両を施錠するとすぐに、ドアミラーは自動的に格納されます。
- 車両を解錠し、運転席ドアまたは助手席ドアを開くと、ドアミラーは自動的に展開します。

ℹ 手動でドアミラーを格納した場合は、展開しません。

ドアミラーが押されて適正な位置にないとき

ドアミラーが所定の位置から押し出された場合は、以下の操作を行なってください。

▶ クリック音が聞こえ、ミラーが所定の位置に音とともに固定されるまで、ミラー格納スイッチ ① を押して保持します（▷147 ページ)。ミラー本体が再度固定され、通常通りドアミラーを調整できます（▷146 ページ)。

自動防眩ミラー

以下の条件が同時に満たされると、ルームミラーと運転席側のドアミラーは自動的に自動防眩モードになります。

- イグニッションがオン
- 後続車のライトがルームミラーのセンサーに当たる

シフトポジションがリバースのとき、またはルームライトが点灯しているときは、自動防眩機能は解除されます。

リバースポジション機能付ドアミラー（助手席側）

駐車位置の設定と記憶

リバースギアを使用して

① 運転席側ドアミラースイッチ
② 助手席側ドアミラースイッチ
③ 調整スイッチ
④ メモリースイッチ **M**

リバースギアに入れたときにすぐ、その側の後輪が見えるように助手席側ドアミラーを設定できます。その位置を記憶させることができます。

▶ 車両を駐車し、イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ 助手席側ドアミラースイッチ ② を押します。

▶ リバースギアに入れます。助手席側ドアミラーの角度が、あらかじめ記憶させていた角度になります。

▶ ドアミラー調整スイッチ ③ を使用して、後退時に後方を確認しやすい角度に助手席側ドアミラーを調整します。駐車位置が記憶されます。

ℹ トランスミッションを他の位置にシフトすると、助手席側ドアミラーは走行時の角度に戻ります。

メモリースイッチを使用して

① 運転席側ドアミラースイッチ
② 助手席側ドアミラースイッチ
③ 調整スイッチ
④ メモリースイッチ **M**

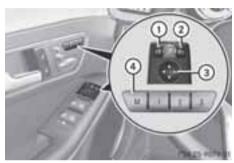
リバースギアに入れたときにすぐ、その側の後輪が見えるように助手席側ドアミラーを設定できます。この設定は、メモリースイッチ **M**④ を使用して記憶させることができます。

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ スイッチ ② で助手席側ドアミラーを選択し、調整スイッチ ③ を使用して後退時に後方を確認しやすい角度に助手席側ドアミラーを調整します。

▶ メモリースイッチ M④ を押し、そして 3 秒以内に調整スイッチ ③ の矢印のいずれかを押します。助手席側ドアミラーが動かない場合は、駐車位置が記憶されています。

▶ ドアミラーがその位置から動いた場合は、手順を繰り返します。

記憶させた駐車位置の設定の呼び出し

① 運転席側ドアミラースイッチ
② 助手席側ドアミラースイッチ
③ 調整スイッチ
④ メモリースイッチ **M**

▶ イグニッション位置を **2** にします (▷190 ページ)。

▶ 助手席側ドアミラースイッチ ② を押します。

▶ リバースギアに入れます。助手席側ドアミラーが記憶された駐車位置になります。

以下のときに、助手席側ドアミラーは元の角度に戻ります。

- 速度が 15km/h を超えるとすぐに
- 運転席側ドアミラースイッチ ① を押した場合

メモリー機能

メモリーの設定

⚠ **警告**

走行中に運転席側のメモリー機能を使用すると、調整をした結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

車両が停車しているときにのみ運転席側のメモリー機能を使用してください。

⚠ **警告**

付き添いのない状態で、子供がメモリー機能を作動させると、挟まれる可能性があります。けがの危険性があります。

車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

メモリー機能で、例えば 3 人の方のために、3 つまでの異なる設定を記憶させることができます。

以下の項目がひとつの設定として記憶されます。

- シート、バックレストおよびヘッドレストの位置
- アクティブマルチコントロールシートバック：シートの形状、ドライビングダイナミックシートのレベル
- 運転席側：運転席および助手席側のドアミラーの角度、ステアリングの位置

- シートを調整します（▷137 ページ）。
- 運転席側は、ステアリング（▷144 ページ）とドアミラー（▷146 ページ）を調整します。
- メモリースイッチ **M** を押し、それから 3 秒以内にポジションスイッチ **1**、**2**、**3** のいずれかを押します。選択したポジションスイッチに設定が記憶されます。設定が完了すると確認音が鳴ります。

記憶させた位置を呼び出す

- シート、ステアリングおよびドアミラーが記憶させた位置になるまで、対応するポジションスイッチ **1**、**2**、**3** を押して保持します。

ⓘ ポジションスイッチを放すと、設定動作は中断されます。

役に立つ情報……………………………… 152
車外ライト………………………………… 152
ルームライトの概要…………………… 161
電球の交換……………………………… 163
フロントワイパー……………………… 163

役に立つ情報

ⓘ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ⓘ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

車外ライト

全体的な注意事項

安全のため、昼間でもライトを点灯して運転することをお勧めします。

車外ライトの設定

設定方法

車外ライトは以下を使用して設定できます。

- ライトスイッチ
- コンビネーションスイッチ(▷156 ページ)
- マルチファンクションディスプレイ(▷297 ページ)

ライトスイッチ

操作

1 左側パーキングライト
2 右側パーキングライト
3 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 ロービーム / ハイビームヘッドライト
⑥ リアフォグランプ

車両から離れるときに警告音が鳴っている場合は、ライトが点灯していることがあります。

▶ ライトスイッチを AUTO にまわします。

車外ライト（ヘッドライト）は、エンジンを停止すると自動的に消灯します。

車外ライト（車幅灯）は、以下の操作を行なうと自動的に消灯します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- キーが **0** の位置のときに運転席ドアを開く

ヘッドライトのオートモード

⚠ **警告**

ライトスイッチを AUTO に設定しているときは、霧、雪、または霧雨のような天候状態のために視界を悪くする他の原因がある場合は、ロービームヘッドライトが自動的にオンにならないことがあります。事故の危険性があります。

このような状況のときは、ライトスイッチを [ロービーム] にまわします。

ライトのオートモード機能は単なる支援に過ぎません。車両の照明に関する責任は、常に運転者にあります。

1 [←P] 左側パーキングライト
2 [P→] 右側パーキングライト
3 [車幅灯] 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 [ロービーム] ロービーム / ハイビームヘッドライト
⑥ [リアフォグ] リアフォグランプ

通常は、ライトスイッチを AUTO に設定することをお勧めします。ライト設定は、周囲の明るさに応じて以下のように自動的に選択されます（例外：霧、雪、霧雨などの天候状況による視界不良）。

- イグニッション位置が **1** のとき：周囲の明るさに応じて車幅灯が自動的に点灯または消灯します。
- エンジンがかかっているとき：周囲の明るさの度合いによって、車幅灯およびロービームヘッドライトが自動的にオンまたはオフに切り替わります。

▶ **ヘッドライトのオートモードを作動させる：**ライトスイッチを AUTO にまわします。

車幅灯およびロービームヘッドライトが点灯しているときは、メーターパネルの緑色の表示灯 [車幅灯]（車幅灯）および [ロービーム]（ロービームヘッドライト）が点灯します。

ロービームヘッドライト

⚠ **警告**

ライトスイッチを AUTO に設定しているときは、霧、雪、または霧雨のような天候状態のために視界を悪くする他の原因がある場合は、ロービームヘッドライトが自動的にオンにならないことがあります。事故の危険性があります。このような状況のときは、ライトスイッチを [ロービーム] にまわします。

1 左側パーキングライト
2 右側パーキングライト
3 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 ロービーム / ハイビームヘッドライト
6 リアフォグランプ

イグニッションがオンで、ライトスイッチが の位置にあるときは、ライトセンサーが周囲の明るさの状況が暗いことを検知していなくても、車幅灯とロービームヘッドライトが点灯します。これは、霧や雨のときに便利です。

▶ **ロービームヘッドライトを点灯する：** イグニッション位置を 2 にするか、エンジンを始動します。

▶ ライトスイッチを にまわします。メーターパネルの緑色の 表示灯が点灯します。

リアフォグランプ

1 左側パーキングライト
2 右側パーキングライト
3 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 ロービーム / ハイビームヘッドライト
6 リアフォグランプ

リアフォグランプは、濃霧での後続車両に対するお客様の車両の被視認性を向上させます。

▶ **リアフォグランプを点灯する：** イグニッション位置を 2 にするか、エンジンを始動します。

▶ ライトスイッチを または AUTO にまわします。

▶ スイッチを押します。メーターパネルの黄色の 表示灯が点灯します。

▶ **リアフォグランプを消灯する：** スイッチを押します。メーターパネルの黄色の 表示灯が消灯します。

車幅灯

! バッテリーが過放電すると、次回のエンジン始動を可能にするために、車幅灯またはパーキングライトが自動的に消灯します。法的基準にしたがって車両を安全で十分な明るさのところに常に駐車してください。車幅灯 [車幅灯] を長時間連続して使用しないでください。
可能であれば、[P右] 右側または [P左] 左側パーキングライトを点灯してください。

1 [P左] 左側パーキングライト
2 [P右] 右側パーキングライト
3 [車幅灯] 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 [ヘッドライト] ロービーム / ハイビームヘッドライト
⑥ [リアフォグ] リアフォグランプ

▶ **点灯する**：ライトスイッチを [車幅灯] にまわします。メーターパネルの緑色の [車幅灯] 表示灯が点灯します。

パーキングライト

1 [P左] 左側パーキングライト
2 [P右] 右側パーキングライト
3 [車幅灯] 車幅灯、ライセンスプレートおよびメーターパネル照明
4 AUTO ライトセンサーの制御によるヘッドライトのオートモード
5 [ヘッドライト] ロービーム / ハイビームヘッドライト
⑥ [リアフォグ] リアフォグランプ

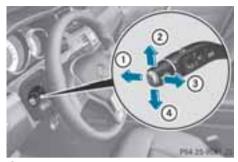
パーキングライトを点灯すると、車両の対応する側の照明が点灯します。

▶ **パーキングライトを点灯する**：キーがエンジンスイッチから抜かれているか、またはイグニッション位置が **0** であることを確認します。

▶ ライトスイッチを [P左]（車両の左側）または [P右]（車両の右側）にまわします。

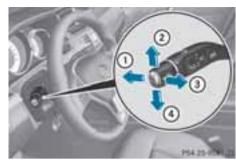
ライトおよびフロントワイパー

コンビネーションスイッチ

方向指示灯

① ハイビームヘッドライト
② 方向指示灯（右）
③ パッシングライト
④ 方向指示灯（左）

▶ **短時間点滅させる：**手応えのあるところまで、コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に軽く押します。
対応する方向指示灯が 3 回点滅します。

▶ **点滅させる：**コンビネーションスイッチを矢印 ② または ④ の方向に押します。

ハイビームヘッドライト

① ハイビームヘッドライト
② 方向指示灯（右）
③ パッシングライト
④ 方向指示灯（左）

▶ **ハイビームヘッドライトを点灯する：**イグニッション位置を **2** にするか、エンジンを始動します。

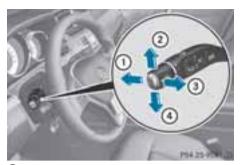
▶ ライトスイッチを ≣D または AUTO にまわします。

▶ 手応えのあるところを越えるまで、コンビネーションスイッチを矢印 ① の方向に押します。
ライトスイッチが AUTO の位置で、アダプティブハイビームアシスト・プラスが作動しているときは、ハイビームヘッドライトの作動が自動でコントロールされます（▷159 ページ）。

ハイビームヘッドライトが点灯すると、メーターパネルの青色の ≣D 表示灯 が点灯します。

▶ **ハイビームヘッドライトを消灯する：**コンビネーションスイッチを通常の位置に戻します。

メーターパネルの青色の ≣D 表示灯が消灯します。

パッシングライト

① ハイビームヘッドライト
② 方向指示灯（右）
③ パッシングライト
④ 方向指示灯（左）

▶ **作動させる：**イグニッション位置を **1** または **2** にするか、エンジンを始動します。

▶ コンビネーションスイッチを矢印 ③ の方向に引きます。

非常点滅灯

▶ **非常点滅灯を作動させる：**スイッチ ① を押します。すべての方向指示灯が点滅します。このときにコンビネーションスイッチを使用して方向指示灯を作動させたときは、車両の対応する側の方向指示灯のみが点滅します。

▶ **非常点滅灯を解除する：**スイッチ ① を再度押します。

非常点滅灯は、以下のときに自動的に点滅します。

- エアバッグが作動した

または

- 車両が 70 km/h 以上の速度から急減速して停止した

フルブレーキを効かせた後に車両が 10 km/h 以上の速度に再度達した場合は、非常点滅灯は自動的に消灯します。

ℹ 非常点滅灯は、イグニッションがオフの場合でも作動し続けます。

インテリジェントライトシステム

全体的な注意事項

インテリジェントライトシステムは、実際の走行や天候状況に合わせてヘッドライトを自動的に調整するシステムです。車両速度や天候状況などに応じて路面の照射を向上させる最新機能を提供します。システムには、アクティブライトシステムやコーナリングライト、ハイウェイモード、フォグランプ強化機能が含まれます。システムは周囲が暗いときのみ作動します。

マルチファンクションディスプレイを使用して " インテリジェントライトシステム " を作動させたり解除したりできます (▷297 ページ)。

アクティブライトシステム

アクティブライトシステムは、前輪を操舵する動きに応じてヘッドライトの向きを変化させるシステムです。このようにして、走行中は対応する範囲が照射されたままになります。このシステムにより、歩行者、自転車、動物などを容易に認識することができます。

作動：ライトが点灯しているとき

コーナリングライト

コーナリングライトは、コーナリング時に進行方向の路面を広く照射し、夜間の交差点などで運転者の視界を向上させます。ロービームヘッドライトが点灯しているときのみ、作動させることができます。

作動：

- 40 km/h 以下の速度で走行していて、方向指示灯を作動させた、またはステアリングをまわした場合
- 40 km/h ～ 70 km/h の間の速度で走行していて、ステアリングをまわした場合

解除：40 km/h 以上の速度で走行しているか、またはステアリングを直進位置にまわした場合

コーナリングライトは短時間点灯したままになりますが、約 3 分後に自動的に消灯します。

ハイウェイモード

作動:110 km/h以上の速度で走行していて、少なくても 1,000 m でなんらかの大きなステアリングの動きがない場合、または 130 km/h 以上の速度で走行している場合

上記はライトの機能の説明です。走行するときは必ず法定速度や制限速度に従ってください。

解除：作動後に 80 km/h 以下の速度で走行した場合

フォグランプ強化機能

フォグランプ強化機能は運転者の眩しさを軽減し、道路の端の照射を向上させます。

作動：70 km/h 以下の速度で走行していて、リアフォグランプを点灯した場合

解除：作動後に 100 km/h 以上の速度で走行した場合、またはリアフォグランプを消灯した場合

アダプティブハイビームアシスト・プラス

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

以下の場合、アダプティブハイビームアシスト・プラスは道路使用者を検知することができません。

- 歩行者などがライトを持っていない
- 自転車にライトが装着されていても、ライトが暗い
- ガードレールの後にいるなど、道路使用者のライトが遮られている

ごくまれに、アダプティブハイビームアシスト・プラスはライトを持っている道路使用者を検知しない、または検知が非常に遅れることがあります。このような場合は、他の道路使用者がいるにもかかわらず､自動ハイビームヘッドライトが解除されなかったり、作動したりします。

事故の危険性があります。

道路や交通事情に常に注意して、適切なタイミングでハイビームヘッドライトをオフにしてください。

アダプティブハイビームアシスト・プラスは、道路、天候または交通状況を考慮に入れることはできません。アダプティブハイビームアシスト・プラスは単なる支援に過ぎません。運転者には、明るさ、視界および交通状況に応じて車両のライトを調整する責任があります。

特に以下の状況では、障害物の検知が困難になります。

- 霧や激しい雨、雪などで視界が悪い
- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている

全体的な注意事項

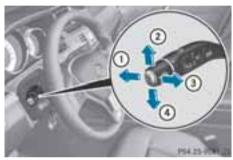
アダプティブハイビームアシスト・プラスにより、ロービーム、パーシャルハイビームおよびハイビームヘッドライトの間で自動的に切り替えることができます。

パーシャルハイビーム照明は、他の道路使用者を避けるようなハイビームの配光になっています。このようにして、他の道路使用者はハイビームの範囲外になります。これにより眩しさを防ぎます。先行車両がある場合は、例えばハイビームヘッドライトはその右または左の範囲を照射し、先行車両はロービームヘッドライトによって照射されます。

このシステムは、他車との距離に応じてロービームの照射範囲を自動調整します。システムが他の車両を検知しなくなると、ハイビームヘッドライトを再度作動させます。

ハイビームまたはパーシャルハイビームヘッドライトが交通標識からの非常に強い反射の原因となっている場合は、ライトは自動的に暗くなり、反射によって引き起こされる眩しさが避けられます。

システムの光学センサーは、フロントウインドウ裏側のオーバーヘッドコントロールパネル付近に装着されています。

アダプティブハイビームアシスト・プラスの作動 / 解除の切り替え

① ハイビームヘッドライト
② 方向指示灯（右）
③ パッシングライト
④ 方向指示灯（左）

▶ **作動させる：**ライトスイッチを AUTO にまわします。

▶ 手応えがあるところを越えるまで、コンビネーションスイッチを矢印 ① の方向に押します。

周囲が暗く、ライトセンサーがロービームヘッドライトを作動させたときは、マルチファンクションディスプレイの 表示灯が点灯します。

25 km/h 以上の速度で走行している場合：

ヘッドライトの照射範囲は、他車や他の道路使用者との距離に応じて自動的に設定されます。

30 km/h 以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されていない場合：

自動的にハイビームヘッドライトが作動します。メーターパネルの [≣D] 表示灯も点灯します。

45 km/h 以上の速度で走行していて、他の道路使用者が検知されている場合：

パーシャルハイビームヘッドライトが自動的に作動します。メーターパネルの [≣D] 表示灯も点灯します。

40 km/h以下の速度で走行している場合:

パーシャルハイビームヘッドライトが自動的に解除されます。他の道路使用者が検知されていない場合は、ハイビームヘッドライトが作動します。

約 25 km/h 以下の速度で走行しているか、または道路が十分に照らされている場合：

自動的にハイビームヘッドライトが解除されます。メーターパネルの [≣D] 表示灯が消灯します。マルチファンクションディスプレイの [≣A] 表示灯は点灯したままになります。

▶ **解除する：**コンビネーションスイッチを通常の位置に戻す、またはライトスイッチを他の位置に動かします。メーターパネルの [≣A] 表示灯が消灯します。

ヘッドライト内側の曇り

外気の湿度が高いときは、ヘッドライト内面が曇ることがあります。

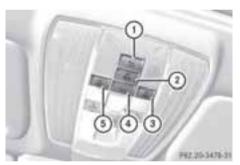
▶ ライトを点灯して発進します。

走行の長さおよび天候状態（湿度と温度）により、曇り具合は低減します。

曇り具合が低減しないとき

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でヘッドライトの点検を受けてください。

ルームライトの概要

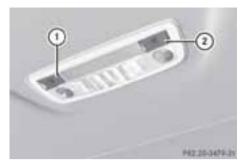
ルームライトの概要

前席のオーバーヘッドコントロールパネル

① [ ] リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え

② [ ] ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え

③ [ ] 右側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

④ [ ] フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え

⑤ [ ] 左側フロント読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

後席のオーバーヘッドコントロールパネル
① 右側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
② 左側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

ルームライトの操作

全体的な注意事項

車両バッテリーの放電を防止するため、イグニッション位置が **2** 以外のときは、ルームライトの機能は一定時間後に自動的に解除されます。

アンビエントライトの色と明るさは、マルチファンクションディスプレイを使用して設定できます（▷298 ページ）。

ルームライトの自動点灯

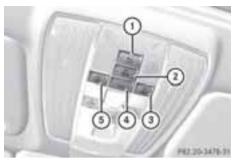
前席のオーバーヘッドコントロールパネル
① リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
② ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え
③ 右側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
④ フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
⑤ 左側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

▶ **オン / オフを切り替える：** スイッチを押します。
自動点灯モードが設定されているときは、スイッチはオーバーヘッドコントロールパネルと同じ高さになります。

ルームライトは以下のときに自動的に点灯します。

- 車両を解錠する
- ドアを開く
- エンジンスイッチからキーを抜く

  エンジンスイッチからキーを抜いたときは、ルームライトが短時間点灯します。この消灯遅延は、マルチファンクションディスプレイを使用して設定できます（▷299 ページ）。

ルームライトの手動点灯

前席のオーバーヘッドコントロールパネル

① [ ] リアルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
② [ ] ルームライト自動コントロールのオン / オフの切り替え
③ [ ] 右側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え
④ [ ] フロントルームライトの点灯 / 消灯の切り替え
⑤ [ ] 左側読書灯の点灯 / 消灯の切り替え

- **フロントルームライトを点灯 / 消灯する：** [ ] スイッチを押します。
- **リアルームライトを点灯 / 消灯する**： [ ] スイッチを押します。
- **読書灯を点灯 / 消灯する：** [ ] スイッチを押します。

緊急時点灯機能

車両が事故に巻き込まれたときに、ルームライトが自動的に点灯します。

- **緊急時点灯機能をオフにする：**非常点滅灯スイッチを押します。

または

- キーを使用して、車両を施錠してから解錠します。

電球の交換

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

作動時、電球、ライトおよびコネクターは非常に熱くなります。電球を交換するとき、これらの構成部品に触れると火傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

電球を交換するとき、これらの構成部品に触れると火傷するおそれがあります。

車両のフロントおよびリアライトクラスターには、LED ライトバルブが装備されています。お客様自身でライトの交換を行なわないでください。必要な専門知識とツールを備えたメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

ライトは車両安全性の重要な要素です。そのため、これらの機能が正常であることを常に確認してください。ヘッドライトの設定は、定期的に点検してください。

フロントワイパー

フロントワイパーの作動 / 停止の切り替え

! ウインドウが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ワイパーブレードを損傷するおそれがあります。また、ウインドウに付着したほこりなどでウインドウの表面に傷が付くおそれがあります。

乾燥した気候条件でフロントワイパーをオンにする必要がある場合は、必ずウォッシャー液を噴射しながら操作してください。

! 車両を自動洗車機で洗車した後にワイパーを使用しても油膜が残るときは、ウインドウに付着したワックスや洗浄液などが原因と考えられます。ウインドウをウォッシャー液で洗浄してください。

! レインセンサーを使用した間欠ワイパーの場合、フロントウインドウが乾いているときにウインドウの汚れや光線の反射などでレインセンサーが誤作動をし、ワイパーが不意に作動するおそれがあります。ワイパーブレードを損傷したり、ウインドウに傷が付くおそれがあります。

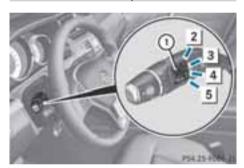
このため、雨が降っていないときは必ずワイパースイッチを停止の位置にしてください。

コンビネーションスイッチ
1 0 ワイパー停止
2 ••• 低速間欠モード（レインセンサーは低感度に設定）
3 •••• 高速間欠モード（レインセンサーは高感度に設定）
4 ━ 低速作動モード
5 ═ 高速作動モード
⑥ 1 回のワイパー作動 / ウォッシャー液を使用してワイパーを作動させる

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ コンビネーションスイッチを作動の位置にします。

••• または •••• の位置では、雨滴量に応じてワイパーの作動が自動的に調整されます。•••• の位置では､レインセンサーは ••• の位置よりも高感度となり、ワイパーはより短い間隔で作動します。ワイパーブレードが劣化すると、ウインドウの水滴を十分に拭き取ることができません。視界を妨げて、周囲の交通状況を把握できないおそれがあります。

リアワイパーの作動 / 停止の切り替え

コンビネーションスイッチ
① スイッチ
2 ウォッシャー液噴射の位置
3 I 間欠ワイパーの位置
4 0 間欠ワイパー停止の位置
5 ウォッシャー液噴射の位置

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします。

▶ コンビネーションスイッチのスイッチ ① を対応する位置にまわします。

リアワイパーが作動し、メーターパネル内にアイコンが表示されます。

ワイパーブレードの交換

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

ワイパーブレードを交換しているときにワイパーが動き出した場合､ワイパーアームに挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ワイパーブレードを交換する前に、ワイパーおよびイグニッション位置を必ず **0** にしてください。

! ワイパーブレードの損傷を避けるため、ワイパーアーム以外には触れないようにしてください。

! ワイパーアームがフロントウインドウ / リアウインドウから離れて起きている場合は、ボンネット / テールゲートを決して開かないでください。

ワイパーブレードのないワイパーアームをフロントウインドウまたはリアウインドウの元の位置に決して戻さないでください。

ワイパーブレードを交換するときは、フロントウインドウのワイパーアームを確実に持ってください。ワイパーブレードのないワイパーアームを放し、フロントウインドウ / リアウインドウに当たった場合は、フロントウインドウ / リアウインドウが衝撃の力で損傷するおそれがあります。

メルセデス・ベンツはワイパーブレードの交換をメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことをお勧めします。

車両の装備レベルによって、2 種類のワイパーブレードがあり、異なる方法で装着し、取り外します。図に基づいて、車両にどちらが装着されているかを確認してください。

ワイパーブレードの交換（バージョン 1）

ワイパーブレードを取り外す

▶ エンジンスイッチからキーを抜くか、キーレスゴースイッチでイグニッション位置を **0** にします。

▶ ワイパーアームをウインドウから起こします。

▶ ワイパーブレードを図の位置にまわします。

▶ ワイパーブレードをワイパーアームの固定ピンから矢印の方向に取り外します。

ワイパーブレードを取り付ける

▶ 新しいワイパーブレードをワイパーアームの固定ピンに矢印と反対方向に押します。

ワイパーブレードがワイパーアームの固定ピンに完全にスライドしたことを確認してください。

- ワイパーブレードをワイパーアームと平行の位置にします。
- ワイパーアームをウインドウの元の位置に戻します。

ワイパーブレードの交換（バージョン 2）

ワイパーブレードを取り外す

- エンジンスイッチからキーを抜くか、キーレスゴースイッチでイグニッション位置を **0** にします。
- ワイパーアームをウインドウから起こします。

- 解除ノブ ① をしっかりと押し、ワイパーブレード ② をワイパーアームから矢印の方向に引き上げます。

ワイパーブレードを取り付ける

- 新しいワイパーブレード ① をワイパーアームの固定部に合わせ、矢印の方向へ所定の位置にスライドさせます。ワイパーブレードを音が聞こえるまでかみ合わせます。
- ワイパーブレードが確実に固定されたことを確認します。
- ワイパーアームをウインドウの元の位置に戻します。

リアワイパーブレードの交換

ワイパーブレードを取り外す

- エンジンスイッチからキーを抜くか、キーレスゴースイッチでイグニッション位置を **0** にします。
- 固定されるまでワイパーアーム ① をリアウインドウから起こします。
- ワイパーブレード ② を、ワイパーアーム ① に対して直角の位置にします。
- ワイパーアーム ① を持ち、解除されるまでワイパーブレード ② を矢印の方向に押します。
- ワイパーブレード ② を取り外します。

ワイパーブレードを取り付ける

- 新しいワイパーブレード ② をワイパーアーム ① に合わせます。
- ワイパーアーム ① を持ち、固定されるまでワイパーブレード ② を矢印と反対の方向に押します。

ライトおよびフロントワイパー

▶ ワイパーブレード ② が正しい位置にあることを確認します。

▶ ワイパーブレード ② をワイパーアーム ① と平行の位置にします。

▶ ワイパーアーム ① をリアウインドウの元の位置に戻します。

フロントワイパーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ワイパーに引っかかりがある。	葉や雪などの障害物により、ワイパーの作動が妨げられている。ワイパーモーターの作動が停止している。 ▶ 安全のため、エンジンスイッチからキーを抜いてください。 または ▶ キーレスゴースイッチを操作してエンジンを停止し、運転席ドアを開いてください。 ▶ 障害物を取り除いてください。 ▶ 再度、ワイパーを作動させてください。
ワイパーが全く機能しない。	ワイパーが故障している。 ▶ コンビネーションスイッチの別のモードを選択してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でワイパーの点検を受けてください。

役に立つ情報……………………………… 170
エアコンディショナーシステムの概要…………………………………… 170
エアコンディショナーシステムの操作…………………………………… 174
送風口の調整……………………………… 183

役に立つ情報

i この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

i メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

エアコンディショナーシステムの概要

重要な安全上の注意事項

以下のページで推奨されている設定に注意してください。さもないとウインドウが曇りやすくなります。

ウインドウを曇りから防ぐには以下を行います：

- 短時間だけエアコンディショナーを停止する
- 短時間だけ内気循環モードを作動させる
- AC モードを作動させる
- 必要に応じて、フロントウインドウのデフロスター機能を短時間作動させる

エアコンディショナーは温度と車内の湿度を調整して、空気中の汚染物質を取り除きます。

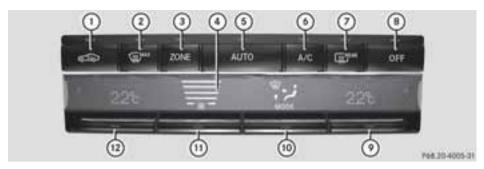
エアコンディショナーは、エンジンが作動中の場合のみ使用可能です。サイドウインドウおよびスライディングルーフが閉じているときにのみ、最適な作動が得られます。

余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ作動または解除することができます（▷183 ページ）。

i 暖かい気候の間は、コンビニエンスオープニング機能などを使用して少しの間車両を換気してください（▷123 ページ）。これにより、冷却処理が早くなり、より早く希望の車内温度に達します。

i 内蔵フィルターは、ほこりおよびすすの大部分の粒子や花粉をろ過することができます。気体状の汚染物質および臭いも減少させます。詰まったフィルターは車内に供給される空気の量を減らします。このため、整備手帳で規定されているフィルターの交換間隔に必ず従ってください。重度の大気汚染のような環境の状況によっては、間隔は整備手帳に記述されているよりも短くなることがあります。

i キーを抜いてから 1 時間は、余熱ヒーター機能が自動的に作動する可能性があります。その後、オートエアコンディショナーを乾燥させるために、車両は 30 分間換気されます。

クライメートコントロール（前席左右独立調整）のコントロールパネル

① 内気循環モードの作動 / 停止（▷181 ページ）
② フロントウインドウの曇りを取る（▷179 ページ）
③ ゾーン機能の作動 / 停止の切り替え（▷178 ページ）
④ ディスプレイ
⑤ エアコンディショナーを AUTO モードに設定（▷176 ページ）
⑥ AC モードの作動 / 停止（▷175 ページ）
⑦ リアデフォッガーの作動と停止の切り替え（▷180 ページ）
⑧ エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え（▷174 ページ）
⑨ 温度設定（右）（▷177 ページ）
⑩ 送風配分の設定（▷178 ページ）
⑪ 送風量の設定（▷178 ページ）
⑫ 温度設定（左）（▷177 ページ）

クライメートコントロール（前席左右独立調整）の使用に関する情報

オートエアコンディショナー

以下には、クライメートコントロール（前席左右独立調整）の最適な使用に関する注意事項と推奨が含まれています。

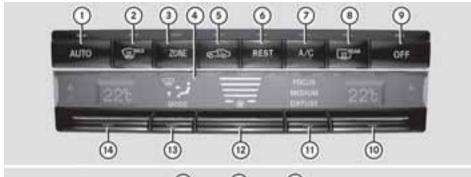
- AUTO および A/C スイッチを使用して、エアコンディショナーを作動させてください。AUTO および A/C スイッチの表示灯が点灯します。
- 温度を 22℃に設定してください。
- " フロントウインドウデフロスター " 機能は、フロントウインドウの曇りが取れるまでの短時間のみ使用してください。
- 内気循環モードは、不快な外気の臭いがある場合やトンネル内のときなどの短時間のみ使用してください。内気循環モードでは車内に外気が取り込まれないので、ウインドウが曇るおそれがあります。
- ゾーン機能を使用して、助手席側の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

- エアコンディショナーの設定を変更した場合は、エアコンディショナーの状況表示が COMAND ディスプレイの表示下部に約 3 秒間表示されます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。エアコンディショナーのさまざまな機能のそのときの設定が表示されます。

ECO スタートストップ機能

自動エンジン停止中は、エアコンディショナーは限られた出力でのみ作動します。エアコンディショナーの最大出力が必要な場合は、ECO スイッチを押すことにより、ECO スタートストップ機能を解除してください (▷196 ページ)。

クライメートコントロール（後席独立調整）のコントロールパネル

P68.20-4004-31

フロントコントロールパネル

① エアコンディショナーを AUTO モードに設定する（▷176 ページ）
② フロントウインドウの曇りを取る（▷179 ページ）
③ ゾーン機能の作動 / 停止の切り替え（▷178 ページ）
④ ディスプレイ
⑤ 内気循環モードの作動 / 停止（▷181 ページ）
⑥ 余熱ヒーター機能の作動 / 停止（▷183 ページ）
⑦ AC モードの作動 / 停止（▷175 ページ）
⑧ リアデフォッガーの作動と停止の切り替え（▷180 ページ）
⑨ エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え（▷174 ページ）
⑩ 温度の設定（右）（▷177 ページ）
⑪ エアコンディショナーモードの設定（▷176 ページ）
⑫ 送風量の設定（▷178 ページ）
⑬ 送風配分の設定（▷178 ページ）
⑭ 温度の設定（左）（▷177 ページ）

リアコントロールパネル

⑮ 温度を上げる（▷177 ページ）
⑯ ディスプレイ
⑰ 送風量を上げる（▷178 ページ）
⑱ 送風量を下げる（▷178 ページ）
⑲ 温度を下げる（▷175 ページ）

クライメートコントロール（後席独立調整）の使用に関する情報

オートエアコンディショナー

以下に、クライメートコントロール（後席独立調整）を最大限利用するための指示や推奨事項が記載されています。

- AUTO および A/C スイッチを使用して、エアコンディショナーを作動させてください。AUTO および A/C スイッチの表示灯が点灯します。
- AUTO モードでは、エアコンディショナーモードを設定することもできます（FOCUS/MEDIUM/DIFFUSE）。通常は、MEDIUM モードに設定することをお勧めします。
- 温度を 22℃に設定してください。
- " フロントウインドウデフロスター " 機能は、フロントウインドウの曇りが取れるまでの短時間のみ使用してください。
- 内気循環モードは、不快な外気の臭いがある場合やトンネル内のときなどの短時間のみ使用してください。内気循環モードでは車内に外気が取り込まれないので、ウインドウが曇るおそれがあります。
- ゾーン機能を使用して、助手席側および後席の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。ZONE スイッチの表示灯が消灯します。
- イグニッションをオフにした後に車内を暖房または換気したいときは、余熱ヒーター機能を使用してください。余熱ヒーター機能は、イグニッションがオフのときにのみ、作動または停止することができます。
- エアコンディショナーの設定を変更した場合は、エアコンディショナーの状況表示が COMAND ディスプレイの表示下部に約 3 秒間表示されます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。エアコンディショナーのさまざまな機能のそのときの設定が表示されます。

ECO スタートストップ機能

自動エンジン停止中は、エアコンディショナーは限られた出力でのみ作動します。エアコンディショナーの最大出力が必要な場合は、ECO スイッチを押すことにより、ECO スタートストップ機能を解除してください （▷196 ページ）。

エアコンディショナーシステムの操作

エアコンディショナーの作動 / 停止の切り替え

全体的な注意事項

エアコンディショナーを停止すると、空気の供給および空気の循環も停止します。ウインドウが曇るおそれがあります。そのため、エアコンディショナーは短時間のみ停止してください。

ℹ 通常は、AUTO スイッチを押して、エアコンディショナーを作動させます （▷176 ページ）。

作動 / 停止

- イグニッション位置を **2** にします (▷190 ページ)。
- **作動させる**：エアコンディショナーコントロールパネルの AUTO スイッチを押します。
  AUTO スイッチの表示灯が点灯します。
  送風量と送風配分が、AUTO モードに設定されます。

または

- OFF スイッチを押します。
  OFF スイッチの表示灯が消灯します。
  以前の設定が再度作動します。
- **停止する**：再度、OFF スイッチを押します。
  OFF スイッチの表示灯が点灯します。

AC モードの作動 / 停止

全体的な注意事項

AC モードを停止した場合は、車内の空気は冷却されず、除湿も行なわれません。ウインドウはより早く曇ることがあります。そのため、AC モードは短時間のみ停止してください。

AC モードは、エンジンがかかっているときにのみ使用できます。車内の空気は、選択された温度に応じて冷却・除湿されます。

AC モードが作動しているときは、車両の下から凝結水が排出されます。これは正常であり、故障を示すものではありません。

作動 / 停止

- **作動させる**：A/C スイッチを押します。
  A/C スイッチの表示灯が点灯します。
- **停止する**：再度、A/C スイッチを押します。
  A/C スイッチの表示灯が消灯します。
  AC モードは、しばらくしてから停止することがあります。

"AC モード " のトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
A/C スイッチの表示灯が 3 回点滅するか、消灯する。AC モードを作動させることができない。	故障のため、AC モードが解除されている。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

エアコンディショナーを AUTO モードに設定する

全体的な注意事項

AUTO モードでは、自動的に一定の設定温度に保たれます。送風温度、送風量、送風配分の選択が自動的に制御されます。

AUTO モードは、AC モードが作動しているときに最適に作動します。お好みで AC モードを解除することもできます。

AC モードを解除した場合は、車内の空気は冷却されず、除湿も行なわれません。ウインドウはより早く曇ることがあります。そのため、AC モードは短時間のみ解除してください。

設定 / マニュアル作動への切り替え

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ 希望の温度に設定します。

▶ **設定する：** AUTO スイッチを押します。

AUTO スイッチの表示灯が点灯します。自動的な送風配分と送風量が作動します。

ⓘ クライメートコントロール（後席独立調整）：AUTO モードが作動しているときは、エアコンディショナーモードを選択できます（▷176 ページ）。

▶ **マニュアル作動に切り替える**

クライメートコントロール（前席左右独立調整）：送風配分調整スイッチ ⑩（▷171 ページ）を押します。

クライメートコントロール（後席独立調整）：送風配分調整スイッチ ⑬（▷173 ページ）を押します。

AUTO スイッチの表示灯が消灯します。

または

▶ クライメートコントロール（前席左右独立調整）：送風量調整スイッチ ⑪（▷171 ページ）を押します。

クライメートコントロール（後席独立調整）：送風量調整スイッチ ⑫（▷173 ページ）を押します。

AUTO スイッチの表示灯が消灯します。

エアコンディショナーモードの設定

" エアコンディショナーモードの設定 " 機能はクライメートコントロール（後席独立調整）でのみ使用可能です。

以下のエアコンディショナーモードを選択できます。

FOCUS	やや冷たく設定される強い送風
MEDIUM	中程度の送風、標準設定
DIFFUSE	やや暖かく設定され、風の流れも弱くなる送風

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ AUTO スイッチを押します。

▶ エアコンディショナーモード選択スイッチ ⑪ を上または下に押し、希望のレベルを選択します（▷173 ページ）。

温度の設定

クライメートコントロール（前席左右独立調整）

設定温度を運転席側と助手席側で個別に調整できます。

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **上げる / 下げる**：温度調整スイッチ ⑨ または ⑫ を上または下に押します（▷171 ページ）。

少しの単位ずつ温度設定を変更してください。22℃から開始してください。

クライメートコントロール（後席独立調整）

オートエアコンディショナーのゾーン

設定温度を運転席側、助手席側、後席で個別に調整できます。

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **前席の温度を上げる / 下げる**：温度調整スイッチ ⑩ または ⑭ を上または下に押します（▷173 ページ）。

少しの単位ずつ温度設定を変更してください。22℃から開始してください。

▶ **フロントコントロールパネルを使用して後席の温度を上げる / 下げる：** ZONE スイッチを押します。
ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

▶ 温度調整スイッチ ⑩ または ⑭ を上または下に押します（▷173 ページ）。

少しの単位ずつ温度設定を変更してください。22℃から開始してください。

▶ **リアコントロールパネルを使用して後席の温度を上げる / 下げる：**リアコントロールパネルの ▼ または ▲ スイッチを押します。

少しの単位ずつ温度設定を変更してください。22℃から開始してください。

送風配分の設定

送風配分を設定する

[icon] 中央およびサイド送風口からの送風にする

[icon] 足元送風口からの送風にする

[icon] 曇り取り送風口からの送風にする

[icon] 曇り取り、中央およびサイド送風口からの送風にする

[icon] 足元および曇り取り送風口からの送風にする

ℹ 送風配分の設定に関係なく、サイド送風口からは常に送風が行なわれます。サイド送風口のダイヤルを下側にまわしたときにのみ、サイド送風口を閉じることができます。

送風配分の設定

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ クライメートコントロール（前席左右独立調整）：希望のマークがディスプレイに表示されるまで、送風配分調整スイッチ ⑩ を上または下に押します（▷171 ページ）。

▶ クライメートコントロール（後席独立調整）：希望のマークがディスプレイに表示されるまで、送風配分調整スイッチ ⑬ を上または下に押します（▷173 ページ）。

送風量の設定

クライメートコントロール（前席左右独立調整）

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **上げる / 下げる**：送風スイッチ ⑪ を上または下に押します（▷171 ページ）。

クライメートコントロール(後席独立調整)

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **前席の送風量を上げる / 下げる**：送風量スイッチ ⑫ を上または下に押します（▷173 ページ）。

▶ **リアの送風量を上げる / 下げる**：[icon] または [icon] スイッチを押します。

バッテリーが十分に充電されていない場合は、送風出力が低下することがあります。バッテリーが再度十分に充電されると、最大での送風出力が使用可能になります。

ゾーン機能の作動 / 停止の切り替え

▶ **作動させる：** ZONE スイッチを押します。

ZONE スイッチの表示灯が点灯します。

クライメートコントロール（前席左右独立調整）：設定温度を運転席側と助手席側で個別に調整できます。

クライメートコントロール（後席独立調整）：設定温度を運転席側、助手席側、後席で個別に調整できます。

▶ **停止する：** ZONE スイッチを押します。

ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

クライメートコントロール（前席左右独立調整）：運転席側と助手席側の設定温度を連動させて設定することができます。

クライメートコントロール（後席独立調整）：運転席側、助手席側、後席の設定温度を連動させて設定することができます。

フロントウインドウの曇り取り

フロントウインドウに付着した霜や、フロントウインドウまたはサイドウインドウの内側の曇りを取る機能です。

ウインドウデフロスター機能を停止してください。

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ **作動させる：** MAX スイッチを押します。MAX スイッチの表示灯が点灯します。

エアコンディショナーが以下のように作動します。

- 高い送風量
- 高い温度
- フロントウインドウとフロントサイドウインドウへの送風
- 内気循環モードの解除

バッテリーが十分に充電されていない場合は、送風出力が低下することがあります。バッテリーが再度十分に充電されると、最大での送風出力が再度使用可能になります。

▶ **停止する：** MAX スイッチを押します。

MAX スイッチの表示灯が消灯します。

以前の設定が再度作動します。内気循環モードは解除されたままになります。

または

▶ AUTO スイッチを押します。

MAX スイッチの表示灯が消灯します。

送風量と送風配分が、AUTO モードに設定されます。

または

▶ クライメートコントロール（前席左右独立調整）：温度選択スイッチ ⑨ または ⑫ を上または下に押します（▷171 ページ）。

クライメートコントロール（後席独立調整）：温度選択スイッチ ⑩ または ⑭ を上または下に押します（▷173 ページ）。

ウインドウの曇り取り

フロントウインドウの内側が曇るとき

▶ AC モード A/C を作動させます。

▶ AUTO モード AUTO を作動させます。

▶ 温風がサイドウインドウに向くようにサイド送風口を調整します。

▶ ウインドウが曇り続ける場合は、" フロントウインドウの曇り取り " 機能を作動させます（▷179 ページ）。

ℹ この設定は、フロントウインドウの曇りが取れるまでのみ選択してください。

フロントウインドウの外側が曇るとき

▶ クライメートコントロール（前席左右独立調整）：ディスプレイに [icon] または [icon] マークが表示されるまで、送風配分調整スイッチ ⑩ を上または下に押します（▷171 ページ）。

▶ クライメートコントロール（後席独立調整）：ディスプレイに [icon] または [icon] マークが表示されるまで、送風配分調整スイッチ ⑬ を上または下に押します（▷173 ページ）。

▶ サイドウインドウに送風が向かないようにサイド送風口を調整します。

リアデフォッガー

全体的な注意事項

リアデフォッガーは大きな電力を消費します。そのため、ウインドウの曇りが取れたら、すぐに停止してください。リアデフォッガーは、数分後に自動的に停止します。

バッテリーの電圧が低すぎる場合は、リアデフォッガーが停止することがあります。

作動 / 停止

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷190 ページ）。

▶ [REAR] スイッチを押します。

[REAR] スイッチの表示灯が点灯または消灯します。

リアデフォッガーのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
リアデフォッガーが短時間で停止したり、または作動させることができない。	バッテリーが十分に充電されていない。 ▶ 読書灯、ルームライト、シートヒーターなど、必要のない電気装備を停止してください。 バッテリーが十分に充電されたときは、リアデフォッガーを再度作動させることができます。

内気循環モードの作動 / 停止

全体的な注意事項

不快な臭いが外から車両に入ってくる場合は、車外からの空気の送風を解除することができます。そして、すでに車内にある空気が循環されます。

内気循環モードを作動させた場合は、特に温度が低いときにウインドウがより早く曇ることがあります。ウインドウの曇りを防ぐため、短時間のみ内気循環モードを使用してください。

内気循環モードの操作は、すべてのコントロールパネルで共通です。

作動 / 停止

▶ イグニッション位置を **2** にします (▷190 ページ)。

▶ **作動させる**：スイッチを押します。

スイッチの表示灯が点灯します。

ⓘ クライメートコントロール（前席左右独立調整）：高い外気温度では内気循環モードが自動的に作動します。

クライメートコントロール（後席独立調整）：空気の汚れがひどい状態、または高い外気温度では内気循環モードが自動的に作動します。

内気循環モードが自動的に作動したときは、スイッチの表示灯は点灯しません。約 30 分後に外気が導入されます。

▶ **停止する**：再度、スイッチを押します。

スイッチの表示灯が消灯します。

ⓘ 以下のときは、内気循環モードが自動的に解除されます。

- 外気温度が約 5℃以下のときは約 5 分後
- AC モードが解除されている場合は約 5 分後
- AC モードが作動している場合で、約 5℃以上の外気温度では約 30 分後

内気循環スイッチを使用してのコンビニエンスオープニング / クロージング

⚠ **警告**

コンビニエンスクロージング機能が作動しているときは、身体の一部がサイドウインドウおよびスライディングルーフの閉じる範囲に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

コンビニエンスクロージング機能が作動しているときは、最後まで閉じる動作に注意してください。閉じている間は、閉じる範囲に身体を近づけないようにしてください。

⚠ **警告**

コンビニエンスオープニングが作動しているときは、サイドウインドウとウインドウフレームの間に身体の一部が巻き込まれたり、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

開いている間は、サイドウインドウに触れないようにしてください。挟まれた場合は、ドアにあるサイドウインドウ開閉用の スイッチを操作してください。サイドウインドウが停止します。サイドウインドウを閉じるには、 スイッチを引いてください。

▶ **コンビニエンスクロージング機能**：サイドウインドウとスライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが閉じるまで スイッチを押して保持します。

スイッチの表示灯が点灯します。内気循環モードが作動します。

コンビニエンスクロージング機能が作動している間に、身体の一部が閉じる範囲に入った場合は、以下の手順を行なってください：

▶ **サイドウインドウを停止する：**サイドウインドウ開閉用の スイッチを操作します。

サイドウインドウが停止します。

▶ その後に、サイドウインドウを開くためには、 スイッチを再度押します。

▶ **スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフを停止する：**スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフ開閉用の スイッチを操作します。

スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが停止します。

▶ その後に、スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフを開くためには、 スイッチを後方に引きます。

ℹ 自動リバース機能に関する注意事項は以下をご覧ください：

- サイドウインドウ（▷121 ページ）
- スライディングルーフ（▷126 ページ）
- パノラミックスライディングルーフ（▷126 ページ）

▶ **コンビニエンスオープニング機能：**サイドウインドウとスライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが開くまで スイッチを押して保持します。サイドウインドウとスライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフが、元の位置まで動いて戻ります。

スイッチの表示灯が消灯します。

内気循環モードが解除されます。

ℹ コンビニエンスクロージング機能で閉じた後に、サイドウインドウまたはスライディンググルーフ / パノラミックスライディンググルーフを手動で開いた場合、コンビニエンスオープニング機能を使用して開いたときはその位置のままになります。

余熱ヒーター機能の作動 / 停止

全体的な注意事項

余熱ヒーター機能は、クライメートコントロール（後席独立調整）のみに装備されています。

エンジンを停止した後に約 30 分間、エンジンの余熱を利用して停止した車両を暖め続けることができます。暖房時間は、車内で設定された温度によります。

作動 / 停止

▶ イグニッション位置を **0** にするか、またはエンジンスイッチからキーを抜きます（▷190 ページ）。

▶ **作動させる**：REST スイッチを押します。

REST スイッチの表示灯が点灯します。

ℹ 余熱ヒーター機能が作動している場合は、ウインドウの内側が曇ることがあります。

ℹ 設定された送風量に関係なく、一定の少ない送風量に保たれます。

ℹ 外気温度が高いときに余熱ヒーター機能を作動させると、換気のみが行なわれます。このときは、中程度の送風量になります。

▶ **停止する**：REST スイッチを押します。

REST スイッチの表示灯が消灯します。

余熱ヒーター機能は、以下のときに自動的に停止します。

- 約 30 分後
- イグニッションをオンにしたとき
- バッテリーの電圧が低下したとき

送風口の調整

重要な安全上の注意事項

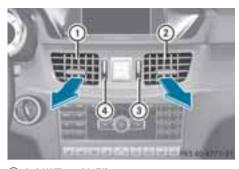
⚠ **警告**

送風口から熱風や冷風が吹き出されることがあります。そのため、送風口に身体を近づけたままにしていると、火傷やしもやけなどを起こすおそれがあります。けがの危険性があります。

すべての乗員が送風口と十分な距離を確保していることを確認してください。必要に応じて、送風の向きを車内の他のエリアに変えます。

送風口から外気を直接車内に取り入れるため、以下の注意事項を守ってください。

- フロントウインドウとボンネットの間にある吸気口に氷、雪または葉などの妨害物がないようにしてください。
- 送風口や車内の吸排気口をふさがないように注意してください。

中央送風口の調整

① 中央送風口（左側）
② 中央送風口（右側）
③ 中央送風口ダイヤル（右側）
④ 中央送風口ダイヤル（左側）

▶ **開閉する：**ダイヤル ③ および ④ を上または下にまわします。

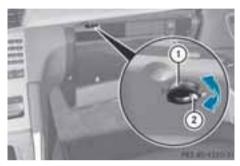
サイド送風口の調整

① 曇り取り送風口
② サイド送風口
③ サイド送風口ダイヤル

▶ **開閉する：**ダイヤル ③ を上または下にまわします。

グローブボックス送風口の調整

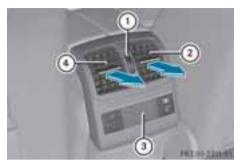
! 暖房中は、グローブボックスの送風口を閉じてください。

外気温度が高いときは、グローブボックス内の送風口を開いて、エアコンディショナーを AC モードに設定してください。グローブボックス内の熱の影響を受けやすい収納物が損傷するおそれがあります。

① 送風口ダイヤル
② 送風口

オートエアコンディショナーが作動しているときは、収納物を冷やすためなどにグローブボックス内に送風することができます。送風量はエアコンディショナーの設定に連動します。

▶ **開閉する：**ダイヤル ① を時計回り、または反時計回りにまわします。

リア送風口の調整

リア中央送風口を調整する

① リア中央送風口ダイヤル
② リア中央送風口（右）
③ リアコントロールパネル、クライメートコントロール（後席独立調整）装備車両のみ
④ リア中央送風口（左）

▶ **開閉する**：ダイヤル ① を上または下にまわします。

リアサイド送風口を調整する

① リアサイド送風口
② リアサイド送風口開閉ダイヤル

▶ **開閉する**：ダイヤル ② を左または右にまわします。

役に立つ情報…………………………… 188
慣らし運転の注意事項……………… 188
走行…………………………………… 189
オートマチックトランスミッション 200
給油…………………………………… 210
駐車…………………………………… 215
運転のヒント………………………… 218
走行システム………………………… 223

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください(▷28 ページ)。

慣らし運転の注意事項

重要な安全上の注意事項

交換された新しいブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ効果を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少したブレーキ効果を補ってください。

最初の約 1,500 km まで

最初に十分な注意を払ってエンジンを取り扱った場合は、その後、将来にわたって安定した性能を維持することができます。

- 最初の約 1,500 km までは、速度とエンジン回転数を変えて走行してください。
- アクセルをいっぱいに踏み込むなど、エンジンに大きな負担のかかる運転は避けてください。
- エンジン回転数がタコメーターのレッドゾーン(許容限度)の 2/3 を超えないように、適切にギアシフト操作しながら運転してください。
- エンジンブレーキを効かせるためにマニュアルギアシフトでギアをシフトダウンしないでください。
- 踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏み込む(キックダウン)ことはできるだけ避けてください。

約 1,500 km 後は、最大負荷およびエンジン回転数まで車両を徐々に加速することができます。

AMG 車両の慣らし運転に関する注意事項

- 最初の約 1,500 km までは、約 140 km/h 以上の速度で走行しないでください。
- エンジン回転数が約 4,500 rpm を超える状態は短時間にしてください。

ℹ エンジンや駆動系部品の交換を行なったときも、上記の注意事項を守って慣らし運転を行なってください。

セルフロッキング式リアディファレンシャルロック装備車両

セルフロッキング式のディファレンシャルがリアアクスルに装備されている車両では、リアアクスルディファレンシャルの保護を向上させるために、3000 km の慣らし運転期間後にオイルを交換してください。このオイル交換により、ディファレンシャルの整備寿命が延びます。その後のオイル交換時期については、別冊の整備手帳をご覧ください。オイル交換は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

走行

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

運転席の足元の荷物は、ペダルの動きを妨げたり、または踏まれたペダルを抑えてしまうことがあります。車両の操作および走行安全性をおびやかします。

事故の危険性があります。運転席の足元に入り込まないように、すべてのものを車内に確実にしっかりと収納してください。ペダル周囲に常に十分な空間があることを確認するために、フロアマットは操作の妨げにならないように、ペダルから十分に離してしっかりと装着してください。緩んだフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

⚠ **警告**

以下のような適していない履物は、ペダルの正しい作動を妨げることがあります。

- 薄いソールの靴
- 高いヒールの靴
- スリッパ

事故の危険性があります。適した履物を着用し、ペダルの正しい作動を確保してください。

⚠ **警告**

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できないか、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

⚠ **警告**

走行時にパーキングブレーキが完全に解除されていない場合は、パーキングブレーキは以下のようになることがあります。

- オーバーヒートおよび火災の原因
- 車両にブレーキを効かせられなくなる

火災と事故の危険性があります。発進する前に、パーキングブレーキを完全に解除してください。

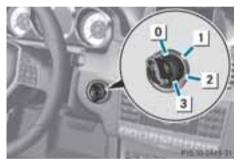
! エンジンが暖まっていないときは、必要以上にエンジン回転数を上げないでください。

シフト操作は、完全に停車して行なってください。滑りやすい路面で発進するときは、駆動輪を空転させないように穏やかにアクセルペダルを操作してください。駆動系部品が損傷するおそれがあります。

! AMG 車両：エンジンオイル温度が約+20℃以下のときなどエンジンが暖まっていない場合は、エンジン保護のためにエンジン回転数が制限されることがあります。エンジンを保護し、スムーズに作動させるため、エンジンが冷えているときはアクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。

HYBRID 車両：別冊の "HYBRID" 補足版をお読みください。危険を認識できないことがあります。

キーの位置

キーでのイグニッション位置

0 イグニッション位置 **0**：キーを抜く

1 イグニッション位置 **1**：エンジン停止時にワイパーなどの電気装備が使用できる位置

2 イグニッション位置 **2**：イグニッション（すべての電気装備への電源供給）および運転するときの位置

3 イグニッション位置 **3**：エンジンを始動する

i キーがその車両のものでなくても、エンジンスイッチに差し込んで回すことはできます。しかし、イグニッションはオンになりません。エンジンの始動はできません。

キーレスゴー

全体的な注意事項

- キーは、以下のものと一緒に持ち運ばないでください。
  - 携帯電話や他のリモコンキーなどの電子機器
  - 硬貨や金属フィルムなどの金属類
- キーレスゴーキーを金属ケースなどのような金属製の中に保管しないでください。

  キーレスゴーの機能に障害が生じるおそれがあります。

キーレスゴー装備車両には、キーレスゴー機能が内蔵されたキーと脱着可能なキーレスゴースイッチが装備されています。

キーレスゴーで操作を行なうには、車室内にキーがあり、エンジンスイッチにキーレスゴースイッチを差し込む必要があります。

キーレスゴースイッチを押すたびに、イグニッション位置が切り替わります。これは、ブレーキペダルを踏んでいない場合のみです。

ブレーキペダルを踏んだ状態でキーレスゴースイッチを押すと、ただちにエンジンが始動します。

キーレスゴーでのイグニッションの位置

▶ イグニッション位置 **0**：キーレスゴースイッチ ① がまだ押されていない場合は、エンジンスイッチからキーが抜かれていることに相当します。

▶ イグニッション位置 **1**：キーレスゴースイッチ ① を押します。

電源供給がオンになります。これでワイパーなどの電気装備を作動させることができます。

▶ イグニッション位置 **2**：キーレスゴースイッチ ① を 2 度押します。

ⓘ 次の場合は、イグニッションがオフになります：

- 運転席ドアを開く
- イグニッション位置が **2** のときにキーレスゴースイッチ ① を 1 回押す。

キーレスゴースイッチの取り外し

▶ エンジンスイッチ ② からキーレスゴースイッチ ① を取り外します。

ⓘ キーレスゴースイッチ ① をエンジンスイッチ ② に差し込んだときは、システムの認識のために約 2 秒間を必要とします。その後、キーレスゴースイッチ ① を使用することができます。

キーレスゴースイッチを取り外し、エンジンスイッチにキーを差し込んでまわすことにより、通常の方法でエンジンを始動することができます。

ⓘ キーレスゴースイッチは、車から離れるときでもエンジンスイッチから取り外す必要はありません。

エンジンの始動

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

子供だけを残して車から離れないでください。

- ドアを開くことによって、他の人々や道路利用者を危険にさらすおそれがあります。
- 車両から降りて、通過する車にぶつかるおそれがあります。
- 車両の装備品を操作してしまうおそれがあります。

さらに以下のような場合に、子供が車両を動かしてしまうおそれもあります。

- パーキングブレーキを解除する。
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする。
- エンジンを始動する。

事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは必ず子供の手の届かないところに保管してください。

⚠ **警告**

内燃エンジンは、一酸化炭素のような有毒な排気ガスを排出します。これらの排気ガスを吸い込むと中毒につながります。致命的なけがの危険性があります。そのため、十分な換気がない閉じた空間でエンジンを作動させたままにしないでください。

⚠ **警告**

熱くなっているエンジンの部品または排気システムに可燃物が接触すると、発火するおそれがあります。火災のおそれがあります。

定期的な点検を行ない、エンジンルーム、または排気システムに可燃性の異物がないことを確認してください。

! エンジンを始動するときは、アクセルペダルを踏まないでください。

全体的な注意事項

ⓘ **ガソリンエンジン車両：**冷間始動後は最大 30 秒触媒コンバーターが予熱されます。この間、エンジンの音が変わることがあります。

オートマチックトランスミッション

▶ シフトポジションを **P** にしてください。マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に **P** が表示されます。

ⓘ シフトポジション **N** のときも、エンジンを始動することができます。

キーによるエンジンの始動

ⓘ キーレスゴー操作でなく、キーを使用してエンジンを始動するためには、エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。

▶ **ガソリンエンジンを始動する：**エンジンスイッチに差したキーを **3** の位置 （▷190 ージ）までまわし、エンジンが始動したらすぐに放します。

▶ **ディーゼルエンジンを始動する：**エンジンスイッチのキーを**2**の位置（▷190 ページ）にまわします。

メーターパネルの余熱表示灯 [00] が点灯します。

▶ 余熱表示灯 [00] が消灯したら、キーを**3**の位置（▷190 ページ）までまわし、エンジンが始動したらすぐに放します。

ⓘ エンジンが暖まっているときは、余熱操作をせずにエンジンを始動できます。

キーレスゴーによるエンジンの始動

ⓘ エンジンスイッチにキーを差し込まずに、キーレスゴースイッチを使用してエンジンを始動することができます。車内にキーがあり、キーレスゴースイッチがエンジンスイッチに差し込まれていなければなりません。このエンジン始動は、ECO スタートストップによる自動エンジンスタート機能とは異なるものです。

▶ ブレーキペダルを踏み、踏んだままにします。

▶ **ガソリンエンジンを始動する：**キーレスゴースイッチを 1 度押します（▷191 ページ）。

エンジンが始動します。

▶ **ディーゼルエンジンを始動する：**キーレスゴースイッチを 1 度押します（▷191 ページ）。

余熱が行なわれ、エンジンが始動します。

発進

オートマチックトランスミッション

⚠ **警告**

エンジン回転数がアイドリング回転数以上のときに、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両が突然発進することがあります。事故の危険性があります。

トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時にアクセルペダルを踏まないでください。

▶ ブレーキペダルを踏んでそのまま保持します。

▶ トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れます。

▶ パーキングブレーキを解除します（▷217 ページ）。

▶ ブレーキペダルを放します。

▶ 注意しながらアクセルペダルを踏みます。

ⓘ ブレーキペダルを踏んでいるときのみに、トランスミッションをポジション **P** から希望のポジションにシフトすることができます。その後にのみ、パーキングロックが解除されます。ブレーキペダルが踏まれていない場合も、DIRECT SELECT レバーを動かすことはできますが、シフトポジションは変わりません。

ⓘ 発進すると、車速感応ドアロックにより自動的に車両が施錠されます。ドアのロックノブが下がります。

ドアは車内からいつでもロックを解除して開くことができます。また、車速感応ドアロックを解除することもできます（▷111 ページ）。

ℹ エンジンが冷えているときは、より高いエンジン回転数でシフトアップが行なわれます。これにより、排気ガスを浄化する触媒がより早く適正な作動温度に達します。

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、坂道発進時に車が後退または前進するのを防ぎ、運転者の発進操作を補助します。ブレーキペダルから足を放しても、ヒルスタートアシストが車を停止したまま保持します。そのため、車が動き出す前に、ブレーキペダルからアクセルペダルへ余裕を持って踏みかえることができます。

⚠ **警告**

しばらくすると、ヒルスタートアシストは車両にブレーキを効かせなくなり、動き出すおそれがあります。事故やけがの危険性があります。

そのため、すばやくブレーキペダルからアクセルペダルに足を動かしてください。ヒルスタートアシストで車両が停止しているときは、絶対に車から離れないでください。

▶ ブレーキペダルから足を放します。

車両はその後、約 1 秒間停止します。

▶ 発進します。

ヒルスタートアシストは以下のような状況では作動しません。

- 傾斜していない路面や下り坂で発進するとき
- トランスミッションがポジション **N** のとき
- パーキングブレーキが効いているとき
- ESP® が故障しているとき

ECO スタートストップ機能

概要

特定の条件下で車両が停止した場合は、ECO スタートストップ機能が自動的にエンジンを停止します。

再び発進するときに、自動的にエンジンが始動します。その結果、ECO スタートストップ機能は、燃料消費と排出ガスを低減させます。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

エンジンが自動的に停止したときに車両から出ると、エンジンは自動的に再始動します。車両が動き始めることがあります。事故やけがの危険性があります。

車両から出たい場合は、必ずイグニッションをオフにし、動き出さないように車両を固定してください。

全体的な注意事項

① ECO スタートストップ機能表示

ℹ **ハイブリッド車両：**"HYBRID" 補足版の ECO スタートストップ機能の注意事項に従ってください。

マルチファンクションディスプレイに ECO マークが緑色で表示されている場合は、車両が停止したときに ECO スタートストップ機能がエンジンを自動的に停止します。

キーまたはキーレスゴースイッチを使用してエンジンを始動させるたびに、ECO スタートストップ機能が設定されます。

ECO スタートストップ機能が手動で解除された（▷196 ページ）、または故障が原因でシステムが解除された場合は、ECO マークは表示されません。

AMG 車両： マルチファンクションディスプレイの AMG メニューにある、Stop/Start active または Stop/Start inactive のメッセージが消えます。

AMG 車両： ECO スタートストップ機能は走行モード **C** でのみ使用できます。詳細は、自動エンジン停止および自動エンジン始動をご覧ください。

エンジン自動停止

全体的な注意事項

以下の場合は、ECO スタートストップ機能が作動可能で、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが緑色で表示されます。

- ECO スイッチの表示灯が緑色に点灯している
- 外気温度が快適な範囲内である
- エンジンが正常な作動温度である
- 車内の設定温度に到達している
- バッテリーが十分に充電されている
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウインドウが曇っていないことをシステムが検知している
- ボンネットが閉じている
- 運転席のドアが閉じていて、運転席シートベルトが着用されている

自動エンジン停止のすべての条件が満たされていない場合は、ECO マークが黄色で表示されます。

AMG 車両： マルチファンクションディスプレイの AMG メニューには、Stop/Start inactive のメッセージが追加で表示されます。

ⓘ エンジンが自動的に停止しているときも、車両のシステムはすべて作動したままです。

ⓘ **すべての車両（AMG 車両を除く）：** 自動エンジン停止は最大で 4 回連続して行なわれます（最初の停止と、それに続く 3 回の停止）。エンジンが自動的に 4 回始動した後は、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが黄色で表示されます。マルチファンクションディスプレイに ECO マークが緑色で表示されると、自動エンジン停止は再度作動可能になります。

ⓘ **AMG 車両：** 連続した自動エンジン停止の回数には制限がありません。

シフトポジション **D** または **N** で停止するまで車両にブレーキを効かせた場合は、ECO スタートストップ機能が自動的にエンジンを停止します。

ⓘ エンジンが自動停止した場合は、ホールド機能が作動することがあります。その場合は、自動停止状態の間はブレーキを効かせ続ける必要はありません。アクセルペダルを踏んだときはエンジンが自動的に始動し、ホールド機能のブレーキ作用は解除されます。

自動エンジン始動

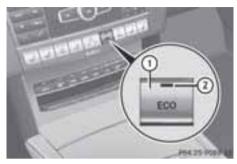
全体的な注意事項

エンジンは以下のとき自動的に始動します。

- ECO スイッチを押して、ECO スタートストップ機能を解除した
- リバースギア **R** に入れた
- 走行モード **S**、**S+** または **M** に切り替えた。（AMG 車両）
- 車両が動き出した
- ブレーキシステムが要求した
- 車内の温度が設定範囲から外れた
- エアコンディショナーシステムが作動しているときに、フロントウインドウの曇りをシステムが検知した
- バッテリーの充電状態が低すぎる
- 運転席の乗員がシートベルトを外したか、あるいは運転席ドアを開いた
- ホールド機能が作動していなく、トランスミッションが **D** または **N** のときに、ブレーキペダルを放した
- アクセルペダルを踏んだ
- トランスミッションをポジション **P** から動かした

ⓘ トランスミッションを **P** にシフトしても、エンジンは始動しません。

ⓘ トランスミッションを **R** から **D** へシフトすると、ECO スタートストップ機能は再び使用可能になり、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが緑色で表示されます。

ECO スタートストップ機能の設定 / 解除を切り替える

ECO スイッチ

▶ **解除する（AMG 車両を除く）：** スイッチ ① を押します。

表示灯 ② と、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが消えます。

▶ **設定する（AMG 車両を除く）：** スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。自動エンジン停止のすべての条件が満たされている場合は、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが緑色で表示されます。自動エンジン停止のすべての条件が満たされていない場合は、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが黄色で表示されます。この場合は、ECO スタートストップ機能は作動しません。

▶ **解除する（AMG 車両）：** 走行モード **C** のときにスイッチ ① を押します。

または

▶ 走行モードを **S**、**S+**、または **M** にします （▷204 ページ）。

表示灯 ② と、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが消えます。

マルチファンクションディスプレイのAMG メニューの Stop/Start active または Stop/Start inactive というメッセージが消えます。

▶ **設定する（AMG 車両）：**スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。

走行モード **S**、**S+** または **M** が選択されている場合は、走行モード **C** に切り替わります。

自動エンジン停止のすべての条件が満たされている場合は、マルチファンクションディスプレイの ECO マークが緑色で表示されます。さらに、マルチファンクションディスプレイの AMG メニューに Stop/Start active というメッセージが表示されます。

自動エンジン停止のすべての条件が満たされていない場合は、ECO マークが黄色で表示されます。この場合は、ECO スタートストップ機能は作動しません。さらに、マルチファンクションディスプレイの AMG メニューに Stop/Start inactive というメッセージが表示されます。

ℹ 表示灯 ② が消えている場合は、ECO スタートストップ機能は手動または故障により解除されています。車両が停止したときにエンジンが自動的に停止しません。

エンジンのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンが始動しない。	ホールド機能またはディストロニック・プラスが作動している。 ▶ ホールド機能（▷243 ページ）またはディストロニック・プラス（▷230 ページ）が作動している。 ▶ 再度、始動操作を行なってください。
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がする。	• エンジンの電子制御部品に異常がある。 • 燃料供給に異常がある。 ▶ エンジンを再始動する前に、イグニッション位置を **0** にします。 ▶ 再度、エンジンの始動を試みてください（▷192 ページ）。バッテリーが放電するため、極端に長く、頻繁なエンジン始動の試みは避けてください。 何度始動を試みても、エンジンが始動しないとき ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がする。燃料残量警告灯が点灯していて、燃料計の指針が **0** を示している。	燃料タンクが空になっている。 ▶ 燃料を給油してください。
エンジンが始動しない。スターターモーターの音がしない。	バッテリーが放電しているか充電されていないため、バッテリーの電圧が低くなっている。 ▶ ジャンプスタートを行なってください（▷431 ページ）。 ジャンプスタートを試みても、エンジンが始動しないとき ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	過度の負荷によりスターターモーターが過熱している。 ▶ スターターモーターが冷えるまで約 2 分間待ってください。 ▶ 再度、始動操作を行なってください。 エンジンが始動しないとき ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。
ガソリンエンジン車両：エンジンの回転が滑らかでなく、ミスファイアも起きている。	エンジンの電子制御部品またはエンジン制御システムの機械部品に異常がある。 ▶ アクセルペダルを踏みすぎないでください。触媒を損傷するおそれがあります。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
冷却水温度表示が約 120℃以上を示している。冷却水警告灯も点灯し、警告音が鳴ることがある。	リザーブタンクの冷却水量がかなり不足している。 冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。 ▶ すみやかに安全な場所に停車し、エンジンと冷却水を冷やしてください。 ▶ 冷却水量を点検します（▷402 ページ）。必要であれば、冷却水補給時の注意事項を読んでから、冷却水を補給してください。
	冷却水量が正常なときは、ラジエターの冷却ファンが故障している可能性がある。 冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。 ▶ 冷却水温度が約 120℃以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。 ▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。

オートマチックトランスミッション

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

エンジン回転数がアイドリング回転数以上のときに、トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れると、車両が突然発進することがあります。事故の危険性があります。トランスミッションをポジション **D** または **R** に入れるときは、常にブレーキペダルをしっかりと踏み、同時にアクセルペダルを踏まないでください。

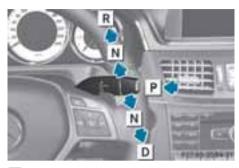
⚠ 警告

シフトポジションが **D** か **R** のときにエンジンを停止にすると、ニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンを停止にした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

HYBRID 車両："HYBRID" 補足版をお読みください。危険を認識できないことがあります。

DIRECT SELECT レバー

シフトポジションの概要

P パーキングロック付きパーキングポジション

R リバースギア

N ニュートラル

D ドライブ

DIRECT SELECT レバーは、ステアリングの右側にあります。

ℹ DIRECT SELECT レバーは常に元の位置に戻ります。現在のシフトポジション **P**、**R**、**N** または **D** がマルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示に表示されます。

シフトポジションと走行モード表示

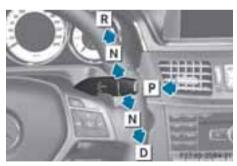
! マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示が作動していない場合は、希望のシフトポジションに入っているかどうかを点検するために慎重に発進してください。理想的には、シフトポジション **D**、および走行モード **E** または **S** を選択してください。

① シフトポジション表示
② 走行モード表示

現在のシフトポジションと走行モードがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ℹ シフトポジション表示の矢印は、DIRECT SELECT レバーで選択できるシフトポジションとその方向を示しています。

パーキングポジション P の選択

❗ エンジン回転数が高すぎるときや走行中は、D から R、R から D、または直接 P にシフトしないでください。オートマチックトランスミッションが損傷する原因になります。

P パーキングロック付きパーキングポジション

R リバースギア

N ニュートラル

D ドライブ

▶ DIRECT SELCT レバーを矢印 P の方向に押します。

ℹ オートマチックトランスミッションは、以下の場合にパーキングポジション P に自動的にシフトします。

- 車両がシフトポジション D または R で停車している間に、運転席ドアを開いた場合
- シフトポジション D または R でごく低速で走行している間に、ドアを開いた場合

ℹ ブレーキペダルを踏むとパーキングロックが解除され、シフトポジションを P から動かすことができます。

パーキングポジションを P から R または D に直接シフトするためには：

- ブレーキペダルを踏み、そして
- DIRECT SELECT レバーを上または下にいっぱいまで操作します。

リバースギア R の選択

❗ 必ず停車してから、シフトポジションを R にしてください。

▶ DIRECT SELECT レバーを上にいっぱいまで操作します。

ニュートラル N の選択

⚠ 警告

子供だけを車内に残した場合、以下のおそれがあります。

- ドアを開くことにより他人や、他の道路使用者を危険にさらす
- 車両から出て他の走行車両にぶつかる
- 車両の装備を操作するなどして、挟まれる

また、以下のような操作を行ない、車両を動かす場合もあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

事故やけがの危険性があります。

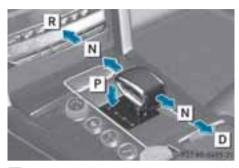
車両から離れるときは、常にキーを携帯して車両を施錠してください。付き添いのない状態で子供や動物を車内に残さないでください。キーは子供の手の届かないところに保管してください。

▶ DIRECT SELECT レバーを上または下に軽く操作します。

ドライブポジション D の選択

▶ DIRECT SELECT レバーを下にいっぱいまで操作します。

セレクターレバー（AMG 車両）

シフトポジションの概要

P パーキングロック付きパーキングポジション

R リバースギア

N ニュートラル

D ドライブ

シフトポジションと走行モード表示

! マルチファンクションディスプレイのシフトポジション表示が作動していない場合は、希望のシフトポジションに入っているかどうかを確認するために慎重に発進してください。このために、シフトポジション **D**、および走行モード **C** または **S** を選択してください。

例：シフトポジション表示および走行モード表示
① シフトポジション表示
② 走行モード表示

現在のシフトポジションと走行モードがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

シフトポジション

P	**パーキング** 停止中に車両が動き出すのを防止します。車両が停止していない場合は、トランスミッションを **P** にシフトしないでください。 オートマチックトランスミッションは、以下のときに自動的に **P** にシフトします。 • キーを抜いた • **R** または **D** のときにエンジンを停止し、フロントドアを開いた
R	**リバース** 車両が停止しているときにのみ、トランスミッションを **R** にシフトしてください。
N	**ニュートラル** 走行中は、トランスミッションを **N** にシフトしないでください。オートマチックトランスミッションを損傷するおそれがあります。 ブレーキを解除することにより、押したりけん引してもらうことで車両を自由に移動できます。 ESP® が故障しているときや解除している場合、凍結路などで横滑りしていて危険なときにのみ、トランスミッションを **N** にシフトしてください。 トランスミッションが **R** または **D** のときにキーまたはキーレスゴースイッチでエンジンを停止した場合は、オートマチックトランスミッションは自動的に **N** にシフトします。 ! **N** に入れたまま走行すると、駆動系部品が損傷する原因になります。
D	**ドライブ** オートマチックトランスミッションは自動的に変速します。すべての前進のギアを使用できます。

ギア変速

オートマチックトランスミッションは、シフトポジションが D のときに自動的に変速を行ないます。ギアシフトは以下によって決定されます。

- 選択されている走行モード
- アクセルペダルの踏み込み量
- 走行速度

運転のヒント

アクセルペダルの位置

アクセルペダルの踏み加減に応じて、ギアが変速するタイミングが変化します。
- 軽く踏んだとき：シフトアップするタイミングが早くなります。
- 深く踏み込んだとき：シフトアップするタイミングが遅くなります。

AMG 車両

シフトダウン時は、現在の走行モードに関わらず、ダブルクラッチ機能が作動します。ダブルクラッチ機能により、負荷変動に関わらず優れたレスポンスを提供し、スポーティな走行性能を実現します。ダブルクラッチ機能の作動時に発生するノイズは、選択した走行モードにより異なります。

キックダウン

キックダウンは、急な加速が必要な場合に行ないます。

▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込みます。

エンジン回転数に応じて、自動的に低速ギアに切り替わります。

▶ 希望の速度に達したら、アクセルペダルを戻します。

オートマチックトランスミッションが元のギアにシフトアップします。

走行モード

全体的な注意事項

車種や仕様により、装備されている走行モード選択スイッチが異なります。

▶ 希望の走行モードの文字がマルチファンクションディスプレイに表示されるまで、走行モード選択スイッチ ① を繰り返し押します。

▶ 希望の走行モードの文字がマルチファンクションディスプレイに表示されるまで、走行モードスイッチ ① を繰り返し押します。

走行モード選択スイッチで、好みの走行特性に切り替えることができます。

ℹ 恒常的な走行モード **M** については(▷208 ページ）をご覧ください。

この恒常的な走行モード **M** と同様に、一時的な走行モード **M**（▷206 ページ）も作動させることができます。

E エコノミー	快適性と経済性を重視した走行モード
S スポーツ	スポーティな走行に適したモード
M マニュアル	マニュアルギアシフト

ℹ オートマチック走行モードについての詳しい情報は、（▷206 ページ）をご覧ください。

ℹ エンジン始動時には常に走行モード **E** に設定されます。

AMG 車両

AMG 車両の走行モード選択ダイヤル

▶ 走行モード選択ダイヤル ① をまわして、マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードを表示させます。

走行モード選択ダイヤル ① の走行モード表示灯が赤色に点灯します。

ℹ 恒常的な走行モード **M** については(▷208 ページ）をご覧ください。

この恒常的な走行モード **M** と同様に、一時的な走行モード **M**（▷206 ページ）も作動させることができます。

C 効率的な制御	快適性と経済性を重視した走行モード
S スポーツ	スポーティな走行に適したモード
S +スポーツプラス	S モードよりも、さらにスポーティな走行モード
M マニュアル	マニュアルギアシフト
RS レーススタート	停車状態からの最適な加速での発進

ℹ オートマチック走行モードについての詳しい情報は、（▷206 ページ）をご覧ください。

ℹ エンジン始動時には常に走行モード **C** に設定されます。

ℹ 通常の走行の間は、**RS** は選択できません。レーススタートに関するさらなる情報は（▷244 ページ）をご覧ください。

ステアリングのギアシフトパドル

マニュアル走行モードでは、パドルシフト ① および ② を使用して手動でギアを変更することができます。恒常的な走行モード **M** に関する詳細な情報は（▷208 ページ）をご覧ください。

一時的な走行モード **M** の作動に関する詳細は（▷206 ページ）をご覧ください。

ℹ シフトポジションが **D** のときのみ、パドルシフトによるギアシフトが可能となります。

オートマチック走行モード

オートマチック走行モード E および S

E モード（AMG 車両では **C**）を選択すると、以下の特性になります。

- 快適性に適応したエンジン設定になります。
- オートマチックトランスミッションのシフトアップが早めに行なわれるため、燃費の向上に貢献します。
- アクセルペダルをいっぱいまで踏み込まないときは、前進 / 後退ギアでの車両の発進がより穏やかになります。
- 滑りやすい路面などでの走行安全性が向上します。
- オートマチックトランスミッションがより早めにシフトアップします。その結果、車両は低いエンジン回転数で走行し、車輪の空転の可能性が減ります。

走行モード **S**（または､AMG 車両の場合、走行モード **S** および **S+**）を選択すると、以下の特性になります。

- スポーティなエンジンとオートマチックトランスミッションの設定になります。
- 車両は 1 速で発進します。
- オートマチックトランスミッションがより遅めにシフトアップします。
- オートマチックトランスミッションのシフトポイントがより遅めになる結果、燃料消費が増加する可能性があります。

マニュアル走行モード M

全体的な注意事項

この走行モードでは、ステアリングのギアシフトパドルを使用して、一時的に自分自身でギアを変えることができます。トランスミッションがポジション **D** でなければなりません。

オートマチック走行モード **E** および **S** のときに、マニュアル走行モード **M** を選択することができます。

ℹ 一時的な走行モード **M** と同様に、恒常的な走行モード **M**（▷208 ページ）も選択することができます。

設定する

▶ トランスミッションをポジション D にシフトします。

▶ 左または右のステアリングのギアシフトパドルを引きます（▷206 ページ）。

マニュアル走行モード M が一時的に作動します。選択されているギアおよび M がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

ⓘ **AMG 車両：**マニュアル走行モード M が一時的に作動しているときは、マルチファンクションディスプレイの走行モード表示に M は表示されません。

ギアのシフト

左または右のステアリングのギアシフトパドルを引くと、オートマチックトランスミッションは限られた時間だけマニュアル走行モード M に切り替わります。許容される場合は、どちらのギアシフトパドルを引くかによって、オートマチックトランスミッションがただちに次のギアにシフトダウン、またはシフトアップします。

▶ **シフトアップする：**ステアリング右側のギアシフトパドルを引きます（▷206 ページ）。

1 段高いギアにシフトします。

ⓘ 現在入っているギアでの最大エンジン回転数に到達し、加速し続けた場合は、エンジンの損傷を防ぐためにオートマチックトランスミッションは自動的にシフトアップします。

▶ **シフトダウンする：**ステアリング左側のギアシフトパドルを引きます（▷206 ページ）。

1 段低いギアにシフトします。

ⓘ シフトダウンしたときにエンジンの許容回転数を超えそうな場合は、エンジンの損傷を防ぐため、シフトダウンが行なわれません。

ⓘ 惰性走行時は自動的にシフトダウンが行なわれます。

推奨ギアシフト表示

経済的な運転スタイルをとることができるように、推奨ギアシフト表示は運転者を支援します。推奨ギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

▶ メーターパネルのマルチファンクションディスプレイに表示されたときは、推奨ギアシフト表示 ① に従って推奨ギア ② にシフトします。

解除する

マニュアル走行モード M は一定時間作動したままになります。横方向の加速度がある場合、惰性走行時の間、または急な山道を走行しているときなど、特定の条件下ではより長い時間作動します。

マニュアル走行モード M が解除された場合は、オートマチックトランスミッションは E または S のような最後に選択されていた走行モードにシフトします。

ご自身でマニュアル走行モード M を解除することもできます。

▶ 右側のステアリングのギアシフトパドルを引いて、その位置で保持します（▷206 ページ）。

または

▶ DIRECT SELECT レバーを使用してシフトポジションを切り替えます。

または

▶ 走行モードを変更します（▷204 ページ）。

マニュアル走行モード **M** が解除されます。**E** または **S** のような最後に選択されていた走行モードに切り替わります。

マニュアル走行モード

全体的な注意事項

この走行モードでは、パドルシフトを使用して、いつでも自分でギアを変えることができます。トランスミッションがポジション **D** でなければなりません。

ℹ この恒常的な走行モード **M** と同様に、一時的な走行モード **M**（▷206 ページ）も作動させることができます。

マニュアルギアシフトの作動

▶ マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、走行モード選択スイッチ（▷204 ページ）を繰り返し押します。

▶ **AMG 車両：**マルチファンクションディスプレイに **M** が表示されるまで、走行モード選択ダイヤル（▷205ページ）をまわします。走行モード選択ダイヤルの赤色の表示灯 **M** が点灯します。

シフトアップ（AMG 車両を除く）

▶ ステアリング右側のギアシフトパドルを引きます。

オートマチックトランスミッションが 1 段上のギアにシフトアップします。

シフトアップ（AMG 車両）

! マニュアルギアシフト **M** では、現在のギアでのエンジン許容回転数に達しても、自動的にシフトアップしません。エンジンの許容回転数に達すると、エンジンの過回転を防ぎエンジンを保護するため、燃料供給が停止します。エンジン回転数が許容回転数を超えて、タコメーターのレッドゾーンに入らないように注意してください。エンジンが損傷するおそれがあります。

① ギア表示
② シフトアップ表示

▶ スピードメーターのマルチファンクションディスプレイの色が赤色に変わり、ディスプレイメッセージ UP が表示された場合は、ギアをシフトアップします。

推奨ギアシフト表示

経済的な運転スタイルをとることができるように、推奨ギアシフト表示は運転者を支援します。推奨ギアがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

▶ メーターパネルのマルチファンクションディスプレイに推奨ギアシフト表示 ① が表示された場合は、ステアリング右側のギアシフトパドル（▷206 ページ）を引きます。オートマチックトランスミッションが推奨ギア ② にシフトします。

ⓘ **AMG 車両：**推奨ギアシフト表示は表示されません。

シフトダウン

▶ ステアリング左側のギアシフトパドルを引きます。

オートマチックトランスミッションが 1 段下のギアにシフトダウンします。

ⓘ 最大限の加速を行なうためには、トランスミッションがそのときの速度に最適なギアを選択するまで、ステアリング左側のギアシフトパドルを引いて保持します。

キックダウン

マニュアルギアシフト **M** では、最大限の加速のためにキックダウンを使用することもできます。

▶ 踏み応えがあるところを越えるまで、アクセルペダルを踏みます。エンジン回転数に応じて、トランスミッションがより低いギアにシフトします。

ⓘ **AMG 車両：**マニュアルギアシフト **M** では、キックダウンを使用することはできません。

マニュアル走行モードの解除

▶ マルチファンクションディスプレイに **E** または **S** が表示されるまで、走行モード選択スイッチ（▷204 ページ）を繰り返し押します。

▶ **AMG 車両：**マルチファンクションディスプレイに **C**、**S** または **S+** が表示されるまで、走行モード選択ダイヤル（▷205 ページ）をまわします。

トランスミッションのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
トランスミッションが正しく変速しない。	トランスミッションオイルが減っている。 ▶ すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でトランスミッションの点検を受けてください。
加速性能が悪化している。 トランスミッションが変速しない。	トランスミッションに異常があり、エマージェンシーモードになっている。 2 速ギアかリバースギアで走行できる場合があります。 ▶ 停車してください。 ▶ シフトポジションを **P** にしてください。 ▶ エンジンを停止します。 ▶ 約 10 秒以上待ってから、エンジンを再始動します。 ▶ トランスミッションをシフトポジション **D** または **R** にします。 シフトポジションを **D** にすると、2 速ギアになります。シフトポジションを **R** にすると、リバースギアになります。 ▶ すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でトランスミッションの点検を受けてください。

給油

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジンを停止してください。

⚠ **警告**

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲ませず、また目や衣服に付着させないでください。気化した燃料を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。

- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。無理に吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

⚠ **警告**

静電気の蓄積により、火花が発生したり、気化した燃料に引火するおそれがあります。火災および爆発の危険性があります。

燃料給油口を開いたり、給油ノズルに触れる前に、必ず車体に触ってください。 蓄積されている可能性がある静電気を放電します。

⚠ **警告**

ディーゼルエンジン装備車両：

ディーゼル燃料とガソリンを混ぜると、引火点は純粋なディーゼル燃料のものよりも低くなります。エンジンがかかっているときに、排気システムの部品が気付かないうちに過熱することがあります。火災の危険性があります。

ガソリンを給油しないでください。ガソリンをディーゼル燃料と混ぜないでください。

! ディーゼルエンジン車両に給油するためにガソリンを使用しないでください。ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグニッションをオンにしないでください。燃料が燃料システムに入ります。少量の誤った燃料でも、燃料システムとエンジンの損傷につながるおそれがあります。修理費用が高くなります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統部品から燃料を完全に抜き取ってください。

! 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料噴射システムを損傷するおそれがあります。

! 給油中に燃料を塗装面にこぼさないよう注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。

! 燃料携行缶から燃料を補給するときは、フィルターを使用してください。燃料携行缶に付着した微粒子によって、燃料供給システムや燃料噴射システムの部品が詰まるおそれがあります。

給油中は車内に戻らないでください。再帯電することがあります。

燃料タンクに補充しすぎると、給油ノズルを取り外すときに燃料が飛散することがあります。

燃料と燃料の品質に関する詳細については（▷484 ページ）をご覧ください。

セルフサービスのガソリンスタンド

給油に関する注意事項に従ってください（▷210 ページ）。セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは必ず以下の点を守り、安全に十分注意して作業を行なってください。

- 給油前に必ずエンジンを停止して、ドアやサイドウインドウなどを閉じてください。
- 燃料給油口フラップを開くときから、一連の給油作業を必ずひとりで行なってください。

  給油作業を行なう人以外は燃料給油口フラップに近づかないでください。
- キャップの開閉は確実に行なってください。火気を近付けないようにしてください。
- 給油ノズルは給油口の奥まで確実に差し込んでください。
- 給油が自動的に停止したら、それ以上は給油しないでください。燃料があふれるおそれがあります。
- 給油の勢いを強くしないでゆっくりと給油してください。燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項に従ってください。

給油

燃料給油口フラップの開閉

重要な安全上の注意事項に注意してください（▷210 ページ）。

キーまたはキーレスゴーを使用して車両を施錠 / 解錠したときは、燃料給油口フラップも自動的に施錠 / 解錠されます。

燃料給油口フラップは車両の右側後方にあります。

燃料給油口の位置 [給油機マーク] はメーターパネルに表示されています。給油ノズルの横の矢印は、燃料給油口の位置を示しています。

燃料給油口フラップを開く

① 燃料給油口フラップを開く
② 燃料給油キャップを差し込む
③ タイヤ空気圧ラベル
④ 使用燃料表示

▶ エンジンを停止します。

▶ エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ **キーレスゴー：**運転席ドアを開きます。

  これはイグニッション位置 **0**（キーを抜き取った状態）に相当します。運転席ドアを再び閉じることができます。

▶ 燃料給油口フラップ ① の矢印の位置を押します。

  燃料給油口フラップが少し開きます。

▶ 燃料給油口フラップを完全に開きます。

▶ キャップを反時計回りにまわして取り外します。

▶ **セダン：**燃料給油口キャップを燃料給油口フラップ②の裏側にあるブラケットに差し込みます。

または

▶ **ステーションワゴン：**燃料給油口キャップを燃料給油口フラップのヒンジアームの凹部に水平に差し込みます。

▶ 給油ノズルを奥まで差し込み、給油を開始します。

▶ 給油ノズルが自動停止した時点で給油を停止してください。

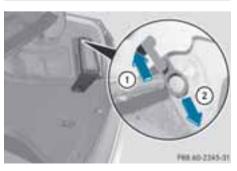
ℹ 給油ノズルの自動停止後は、それ以上補給しないでください。燃料があふれるおそれがあります。

燃料給油口フラップを閉じる

▶ キャップを燃料給油口に合わせ、時計回りにいっぱいまでまわして確実に閉じます。

▶ 音がして固定されるまで燃料給油口フラップを押して閉じます。

ℹ 車両を施錠する前に燃料給油口フラップを閉じてください。セントラルロックシステムのロックピンにより、燃料給油口フラップを閉じることができなくなります。

非常時の燃料給油口フラップの解錠

▶ **セダン：**トランクリッドを開きます。

▶ ラゲッジネットを下げます。

▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。

▶ 救急セット（▷419 ページ）を取り出します。

▶ エマージェンシーリリースをフック①から外します。

▶ エマージェンシーリリースを矢印②の方向に引きます。

燃料給油口フラップが解錠されます。

▶ 燃料給油口フラップを開きます。

▶ **ステーションワゴン：**テールゲートを開きます。

▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。

▶ トリムを引き出します。

▶ エマージェンシーリリース①を矢印の方向に引きます。

燃料給油フラップが解錠されます。

▶ 燃料給油フラップを開きます。

燃料および燃料タンクのトラブル

<table>
<tr><th>トラブル</th><th>考えられる原因および影響 ▶ 解決方法</th></tr>
<tr><td>燃料が漏れている。</td><td>燃料供給システムまたは燃料タンクに問題がある。

⚠ 警告

火災または爆発の危険性があります。
▶ ただちにイグニッション位置を 0 にして、キーを使用している場合はエンジンスイッチからキーを抜いてください。
▶ 状況を問わず、エンジンを始動しないでください。
▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。</td></tr>
<tr><td>エンジンが始動しない。</td><td>ディーゼルエンジン車両：燃料タンクが完全に空になっている。
▶ 少なくとも軽油を 5 ℓ、車両に給油します。
▶ 約 10 秒間イグニッションをオンにします。
▶ スムーズに作動するまで、連続して最大 10 秒間エンジンを始動させます。
エンジンが始動しないとき
▶ 最大 10 秒間イグニッションを再度オンにします。
▶ スムーズに作動するまで、連続して最大 10 秒間エンジンを再度始動させます。
始動操作を 3 回行なってもエンジンが始動しないとき
▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。</td></tr>
</table>

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
燃料給油口フラップが開かない。	燃料給油口フラップが解錠されていない。 または キーの電池が消耗している。 ▶ エマージェンシーキーを使用して車両を解錠してください（▷112 ページ）。 ▶ トランクリッド / テールゲートを開いてください。 ▶ エマージェンシーリリースを使用して、燃料給油口フラップを手動で解錠してください（▷213 ページ）。
	燃料給油口フラップは解錠されているが、開閉機構に異常がある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

駐車

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

葉、草または小枝のような可燃性の素材は、排気システムの高温部品または排気ガスの排気に長時間触れると発火することがあります。火災の危険性があります。

可燃性の素材が車両の高温の部品に触れないように車両を駐車してください。特に、乾燥した草原、または収穫した穀物畑に駐車しないでください。

⚠ 警告

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できないか、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

⚠ **警告**

付き添いのない状態で子供を車両に残すと、例えば以下のようにして車両を動かすおそれがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションのパーキングポジション **P** からのシフト
- エンジンを始動する

また、車両装備を操作するおそれもあります。事故やけがの危険性があります。

車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。子供だけを車内に残して車両から離れないでください。

! 車両が動き出さないように、必ず適切な方法で固定してください。車体または駆動系部品を損傷するおそれがあります。

車両が不意に動き出さないように、以下の方法で車両を固定してください。

- パーキングブレーキを効かせてください。
- トランスミッションをポジション **P** にし、イグニッション位置を **0** にするか、キーを使用しているときはエンジンスイッチからキーを抜いてください。
- 上り坂または下り坂の勾配では、前輪を縁石方向に向けてください。

エンジンの停止

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

シフトポジションが **D** か **R** のときにエンジンを停止にすると、オートマチックトランスミッションはニュートラルポジション **N** に切り替わります。車両が動き出すおそれがあります。事故の危険性があります。

エンジンを停止にした後は、必ずパーキングポジション **P** に切り替えてください。パーキングブレーキを効かせて、駐車した車両が動き出すのを防いでください。

▶ **すべての車両（AMG 車両を除く）:** シフトポジションを **P** にしてください。

AMG 車両

▶ **AMG 車両:P** スイッチ ① を押します。

キーを使用して

▶ キーをまわしてイグニッション位置を **0** にした後、キーを抜きます。

イモビライザーが作動します。

▶ パーキングブレーキを確実に効かせます。

全車両（AMG 車両を除く）： トランスミッションがポジション **P** にある場合にのみキーを取り外すことができます。

トランスミッションがポジション **R** または **D** のときにエンジンを停止した場合は、自動的にポジション **N** にシフトします。

その後にフロントドアの 1 つを開くか、またはエンジンスイッチからキーを抜くと、オートマチックトランスミッションはポジション **P** にシフトします。

エンジンを停止にする前に、オートマチックトランスミッションを **N** にシフトすると、ドアを開いてもポジション **N** のままになります。

キーレスゴーを使用して

▶ キーレスゴースイッチ（▷191 ページ）を押します。

エンジンが停止し、メーターパネルのすべての表示灯が消灯します。

▶ パーキングブレーキを確実に効かせます。

キーレスゴースイッチを使用してエンジンを停止した場合は、自動的にポジション **N** にシフトします。その後にフロントドアの 1 つを開くと、オートマチックトランスミッションはポジション **P** にシフトします。

車両が動いている間にキーレスゴースイッチを約 3 秒間押して保持すると、エンジンを停止します。この機能は、ECO スタートストップ機能の自動エンジン停止機能とは独立して作動します。

パーキングブレーキ

⚠ 警告

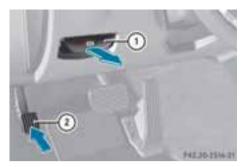
パーキングブレーキで車両にブレーキを効かせなければならない場合は、制動距離が著しく長くなり、車輪がロックすることがあります。これにより、横滑りや事故の危険性が高くなります。

ブレーキが故障しているときのみ、パーキングブレーキを使用して車両にブレーキを効かせてください。パーキングブレーキを強く効かせないでください。車輪がロックした場合は、車輪が再度回転し始めるまでパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 警告

付き添いのない状態で子供を車両に残すと、例えば以下のようにして車両を動かすおそれがあります。

- パーキングブレーキを解除する
- オートマチックトランスミッションをパーキングポジション **P** からシフトする
- エンジンを始動する

また、車両装備を操作するおそれもあります。事故やけがの危険性があります。車両から離れるときは、必ずキーを携帯して車両を施錠してください。子供だけを車内に残して車両から離れないでください。

パーキングブレーキを使用して車両にブレーキを効かせている場合、ブレーキライトは点灯しません。

▶ **パーキングブレーキを効かせる：**パーキングブレーキペダル ② をいっぱいまで踏み込みます。エンジンがかかっているときは、メーターパネルのブレーキ警告灯 (!) が点灯します。

▶ **パーキングブレーキを解除する：**ブレーキペダルを踏んでそのまま保持します。

▶ 解除ハンドル ① を引きます。

メーターパネルのブレーキ警告灯 (!) が消灯します。

長期間の車両の駐車

車両を 4 週間以上使用しない場合は、バッテリーが完全に放電して、損傷するおそれがあります。

車両を 6 週間以上使用しない場合は、車両に不具合が発生するおそれがあります。

▶ 対応については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ⓘ 充電器についてはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

運転のヒント

全体的な注意事項

⚠ **警告**

走行中にイグニッションをオフにすると、安全性に関連した機能が制限付きでしか使用できないか、または全くできません。これにより、例えばパワーステアリングやブレーキの倍力装置に影響を与えることがあります。ステアリングやブレーキに非常に大きな力が必要になります。事故の危険性があります。

走行中はイグニッションをオフにしないでください。

ECO 表示

例：ECO 表示

ECO 表示は、お客様の運転特性がどのくらい経済的であるかの評価を行ないます。ECO 表示は、選択された設定および現在の状況で最も経済的な運転スタイルを達成する補助をします。消費は運転スタイルによって著しく影響されることがあります。

ECO 表示は以下の 3 本のバーで構成されています。

- アクセル操作
- 平均
- ブレーキ操作

パーセンテージ数は、3 つのバーの値の平均値です。3 つのバーおよび平均値は 50% の値を起点としています。高いパーセンテージ数はより経済的な運転スタイルを示しています。

ECO 表示は、実際の燃料消費を示していません。ECO 表示の特定のパーセンテージ数は、特定の消費量を示していません。

運転スタイルに加えて、燃料は以下のような他の多くの要因に影響されます。

- 積載状況
- タイヤ空気圧
- 冷間始動
- ルートの選択
- 電気装備の使用

これらの要因は ECO 表示には含まれていません。

運転スタイルの評価には、以下の 3 つのカテゴリーが考慮されます。

- アクセル操作（すべての加速行為の評価）：
  - バーが満たされているとき：特に高い速度での適度な加速
  - バーに空白があるとき：スポーツ走行時の加速
- 平均（運転操作の常時評価）：
  - バーが満たされているとき：一定の速度、および不必要な加速および減速の回避
  - バーに空白があるとき：速度に変動がある
- ブレーキ操作（すべての減速過程の評価）：
  - バーが満たされているとき：距離を保ちながらの予期走行およびアクセルの早期開放。車両はブレーキを使用することなく惰性走行しています。
  - バーに空白があるとき：ブレーキを繰り返し踏んでいる

ⓘ 経済的な運転スタイルは適度なエンジン回転数での走行と関係しています。アクセル操作および平均のカテゴリーでのより高い値は以下の条件で達成します：

- 推奨ギアシフトに従ってください。
- 走行モード **E** で車両を走行してください。

ⓘ 高速道路のような一定速度での長距離走行では、平均のバーのみが変化します。

ⓘ ECO 表示は走行の開始から完了までの走行特性を示しています。そのため、走行開始時点ではバーに活発な変化があります。長い運転時間の間では、これらの変化は小さくなります。変化の動きを見たい場合は手動でリセットしてください。

ECO 表示については、（▷286 ページ）もご覧ください。

ブレーキ

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

下り坂勾配

ブレーキペダルを軽く踏み続けながら車両を走行しないでください。これによりブレーキパッドが過度におよび早く摩耗します。

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアにシフトダウンしてください。

荷物を積んだ車両を運転するときは、このことに特に留意してください。

ⓘ これは、クルーズコントロール、可変スピードリミッターまたはディストロニック・プラスの機能を設定している場合も該当します。

エンジンブレーキを効かせることにより、少ないブレーキ操作で走行速度を一定に保つことができます。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

ブレーキへの負荷

⚠ **警告**

走行中にブレーキペダルの上に足を置き続けると、ブレーキシステムが過熱することがあります。これにより制動距離が増加して、ブレーキシステムが故障する原因になるおそれもあります。事故の危険性があります。

ブレーキペダルをフットレストとして使用しないでください。ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏まないでください。

! ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキパッドが極端に早く磨耗する結果になります。

ブレーキに高負荷がかかった場合は、車両をただちに停止せずに、しばらく走行し続けてください。ブレーキに風を当て、より早く冷やすことができます。

長時間、ブレーキをほぼ使用せずに走行した場合は、時々ブレーキの効きを確認してください。周囲の交通状況に注意しながら、軽く効かせます。ブレーキを踏み込みます。この操作によりブレーキの制動力が向上します。

濡れた路面

激しい雨の中で、ブレーキを効かせずに長時間走行した後にブレーキを効かせた場合はブレーキの反応時間が遅れることがあります。これは、洗車後または深い水の中の走行後にも起こることがあります。

このときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。前車との車間距離を十分に保って慎重に運転してください。

滑りやすい路面の走行後や洗車直後は、周囲の道路状況に注意しながら強めにブレーキを効かせてください。この操作によりブレーキディスクを加熱して、より早く乾燥させ、腐食を防止することができます。

塩分処理された路面でのブレーキ性能の制約

塩分処理した道路を走行した場合は、塩分の層がブレーキディスクやパッドにできることがあります。これにより制動距離が著しく増加することがあります。

- できるだけ塩分の残留物を取り除くために時々ブレーキを効かせます。そうするときは、他の道路利用者を危険にさらしていないことを確認してください。
- 走行の終了時と次の走行を開始するときはブレーキペダルを慎重に踏んでください。
- 先行車との、より十分な距離を保ってください。

新品のブレーキパッド / ライニング

交換された新しいブレーキパッド / ライニングおよびブレーキディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ性能を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少したブレーキ効果を補ってください。

安全を確保するため、必ず純正のブレーキパッド / ライニング、または同等の品質基準を満たしたものをご使用ください。純正以外のブレーキパッド / ライニングまたは同等の品質基準を満たしていないものを使用すると、安全なブレーキ操作ができなくなり、走行安全性が損なわれるおそれがあります。

AMG セラミック強化ブレーキシステム

AMG セラミック強化ブレーキシステムは高負荷用に設計されています。以下によっては、ブレーキを効かせたときにノイズが発生することがあります。

- 走行速度
- ブレーキペダルの踏力
- 気温や湿度などの外気環境

ブレーキパッド / ライニングやブレーキディスクなどブレーキシステムを構成する部品は、運転スタイルや走行状況に応じて摩耗度合いが異なってきます。

このため、すべての状況における有効な走行距離（寿命）を記述することはできません。負荷の高い運転スタイルの場合は、摩耗度合いが早くなります。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

交換された新しいブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ性能を発揮します。ブレーキペダルにより大きな力をかけることにより、減少したブレーキ効果を補ってください。慣らし期間の間は、常にこれに注意し、応じて走行やブレーキを合わせてください。

過度に負担があるブレーキ操作は、ブレーキの高い摩耗につながります。マルチファンクションディスプレイのブレーキパッド磨耗警告 [⊙] に従い、ブレーキ状況のメッセージに注意してください。高速で定期的に走行する場合は、ブレーキシステムを定期的に点検し、整備することが特に重要です。

濡れた路面の走行

ハイドロプレーニング現象

路面に特定の深さまで水がたまると、以下の状況でもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 低速で走行しているとき
- タイヤの溝が十分にあるとき

わだちなどの水のたまりやすい場所を避けて走行し、注意深くブレーキ操作を行なってください。

冠水路の走行

先行車両や対向車両によっても波が発生することにも注意してください。車両が通過することにより、許容最大水深を超える可能性があります。

どのような状況でもこれらの注意事項を守ってください。エンジン、電気装備およびトランスミッションを損傷するおそれがあります。

冠水路を走行するときは、以下の点に注意してください。

- 渡れる最大許容水深は 25cm です。
- 歩くペースより速く走行しないでください。

冬季の走行

重要な安全上の注意事項

警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

危険

マフラーがふさがれ、適切な換気が行なわれない場合は、一酸化炭素（CO）のような有毒ガスが車内に入り込んでくることがあります。車両が雪にはまった場合などがあてはまります。致命的なけがの危険性があります。

エンジンを作動させたままにする場合は、マフラーや車両周辺に雪がないことを確認してください。新鮮な空気の適切な供給を確保するために、風上にない車両側のウインドウを開いてください。

冬季の始まりには、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の寒冷時対策を実施してください。

タイヤに関する "冬季の使用" の項目の注意事項に従ってください（▷445 ページ）。

サマータイヤでの走行

タイヤに関する "冬季の使用" に記載されている注意事項を守ってください（▷445 ページ）。

滑りやすい路面

警告

エンジンのブレーキ効果を増やすために滑りやすい路面でシフトダウンすると、駆動輪がグリップを失うことがあります。これにより、横滑りや事故が起きる危険性が高くなります。

滑りやすい道路では、シフトダウンによるエンジンブレーキを効かせないでください。

車両がスリップしやすいとき、または低速走行中に停止できないときは、以下の指示に従ってください。

▶ トランスミッションをポジション N にシフトします。

▶ ステアリング操作を修正して、車両の操縦性を確保します。

滑りやすい路面では、特に慎重に走行してください。急な加速、ステアリング、ブレーキ操作は避けてください。

ℹ スノーチェーンでの走行に関するさらなる情報は、（▷446 ページ）をご覧ください。

外気温度表示は凍結警告用の機器として使用するための設計はされていません。そのため、この用途には適切ではありません。外気温度が変化すると、少し遅れて表示されます。

表示された温度が氷点に近いときは、路面が凍結している可能性があります。特に森林地域や橋の上など、路面が凍結しやすくなります。横滑りの原因となりますので、運転操作は特に慎重に行なってください。凍結路を走行するときは、常に天候状況に合わせて速度を落とし、注意して走行してください。

気温が氷点前後のときは、路面状況に特に注意してください。

走行システム

クルーズコントロール

全体的な注意事項

クルーズコントロールは一定の走行速度を維持します。設定速度を超えないようにするために自動的にブレーキを効かせます。長い急な下り坂勾配で、特に車両に荷物を積載している場合は、適時低いギアにシフトしてください。そうすることにより、エンジンのブレーキ効果を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

道路や交通状況が長時間の一定速度の維持に適している場合にのみ、クルーズコントロールを使用してください。30 km/h 以上の走行速度を記憶させることができます。

重要な安全上の注意事項

クルーズコントロールは道路、天気、交通状況を考慮することはできません。クルーズコントロールは単なる支援に過ぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時ブレーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

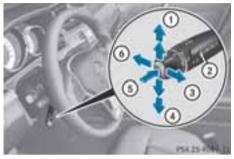
次のような場合にはクルーズコントロールを使用しないでください。

- 一定の速度を維持できないような道路および交通状況（例：混雑している交通状況、または曲がりくねっている道路）
- 滑りやすい路面

  ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。

- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき。

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている設定速度を伝えてください。

クルーズコントロールレバー

① 速度を設定する / 上げる
② LIM 表示灯
③ 現在の速度 / 最後に記憶された速度に設定する
④ 速度を設定する / 下げる
⑤ クルーズコントロールと可変スピードリミッターを切り替える
⑥ クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

- **LIM 表示灯が消灯：**クルーズコントロールが選択されています。
- **LIM 表示灯が点灯：**可変スピードリミッターが選択されています。

クルーズコントロールを作動させると、記憶された速度がマルチファンクションディスプレイに 5 秒間表示されます。

作動条件

クルーズコントロールを作動させるためには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- パーキングブレーキが解除されている
- 30km/h 以上で走行している
- ESP® が設定されているが介入していない
- トランスミッションがポジション **D** である
- クルーズコントロール機能が選択されている

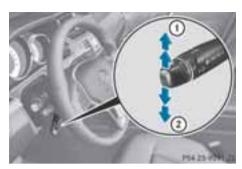
クルーズコントロールの選択

▶ LIM 表示灯 ① が消灯しているか確認してください。

消灯しているときは、クルーズコントロールが選択されています。

消灯していない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印 ② の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ① が消灯します。クルーズコントロールが選択されます。

現在の速度の記憶および維持

30 km/h 以上の速度で走行している場合は、現在の速度を記憶・維持させることができます。

▶ 希望の速度に加速します。

▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。

▶ アクセルペダルから足を放します。

クルーズコントロールが作動します。車両は自動的に記憶された速度を維持します。

ⓘ 急な上り坂では、クルーズコントロールは記憶された速度を維持できないことがあります。勾配が小さくなると再び記憶された速度を維持します。クルーズコントロールは急な下り坂では自動的にブレーキを効かせることにより記憶された速度を維持します。

現在の速度の記憶および最後に記憶させた速度の呼び出し

⚠ **警告**

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、速度を再設定してください。

▶ クルーズコントロールレバーを手前 ① に軽く引きます。

▶ アクセルペダルから足を放してください。

速度が記憶されていない状態でクルーズコントロールを作動させたときは現在の速度が記憶され、または以前に記憶させた速度に車両速度を制御します。

速度の設定

▶ 高い速度は上 ① に、低い速度は下 ② にクルーズコントロールレバーを押します。

▶ 希望した速度に到達するまでクルーズコントロールレバーを保持します。

▶ クルーズコントロールレバーから手を放します。

新しい速度が記憶されます。

▶ **設定速度を 1 km/h 単位で調整する：** 手応えがあるところまで、クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く押します。

最後に記憶させた速度が 1 km/h 単位で上昇または下降します。

▶ **設定速度を 10 km/h単位で調整する：** 手応えがあるところを越えるまで、クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く押します。

最後に記憶させた速度が 10 km/h 単位で上昇または下降します。

ℹ クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏んでも解除されません。例えば、追い越しのために一時的に加速したときは、クルーズコントロールは追い越しが終了した後に最後に記憶させた速度に車両の速度を調整します。

クルーズコントロールの解除

クルーズコントロールを解除するにはいくつかの方法があります。

▶ クルーズコントロールレバーを前方 ① に軽く押します。

または

▶ ブレーキを効かせます。

または

▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ③ の方向に軽く動かします。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が点灯します。

以下のときはクルーズコントロールが自動的に解除されます。

- パーキングブレーキを効かせた
- 30 km/h 以下で走行した
- ESP® が介入したり、ESP を解除した
- 走行中にトランスミッションをポジション **N** にシフトした

クルーズコントロールが解除されると警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイに クルーズコントロールオフ というメッセージが約 5 秒間表示されます。

ℹ エンジンを停止すると、記憶されている速度は消去されます。

スピードリミッター

重要な安全上の注意事項

設定された速度を超えないように可変スピードリミッターは自動的にブレーキを効かせます。長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアにシフトしてください。積載した車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ効果を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。さらにブレーキが必要な場合は、継続的ではなく、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

可変スピードリミッターは道路、天候および交通状況を考慮することはできません。可変スピードリミッターは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との車間距離、車両速度、適切なブレーキ操作、車線内での維持に関する責任があります。

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶させている制限速度を伝えてください。

可変スピードリミッターまたはスノータイヤスピードリミッターを設定することができます。

- **可変**スピードリミッターは市街地などでの速度制限のためのものです。
- **スノータイヤ**スピードリミッターは、ウィンタータイヤを装着して走行するときなど、長時間の速度制限のためのものです。

ⓘ スピードメーターに表示された速度は記憶させた制限速度と若干異なる場合があります。

可変スピードリミッター

全体的な注意事項

① 現在の走行速度、またはより速い速度を記憶させる
② LIM 表示灯
③ 現在の走行速度を記憶させる、および記憶されている速度を呼び出す
④ 現在の走行速度、またはより遅い速度を記憶させる
⑤ クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
⑥ 可変スピードリミッターを解除する

クルーズコントロールレバーでクルーズコントロールまたはディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

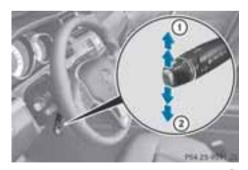
- **LIM 表示灯が消灯：**クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されています。
- **LIM 表示灯が点灯：**可変スピードリミッターが選択されています。

可変スピードリミッターの選択

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶させている制限速度を伝えてください。

▶ LIM 表示灯 ① が点灯しているか確認してください。点灯しているときは、可変スピードリミッターはすでに選択されています。

点灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印 ② の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ① が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

現在の速度の記憶

▶ クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。

現在の速度が記憶され、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

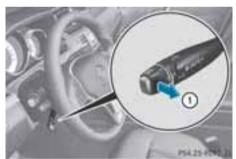
スピードメーターの最初のセグメントから記憶させた速度のセグメントまでが点灯します。

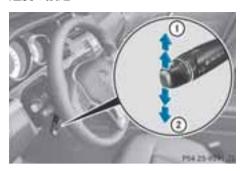
エンジンがかかっている間に、クルーズコントロールレバーを使用して、30 km/h 以上のいかなる速度に速度を制限することができます。

現在の速度の記憶および最後に記憶させた速度の呼び出し

⚠ 警告

設定速度を呼び出し、それが現在の速度より低いときは、車両が減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に減速することがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、速度を再設定してください。

▶ クルーズコントロールレバーを手前 ① に軽く引きます。

速度の設定

▶ **設定速度を 10km/h 単位で調整する：**手応えがあるところを越えるまで、高い速度は上 ① に、または低い速度は下 ② に、クルーズコントロールレバーを軽く操作します。

または

▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところを越えるまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度は上 ① に、低い速度は下 ② にクルーズコントロールレバーを操作します。

▶ **設定速度を 1km/h 単位で調整する：**手応えがあるところまで、高い速度は上 ① に、低い速度は下 ② にクルーズコントロールレバーを軽く操作します。

または

▶ 希望する速度に設定されるまで、手応えがあるところまでクルーズコントロールレバーを押して保持します。高い速度は上 ① に、低い速度は下 ② にクルーズコントロールレバーを操作します。

可変スピードリミッターの解除

ブレーキ操作で可変スピードリミッターを解除することはできません。

可変スピードリミッターを解除するにはいくつかの方法があります。

▶ クルーズコントロールレバーを前方 ① に軽く押します。

または

▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ③ の方向に軽く動かします。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が消灯します。可変スピードリミッターは解除されます。

クルーズコントロールまたはディストロニック・プラスが選択されます。

ⓘ エンジンを停止すると、記憶させている速度は消去されます。

キックダウン

踏み応えのあるところを越えるまでアクセルペダルを踏むと（キックダウン）、可変スピードリミッターは待機状態に切り替わります。マルチファンクションディスプレイに可変スピードリミッター制御待機中 というメッセージが表示されます。

この後は、記憶されている速度を超えることができます。可変スピードリミッターは、以下のときに再度作動します。

- キックダウンをせずに、記憶させている速度以下で走行した

または

- 新たに速度を設定した

または

- 記憶させた速度を再度呼び出した。

マルチファンクションディスプレイの可変スピードリミッター制御待機中 というメッセージが消えます。

スノータイヤスピードリミッター

ウィンタータイヤを装着して走行するときなど、約 160km/h から最高速度までの間の速度に、速度を制限できます。

記憶させた速度に到達する少し前に、マルチファンクションディスプレイに速度が表示されます。

可変スピードリミッターを解除しても、スノータイヤスピードリミッターは作動したままになります。

アクセルペダルをいっぱいまで踏み込んでも（キックダウン）、記憶させた制限速度を超えることはできません。

スノータイヤスピードリミッターは、マルチファンクションディスプレイを使用して設定します（▷300 ページ）。

ディストロニック・プラス

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスは速度を制御し、前方に検知された車両との距離を自動的に維持する支援を行ないます。車両はレーダーセンサーシステムの支援で検知されます。ディストロニック・プラスは設定された速度を超えないように自動的にブレーキを効かせます。

長い下り坂や急な下り坂の勾配では、適切なタイミングで低いギアにシフトしてください。荷物を積んだ車両を運転するときは、このことに特に留意してください。そうすることにより、エンジンのブレーキ効果を利用します。これにより、ブレーキシステムへの負荷を軽減し、ブレーキを過熱や早期の摩耗から防ぎます。

ディストロニック・プラスが衝突の危険があることを検知した場合は、視覚的および聴覚的に警告を行ないます。運転者の操作なしでは、ディストロニック・プラスは衝突を回避することはできません。断続的な警告音が鳴り、メーターパネルの距離警告灯が点灯します。安全な場合にのみ、ただちにブレーキを効かせて先行車両との距離を広げ、危険回避の操作を行なってください。

走行中にディストロニックプラスが運転者を支援するためには、レーダーセンサーシステムが作動していなければなりません。

ディストロニック・プラスは 0 km/h ～ 200 km/h の間の速度で作動します。急な坂道を走行しているときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください。

重要な安全上の注意事項

HYBRID 車両：必ず "HYBRID" 補足版をお読みください。危険を認識できないことがあります。

走行と停車

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは以下のものには反応しません。

- 歩行者や動物
- 駐停車している車両など、道路上の静止している障害物
- 対向車や横切る車両

この場合、ディストロニック・プラスは警告も介入も行ないません。事故の危険性があります。常に周囲の交通状況に注意して運転し、ブレーキを効かせる準備をしてください。

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは、他の道路使用者や複雑な交通状況を常に明確に認識できるとは限りません。

その場合、ディストロニック・プラスは以下のように作動することがあります。

- 不必要な警告を行ない、車両にブレーキを効かせる
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる
- 不意に加速する

事故の危険性があります。特に、ディストロニック・プラスから警告が発せられた場合は、慎重に運転しブレーキを効かせる用意をしてください。

⚠ 警告

ディストロニック・プラスは最大制動力の 50% まで車両にブレーキを効かせます。減速が十分でない場合は、ディストロニック・プラスは視覚的および聴覚的警告で運転者に警告します。事故の危険性があります。

これらの状況では自分でブレーキを効かせ、回避行動を取るように試みてください。

! ディストロニック・プラスが作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスを解除してください。

- けん引されるとき
- 洗車時

運転スタイルを合わせていない場合は、ディストロニック・プラスは事故の危険性を低減することはできません。また、ディストロニック・プラスは物理的限界を超えることはできません。ディストロニック・プラスは路面、天候および交通状況を考慮することはできません。ディストロニック・プラスは単なる支援に過ぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時ブレーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください。

- 一定の速度を維持できないような道路および交通状況（例：混雑している交通状況、または曲がりくねっている道路）
- 滑りやすい路面

  ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。

- 霧、激しい雨または雪などのために視界が悪いとき

ディストロニック・プラスは、オートバイなど前方を走行している幅の狭い車両、または異なる車線を走行している車両を検知しないことがあります。

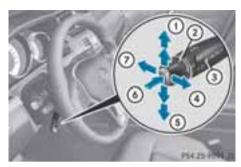
特に以下のときは、障害物の検知が困難になります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雪または激しい雨が降っている
- 他のレーダー発信源による干渉がある
- 立体駐車場などで、強いレーダー反射が発生している

ディストロニック・プラスが先行車両を検知しなくなると、予期せず、設定速度まで加速することがあります。

速度は以下のようになるおそれがあります。

- 変更される車線や滑りやすい道路で速度が非常に高くなりすぎる
- 左車線を走行しているとき、右側を走行している車両を追い抜く際の速度が高くなりすぎる

運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶させている速度を伝えてください。

クルーズコントロールレバー

① 現在の走行速度、またはより速い速度を記憶させる
② 最低車間距離を設定する
③ LIM 表示灯
④ 現在の走行速度を記憶させる、および記憶されている速度を呼び出す
⑤ 現在の走行速度、またはより遅い速度を記憶させる
⑥ ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターを切り替える
⑦ ディストロニック・プラスを解除する

クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスおよび可変スピードリミッターを操作できます。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯は、選択したシステムを表しています。

- **LIM 表示灯が消灯：**ディストロニック・プラスが選択されています。
- **LIM 表示灯が点灯：**可変スピードリミッターが選択されています。

ディストロニック・プラスの選択

▶ LIM 表示灯 ① が消灯しているか確認してください。消灯しているときは、ディストロニック・プラスがすでに選択されています。

消灯していない場合は、クルーズコントロールレバーを矢印 ② の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ① が消灯します。ディストロニック・プラスが選択されます。

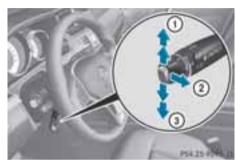
ディストロニック・プラスの作動

作動条件

ディストロニック・プラスを作動させるためには、以下の条件を満たさなければなりません。

- エンジンがかかっている。

  ディストロニック・プラスが使用できるようになるまでに少なくとも 2 分間走行していなければなりません。
- パーキングブレーキを解除している。
- ESP® が設定されているが､介入していない｡
- アクティブパーキングアシストが作動していない。
- トランスミッションがポジション D である。
- P から D にシフトするときに運転席ドアが閉じている、または運転者のシートベルトが着用されている。
- 助手席ドアとリアドアが閉じている。
- 車両が滑っていない。
- クルーズコントロールレバーでディストロニック・プラスの機能が選択されている。

待機状態にする

▶ クルーズコントロールレバーを手前に軽く引く ② か、上 ① または下 ③ に押します。

ディストロニック・プラスが作動します。

▶ 希望の速度が設定されるまで、クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ③ に繰り返し押します。

▶ アクセルペダルから足を放します。

記憶させた希望の速度までのみ、先行車両の速度に自車の速度が合わせられます。

ⓘ アクセルペダルから完全に足を放していない場合は、マルチファンクションディスプレイにﾃﾞｨｽﾄﾛﾆｯｸﾌﾟﾗｽ制御待機中というメッセージが表示されます。このときは、より遅く走行している先行車両との最低車間距離は維持されません。アクセルペダルの位置に応じた速度で走行します。

停止しているときもディストロニック・プラスを作動させることができます。設定できる最低速度は 30 km/h です。

▶ クルーズコントロールレバーを軽く手前に引く ② か、上 ① または下 ③ に操作します。ディストロニック・プラスが作動します。

現在の速度 / 最後に記憶させた速度で作動させる

⚠ 警告

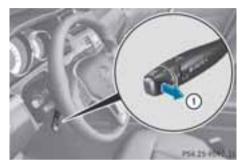
設定速度を呼び出し、それが現在の速度と異なるときは、車両が加速または減速します。設定速度を覚えていないと、車両が不意に加速したりブレーキが効くことがあります。事故の危険性があります。

設定速度を呼び出す前に、路面および交通状況に注意してください。設定速度を覚えていない場合は、速度を再設定してください。

▶ クルーズコントロールレバーを手前に軽く引きます ①。

▶ アクセルペダルから足を放します。ディストロニック・プラスが作動します。速度が記憶されていない状態で作動させたときは、そのときの速度が記憶されます。それ以外のときは、以前に記憶させた速度に車両の巡航速度を設定します。

ディストロニック・プラスでの運転

発進と走行

▶ **ディストロニック・プラスで発進したい場合：**ブレーキペダルから足を放します。

▶ クルーズコントロールレバーを手前 ① に軽く引きます。

または

▶ 軽くアクセルペダルを踏みます。

車両が発進して、速度を先行車両の速度に合わせます。

検知された車両が前方にいない場合は、車両は設定した速度まで加速します。

ⓘ 未確認の障害物に面しているとき、または他の車両と異なるラインを走行するときにも、車両は発進できます。その後に車両は自動的にブレーキを効かせます。事故の危険性があります。いつでもブレーキを効かせる準備をしてください。

先行車両がいない場合は、ディストロニック・プラスはクルーズコントロールと同じように作動します。

先行車両が減速したことをディストロニック・プラスが検知した場合は、車両にブレーキを効かせます。このようにして最低車間距離が維持されます。

より速く走行している先行車両をディストロニック・プラスが検知すると、走行速度が上がります。しかし、記憶させた速度までのみ車両は加速します。

走行モードの選択

走行モード **S** を選択したときは、ディストロニック・プラスはスポーティな運転スタイルを支援します（▷204 ページ）。先行車両の後方で、または設定した速度まで非常にダイナミックに加速します。走行モード **E**（AMG 車両は **C**）を選択した場合は、車両は緩やかに加速します。交通渋滞のときは、走行モード **E**（AMG 車両は **C**）に設定してください。

車線の変更

追い越し車線に移るときは、以下のときにディストロニック・プラスが運転者を支援します。

- 70 km/h 以上で走行している
- ディストロニック・プラスが先行車両との距離を維持している
- 方向指示灯を作動させている
- ディストロニック・プラスが衝突の危険を検知していない

これらの条件を満たした場合は、車両は加速します。車線変更に時間がかかりすぎたり、車両と先行車両との距離が短すぎるときは、加速は中断されます。

ⓘ 車線を変更するときは、左ハンドル車両では左の車線を、右ハンドル車両では右の車線をモニターします。

停止

⚠ **警告**

車両から離れるときは、ディストロニック・プラスによりブレーキが効いていても以下の場合は車両が動き出すことがあります。

- システムまたは電源供給に異常があるとき
- 乗員または車外の誰かがクルーズコントロールレバーを操作して、ディストロニック・プラスが解除されたとき
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造されたとき
- バッテリーの接続を外したとき
- 同乗者などがアクセルペダルを踏んだとき

事故の危険性があります。

車両から離れるときは、必ずディストロニック・プラスを解除して車両が動き出さないように固定してください。

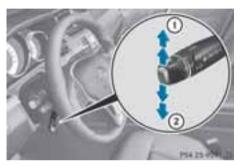
先行車両が停止したことをディストロニック・プラスが検知すると、車両が停止するまでブレーキを効かせます。

一度車両が停止すると、停車したままになり、ブレーキを踏む必要はありません。

設定した最低車間距離によっては、車両は先行車両後方の十分な距離があるところで停止することがあります。

最低車間距離はクルーズコントロールレバーのダイヤルを使用して設定します。ディストロニック・プラスが作動しているとき、以下の場合はトランスミッションが自動的に **P** にシフトされます。

- 運転席のシートベルトが着用されていないときに運転席ドアを開いた。
- ECO スタートストップ機能により自動的に停止するのではなく、エンジンを停止した。
- システムに異常が発生した。
- 電力供給が十分でない。

速度の設定

▶ 高い速度は上 ① に、低い速度は下 ② にクルーズコントロールレバーを操作します。

▶ 希望した速度に到達するまでクルーズコントロールレバーを保持します。

▶ クルーズコントロールレバーから手を放します。

新しい速度が記憶されます。ディストロニック・プラスが作動し、新しく記憶させた速度に車両速度を調整します。

▶ **設定速度を 1 km/h 単位で調整する：** 手応えがあるところまで、クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。

最後に記憶させた速度が 1 km/h 単位で上昇または下降します。

▶ **設定速度を 10 km/h 単位で調整する：** 手応えがあるところを越えるまで、クルーズコントロールレバーを上 ① または下 ② に軽く操作します。

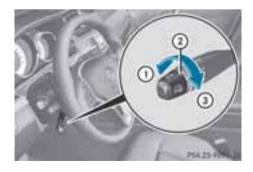
最後に記憶された速度が 10 km/h 単位で上昇または下降します。

ℹ 追い越しのために一時的に加速したときは、ディストロニック･プラスは追い越しが終了した後に最後に記憶させた速度に車両の速度を調整します。

最低車間距離の設定

時間間隔を 1 秒から 2 秒の間で変えることにより、ディストロニック・プラスの最低車間距離を設定することができます。

この機能により、車両速度に応じてディストロニック・プラスが維持する、先行車両との最低車間距離を設定することができます。マルチファンクションディスプレイでこの距離を表示することができます（▷237 ページ）。

ℹ 先行車両と十分な距離を保ち、法律で要求されたような最低車間距離に従っていることを確認してください。必要であれば、先行車両との距離を調整してください。

▶ **長くする：**ダイヤル②を③の方向にまわします。

ディストロニック・プラスは自車と先行車両との距離をより長く維持します。

▶ **短くする：**ダイヤル②を①の方向にまわします。

ディストロニック・プラスは自車と先行車両との距離をより短く維持します。

スピードメーターのディストロニック・プラス表示

例：DIRECT SELECT レバー装備車両

ディストロニック・プラスが作動しているときは、設定された速度範囲の 1 個または 2 個のセグメント②が点灯します。

ディストロニック・プラスが先行車両を検知した場合は、先行車両の速度①と設定された速度③の間のセグメント②が点灯します。

ℹ 設計上の理由により、スピードメーターに表示された速度はディストロニック・プラスで設定された速度と若干異なることがあります。

マルチファンクションディスプレイのディストロニック・プラス表示

全体的な注意事項

マルチファンクションディスプレイのアシストメニュー（▷292 ページ）で、アシスト一覧を選択します。

ディストロニック・プラスが非作動のときの表示

① 検知された場合の先行車両
② 距離インジケーター：先行車両までの現在の距離
③ 先行車両までの設定された最低車間距離
④ 自車

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧を選択します（▷292 ページ）。

ディストロニック・プラスが作動しているときの表示

① 検知された場合の先行車両
② 先行車両までの設定された最低車間距離
③ 自車
④ ディストロニック・プラス作動（クルーズコントロールレバーが操作されたときにのみ表示されます）

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧を選択します（▷ 292 ページ）。

ℹ ディストロニック・プラスを作動させたときは、記憶させた速度が約 5 秒間表示されます。

ディストロニック・プラスの解除

ディストロニック・プラスを解除するにはいくつかの方法があります。

▶ クルーズコントロールレバーを前方 ① に軽く押します。

または

▶ 車両が停止していない場合にブレーキを効かせます。または

▶ クルーズコントロールレバーを矢印 ③ の方向に軽く押します。

可変スピードリミッターが選択されます。クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯 ② が点灯します。

ディストロニック・プラスを解除すると、マルチファンクションディスプレイにディストロニックプラスオフというメッセージが約 5 秒間表示されます。

ℹ エンジンを停止するまでは、最後に記憶させた速度が記憶されたままになります。

ℹ アクセルペダルを踏んだ場合でも、ディストロニック・プラスは解除されません。

以下の場合は、ディストロニック・プラスが自動的に解除されます。

- パーキングブレーキを効かせた
- ESP® が介入したり、ESP® を解除した
- トランスミッションを **P**、**R**、または **N** ポジションにシフトした
- 発進するためにクルーズコントロールレバーを前方に引いたときに、助手席ドアまたはリアドアのいずれかが開いている
- 車両がスリップした
- アクティブパーキングアシストを作動させた

ディストロニック・プラスが解除された場合は、警告音が鳴ります。マルチファンクションディスプレイにディストロニック・プラスオフというメッセージが約 5 秒間表示されます。

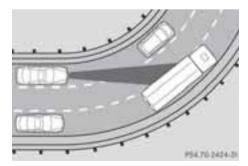
ディストロニック・プラスでの運転のヒント

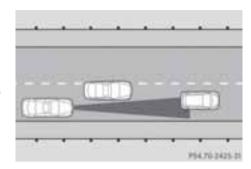
全体的な注意事項

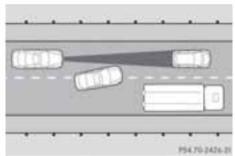
以下の交通状況では特に注意して運転してください。

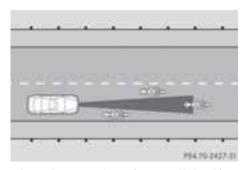
- カーブでの走行、カーブに入るときやカーブを抜けるとき
- 車線の中央を走行していない車両がいるとき
- 車線変更する他の車両がいるとき
- 幅の狭い車両がいるとき
- 障害物や停止車両がいるとき
- 横切る車両がいるとき

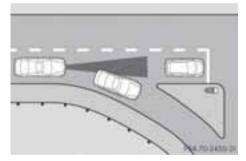
そのような状況では必要であればブレーキを効かせてください。ディストロニック・プラスは解除されます。

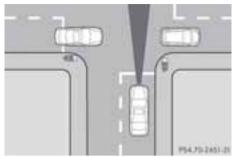
カーブでの走行、カーブに入るときやカーブを抜けるとき

カーブではディストロニック・プラスの車両を検知する能力には限界があります。予期せずまたは遅くブレーキを効かせることがあります。

車線の中央を走行していない車両がいるとき

ディストロニック・プラスは車線の中央を走行していない車両を検知することができません。先行車両までの距離が短くなりすぎることがあります。

車線変更する他の車両がいるとき

ディストロニック・プラスは割り込んでくる車両を検知しません。この車両までの距離が短くなりすぎることがあります。

幅の狭い車両がいるとき

ディストロニック・プラスは道路の端の幅の狭い車両を検知しないことがあります。先行車両までの距離が短くなりすぎることがあります。

障害物や停止車両がいるとき

ディストロニック・プラスは障害物や停止車両に対してブレーキを効かせないことがあります。例えば、検知していた車両がカーブを曲がり、障害物や停止車両が現れたときは、ディストロニック・プラスはこれらに対してブレーキを効かせないことがあります。

横切る車両がいるとき

ディストロニック・プラスは車線を横切る車両を誤って検知することがあります。交差点の信号でディストロニック・プラスを作動させると、例えば不意に車両が発進することがあります。

ディストロニック・プラスのステアリングアシスト

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、0 - 200 km/h の速度での緩やかなステアリングの介入により、車両を走行車線の中央に保ち続ける支援を行ないます。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、フロントウインドウ上部のカメラシステム①によって、車両の前方エリアをモニターします。60 km/h以上の速度では、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、前方の車線マークに目標を合わせます。

交通渋滞で車両に追従しているときなど0 - 60 km/hの速度では、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、車線マークを考慮に入れながら先行車両に目標を合わせます。

ステアリングアシストの機能が作動可能になるためには、ディストロニック・プラスが設定されていなければなりません。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは事故の危険性を低減させることができません。また、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは物理的法則を乗り超えることはできません。ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、道路、天候または交通状況を考慮することはできません。ディストロニック・プラスのステアリングアシストは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との車間距離、車両速度、適切なブレーキ操作、車線内での維持に関する責任があります。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、道路および交通状況を検知しません。道路の端に向かって走行している車両に追従している場合は、縁石または他の道路境界に接触するおそれがあります。道路の車線マークを逸脱する場合は、サイクリストのようなお客様の車両のすぐ横にいる他の道路使用者に注意してください。

車線上にあるコーンのような、または車線内にはみ出した障害物は検知されません。

故意に車線マークを越えて走行した後などの不適切なステアリングの介入は、反対方向に軽くステアリングを操作するといつでも修正することができます。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、車両を車線内に保ち続けることはできません。場合によっては、ステアリングの介入は車両を車線内に戻すのに十分でない場合があります。このような場合は、ご自身で車両のステアリング操作を行ない、車線を外れないようにしてください。

以下のときはシステムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります。

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や小雨により視界が悪い
- 対向車両、太陽または他の車両からの反射などで眩しい（路面が濡れている場合など）
- フロントウインドウが汚れていたり、曇っている、または、カメラ付近がステッカーなどで覆われている
- 工事などで1車線分の車線マークが全くないか、いくつかある、または不明瞭である
- 車線ラインが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しく様々な状況の日陰がある

ディストロニック・プラスの重要な安全上の注意事項にも注意してください（▷230 ページ）。

ステアリング操作の介入は、限られたステアリング操舵力で行なわれます。ステアリングに手を置いたままご自身でステアリング操作をするように、システムは運転者に要求します。

ステアリング操作をご自身で行なわない場合、または長時間ステアリングから手を放している場合は、システムはまず視覚的な警告で警告します。マルチファンクションディスプレイにステアリングのマークが表示されます。5 秒後にステアリング操作をまだ開始しておらず、ステアリングを握っていない場合は、車両を操作するように喚起させるために警告音も鳴ります。ディストロニック・プラスは作動したままになります。

以下の場合は、システムが待機状態に切り替わり、ステアリング介入の実行による支援を行なわなくなります。

- 頻繁に車線を変更している
- 方向指示灯を作動させた
- 長時間ステアリングから手を放している、またはステアリング操作をしていない

ℹ 車線を変更し終えた後で、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは再度自動的に設定されます。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、以下の場合は支援を行ないません。

- 非常にきついカーブにいるとき
- 車線マークまたは明確な車線マークが検知されない場合
- 60 km/h 以下の速度で先行車両が検知されない場合
- MoExtended タイヤがランフラットモードの場合

ステアリングアシストの設定

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ディストロニック・プラスのステアリングアシストを選択します（▷294 ページ）。

マルチファンクションディスプレイに DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄオンというメッセージが表示されます。ディストロニック・プラスのステアリングアシストが設定されます。

マルチファンクションディスプレイの情報

ディストロニック・プラスのステアリングアシストが設定されているが、ステアリング介入の準備ができていない場合は、ステアリングのマーク ① が灰色で表示されます。システムがステアリング介入によって支援を行なっている場合は、マーク ① が緑色で表示されます。

走行と停車

ステアリングアシストの解除

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ディストロニック・プラスのステアリングアシストを解除します（▷294 ページ）。

マルチファンクションディスプレイに DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄオフというメッセージが表示されます。ディストロニック・プラスのステアリングアシストが解除されます。

ディストロニック・プラスが解除されているときは、ディストロニック・プラスのステアリングアシストは自動的に解除されます。

ホールド機能

全体的な注意事項

ホールド機能は以下のときに運転者を支援します。

- 急な坂道で車両を発進するとき
- 発進待ちをしているとき

運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両が停止した状態を保ちます。

発進するためにアクセルペダルを踏み込むと、ブレーキ効果が解除されホールド機能は解除されます。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

車両を離れるときは、ホールド機能によりブレーキを効かせているにも関わらず、以下のときに発進するおそれがあります。

- システムまたは電圧の供給に不具合がある
- 例えば車両乗員によってアクセルペダルが踏まれることによりホールド機能が解除される
- エンジンルームの電気システムや、バッテリーまたはヒューズが改造された
- バッテリーの接続が外された

事故の危険性があります。

車両を離れる前には常にホールド機能を解除し、車両が動かないようにしてください。

! ホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキがかかります。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではホールド機能を解除してください。

- けん引されるとき
- 洗車時

作動条件

ホールド機能は以下のときに作動させることができます。

- 車両が停止している
- エンジンがかかっている、または ECO スタートストップ機能によってエンジンが自動的に停止している

- 運転席ドアを閉じている、または運転者がシートベルトを着用している
- パーキングブレーキを解除している
- シフトポジションが **D**、**R**、**N** にある
- ディストロニック・プラスが解除されている

ホールド機能を作動させる

▶ 作動条件が合っていることを確認します。

▶ ブレーキペダルを踏んでください。

▶ マルチファンクションディスプレイに HOLD① が表示されるまで、ブレーキペダルを素早くさらに踏みます。

ホールド機能が作動します。ブレーキペダルから足を放すことができます。

ⓘ 最初にブレーキペダルを踏んだときにホールド機能が作動しない場合には、少し待った後に再度試してください。

ホールド機能を解除する

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます。

- シフトポジション **D** または **R** のときにアクセルペダルを踏んだ。
- トランスミッションをポジション **P** にシフトした。
- マルチファンクションディスプレイの HOLD が消えるまで、ブレーキペダルを再度一定の強さで踏んだ。
- ディストロニック・プラスを作動させた。

ホールド機能を作動させているときは、以下の場合にトランスミッションは自動的にポジション **P** にシフトします。

- 運転席ドアを開いたときに、運転席のシートベルトが着用されていない。
- ECO スタートストップ機能により自動的に停止するのではなく、エンジンを停止した。
- システムに異常が発生した。
- 電力供給が十分でない。

レーススタート

重要な安全上の注意事項

ⓘ スポーツハンドリングモードに関する安全上の注意事項に従ってください（▷92 ページ）。

レーススタートはサーキットでのみ使用してください。レーススタートは停車状態からの最適な加速を可能にします。このためには、作動に適した高いグリップの路面であることが前提条件になります。

ⓘ レーススタートは、AMG 車両でのみ作動させることができます。

作動条件

以下の場合にレーススタートを作動させることができます。

- ドアが閉じている
- エンジンがかかっていて、エンジンオイルの温度が約 80℃に達している。これは、マルチファンクションディスプレイのエンジンオイル温度が点滅していないときです。
- スポーツハンドリングモードが作動している（▷92 ページ）。
- ステアリングが直進位置にある。

- 車両が停止していて、ブレーキペダルを深く踏み込んでいる。ブレーキペダルは左足で踏んでください。
- トランスミッションがポジション **D** にある。

レーススタートを作動させる

▶ ブレーキペダルを左足で踏み、そのまま保持します。

▶ **RS** の表示灯が点灯するまで、走行モード選択ダイヤルを時計回りにまわします（▷205 ページ）。

マルチファンクションディスプレイに RACE START 確認 : 右側パドル 中断 : 左側パドルというメッセージが表示されます。

ⓘ 作動条件が満たされない場合は、レーススタートは中断されます。マルチファンクションディスプレイに RACE START 中断されましたというメッセージが表示されます。

▶ **中断する：**ステアリング左側のギアシフトパドルを引きます（▷206 ページ）。

または

▶ **確認する：**ステアリング右側のギアシフトパドルを引きます（▷206 ページ）。マルチファンクションディスプレイに RACE START 使用できます アクセルを踏んで下さいというメッセージが表示されます。

▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏みます。エンジン回転数が約 3500 rpm に上がります。

マルチファンクションディスプレイに RACE START スタートするには ブレーキを離して下さいというメッセージが表示されます。

ⓘ 5 秒以内にブレーキペダルを放さない場合は、レーススタートは中断されます。マルチファンクションディスプレイに RACE START 中断されましたというメッセージが表示されます。

▶ ブレーキペダルから足を放し、アクセルペダルを踏んだままにしてください。

最大の加速で車両が発進します。

マルチファンクションディスプレイに RACE START オンというメッセージが表示されます。

車両が約 50 km/h の速度に達したときに、レーススタートは解除されます。走行モード S+ が設定されます。スポーツハンドリングモードはそのままになります。

レーススタートの間にアクセルペダルから足を放したり、作動条件を満たさなくなった場合は、レーススタートは解除されます。マルチファンクションディスプレイに RACE START 中断されましたというメッセージが表示されます。

ⓘ 短時間で連続して数回使用した場合、レーススタートは一定の距離を走行するまで利用できなくなります。

AIR マティックサスペンション

車高

重要な安全上の注意事項

車高を下げるとき、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合は、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車高を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

⚠ **警告**

以下のときは、車高が少し下がります。

- サスペンション制御でコンフォートモードを選択している、および
- エンジンを停止してから約 60 秒以内に車両を施錠した

ホイールハウスの周辺および車両の下の人が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を施錠するときはホイールハウスの周辺および車両の下に人がいないことを確認してください。

! 以下の場合は、車高が約 15 mm 下がります：

- " コンフォートモード " を選択している
- エンジンを停止した
- 約 60 秒 以内に車両を施錠した

駐車するときは、車高が下がって縁石に接触しないように車両の位置を確認してください。車両が損傷するおそれがあります。

コンフォートモードが選択されているときは、エンジンを停止してから 60 秒以内に車両を解錠した場合は、車高が少し低くなります。

車高は自動的に調整されます。レベルコントロール機能は、サスペンションを最適にして、積載時でも地上高を一定に保ちます。高速で運転するときには、走行安全性を向上させ燃費を低減させるために、自動的に車高が低くなります。

以下の車高レベルが選択可能です。

- 標準車高
- 高い車高（4MATIC 非装備車両）：標準車高と比較して、車高が約 25 mm 上がります。
- 高い車高（4MATIC 装備車両）：標準車高と比較して、車高が約 35mm 上がります。
- 低い車高：標準車高と比較して、車高が約 10 mm 下がります。

"標準車高"と"高い車高"は手動で設定することができます。

" 低い車高 " は、以下のときに自動的に設定されます。

- 140 km/h 以上の速度で。
- " スポーツモード " を選択している場合（▷247 ページ）。

車高を設定する

通常の路面では " 標準車高 " 設定を、スノーチェーンを装着して走行するときや路面が特に悪いときは " 高い車高 " を選択してください。選択した内容は、イグニッション位置を **0** にした場合でも記憶されたままになります。

高い車高に設定する

▶ エンジンを始動してください。

表示灯 ① が点灯していない場合

▶ スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が点灯します。車高が高い車高に設定されます。

ディスプレイに車高があがりますというメッセージが表示されます。

" 高い車高 " の設定は以下のときに解除されます。

- 約 120 km/h 以上の速度で走行した。
- 80 km/h 以上の速度で約 3 分間走行した。

これら以外のときは、" 高い車高 " が保たれたままになります。

標準の車高に設定する

▶ エンジンを始動してください。

表示灯 ① が点灯している場合

▶ スイッチ ② を押します。

表示灯 ① が消灯します。車高が標準の車高に設定されます。

サスペンション制御

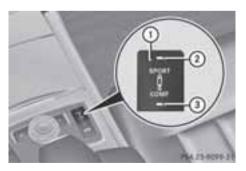
全体的な注意事項

電子制御サスペンションシステムは常時作動しています。走行安全性と乗り心地を向上させます。

減衰力は、以下に応じて車輪ごとに個別に調整されます。

- スポーティなものなど、運転者の走行スタイル
- 凸凹などの路面の状況
- スポーツモードまたはコンフォートモードの選択

選択した内容は、イグニッション位置を **0** にした場合でも記憶されたままになります。

スポーツモード

スポーツモードではサスペンション制御がより固くなり、路面追従性が向上します。カーブの多い郊外の道路などで、スポーティな運転スタイルをとるときは、このモードを選択してください。

▶ スイッチ ① を押します。

表示灯 ② が点灯します。" スポーツモード " が選択されます。

マルチファンクションディスプレイに AIRMATIC SPORT と表示されます。

コンフォートモード

コンフォートモードでは、車両の走行特性がより快適になります。快適な乗り心地を重視するときは、このモードを選択してください。直線の多い道路などを走行するときもコンフォートモードを選択してください。

▶ スイッチ ① を押します。

表示灯 ③ が点灯します。" コンフォートモード " が選択されます。

マルチファンクションディスプレイに AIRMATIC COMFORT と表示されます。

AMG RIDE CONTROL スポーツサスペンション

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

車高を下げるとき、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合は、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車高を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

⚠ **警告**

以下のときは、車高が少し下がります。

- サスペンション制御でコンフォートモードを選択している、および
- エンジンを停止にしてから約 60 秒以内に車両を施錠した

ホイールハウスの周辺および車両の下の人が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を施錠するときはホイールハウスの周辺および車両の下に人がいないことを確認してください。

! 以下の場合は、車高が約 20 mm 下がります。

- " コンフォートモード " を選択している
- エンジンを停止した
- 約 60 秒以内に車両を施錠した

駐車するときは、車高が下がって縁石に接触しないように車両の位置を確認してください。車両が損傷するおそれがあります。

サスペンション制御

全体的な注意事項

電子制御サスペンションシステムは常時作動しています。このシステムは走行安全性と乗り心地を向上させます。

減衰力は、以下に応じて車輪ごとに個別に調整されます。

- スポーティなものなど、運転者の走行スタイル
- 凸凹などの路面の状況
- スポーツモード、スポーツ+モードまたはコンフォートモードの選択

スポーツモード

① モード選択スイッチ
② 選択したモードの保存、呼び出し、および表示のためのスイッチ
③ スポーツ + モード表示灯
④ スポーツモード表示灯

スポーツモードではサスペンション制御がより固くなり、路面追従性が向上します。例えば曲がりくねった道などを走行するときにはこのモードを選択してください。

▶ スイッチ ① を 1 回押します。

表示灯 ④ が点灯します。スポーツモードが選択されます。

AMG Ride Control SPORT というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

スポーツ+モード

スポーツ+モードでは、サスペンション制御がより固くなり、最適な路面追従性が確保されます。サーキットでの走行時などにこのモードを選択します。

表示灯 ③ と ④ が消灯しているとき：

▶ スイッチ ① を 2 回押します。

表示灯 ③ と ④ が点灯します。スポーツ+モードが選択されます。

AMG Ride Control SPORT + というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

表示灯 ④ が点灯しているとき：

▶ スイッチ ① を 1 回押します。

表示灯 ③ が点灯します。スポーツ+モードが選択されます。

AMG Ride Control SPORT + というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

コンフォートモード

コンフォートモードでは、車両の走行特性がより快適になります。快適な乗り心地を重視するときは、このモードを選択してください。直線の多い道路などを走行するときも、コンフォートモードを選択してください。

▶ 表示灯 ③ と ④ が消えるまでスイッチ ① を繰り返し押します。

コンフォートモードが選択されます。

AMG Ride Control COMFORT というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

設定の記憶と呼び出し

サスペンション制御と走行モードの AMG スイッチ ② を使用して設定の記憶と呼び出しができます。

▶ **記憶させる：**確認音が聞こえるまで AMG スイッチ ② を押します。

▶ **呼び出す：**AMG スイッチ ② を押します。

記憶させたサスペンション制御と走行モードが選択されます。

▶ **表示させる：**AMG スイッチ ② を素早く押します。

選択した設定がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

車高

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

車高を下げるとき、車体と車輪の間、または車両の下に手足がある場合は、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

車両を下げるときは、車両の下、またはホイールアーチのすぐ近くに誰もいないことを確認してください。

サスペンション制御を選択するためのスイッチ、または AMG スイッチを押したときは、車高が下がります。停止している場合も車高は下がります。

! サスペンション制御でスポーツモードまたはスポーツモード + が選択されている場合は、車両の地上高は減少します。挟まれているものがないこと、および例えば縁石などで車両が損傷しないことを確認してください。

ℹ 車両を駐車して、外気温度が変化した場合は、リアアクスルの車高が変化することがあります。気温が下がると車高が下がり、気温が上がるにつれて車高も上がります。

リアアクスルの最低地上高の変更

この機能は E 63 AMG 4MATIC でのみ作動します。

リアアクスルでの車高は、選択したサスペンション制御および車両速度によって異なります。

走行中は、選択しているサスペンション制御によってリアアクスルでの車高が以下のように変化します。

- コンフォートモード：+10 mm
- スポーツモード + およびスポーツモード： -15 mm

コンフォートモードからスポーツモードまたはスポーツモード + に切り替えたときは、リアアクスルの車高は約 25 mm 下がります。スポーツモードまたはスポーツモード + からコンフォートモードに切り替えたときは、リアアクスルの車高は約 25 mm 上がります。車両が停止しているときも、車高の変更は行なわれます。170 km/h 以上で走行している場合は、リアアクスルの車高は中間のレベルに設定されます。これにより、走行安全性が増加し、空気抵抗が減少します。150 km/h 以下の速度で走行している場合は、リアアクスルの車高は選択されているサスペンション制御に応じて調整されます。

荷重補正

乗員が乗降したり、荷物を積載するなど、荷重に応じてリアアクスルの車高が補正されます。

荷重の補正は、以下の場合に行なわれます。

- ドアまたはトランクリッド / テールゲートを開いた
- 駐車している車両が解錠された

著しい車高変化のためには、エンジンがかかっていなければなりません。

4MATIC（フルタイム 4 輪駆動システム）

運転者が周囲の状況に合わせて慎重に運転しなければ、4MATIC は事故被害を軽減することはできません。また、4MATIC は物理的限界を超えて運転を支援することはできません。4MATIC は路面、天候および交通状況を考慮することはできません。4MATIC はあくまでも運転を支援するシステムです。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時にブレーキをかけ、車線を維持する責任があります。

グリップが不十分なため駆動輪が空転する場合

- 発進するときは、アクセルペダルを必要な分だけ踏んでください。
- 走行時はアクセルペダルの踏み込みを少なくしてください

! 片方のアクスルを持ち上げた状態で車両をけん引しないでください。トランスファーケースを損傷するおそれがあります。このような損傷はメルセデス・ベンツの一般保証では保証されません。全ての車輪が接地しているか、完全に持ち上がっていなければなりません。車輪全てが完全に接地している状態で車両をけん引するときは、注意事項に従ってください。

i 冬季に走行するときは、ウィンタータイヤ（M+S タイヤ）や必要であればスノーチェーンを装着することにより 4MATIC の効果が最大限に発揮されます。

4MATIC は 4 輪全てが常に駆動しています。不十分な接地力によって車輪が空転したときは、ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）によって車両の駆動力が改善されます。

パークトロニック

重要な安全上の注意事項

パークトロニックは駐車時に超音波センサーにより運転者を支援するシステムです。車両と物体との距離を視覚的、聴覚的に示します。

パークトロニックは駐車を支援するシステムです。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なう間は、進行方向に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。

! 駐車するときは、鉢植えやトレーラーけん引部などセンサーの上下にあるものに十分注意をしてください。パークトロニックはこれらが車両の至近距離にあるときは検知できません。車両や物を損傷するおそれがあります。

センサーは雪やその他の超音波を吸収しやすいものを検知しないことがあります。

自動洗車機やトラックの圧縮空気ブレーキ、空気ドリルなどが発生する超音波によりパークトロニックが機能しないことがあります。

不整地などではパークトロニックが正しく作動しないことがあります。パークトロニックは以下のときに自動的に作動します。

- イグニッション位置を **2** にしたとき
- トランスミッションをポジション **D**、**R** または **N** にしたとき
- パーキングブレーキを解除したとき

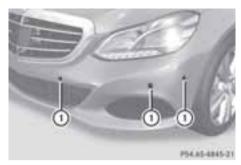
パークトロニックは 18 km/h 以上の速度で解除されます。それより低い速度で再作動します。

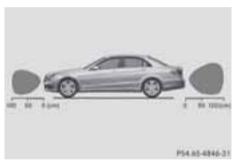
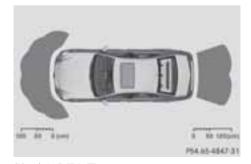
パークトロニックはフロントバンパーの 6 個のセンサーとリアバンパーの 6 個のセンサーを使用して、車両周辺のエリアをモニターします。

センサーの範囲

全体的な注意事項

以下のとき、パークトロニックは障害物を考慮しません：

- 人や動物、障害物などが検知範囲の下にある
- 車両から突き出た荷物や車両後部、積載用スロープなどが検知範囲の上にある

① 例：左側フロントバンパーのセンサー

センサーに汚れ、氷および泥がないようにしてください。適切に機能しないことがあります。センサーに損傷を与えないように注意して、定期的に清掃してください（▷412 ページ）。

例：横から見た図

例：上から見た図

フロントセンサーの最大検知範囲

センター部	約 100 cm
コーナー部	約 60 cm

リアセンサーの最大検知範囲

センター部	約 120 cm
コーナー部	約 80 cm

最短検知範囲

センター部	約 20 cm
コーナー部	約 15 cm

この範囲内に障害物があるときは、対応する警告表示が点灯して警告音が鳴ります。最短検知範囲以下になると、警告表示が表示されなくなることがあります。

警告表示

前方エリアの警告表示
① 車両左側のセグメント
② 車両右側のセグメント
③ 作動準備ができていることを示すセグメント

警告表示はセンサーと障害物との距離を示します。前方エリアの警告表示は中央送風口上部のダッシュボードにあります。後方エリアの警告表示は後席のルーフライニング部分にあります。

車両の各側の警告表示は、5 個の黄色の、および 2 個の赤色のセグメントに分けられます。作動準備ができていることを示す黄色いセグメント ③ が点灯している場合は、パークトロニックは作動が可能です。

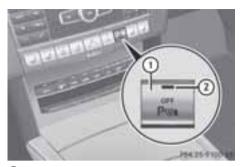
エンジンがかかっているときに、選択されているシフトポジションと車両の進行方向によって、どの警告表示が作動するかが決定されます。

シフトポジション	警告表示
D	前方エリアが作動します。
R または N	前方および後方エリアが作動します。
P	どのエリアも作動しません。

車両が障害物に近づくにつれ、障害物からの車両の距離に応じて 1 個またはそれ以上のセグメントが点灯します。

以下のように警告が行なわれます。

- 6 個目のセグメントを超えると、断続的な警告音が約 2 秒間聞こえます。
- 7 個目のセグメントを超えると、警告音が約 2 秒間聞こえます。これは、最短距離に達していることを示しています。

パークトロニックの解除 / 作動

① パークトロニックの解除 / 作動
② 表示灯

表示灯 ② が点灯しているときは、パークトロニックは解除されています。アクティブパーキングアシストも解除されます。

ℹ イグニッション位置を **2** にしたときは、パークトロニックは自動的に作動します。

パークトロニックのトラブル

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
パークトロニック警告表示の赤色のセグメントだけが点灯している。警告音が約２秒間聞こえる。 パークトロニックがその後解除され、パークトロニックスイッチの表示灯が点灯する。	パークトロニックが故障して、停止している。 ▶ 問題が続く場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でパークトロニックを点検してください。
パークトロニックの赤色インジケーターだけが点灯している。パークトロニックがその後解除される。	パークトロニックセンサーが汚れているか、干渉がある。 ▶ パークトロニックセンサーを掃除してください（▷412 ページ）。 ▶ イグニッション位置を **2** にしてください。
	電波や超音波の外部要因が問題の原因になっている。 ▶ 場所を変えてパークトロニックが作動するか確認してください。

アクティブパーキングアシスト

全体的な注意事項

アクティブパーキングアシストは超音波により駐車を支援するシステムです。車両の両側の道路を測定します。駐車マークは、適切な駐車スペースを示します。駐車している間は、自動作動によるステアリング介入およびブレーキ適用により運転者を支援します。パークトロニックも使用できます（▷251 ページ）。

重要な安全上の注意事項

アクティブパーキングアシストは単なる支援に過ぎません。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。操作範囲に人や動物や物がないことを確認してください。パークトロニックが解除されているときは、アクティブパーキングアシストも作動しません。

⚠ 警告

駐車するときや駐車スペースから出るときは、車両がはみ出し、対向車線に入ることがあります。他の道路使用者とぶつかる可能性があります。事故の危険性があります。

他の道路利用者に注意してください。必要な場合は停車して、アクティブパーキングアシストを解除してください。

! 避けられないときは、ゆっくりと鋭角でない角度で縁石などの障害物を乗り越えてください。ホイールやタイヤを損傷するおそれがあります。

アクティブパーキングアシストは、以下のような駐車に適さないスペースを検知することがあります。

- 駐車または停車が禁止されている
- 私道の手前または建物の出入り口
- 路面が駐車するのに適してない場所

駐車の知識：

- 狭い道路では、できるだけ駐車スペースの近くを通過して走行してください。
- ゴミが散らかっていたり、草が茂っている駐車スペースは、確認や測定が不正確になることがあります。
- トレーラーけん引バーが一部を占有している駐車スペースでは、識別できなかったり、測定が不正確になることがあります。
- 雪や激しい雨により正しく計測されていない駐車スペースに誘導されることがあります。
- 駐車操作を行なっている間は、パークトロニック（▷251 ページ）の警告表示に注意してください。
- 運転者はいつでもステアリング操作に介入して修正できます。その場合はアクティブパーキングアシストが解除されます。
- 車両からはみ出ている荷物を運んでいるときは、アクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- スノーチェーンを装着しているときは、決してアクティブパーキングアシストを使用しないでください。
- タイヤ空気圧が常に適正であることを確認してください。これは車両の駐車特性に直接影響を与えます。

アクティブパーキングアシストは以下のような駐車スペースで使用してください。

- 進行方向と平行または直角である
- カーブしていないまっすぐな道にある
- 歩道などではなく、道路と同じ高さにある

駐車スペースの検知

駐車スペースが計測されるとき、アクティブパーキングアシストの検知範囲より上にある障害物は検知されません。例えば、車両から突き出た荷物や車両後部、積載用スロープなどは、駐車スペースを計測するときに考慮されません。

⚠ **警告**

検知範囲上に障害物がある場合：

- パーキングアシストのステアリング操作が早すぎることがあります。
- 車両が障害物の前で停車しないことがあります。

衝突する原因となる可能性があります。事故の危険性があります。

検知範囲上に障害物があるときは、停止してアクティブパーキングアシストを解除してください。

検知範囲に関してのさらなる情報は（▷ 252 ページ）をご覧ください。

進行方向と直角にある駐車スペースでは、以下の場合はアクティブパーキングアシストは支援を行ないません：

- 2 つの駐車スペースが隣り合っている
- 駐車スペースが低い縁石のような低い障害物のすぐ隣にある
- 前向きに駐車する

進行方向と平行にある、または直角にある駐車スペースでは、以下の場合はアクティブパーキングアシストは支援を行ないません：

- 駐車スペースが縁石の上にある
- 駐車スペースが、葉または芝生の歩道ブロックによって遮られているとシステムが認識した
- 移動するには、範囲が車両にとって狭すぎる
- 駐車スペースが木、柱またはトレーラーなどの障害物によって囲まれている

例：検知した駐車スペース
① 左側に検知された駐車スペース
② 駐車マーク
③ 右側に検知された駐車スペース

前進しているときは、アクティブパーキングアシストは自動的に作動します。約 35 km/h 以下の速度でシステムは作動します。作動しているときは、車両両側の駐車スペースを独自に見つけて、測定します。

アクティブパーキングアシストは以下の条件を満たすときにのみ、駐車スペースを検出します。

- 進行方向と平行または直角である
- 進行方向と平行で、1.5 m 以上の幅がある
- 進行方向と平行で、車両より 1.0 m 以上の長さがある
- 進行方向と直角で、車両より 1.0 m 以上の幅がある

ℹ 駐車スペースが進行方向と直角である場合は、駐車スペースが車両を入れるのに十分な長さであることを確認してください。

30 km/h 以下で走行しているときは、メーターパネルにステータスインジケーターとして駐車マーク②が表示されます。駐車スペースが検出されると、右向きまたは左向きの矢印も表示されます。標準では、アクティブパーキングアシストは助手席側の駐車スペースのみを表示します。運転席側の方向指示灯を作動させるとすぐに、運転席側の駐車スペースが表示されます。運転席側に駐車するときは、ステアリングの OK スイッチを押してアクティブパーキングアシストの使用を確認するまで、方向指示灯を作動させたままにしなければなりません。システムは、駐車スペースが進行方向と平行、または直角かどうかを自動で測定します。

駐車スペースは、駐車スペースを過ぎてから約 15 m 離れるまで表示されます。

駐車

ⓘ 駐車操作を行なっている間にパークトロニックが障害物を検知したときは、アクティブパーキングアシストは自動的にブレーキを効かせます。運転者には、適切にブレーキ操作を行なう責任があります。

▶ メーターパネルに希望の駐車スペースを示すマークが表示されたら、停車します。

▶ トランスミッションをポジション **R** にシフトします。マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト オン Yes: OK No: ⮌ というメッセージが表示されます。

▶ **操作を中止する：**ステアリングの ⮌ スイッチを押すか、発進します。

または

▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車する：**ステアリングの OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中ｱｸｾﾙとﾌﾞﾚｰｷを操作周囲を確認というメッセージが表示されます。

▶ ステアリングを放します。

▶ いつでもブレーキを効かせられるようにして、車両を後退させます。後退するときは、7 km/h 以下の速度で走行してください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。車両が駐車スペースにあるときは、アクティブパーキングアシストは車両が停止するまでブレーキを効かせます。

狭い駐車スペースでは、さらなる操作が必要となる場合があります。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中 D にシフト周囲を確認というメッセージが表示されます。

▶ 車両が停止している間に、トランスミッションをポジション **D** にシフトします。

アクティブパーキングアシストは、ただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中ｱｸｾﾙとﾌﾞﾚｰｷを操作周囲を確認というメッセージが表示されます。

ⓘ ステアリング操作の完了を待ってから発進することにより、最適な結果が得られます。

▶ 前進して、いつでもブレーキを効かせられるようにします。アクティブパーキングアシストは、停止するまで車両にブレーキを効かせます。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中 R にシフト 周囲を確認というメッセージが表示されます。

さらにシフト操作が必要となる場合があります。駐車手順が完了するとすぐに、マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト オフというメッセージが表示され、確認音が聞こえます。そして車両を駐車します。運転者がブレーキペダルを踏まなくても、車両は停止状態を保ちます。アクセルペダルを踏んだときは、ブレーキが解除されます。

運転者がステアリング操作での介入およびブレーキ操作を行なうと、アクティブパーキングアシストは支援を行なわなくなります。アクティブパーキングアシストが終了したときは、ご自身で再度ステアリング操作とブレーキ操作を行なってください。パークトロニックは引き続き使用できます。

▶ 必要であれば車両を移動してください。

▶ パークトロニックの警告表示に、常に注意してください（▷253 ページ）。

駐車の知識：

- 駐車後の駐車スペースでの車両の位置は、様々な要因に左右されます。これには、前後に停車している車両の位置や形状、スペースの状態が含まれます。そのため、アクティブパーキングアシストは駐車スペース内の最適な位置よりも奥または手前の位置に誘導することがあります。また縁石をまたいだり、縁石に乗り上げることもあります。必要であれば、アクティブパーキングアシストによる駐車操作を中断してください。
- すぐに前進ギアに入れることもできます。車両の向きが変わり、駐車スペースの奥まで移動しなくなります。ギアチェンジを行なうタイミングが早すぎると、駐車操作が中断されます。この位置からは、適切な位置に駐車することができなくなります。

駐車スペースからの退出

駐車スペースから退出するときに、アクティブパーキングアシストが支援を行なうためには、以下を確認してください。

- 駐車スペースの境界がフロントとリアで十分に高くなければならない。例えば、縁石が小さすぎてはいけない。
- 車両を駐車スペースに入れるとき、最初の車両位置に対して車両が 45°の角度を超えてはいけない。
- 転回範囲が 1.0m 以上でなければならない。

ⓘ 車両が駐車スペースから退出している間にパークトロニックが障害物を検知した場合は、アクティブパーキングアシストは自動的にブレーキを効かせます。運転者には、適切なブレーキ操作を行なう責任があります。

アクティブパーキングアシストは、走行方向と平行に車両を駐車した場合にのみ、駐車スペースを出るときも運転者を支援することができます。

▶ エンジンを始動してください。

▶ 出る方向の方向指示灯を作動させます。

▶ トランスミッションをポジション **D** または **R** にシフトします。マルチファンクションディスプレイにパーキングアシストオン Yes: OK No: ↩ というメッセージが表示されます。

▶ **操作を中止する：**ステアリングの ↩ スイッチを押すか、発進します。

または

▶ **アクティブパーキングアシストを使用して駐車スペースから退出する：**ステアリングの OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト作動中アクセルとブレーキを操作周囲を確認 というメッセージが表示されます。

▶ ステアリングを放します。

▶ いつでもブレーキを効かせられる準備をして、車両を後退させます。後退するときは、7 km/h 以下の速度で走行してください。この速度を超えると、アクティブパーキングアシストが解除されます。

▶ 停車したら、必要に応じてシフトポジションを **D** または **R** にシフトします。

アクティブパーキングアシストはただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト作動中アクセルとブレーキを操作周囲を確認というメッセージが表示されます。

ⓘ ステアリング操作の完了を待ってから発進することにより、最適な結果が得られます。

作動後に後退する場合は、ステアリングを直進位置に動かします。

▶ パークトロニックの警告表示による指示に従い、必要に応じて数回、前進および後退します。

駐車スペースから完全に出たら、ステアリングを直進位置に動かします。音が聞こえ、マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト オフというメッセージが表示されます。ご自身でステアリング操作を行ない、交通に合流する必要があります。パークトロニックは引き続き使用できます。車両が駐車スペースから完全に出る前に、ステアリング操作を引継ぐことができます。これは、すでに駐車スペースから出たと思われる場合などに役立ちます。

アクティブパーキングアシストの中止

アクティブパーキングアシストはいつでも中止することができます。

▶ ステアリングの動きを止めるか、またはご自身でステアリング操作を行ないます。アクティブパーキングアシストはすぐに中止されます。マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト中止というメッセージが表示されます。

または

▶ センターコンソールにあるパークトロニックスイッチを押します（▷254ページ）。

パークトロニックが解除され、アクティブパーキングアシストがただちに中止されます。マルチファンクションディスプレイに パーキングアシスト中止 というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストは以下のときに自動的に解除されます。

- トランスミッションをシフトするのが早すぎた
- シフトポジション **P** が選択された
- アクティブパーキングアシストを使用して駐車することができなくなった
- 7 km/h 以上で走行した
- 車輪が空転して ESP® が介入したか、故障した

  そのような場合は、メーターパネルの警告灯 [警告灯] が点灯します。

警告音が鳴ります。駐車マークが消え、マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト中止というメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシストが解除されたときは、ご自身で再度ステアリング操作とブレーキ操作を行なってください。

システム故障が発生した場合は、停止するまで車両がブレーキを効かせます。走行するためには、再度アクセルペダルを踏んでください。

パーキングアシストリアビューカメラ

全体的な注意事項

例：セダン

パーキングアシストリアビューカメラ ① はトランクリッドのハンドル脇にあります。パーキングアシストリアビューカメラ ① は、視覚的な駐車およびステアリング操作の支援です。COMAND ディスプレイに車両後方エリアをガイドライン入りで表示します。

車両後方エリアは、ルームミラーに写るように鏡像で表示されます。

ⓘ COMAND ディスプレイに表示されるメッセージの文字は、言語設定により異なります。以下は、パーキングアシストリアビューカメラのメッセージの例です。

重要な安全上の注意事項

パーキングアシストリアビューカメラは単なる補助にすぎません。運転者の代わりに周辺状況を確認することはできません。運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なう間は、周囲に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。

以下のような環境下ではパーキングアシストリアビューカメラは機能しなかったり、制限された方法で機能します。

- トランク / テールゲートが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧で
- 夜や非常に暗い場所で
- カメラが非常に明るい光に照らされている場合
- 周囲が蛍光灯の光、または LED の光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入るなど、急激な温度変化があった場合
- カメラのレンズが汚れていたり、遮られている場合
- 車両の後部が損傷している場合。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置および設定を点検してください

パーキングアシストリアビューカメラの視界および他の機能は、車両後部に装着されたアクセサリー（ナンバープレートホルダー、自転車ラックなど）により、制限されることがあります。

パーキングアシストリアビューカメラの作動 / 解除

▶ **作動させる：**イグニッション位置が **2** になっていることを確認します。

▶ COMAND システムで "リバース連動" 設定が作動していることを確認します。

▶ リバースギアに入れます。車両後方のエリアがガイドラインとともに COMAND ディスプレイに表示されます。

解除する：トランスミッションを **P** にシフトした場合、または短距離を前進した後に、パーキングアシストリアビューカメラは解除されます。

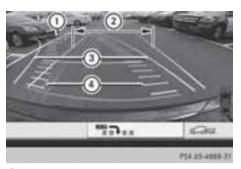
COMAND ディスプレイの表示

パーキングアシストリアビューカメラは、障害物の歪んだ画像を表示したり、それらを正しく、または全く表示しないことがあります。以下の場所では、リアビューカメラでは障害物は表示されません：

- リアバンパーのすぐ近く
- リアバンパーの下
- トランクハンドルまたはテールゲートハンドルのすぐ上の範囲

! 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くにあるように見えることがあります。

- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのけん引バー
- トレーラーけん引ヒッチのボールカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。障害物に近付くときは、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。

① 車両後部から約 4.0 m の距離の黄色ガイドライン
② ステアリングをまわしていないときの、ドアミラーを含む車幅を示す白色のガイドライン（固定）
③ そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
④ そのときのステアリング操舵角での、タイヤの進路を示す黄色のレーンマーク（可変）

⑤ 車両後部から約 1.0 m の距離の黄色のガイドライン
⑥ 車両中央軸（補助マーカー）
⑦ バンパー
⑧ 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン

トランスミッションをシフトポジション **R** にしたときに、ガイドラインは表示されます。

規定の距離は、路面に接している障害物にのみ適用されます。

パークトロニック装備車両の補助表示
① フロントの警告表示
② パークトロニックの補助計測の作動待機インジケーター
③ リアの警告表示

パークトロニックが作動可能なときは（▷ 251 ページ）、COMAND ディスプレイに補助計測の作動待機インジケーター ② が表示されます。パークトロニック警告表示が作 動または点灯している場合は、それに応じて警告表示 ① および ③ も COMAND ディスプレイ内で作動または点灯します。

" 後退駐車 " 機能

ステアリングをまわさないで、駐車スペースにまっすぐ後退する

① ステアリングをまわしていないときの、ドアミラーを含む車幅を示す白色のガイドライン（固定）
② そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
③ 車両後部から約 1.0m の距離の黄色のガイドライン
④ 車両後部から約 0.30m の距離の赤色のガイドライン

▶ パーキングアシストリアビューカメラが作動していることを確認してください（▷261 ページ）。

ガイドラインが表示されます。

▶ 白色のガイドライン ① の補助で、車両が駐車スペースに合うかどうかを確認します。

▶ 白色のガイドライン ① を進路の参考として使用し、後端位置に到達するまで慎重に後退します。

赤色のガイドライン ④ が駐車スペースの後端にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

ステアリングをまわして直角に後退駐車する

① 駐車スペースのマーク
② そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）

▶ パーキングアシストリアビューカメラが作動していることを確認してください（▷261 ページ）。

ガイドラインが表示されます。

▶ 駐車スペースを通過して、車両を停止します。

▶ 車両が停止している間に、黄色のガイドライン ② が駐車スペースのマーク ① の中に収まるまで駐車スペースの方向にステアリングをまわします。

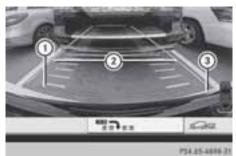
▶ ステアリングをその位置で保持して注意しながら後退します。

ステアリングをまわしながら後退する
① そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）

▶ 駐車スペースのほぼ正面になったときに停車します。

白色のレーンが駐車スペースとできるだけ平行になるようにします。

停止位置まで運転する
① そのときのステアリング操舵角での、白色のガイドライン（可変）
② 駐車スペースのマーク

▶ 車両が停止している間に、ステアリングを直進位置にまわします。

① 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン
② ステアリングを直進にした状態での車両の進路を示す白色のレーン
③ 駐車スペースの後端

▶ 後端に達するまで、注意しながら後退します。

赤色のガイドライン ① が駐車スペース ③ の後端にきます。車両は駐車スペースとほぼ平行になります。

360° カメラシステム

全体的な注意事項

360° カメラシステムは 4 つのカメラで構成されるカメラシステムです。システムは以下のカメラからの映像を判断します。

- パーキングアシストリアビューカメラ
- フロントカメラ
- ドアミラーの 2 つのカメラ

カメラは車両周辺の状況を映し出します。システムは、駐車時や見通しの悪い出口などで運転者を支援します。

360° カメラシステムの映像は、COMAND ディスプレイに全画面表示モードまたは 6 種類の分割画面表示で表示することができます。分割画面表示には車両の上面表示も含まれます。この表示は、車載カメラにより提供されたデータから生成されます（バーチャルカメラ）。

6 つの分割画面表示は以下の通りです。

- 上面表示とパーキングアシストリアビューカメラの映像（130° 表示角度）
- 上面表示とフロントカメラからの映像（最大ステアリング角度を表示しない 130° 表示角度）
- 上面表示と拡大リア表示
- 上面表示と拡大フロント表示
- 上面表示と後面ミラーカメラの映像（後輪表示）
- 上面表示と前面ミラーカメラの映像（前輪表示）

機能が作動していて、トランスミッションを **D** または **R** から **N** にシフトしたときは、可変ガイドラインは非表示になります。

シフトポジションを **D** と **R** の間で切り替えると、直前に選択されていたフロントビューまたはリアビューが表示されます。

重要な安全上の注意事項

360° カメラシステムは単なる支援に過ぎず、障害物の歪んだ映像を表示したり、それらを正しく、または、まったく表示しないことがあります。360° カメラシステムは、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

運転者には、安全にステアリングを操作し、駐車する責任があります。ステアリング操作や駐車を行なう間は、進行方向に人や動物、障害物が存在しないことを確認してください。

運転者には安全を確保する責任があり、駐車や運転操作を行なうときは、常に周囲の状況に注意しなければなりません。車両の後方、前方および両側の状況を直接確認してください。お守りいただかないと、運転者や他の人に危険がおよぶおそれがあります。

360° カメラシステムは、以下のときはまったく機能しなくなるか、機能が制限されます。

- ドアが開いている場合
- ドアミラーが格納されている場合
- トランクが開いている場合
- 激しい雨、雪または霧で
- 夜や非常に暗い場所で
- カメラに強い光が直接当たっている場合
- 周囲が蛍光灯の光、または LED の光で照らされている場合（ディスプレイがちらつくことがあります）
- 冬に暖かい車庫に入るなど、急激な温度の変化があった場合
- カメラのレンズが汚れていたり、覆われている場合
- カメラ装着部の車両の構成部品が損傷している場合。このようなときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でカメラの位置や設定を点検してください。

このような場合は、360° カメラシステムを使用しないでください。駐車をしているときに、他の人にけがをさせたり、物や車両を損傷するおそれがあります。

ガイドラインは常に、道路の高さで表示されます。

作動条件

360°カメラシステムの映像は、以下のときに表示されます。

- 車両に 360°カメラシステムが装備されている
- イグニッション位置が **2** にある
- COMAND システムが作動している。デジタル版取扱説明書をご覧ください
- 360°カメラの機能が作動している

SYS スイッチを使用して 360°カメラシステムを作動させる

▶ SYS スイッチを 2 秒以上押します。

COMAND システムの取扱説明書をご覧ください。

シフトポジションが **D** または **R** のいずれかであるかによって、以下の画面が表示されます。

- フロントカメラ映像の全画面表示
- リアビューカメラ映像の全画面表示

COMAND システムを使用して 360°カメラシステムを作動させる

▶ SYS スイッチを押します。

COMAND システムの取扱説明書をご覧ください。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして、システムを選択し、押して確定します。

▶ 360°カメラを選択し、押して確定します。

シフトポジションが **D** または **R** のいずれかであるかによって、以下の画面が表示されます。

- 上面表示とフロントカメラ映像を含む分割画面表示

または

- 上面表示とパーキングアシストリアビューカメラの画像のある分割画面表示

COMAND コントローラーに関するさらなる情報は、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

リバースギアを使用して 360°カメラシステムを作動させる

リバースギアに入れることで、自動的に 360°カメラシステムの映像が表示されます。

▶ イグニッション位置が **2** にあることを確認します。

▶ COMAND システムでリバース連動設定が作動していることを確認します。

デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ **360°カメラシステムの映像を表示する：**リバースギアに入れます。

COMAND システムに分割画面モードで車両後方エリアが表示されます。車両の上面表示およびパーキングアシストリアビューカメラからの画像が表示されます。

分割画面または全画面表示モードを選択する

▶ **分割画面のビューを切り替える：** COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、車両アイコンがあるラインに切り替えます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◖◎◗、車両アイコンのいずれかを選択します。

▶ **全画面モードに切り替える：** COMAND コントローラーをまわして ◖◎◗ 全画面表示を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 全画面オプションは以下の表示でのみ使用可能です。

- パーキングアシストリアビューカメラからの上面表示
- フロントカメラからの上面表示

COMAND ディスプレイの表示

重要な安全上の注意事項

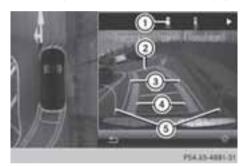
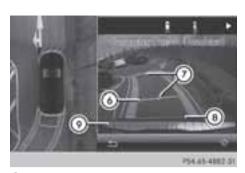
360°カメラシステムは障害物の歪んだ映像を表示したり、それらを正しく表示しなかったり、または全く表示しないことがあります。以下の場所では、システムは障害物を表示しません。

- フロントおよびリアバンパーの下
- フロントおよびリアバンパーのすぐ近く
- テールゲートハンドル / トランクリッドハンドルのすぐ上の範囲
- ドアミラーの近接部
- バーチャル上面表示での様々なカメラ間の推移エリア

! 以下のような路面に接していない障害物は、実際よりも遠くにあるように見えることがあります。

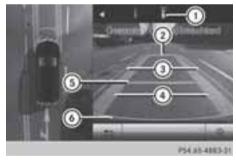
- 駐車車両のバンパー
- トレーラーのけん引バー
- トレーラーけん引ヒッチのボールカップリング
- 大型車のリア部
- 傾いた柱

ガイドラインはあくまでも目安として利用してください。障害物に接近するときは、障害物が一番下のガイドラインを越えないように注意してください。

上面表示（リアビューカメラからの映像）

① 上面表示とパーキングアシストリアビューカメラ映像の分割画面の設定アイコン
② 車両後部から約 4.0 m の距離の黄色のガイドライン
③ そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
④ そのときのステアリング操舵角での、タイヤの進路を示す黄色のレーンマーク（可変）
⑤ 最大のステアリング操舵角での、黄色のガイドライン

⑥ 車両後部から約 1.0 m の距離の黄色のガイドライン
⑦ 車両中央軸（補助マーカー）
⑧ 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン
⑨ バンパー

ガイドラインは、トランスミッションがポジション R にあるときに表示されます。

距離は路面に接している障害物を基準に示しています。

上面表示（フロントカメラからの映像）

① 上面表示とフロントカメラ映像の分割画面の設定アイコン
② 車両後部から約 4.0 m の距離の黄色のガイドライン
③ そのときのステアリング操舵角での、ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
④ そのときのステアリング操舵角での、タイヤの進路を示す黄色のレーンマーク（可変）
⑤ 車両後部から約 1.0 m の距離の黄色のガイドライン
⑥ 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン

上面表示と拡大リア表示

① 上面表示とリアビューカメラ拡大映像の分割画面の設定アイコン
② 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン

この表示は、車両後方からの距離を確認するときに運転者を支援します。

ℹ この設定は、拡大フロント表示としても選択することもできます。

上面表示（ミラーカメラからの映像）

① 上面表示と前面ミラーカメラの設定アイコン
② ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（車両右側）
③ ドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（車両左側）

ℹ 後方表示に設定したミラーカメラを選択することもできます。

広角機能

例：パークトロニック表示のある全画面表示
① リアビューカメラ映像の全画面表示設定アイコン
② パークトロニック警告表示

パークトロニックが作動している場合は（▷251 ページ）、それに応じて COMAND ディスプレイの警告表示 ② も作動するか、または点灯します。

パークトロニックは以下のように表示されます。

- 分割画面モードの上面表示では、車両マーク周囲の赤色または黄色の四角い枠で

または

- 全画面モードでは、車両マーク周囲の赤色または黄色の四角い枠で下部右側に

ℹ 全画面表示モードは、フロント表示でも選択可能です。

出口から出たり、交差点の視界が制限されているときなどに、この表示を選択します。

障害物検知

① リアビューカメラ映像の全画面表示設定アイコン
② 検知された障害物をマークするバー

全画面モードでは、360゜カメラシステムは動いている、および停止している障害物の両方を検知できます。例えば、歩行者または他の車両が検知された場合は、これらの障害物はバー ② でマークされます。

車両が動いているときにのみ、システムは静止している障害物を検知し、マークすることができます。対照的に、動いている障害物は常に検知され、マークされます。

360゜カメラシステムを停止する

機能を作動させていて、車両が 30 km/h 以上になると、機能はすぐに停止します。COMAND ディスプレイに前回の画面が表示されます。ディスプレイの ⮌ マークを選択し、COMAND コントローラーを押して ◉ 選択することでも、ディスプレイを切り替えることもできます。

シフトポジション **P** を選択した場合も、360゜カメラシステムの表示は終了します。

アテンションアシスト

全体的な注意事項

アテンションアシストは高速道路や幹線道路のような道路で、長時間の変化の少ない走行をするときに運転者を補助します。60 km/h ～ 200 km/h の範囲で作動します。アテンションアシストが運転者の疲労の増加や集中力の欠如などの典型的な兆候を検知した場合は、休憩を促します。

重要な安全上の注意事項

アテンションアシストは単なる支援に過ぎません。疲労や集中力低下を検出するのが遅すぎたり、全くしないことがあります。十分な休憩を取ったり、集中力のある運転者の代わりになるものではありません。

以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります。

- 走行時間が約 30 分 以下の場合
- 路面が平坦でなかったり、穴があるなど、道路の状態が悪い場合
- 横風が強い場合
- 高いスピードでカーブを曲がっているときや急加速をしているときなど、スポーティな運転を行なっている場合
- 主 に 60 km/h 以 下、 ま た は 200 km/h 以上の速度で走行している場合
- ディストロニック・プラスのステアリングアシストを作動させて走行している場合
- 時刻が正しく設定されていない場合
- 車線を変更したり走行速度を変えるなどの活発な運転状況のとき

走行を継続するときは、アテンションアシストは以下の場合にリセットされ、運転者の疲労の評価を開始します。

- エンジンを停止した
- 運転者を交代したり、休憩を取るために、運転者がシートベルトを外して運転席ドアを開いた

アテンションレベルの表示

マルチファンクションディスプレイのアシストメニューに現在のアテンションレベルを表示させることができます。

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧を選択します（▷ 292 ページ）。

以下の情報が表示されます。

- 最後の休憩からの走行時間
- アテンションアシストによって判断されるアテンションレベル、高いから低いまで 5 段階のバー表示で表示されます。
- アテンションアシストがアテンションレベルを算出できず、警告を発せられない場合は、システム停止というメッセージが表示されます。例えば 60 km/h 以下、または 200 km/h 以上の速度で走行している場合、バー表示の表示が変更されます。

アテンションアシストの設定

▶ マルチファンクションディスプレイを使用してアテンションアシストを設定します（▷294 ページ）。

システムは、選択された以下の設定によって運転者のアテンションレベルを判断します。

標準を選択：アテンションレベルを判断するシステムの感度が標準に設定されます。

高感度を選択：感度がより高く設定されます。それに従ってアテンションアシストにより検知されたアテンションレベルがより早く知らされます。

エンジンがかかっているときにアテンションアシストが解除されているときは、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧表示に ☕ マークおよび OFF が表示されます。

アテンションアシストが解除されたときは、エンジンが停止した後に自動的に再作動します。選択される感度は、最後に作動させた選択に対応します（標準 / 高感度）。

マルチファンクションディスプレイの警告

疲労または集中力欠如の増加が検知された場合は、マルチファンクションディスプレイに アテンションアシスト 休憩しましょう！ というメッセージが表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示されるメッセージに加えて、警告音が聞こえます。

▶ 必要であれば、休憩を取ってください。

▶ ステアリングの OK スイッチを押して、メッセージを確定します。

長時間の運転では、適切な休憩をするために、適切な時間に定期的に休憩を取るようにしてください。休憩を取らず、アテンションアシストがなお集中力欠如の増加を検知した場合は、15 分後以降に再度警告されます。これは、アテンションアシストが疲労または集中力低下の増加の兆候を検知した場合にのみ実行されます。

アクティブブラインドスポットアシスト

全体的な注意事項

アクティブブラインドスポットは、左右の後ろ向きの 2 つのレーダーセンサーで、運転者には見えない車両のいずれか一方のエリアをモニターします。ドアミラーの警告表示によって、モニターしている範囲で検知された車両に運転者の注意が向けられます。車線変更するために該当する方向指示灯を作動させた場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告も発せられます。側方衝突の危険性が検知された場合は、修正ブレーキが衝突の回避を支援することがあります。進路修正ブレーキの適用前に、アクティブブラインドスポットアシストは進行方向および側方の空いているスペースを測定します。そのために、アクティブブラインドスポットアシストは前向きのレーダーセンサーを使用します。

アクティブブラインドスポットアシストは、約 30 km/h 以上の速度で支援を行ないます。

重要な安全上の注意事項

アクティブブラインドスポットアシストは単なる支援にすぎず、注意を払った走行の代わりになるものではありません。

⚠ 警告

アクティブブラインドスポットアシストは以下のような車両には反応しません。

- 追い越してくる際に、側面に近づき過ぎて死角に入った車両
- 接近と追い越しの速度差が非常に大きいとき

この場合、アクティブブラインドスポットアシストは警告も介入も行ないません。

事故の危険性があります。

常に交通状況に十分注意を払い、車両の両側に安全な車間距離を維持してください。

レーダーセンサー

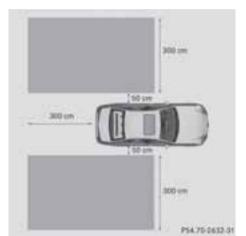
アクティブブラインドスポットアシストのレーダーセンサーは、前後のバンパーおよびラジエターグリルのカバー裏側に内蔵されています。バンパーとラジエターグリルのカバーに汚れ、氷、または泥がないことを確認してください。リアセンサーが自転車用ラック、または突き出た荷物などによって覆われないようにしてください。

強い衝撃を受けたり、バンパーに損傷を与えたときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でレーダーセンサーの機能を点検してください。アクティブブラインドスポットアシストが正しく機能しなくなることがあります。

モニター範囲

⚠ 警告

アクティブブラインドスポットアシストはすべての交通状況と道路使用者を検知するわけではありません。事故の危険性があります。

他の交通や障害物との距離が十分であることを常に確認してください。

例：セダン

アクティブブラインドスポットアシストは、図に示すように 3.0 m までの車両後方および車両のすぐ脇の範囲をモニターします。

以下の場合には、車両の検知が困難になることがあります。

- センサーが汚れている、またはセンサーが覆われている
- 雨、雪または霧雨などのため視界が悪い

このようなときは、モニター範囲の車両は遅く表示されるか、またはまったく表示されません。アクティブブラインドスポットアシストはオートバイや自転車のような幅の狭い車両を検知しなかったり、非常に遅れてからのみ検知することがあります。

車線が狭い場合、特に車両が車線の中央を走行していない場合は、お客様の車両の隣車線の次の車線の車両を検知することがあります。これは、車両がその車線の端にある場合などに該当します。

以下は、システムの特性に起因するものです。

- ガードレール、または類似の連続している車線境界の近くを走行しているときに、誤って警告が発せられることがあります
- トレーラーなどの長い車両と長時間並走しているときに、警告が中断されることがあります

表示灯と警告灯

① 黄色の表示灯 / 赤色の警告灯

アクティブブラインドスポットアシストは約 30 km/h 以下の速度では作動しません。モニター範囲にある車両は検知されません。

アクティブブラインドスポットアシストが設定されている場合は、30 km/h までの速度では、ドアミラーの表示灯 ① が黄色に点灯します。30 km/h 以上の速度では、表示灯は消灯し、アクティブブラインドスポットアシストは作動可能になります。

30 km/h 以上の速度で、ブラインドスポットアシストのモニター範囲内で車両が検知された場合は、該当する側の警告灯 ① が赤色に点灯します。警告は、後方から、または側方から車両がブラインドスポットのモニター範囲内に入ったときに常に発せられます。車両を追い越すときは、速度差が 12 km/h 以下の場合にのみ警告が行なわれます。

リバースギアに入れた場合は、黄色の表示灯は消灯します。そして、アクティブブラインドスポットアシストは作動しなくなります。

表示灯 / 警告灯の明るさは周囲の明るさによって自動的に調整されます。

視覚的および聴覚的な衝突警告

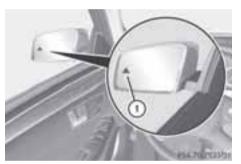
運転者が車線変更のために方向指示灯を作動させ、側方のモニター範囲で車両が検知された場合は、視覚的および聴覚的な衝突警告が発せられます。

そのときは、警告音が 2 回聞こえ、赤色の警告灯 ① が点滅します。方向指示灯がそのままの場合は、赤色の警告灯 ① の点滅により検知された車両が表示されます。警告音はそれ以上鳴りません。

車線修正ブレーキの適用

⚠ **警告**

車線修正ブレーキの適用は、常に衝突を防ぐわけではありません。事故の危険性があります。

特に、アクティブブラインドスポットアシストが警告を行なったり、車線修正ブレーキの適用を行なった場合は、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行なってください。常に両側との安全な車間距離を維持してください。

モニター範囲でアクティブブラインドスポットアシストが側方衝突の危険性を検知した場合は、進路修正ブレーキの適用が行なわれます。これは、運転者の衝突回避を支援するために設計されています。

車線修正ブレーキが介入すると、ドアミラーの赤色の警告灯 ① が点滅して、警告音が 2 回鳴ります。さらにマルチファンクションディスプレイにマーク ② が表示されます。

まれに、システムが適切でないブレーキの適用を行なうことがあります。ステアリングを反対方向に軽く操作するか、または加速した場合は、いつでも進路修正ブレーキの適用が中断されます。進路修正ブレーキの適用は 30 km/h ～ 200 km/h の速度範囲で作動します。

以下の場合には、走行状況に合わない進路修正ブレーキの適用が行なわれることがあります。

- 車両の両側に車両やガードレールなどの障害物がある
- 側方すぐのところに車両が接近している
- 高いコーナリング速度のスポーティな運転スタイルをとっている
- 明確にブレーキ操作またはアクセル操作を行なっている
- ESP® または PRE-SAFE® ブレーキのような走行安全システムが介入している
- ESP® が解除されている
- タイヤ空気圧の低下やタイヤの不具合が検知されている

アクティブブラインドスポットアシストの設定

▶ マルチファンクションディスプレイでアクティブブラインドスポットアシスト（▷295 ページ）が設定されていることを確認します。

▶ イグニッション位置を **2** にします。

ドアミラーの警告灯 ① が約 1.5 秒間赤色で点灯した後、黄色に変わります。

アクティブレーンキーピングアシスト

全体的な注意事項

アクティブレーンキーピングアシストは、フロントウインドウ上部にあるカメラシステム ① で車両の前方エリアをモニターします。

レーダーセンサーシステムの支援により、車両の前方、後方および側方の他の様々なエリアもモニターされます。

アクティブレーンキーピングアシストは道路の車線マークを検知し、意図せずに車線から外れる前に警告を発します。警告に反応しない場合は、車線修正ブレーキを適用することにより、車両を元の車線に戻すことができます。

この機能は、60 km/h ～ 200 km/h の間の範囲で作動します。

走行時のアクティブレーンキーピングアシストの支援のためには、レーダーセンサーシステムが作動可能でなければなりません。

重要な安全上の注意事項

運転スタイルを合わせていない場合は、アクティブレーンキーピングアシストは事故の危険性を低減させることはできません。また、アクティブレーンキーピングアシストは、物理的法則を乗り超えることもできません。アクティブレーンキーピングアシストは道路および天候の状況を考慮することはできません。交通状況を認識しないことがあります。

アクティブレーンキーピングアシストは単なる支援にすぎません。運転者には、先行車両との車間距離、車両速度、適切なブレーキ操作、車線内での維持に関する責任があります。

アクティブレーンキーピングアシストは車両を車線内に保ち続けることはできません。

⚠ 警告

アクティブレーンキーピングアシストは必ずしも明確に車線ラインを検知することはできません。

このような場合、アクティブレーンキーピングアシストは以下を行うことがあります。

- 不要な警告を行ない、車両に車線修正ブレーキを効かせる
- 警告を行なわなくなる、または作動しなくなる

事故の危険性があります。特にアクティブレーンキーピングアシストが警告しているときは、必ず交通状況に注意を払い車線内に保つようにしてください。危険な状態を脱したら、通常の運転スタイルに戻してください。

以下の場合は、システムの作動が損なわれたり、正しく機能しないことがあります。

- 道路に十分な照明がなかったり、雪や雨、霧や小雨により視界が悪い
- 対向車両、太陽または他の車両からの反射などで眩しい（路面が濡れている場合など）
- フロントウインドウが汚れている、曇っている、損傷している、またはカメラ周辺がステッカーなどで覆われている
- フロントまたはリアバンパー、またはラジエターグリルのレーダーセンサーが雪などに覆われているなどで汚れている
- 工事などで 1 車線分の車線マークが全くないか、いくつかある、または不明瞭である
- 車線ラインが摩耗していたり黒ずんでいる、または汚れや雪などに覆われている
- 先行車両との車間距離が短くて車線マークが検知できない
- 車線の分岐や他との交差、合流などで車線マークが頻繁に変わる
- 道路が狭かったりカーブしている
- 道路に著しく様々な状況の日陰がある

隣接する車線で車両が検知されず、破線の車線マークが検知されている場合は、車線修正ブレーキの適用はされません。

ステアリングの警告振動

前輪が車線マークを超えた場合は、警告が発せられます。警告はステアリングを 1.5 秒以内で振動させることにより行なわれます。

車線修正ブレーキの適用

⚠ 警告

車線修正ブレーキを適用しても車両が元の車線に戻るとは限りません。事故の危険性があります。

特に、アクティブレーンキーピングアシストが警告を行なったり、車線修正ブレーキの適用を行なった場合は、必ずステアリング操作、ブレーキ操作、加速操作を行なってください。

⚠ 警告

アクティブレーンキーピングアシストは、限られた範囲でしか交通状況および他の道路使用者を検知しません。まれに、実線の車線マークの上を故意に走行した後などに、システムによって適切でないブレーキが適用されることがあります。事故の危険性があります。

ステアリングを反対方向に軽く操作すると、適切でないブレーキの適用を中断できます。他の交通や障害物との距離が十分であることを常に確認してください。

特定の状況で車線から外れた場合には、片側にブレーキが軽く効きます。これは、車両を元の車線に戻すように支援するために意図されています。

車線修正ブレーキの適用が行なわれた場合は、マルチファクションディスプレイに表示 ① が表示されます。

実線または破線と認識された車線マークを越えて走行した後に、車線修正ブレーキの適用は行なわれます。これ以前は、ステアリングの断続的な振動により警告が発せられます。さらに､両側に車線マークのある車線を認識していなくてはなりません。

破線の車線マークが検知された場合は、隣接する車線で車両が検知されている場合にのみ車線修正ブレーキの適用が行なわれます。以下の車両はブレーキの適用に影響を与えることがあります。

- 対向車両
- 追い越そうとしている車両
- お客様の車両と併走している車両

ⓘ 次の車線修正ブレーキの適用は、車両が元の車線に戻った後にのみ行なわれます。

以下のときは、車線修正ブレーキの適用は行われません。

- 明確に、および活発にステアリング操作、ブレーキ操作または加速を行なっている
- きついカーブの内側をまたいだ。
- 高いコーナリング速度、または急加速のスポーティな運転スタイルをとっている
- 方向指示灯を作動させた
- ESP®、PRE-SAFE® ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシストのような走行安全システムが介入した
- ESP® が解除された
- トランスミッションがポジション **D** でない
- 走行している車線で障害物が検知された
- タイヤ空気圧の減少やタイヤの不具合が検知されて表示された

アクティブレーンキーピングアシストは、与えられた交通状況の判断を誤る可能性があります。不適切なブレーキの適用は、以下のときにいつでも中断されます。

- ステアリングを反対方向に軽く操作する
- 方向指示灯を作動させる
- 明確にブレーキ操作または加速操作を行なう

車線修正ブレーキの適用は、以下のときに自動的に中断されます。

- ESP®、PRE-SAFE® ブレーキまたはアクティブブラインドスポットアシストのような走行安全システムが介入した
- 車線マークが検知されなくなった

アクティブレーンキーピングアシストの設定

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アクティブレーンキーピングアシストを設定し、標準またはアダプティブを選択します（▷295 ページ）。

60 km/h 以上の速度で走行していて、車線マークが検知された場合は、アシスト一覧（▷292 ページ）のラインが緑色で表示されます。このときは、アクティブレーンキーピングアシストが作動可能な状態になっています。

標準を選択した場合は、以下のときは振動による警告は行なわれません。

- 方向指示灯を作動させた。このときは、警告が一定時間に抑えられることがあります
- ABS や BAS、ESP® などの走行安全システムが介入した

アダプティブを選択したときは、以下のときは振動による警告が行なわれません。

- 方向指示灯を作動させた。このときは、警告が一定時間に抑えられることがあります
- ABS や BAS、ESP® などの走行安全システムが介入した
- キックダウンなどの急加速を行なった
- 急ブレーキを効かせた
- 障害物を避けるために急に進路変更をしたり、急に車線を変更するなど、活発なステアリング操作を行なった
- きついカーブの内側をまたいだ

車線マークを越えた場合は、必要な状況で適切なタイミングでのみ警告を行なうため、システムは特定の状況を認識し、それに応じて警告を行ないます。

以下のときは、早めに警告の振動が行なわれます。

- カーブの外側の車線に近づいた
- 高速道路など道路の車線の幅が非常に広い
- システムが実線の車線マークを検知した

以下のときは、遅めに警告の振動が行なわれます。

- 道路の車線の幅が狭い
- カーブの内側をまたいだ

役に立つ情報…… 282
重要な安全上の注意事項…… 282
ディスプレイおよび操作…… 282
メニューおよびサブメニュー…… 285
ディスプレイメッセージ…… 306
メーターパネルの警告灯および表示灯…… 336

役に立つ情報

ⓘ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ⓘ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

⚠ **警告**

メーターパネルに故障や異常がある場合は、安全性に関わる機能を認識することができません。走行安全性が損なわれる可能性があります。事故の危険性があります。

注意して運転してください。すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

マルチファンクションディスプレイを操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。

マルチファンクションディスプレイは、特定のシステムからのメッセージや警告のみを表示します。そのため、常に安全に走行してください。車両を安全に操作しないと、事故の原因になるおそれがあります。

概要は、メーターパネルのイラストをご覧ください（▷40 ページ）。

ディスプレイおよび操作

冷却水温度計

⚠ **警告**

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームに炎が発生した場合、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。 けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにし、消防局に連絡してください。

冷却水温度計はメーターパネルの左側にあります（▷40 ページ）。通常の作動条件下、および指定の冷却水レベルでは、冷却水温度が 120℃に上がることがあります。

高い外気温および上り坂を走行しているときは、冷却水温度が目盛りの上限に上がることがあります。

タコメーター

❗ エンジンを損傷する原因となりますので、レッドゾーンに入らないよう運転してください。

タコメーターのレッドゾーンは、エンジンの許容回転数を超えたオーバーレブレンジを示します。

エンジン回転数がレッドゾーンに達すると、エンジン保護のため、燃料供給が停止されます。

外気温度表示

気温が氷点前後のときは、路面状況に特に注意してください。外気温度計はマルチファンクションディスプレイ内にあります（▷285 ページ）。

外気温度が変化すると、少し遅れて表示されます。

セグメント付きスピードメーター

スピードメーターの内側に表示されるセグメントは、走行可能な速度レンジを示します。

- クルーズコントロール（▷223 ページ）を設定しているときは、記憶された設定速度から最高速度までのセグメントが点灯します。
- 可変スピードリミッター（▷227 ページ）を設定しているときは、ゼロから設定された制限速度までのセグメントが点灯します。
- ディストロニック･プラス（▷230 ページ）を設定しているときは、設定速度レンジ内の 1 つまたは 2 つのセグメントが点灯します。
- ディストロニック・プラスは先行車を検知することができます。

  先行車の速度と記憶されている設定速度の間のセグメントが点灯します。

マルチファンクションディスプレイの操作

概要

① マルチファンクションディスプレイ
② 音声認識の作動：デジタル版取扱説明書をご覧ください
③ 右側操作パネル
④ 左側操作パネル
⑤ リターンスイッチ

▶ **マルチファンクションディスプレイを作動させる：**イグニッション位置を **1** にします。

マルチファンクションステアリングのスイッチを使用して、マルチファンクションディスプレイの表示と設定を操作することができます。

左側操作パネル

	• メニューやメニューバーの呼び出し
 	軽く押す： • リストのスクロール • サブメニューや機能の選択 • オーディオ メニュー：記憶させた放送局、音楽トラックまたはビデオシーンの選択 • TEL（電話）メニュー：電話帳への切り替え、名前や電話番号の選択
▲ 	**長押しする：** • オーディオ メニュー：高速スクロールを使用しての、前 / 次の放送局または音楽トラック、またはビデオシーンの選択 • TEL（電話）メニュー： 電話帳を開いている場合は、高速スクロールの開始
OK	• 選択 / ディスプレイメッセージの確定 • TEL（電話）メニュー：電話帳への切り替え、および選択した番号の発信開始 • オーディオ メニュー： 希望の放送局での放送局サーチの停止

右側操作パネル

	• 通話の拒否、または終了 • 電話帳 / 発信履歴の終了
	• 発信、または受話 • 発信履歴への切り替え
＋ 	• 音量の調整
🔇	• 消音

リターンスイッチ

↩	**軽く押す：** • 戻る • 音声認識の停止：別冊の取扱説明書をご覧ください • ディスプレイメッセージの消去 / 最後に使用した トリップ メニュー機能の呼び出し • 電話帳 / 発信履歴の終了
	長押しする： • トリップ メニューの基本画面の呼び出し

マルチファンクションディスプレイ

① 表示フィールド
② メニューバー
③ 走行モード（▷204 ページ）
④ シフトポジション（▷202、203 ページ）
⑤ 常時表示エリア：外気温度または速度（▷296 ページ）

▶ **メニューバー ② を表示する：**ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押します。

数秒後にメニューバー ② が消えます。

表示フィールド ① にはディスプレイメッセージとともに、選択したメニューまたはサブメニューが表示されます。マルチファンクションディスプレイに以下のメッセージが表示されることがあります。

⬆ 推奨ギアシフト（▷207、209 ページ）

←P→ アクティブパーキングアシスト（▷255 ページ）

クルーズコントロール（▷223 ページ）

LIM 可変スピードリミッター（▷227 ページ）

アダプティブハイビームアシスト・プラス（▷159 ページ）

ECO ECO スタートストップ機能（▷194 ページ）

HOLD ホールド機能（▷243 ページ）

メニューおよびサブメニュー

メニューの概要

ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押してメニューバーを呼び出し、メニューを選択します。

車両に取り付けられている装備に応じて、以下のメニューを呼び出すことができます。

- ﾄﾘｯﾌﾟ メニュー（▷286 ページ）
- ﾅﾋﾞ メニュー（▷288 ページ）
- ｵｰﾃﾞｨｵメニュー（▷289 ページ）
- TEL メニュー（▷291 ページ）
- ｱｼｽﾄメニュー（▷292 ページ）
- ﾒﾝﾃﾅﾝｽ メニュー（▷295 ページ）
- 設定メニュー（▷296 ページ）
- AMG メニュー（AMG 車両）（▷302 ページ）

トリップメニュー

基本ディスプレイ

▶ トリップ メニューがトリップメーター ① やオドメーター ② とともに表示されるまで、ステアリングの [↩] スイッチを押して保持します。

トリップコンピューター " スタート後 " または " リセット後 "

例：" スタート後 " のトリップコンピューター
① 距離
② 時間
③ 平均速度
④ 平均燃費

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、トリップ メニューを選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、スタート後またはリセット後を選択します。

スタート後サブメニューの数値は、走行開始から算出されるものであり、リセット後サブメニューの数値は、サブメニューが最後にリセットされたときから算出されるものです（▷287 ページ）。

スタート後のトリップコンピューターは、以下のときに自動的にリセットされます。

- イグニッションをオフにして約 4 時間以上経過したとき
- 999 時間を超えたとき
- 9,999 km を超えたとき

リセット後のトリップコンピューターは、数値が 9,999 時間または 99,999 km を超えると、自動的にリセットされます。

ECO 表示

例：ECO 表示

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、トリップ メニューを選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、ECO 表示 を選択します。

イグニッションが 4 時間以上オフのままの場合は、ECO 表示は自動的にリセットされます。

ECO 表示に関するさらなる情報は、（▷218 ページ）をご覧ください。

走行可能距離と現在の燃料消費の表示

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、トリップ メニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、現在の燃費（AMG 車両以外）および概算の走行可能距離を選択します。

可能となる概算の走行可能距離は、燃料の量やそのときの運転スタイルによって変わります。燃料タンク内に残っている燃料の量が少ないときは、給油中の車両のマーク が、走行可能距離の代わりにディスプレイに表示されます。

デジタルスピードメーター

① 推奨ギアシフト（▷207、209 ページ）
② デジタルスピードメーター

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、トリップ メニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、デジタルスピードメーターを選択します。

数値のリセット

例：トリップコンピューター " スタート後 " のリセット

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、トリップ メニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、リセットしたい機能を選択します。

▶ OK スイッチを押します。

▶ ▼ スイッチを押してはいを選択し、OK スイッチを押して確定します。

以下の機能の数値をリセットできます。

- トリップメーター
- トリップコンピューター " スタート後 "
- トリップコンピューター " リセット後 "
- ECO 表示

ℹ ECO 表示の数値をリセットした場合は、トリップコンピューターの " スタート後 " の数値もリセットされます。トリップコンピューターの " スタート後 " の数値をリセットした場合は、ECO 表示の数値もリセットされます。

ナビメニュー

ナビゲーション案内の表示

ナビ メニューでは、マルチファンクションディスプレイにナビゲーション案内が表示されます。ナビゲーションに関するさらなる情報については、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ COMAND システムを作動させます。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、ナビ メニューを選択します。

ルート案内が作動していないとき

① 進行方向

ルート案内作動

進路変更の案内がないとき

① 目的地までの距離
② 次の進路変更までの距離
③ " 案内ルートを進む " のマーク

車線変更を伴わない進路変更の案内があるとき

① 進路変更の目標
② 進路変更までの距離と距離ディスプレイ表示
③ 進路変更マーク

進路変更が案内されたときは、進路変更のマーク ③ および距離表示 ② が表示されます。案内のあった進路変更地点に近づくにつれて、表示の上に向かって短くなります。

車線変更を伴なう進路変更の案内があるとき

① 進路変更の目標
② 進路変更までの距離と距離ディスプレイ表示
③ 進路変更の間の新しい車線
④ 進路変更の間も続いている車線
⑤ 推奨車線
⑥ 進路変更マーク

複数車線の道路では、次の進路変更のための新しい推奨車線 ③ をシステムが表示することがあります。進路変更の間、追加の車線が表示されることがあります。

推奨車線は、デジタル地図に該当データがあるときのみ表示されます。

ナビゲーションシステムの他の状況インジケーター

- ▩：目的地または立ち寄り地点に到着しました。
- 新ルートまたはルート計算中：新ルートを計算中です。
- 案内ルート外：車両の位置が地図の範囲外（地図外の位置）にあります。
- ルートなし：選択されている目的地へのルートを計算できませんでした。

オーディオメニュー

ラジオ放送局の選択

① 周波数バンドと放送局リスト番号
② メモリーポジションのある放送局周波数

ℹ 放送局 ② が放送局周波数または放送局名とともに表示されます。メモリーポジションは、保存されている場合には、必ず放送局 ② と一緒に表示されます。

▶ COMAND システムを作動させて、ラジオを選択します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。

▶ **保存されている放送局を選択する：** ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **放送局リストから放送局を選択する：** ▲ または ▼ スイッチを少しの間押して保持します。

放送局リストが受信されない場合：

▶ **放送局サーチを使って放送局を選択する：** ▲ または ▼ スイッチを少しの間押して保持します。

ℹ 周波数バンドの切り替えと放送局の保存に関する情報は、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

オーディオプレーヤーまたはオーディオメディアの操作

例：CD モード表示
① 現在のトラック

車両に装着されている装備に応じて、さまざまなオーディオ機器やメディアからの音楽データを再生できます。

▶ COMAND システムを作動させて、音楽 CD、DVD オーディオまたは MP3 モードを選択します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。

▶ **次 / 前のトラックを選択する：** ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **トラックリストからトラックを選択する（高速スクロール）：** 希望のトラック ① が表示されるまで、▲ または ▼ スイッチを押して保持します。

▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、高速スクロールの速度が上がります。すべてのオーディオ機器またはメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

オーディオ機器またはメディアにトラック情報が保存されている場合は、マルチファンクションディスプレイにトラック名と番号が表示されます。オーディオ AUX モード（外部オーディオモード：外部のオーディオソース接続）では、現在のトラックは表示されません。

TV の操作

① メモリーポジションのあるチャンネル周波数

ℹ メモリーポジションは、保存されている場合には、必ずチャンネル ① と一緒に表示されます。

▶ COMAND システムを作動させて、テレビを選択します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。

▶ **記憶されているチャンネルを選択する：** ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **チャンネルリストからチャンネルを選択する：** ▲ または ▼ スイッチを軽く押して保持します。

ℹ TV チャンネルの記憶に関する情報については、デジタル版取扱説明書をご覧ください。

DVD ビデオの操作

例：DVD モード表示
① 現在のシーン

▶ COMAND システムを作動させて、DVD ビデオを選択します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、オーディオメニューを選択します。

▶ **次 / 前のシーンを選択する：** ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **シーンリストからシーンを選択する（高速スクロール）：** 希望のシーン ① が表示されるまで、▲ または ▼ スイッチを押して保持します。

TEL メニュー

概要

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全な時にのみ、操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

電話を使用するときは、必ずそのとき運転している国の法規則に従ってください。

▶ 携帯電話をオンにします。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ COMAND システムをオンにします。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ COMAND システムの Bluetooth® 接続を確立してください。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、TEL メニューを選択します。

マルチファンクションディスプレイに、以下のメッセージのいずれかが表示されます。

- 電話待ち受けまたはネットワークプロバイダーの名称：携帯電話がネットワークを探索し、受信する準備が整っています。
- 圏外：ネットワークに接続できない状態にあるか、携帯電話がネットワークを探索中の状態です。

着信を受ける

例：着信

▶ ステアリングの [📞] スイッチを押して、着信した電話を受けます。

TEL メニューのときに電話が着信すると、マルチファンクションディスプレイにディスプレイメッセージが表示されます。

TEL メニューを表示していないときも着信した電話を受けることができます。

通話の拒否または終了

▶ ステアリングの [☎] スイッチを押します。

TEL メニューでないときも、通話を終了または拒否できます。

電話帳から項目にダイヤルする

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、TEL メニューを選択します。

▶ [▲] [▼] または [OK] スイッチを押して、電話帳に切り替えます。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、希望の名称を選択します。

または

▶ **高速スクロールを開始する：** ▲ または ▼ スイッチを約 1 秒以上押し続けます。スイッチを放すか、リストの最後まで行くと、スクロールは停止します。

▶ **名称に 1 つだけ電話番号が保存されているとき：** 📞 または OK スイッチを押して、発信を開始します。

または

▶ **その名称に 2 つ以上の番号があるとき：** 📞 または OK スイッチを押して、電話番号を表示させます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、発信先の番号を選択します。

▶ 📞 または OK スイッチを押して、発信を開始します。

または

▶ **電話帳を終了する：** ☎ または ↩ スイッチを押します。

リダイヤル

マルチファンクションディスプレイでは、最後に発信した名称と番号がリダイヤルメモリーに保存されています。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、TEL メニューを選択します。

▶ 📞 スイッチを押して、発信履歴に切り替えます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、希望の名称または番号を選択します。

▶ 📞 または OK スイッチを押して、発信を開始します。または

▶ **リダイヤルメモリーを終了する：** ☎ または ↩ スイッチを押します。

アシストメニュー

概要

アシストメニューでは、以下の選択を行なうことができます。

- アシスト一覧の表示（▷292 ページ）
- ESP® の設定 / 解除（▷293 ページ）
- PRE-SAFE® ブレーキの設定 / 解除（▷294 ページ）
- 車間距離警告機能の設定 / 解除（▷294 ページ）
- ディストロニック・プラスのステアリングアシストの設定 / 解除（▷294 ページ）
- アテンションアシストの設定 / 解除（▷294 ページ）
- アクティブブラインドスポットアシストの設定 / 解除（▷295 ページ）
- レーンキーピングアシストまたはアクティブレーンキーピングアシストの設定 / 解除（▷295 ページ）

アシスト一覧の表示

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ を押して アシスト一覧 を選択します。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に、ディストロニック・プラスの距離ディスプレイが表示されます（▷237 ページ）。

▶ ▼ を押してアテンションアシストの評価を表示します（▷271 ページ）。

アシスト一覧には、他の走行システムまたは走行安全システムの状態および情報を表示させることができます。

アシスト一覧は以下を表示します。

- アテンションアシスト（▷271 ページ）が解除されているときの OFF マーク
- アクティブレーンキーピングアシスト（▷276 ページ）が設定されているときの明るいラインでの車線マーク
- 車間距離警告機能（▷86 ページ）が解除されているときの OFF マーク
- PRE-SAFE® ブレーキ（▷94 ページ）が解除されているときの OFF マーク

ESP® の設定 / 解除

ℹ ESP の記載にある " 重要な安全上の注意事項 " の項目に従ってください（▷90 ページ）。

⚠ **警告**

ESP® を解除すると、ESP® は車両を安定させなくなります。横滑りや事故の危険が高まります。

以下に記載された状況でのみ ESP® を解除してください。

以下の状況では、ESP® を解除したほうが良いことがあります。

- スノーチェーンを使用しているとき
- 深い雪で
- 砂地または砂利道で

AMG 車両での ESP® の解除 / 設定については（▷92 ページ）をご覧ください。

ESP® に関するさらなる情報は、（▷89 ページ）をご覧ください。

▶ エンジンを始動してください。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、ESP を選択します。

▶ OK スイッチを押します。

現在の選択が表示されます。

▶ **設定 / 解除する：** OK スイッチを再度押します。

エンジンがかかっているときにメーターパネルの OFF 警告灯が点灯している場合は、ESP® が解除されています。 警告灯および OFF 警告灯が点灯し続ける場合は、故障により ESP® は作動しません。

警告灯に関する情報に注意してください（▷341 ページ）。

ディスプレイメッセージに関する情報に注意してください（▷307 ページ）。

PRE-SAFE® ブレーキの設定 / 解除

PRE-SAFE® ブレーキは、ディストロニック･プラス装備車両でのみ使用できます。

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。
- ▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、PRE-SAFE ブレーキを選択します。
- ▶ OK スイッチを押します。現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する：** OK スイッチを再度押します。

PRE-SAFE® ブレーキが解除されているときは、車種や仕様により、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に OFF マークが表示されます。

PRE-SAFE® ブレーキについてのさらなる情報は（▷94 ページ）をご覧ください。

車間距離警告機能の設定 / 解除

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。
- ▶ ▲ または ▼ を押して、 車間距離警告を選択します。
- ▶ OK スイッチを押します。

  現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する：** OK スイッチを再度押します。

距離警告機能が解除されているときは、マルチファンクションディスプレイのアシストグラフィックに OFF マークが表示されます。

車間距離警告機能について、詳しくは（▷86 ページ）をご覧ください。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストの設定 / 解除

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。
- ▶ ▲ または ▼ を使用して、DTR+: ステアリングを選択します。
- ▶ OK スイッチを押します。

  現在の選択が表示されます。
- ▶ **設定 / 解除する：** OK スイッチを再度押します。

  ディストロニック・プラスのステアリングアシストが作動しているときは、マルチファンクションディスプレイに DTR+: ステアリングアシストオンというメッセージが表示されます。

ディストロニック・プラスのステアリングアシストに関するさらなる情報は（▷240 ページ）をご覧ください。

アテンションアシストの設定 / 解除

- ▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。
- ▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、アテンションアシストを選択します。
- ▶ OK スイッチを押します。現在の選択が表示されます。
- ▶ OK を押して確定します。
- ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、オフ、標準または高感度を設定します。
- ▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

  アテンションアシストが解除されているときは、車種や仕様により、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に OFF マークが表示されます。

アテンションアシストについてのさらなる情報は(▷271 ページ)をご覧ください。

アクティブブラインドスポットアシストの設定 / 解除

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、ブラインドスポットを選択します。

▶ OK スイッチを押します。現在の選択が表示されます。

▶ **設定 / 解除する：** OK スイッチを再度押します。

アクティブブラインドスポットアシストについてのさらなる情報は（▷272 ページ）をご覧ください。

アクティブレーンキーピングアシストの設定 / 解除

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、アシストメニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、レーンキープアシストを選択します。

▶ OK スイッチを押します。現在の選択が表示されます。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、オフ、標準またはアダプティブを設定します。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

アクティブレーンキーピングアシストが作動しているときは、マルチファンクションディスプレイのアシスト一覧に明るいラインで車線マークが表示されます。

アクティブレーンキーピングアシストに関するさらなる情報は（▷276 ページ）をご覧ください。

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューでは、以下を選択することができます。

- メッセージメモリーにあるディスプレイメッセージの呼び出し（▷306 ページ）
- タイヤ空気圧警告システムの再起動(▷448 ページ)
- メンテナンスインジケーターの呼び出し（▷405 ページ）

設定メニュー

概要

設定メニューでは、以下を選択することができます。

- メーター設定の変更（▷296 ページ）
- ライト設定の変更（▷297 ページ）
- 車両設定の変更（▷300 ページ）
- コンフォート設定の変更（▷301 ページ）
- 工場出荷時の設定に戻す（▷302 ページ）

メーター

距離単位の選択

表示単位 速度 / 距離：の機能により、マルチファンクションディスプレイの特定のディスプレイのキロメートルまたはマイル表示を選択できます。

マルチファンクションディスプレイに表示される距離の単位を、マイル表示またはキロメートル表示に設定できます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、メーター サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、表示単位 速度 / 距離：機能を選択します。

選択された設定が表示されます：km または miles

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

選択された距離の表示単位は、以下の項目に適用されます。

- トリップ メニューのデジタルスピードメーター
- オドメーターとトリップメーター
- トリップコンピューター
- 現在の燃費と走行可能距離
- クルーズコントロール
- 可変スピードリミッター
- ディストロニック・プラス
- メンテナンスインジケーター画面

常時表示機能の選択

走行速度または外気温度のいずれかを、常時マルチファンクションディスプレイに表示させるかを設定できます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、メーター サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、サブメーター 機能を選択します。

選択されている設定 外気温度表示または 速度 [mph]：が表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

ℹ 速度は mph で表示されます。

マルチファンクションディスプレイと表示

ライト

メーターパネル照明とスイッチの照度の設定

車内のメーターパネル、ディスプレイおよびスイッチ類の照明は、明るさディスプレイ / スイッチ：機能で調整することができます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、明るさディスプレイ / スイッチ：機能を選択します。選択されている設定が表示されます。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、照度をレベル 1 からレベル 5（明るさ）までのレベルに調整します。

▶ OK または ↩ スイッチを押して、設定を保存します。

ライトスイッチが AUTO、 または に設定されているとき、照度は周囲の明るさに応じて変わります。

ℹ マルチファンクションディスプレイの照度は、メーターパネルのライトセンサーによって自動的にコントロールされます。

日中はメーターパネルのディスプレイは点灯しません。

デイタイムドライビングライトの設定 / 解除の切り替え

デイタイムライト：機能は、エンジンが停止しているときのみ設定できます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、デイタイムライト機能を選択します。デイタイムライト機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイのライトの円錐形と マークがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

ℹ デイタイムライト機能が設定されている場合は、昼間でもロービームヘッドライトが点灯します。このため、この機能を解除し、ライトスイッチでライトを手動で操作してください。

インテリジェントライトシステムの設定 / 解除の切り替え

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾗｲﾄｼｽﾃﾑ機能を選択します。ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾗｲﾄｼｽﾃﾑ機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイのライトの円錐形と マークがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾗｲﾄｼｽﾃﾑを設定した場合は、以下の機能が作動します。

- ハイウェイモード
- アクティブライトシステム
- コーナリングライト
- フォグランプ強化機能

ロービームヘッドライトを右側走行用に設定している場合は、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾗｲﾄｼｽﾃﾑ: ｼｽﾃﾑ作動できません 右側通行設定では無効というディスプレイメッセージが、ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄﾗｲﾄｼｽﾃﾑ機能の代わりにマルチファンクションディスプレイのﾗｲﾄサブメニューに表示されます（▷297 ページ）。

インテリジェントライトシステムに関するさらなる情報は（▷157 ページ）をご覧ください。

ロービームヘッドライトの左側 / 右側通行の設定

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟﾛｰﾋﾞｰﾑ設定 機能を選択します。

選択された設定、右側通行用または左側通行用が表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

設定を変更すると、次に停車したときに変更が実行されます。

この機能は、インテリジェントライトシステム装備車にのみ用意されています。この機能を使用して、ロービームヘッドライトを左右対称または左右非対称に切り替えることができます。

ロービームヘッドライトを右側通行用に設定しているときは、ハイウェイモードおよびフォグランプ強化機能が解除されます。

ロービームヘッドライトを右側通行に適した設定に切り替えるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で作業を行なってください。

アンビエントライトの照度の設定

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ｱﾝﾋﾞｴﾝﾄﾗｲﾄ明るさ機能を選択します。

選択されている設定が表示されます。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、照度をオフからレベル 5（明るさ）までのレベルに調整します。

▶ OK または ↩ スイッチを押して、設定を保存します。

アンビエントライトの色の設定

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、アンビエントライトカラー機能を選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ソーラー、ニュートラルまたはポーラー の色を設定します。

▶ OK または ⮌ スイッチを押して、設定を保存します。

ロケイターライティング / 車外ライト残照機能の設定 / 解除

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ロケイターライティング機能を選択します。

ロケイターライティング機能が作動している場合は、マルチファンクションディスプレイのライトの円錐形と車両の周辺エリアがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

車外ライト残照機能を一時的に解除する：

▶ 車両から離れる前に、イグニッション位置を **0** にします。

▶ イグニッション位置を **2** にします。車外ライト残照機能が一時的に解除されます。

次にエンジンを始動すると、車外ライト残照機能が再び設定されます。ロケイターライティング機能を設定し、ライトスイッチを AUTO の位置にした場合は、周囲が暗いときに以下の機能が作動します。

- **ロケイターライティング：**キーで車両を解錠すると、車外ライトが約 40 秒間点灯し続けます。エンジンを始動するとロケイターライティングが解除され、 ヘッドライト自動点灯モードに設定されます。
- **車外ライト残照機能：**エンジンを停止した後､約 60 秒間点灯し続けます。すべてのドアとトランクリッド / テールゲートを閉じると、約 15 秒後に車外ライトが消灯します。

ⓘ ロケイターライティングおよび車外ライト残照機能を設定してあるときは、以下のライトが点灯します。

- 車幅灯
- ドアミラーのロケイターライティング

ルームライト消灯遅延機能の設定 / 解除

ルームランプ消灯遅延機能が設定されているときは、エンジンスイッチからキーを抜いた後、ルームライトが約 20 秒間点灯したままになります。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ライト サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ルームランプ消灯遅延機能を選択します。

ルームランプ消灯遅延機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイの車両の車内がオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

車両

スノータイヤスピードリミッターの設定

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、車両 サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ を押して、速度制限（冬タイヤ）：機能を選択します。現在の設定が表示されます。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、10 km/h単位(240 km/h～160 km/h)でスノータイヤスピードリミッターを調整します。オフ設定で、スノータイヤスピードリミッターは解除されます。

▶ OK スイッチを押して、入力を確定します。

スノータイヤスピードリミッターに関するさらなる情報は（▷230 ページ）をご覧ください。

車速感応ドアロック機能の設定 / 解除の切り替え

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、車両 サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、車速感応ドアロック機能を選択します。

車速感応ドアロック機能が設定されているときは、マルチファンクションディスプレイの車両のドアがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

車速感応ドアロック機能が設定されている場合は、走行速度が約 15 km/h 以上になると自動的に集中施錠されます。

車速感応ドアロックについてのさらなる情報は（▷111 ページ）をご覧ください。

アンサーバック機能の設定 / 解除

キーアンサーバック機能を設定している場合は、車両を施錠したときに確認音が鳴ります。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、車両サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、キーアンサーバック機能を選択します。

キーアンサーバック機能を設定しているときは、マルチファンクションディスプレイの 🔒 マークがオレンジ色に点灯します。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

マルチファンクションディスプレイと表示

コンフォート

イージーエントリー機能の設定 / 解除

⚠ **警告**

イージーエントリー機能がステアリングを調整しているときは、ご自身だけでなく、他の乗員、特にお子様が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

イージーエントリー機能が調整を開始している間、ステアリングの動いている箇所にだれも近づかないように注意してください。

挟み込まれたときは以下のように対処してください。

- メモリー機能スイッチを押します。
- ステアリングが動いた方向とは逆の方向に、ステアリング調整スイッチを動かします。

調整プロセスが停止します。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、コンフォートサブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、イージーエントリー機能を選択します。

イージーエントリー機能を設定しているときは、マルチファンクションディスプレイのステアリングのアイコンがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

イージーエントリー機能に関するさらなる情報は(▷145 ページ)をご覧ください。

シートベルトの調整の設定 / 解除の切り替え

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、コンフォートサブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ベルト調整機能を選択します。

ベルト調整機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイの車両のシートベルトがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

シートベルトの調整についてのさらなる情報は（▷63 ページ）をご覧ください。

施錠時のミラー格納の設定 / 解除の切り替え

この機能は、メモリー機能装備車両でのみ使用することができます（▷149 ページ）。

ﾛｯｸ時のﾐﾗｰ格納機能を設定しているときは、車両を施錠したときにドアミラーが自動的に格納されます。車両を解錠してドアを開いたときは、格納されたドアミラーが再度展開します。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、コンフォートサブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、ﾛｯｸ時のﾐﾗｰ格納機能を選択します。

ﾛｯｸ時のﾐﾗｰ格納機能が設定されている場合は、マルチファンクションディスプレイの車両のドアミラーがオレンジ色で表示されます。

▶ OK スイッチを押して、設定を保存します。

① ドアミラー格納 / 展開スイッチ

ﾛｯｸ時のﾐﾗｰ格納機能を設定し、ドアのスイッチ ① を使用してドアミラーを格納した場合は、自動的には展開しません（▷ 147 ページ）。

スイッチ ① を使用してのみ、ドアミラーを展開することができます。

工場出荷時の設定に戻す

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、設定メニューを選択します。

▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、設定初期化サブメニューを選択します。

▶ OK を押して確定します。

全ての設定を初期化しますか？というメッセージが表示されます。

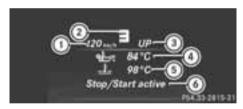
▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、いいえ または はいを選択します。

▶ OK スイッチを押して、選択を確定します。

はいを選択したときは、マルチファンクションディスプレイに確認メッセージが表示されます。

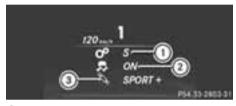
安全のため、全ての設定が初期化されるわけではありません。スピードリミッターの制限速度（冬タイヤ）：機能は、車両サブメニューでのみ設定できます。ライトサブメニューのデイタイムドライビングライトを初期化したいときは、イグニッション位置を 1 にしなければなりません。

AMG メニュー（AMG 車両）

AMG ディスプレイ

① デジタルスピードメーター
② ギアインジケーター
③ シフトアップインジケーター
④ エンジンオイル温度
⑤ 冷却水温度
⑥ ECO スタートストップ機能ステータスインジケーター（▷194 ページ）

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMG メニューを選択します。

マニュアルギアシフトのとき、シフトアップインジケーター UP③ は、エンジンが過回転域に到達したことを示しています。シフトアップを行なうまでは、シフトアップインジケーター UP③ により、他のメッセージが暗くなります。エンジンオイル温度が 80℃以下の場合は、オイル温度は青色で表示されます。この間は、エンジンを最大出力にしないでください。

セットアップ

① 走行モード（C/S/S+/M）
② ESP® モード（ON/OFF）またはスポーツハンドリングモード（SPORT）
③ サスペンションモード（COMFORT/SPORT/SPORT+）

セットアップ画面では、走行モードや ESP®（エレクトロニック･スタビリティ･プログラム）モード､およびサスペンションチューニングが表示されます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMG メニューを選択します。

▶ セットアップ画面が表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。

または

▶ センターコンソールの AMG スイッチを軽く押します（▷249 ページ）。

レースタイマー

レースタイマーの表示と開始

① ラップ
② レースタイマー

クローズドレースサーキットでのみ、レースタイマー機能を使用してください。公道では使用しないでください。

レースタイマーは、エンジンがかかっているか、またはイグニッション位置が **2** のときに開始できます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMG メニューを選択します。

▶ レースタイマーが表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。

▶ **開始する：** OK スイッチを押して、レースタイマーを開始します。

スプリットタイムの表示

▶ ◀ または ▶ スイッチを押して、Interm. Time を選択します。

▶ OK を押して確定します。スプリットタイムが約 5 秒間表示されます。

新しいラップの開始

① レースタイマー
② 最速ラップタイム（ベストラップ）
③ ラップ

▶ OK を押して New Lap を確定します。

ℹ 最大 16 ラップまで保存することが可能です。16 ラップ目は Finish Lap でのみ停止できます。

レースタイマーの停止

▶ ステアリングの ⮌ スイッチを押します。

▶ OK を押して Yes を確定します。

車両を停止して、イグニッション位置を 1 にした場合は、レースタイマーが中断されます。エンジンを始動し、それから OK を押して Start を確定した場合は、計測が再開します。

現在のラップのリセット

▶ レースタイマーを停止します。

▶ ◀ または ▶ を押して Reset Lap を選択します。

▶ OK を押して、ラップタイムを "0" にリセットします。

全ラップの削除

エンジンを停止した場合は、約 30 秒後にレースタイマーが "0" にリセットされます。全ラップが削除されます。

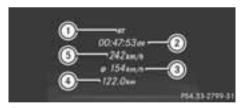
保存されたラップを個々に削除することはできません。16 ラップ目を停止した場合は、現在のラップをリセットする必要はありません。

▶ 現在のラップをリセットします。

▶ OK を押して、Reset を確定します。マルチファンクションディスプレイに Reset Race-Timer? と表示されます。

▶ ▼ スイッチを押して、Yes を選択し、OK スイッチを押して確定します。

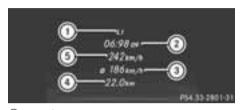
全ラップが削除されます。

全ラップの評価

① レースタイマー全体の計測結果
② 全走行時間
③ 平均速度
④ 走行距離
⑤ 最高速度

この機能は、少なくとも 1 ラップを保存していて、レースタイマーが停止しているときに表示されます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMG メニューを選択します。

▶ 全体の計測結果が表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。

ラップの評価

① ラップ
② ラップタイム
③ ラップでの平均速度
④ ラップの走行距離
⑤ ラップでの最高速度

この機能は、少なくとも 2 ラップが保存されていて、レースタイマーが停止しているときに使用できます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、AMG メニューを選択します。

▶ ラップ計測結果が表示されるまで、▲ スイッチを繰り返し押します。

サブメニューごとに、それぞれのラップが表示されます。最速ラップは ① マークが点滅することにより表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、他のラップ計測結果を選択します。

ディスプレイメッセージ

概要

全体的な注意事項

ディスプレイメッセージはマルチファンクションディスプレイに表示されます。

取扱説明書では記号マークを伴うディスプレイメッセージを簡略化しているため、マルチファンクションディスプレイのマークと異なる場合があります。

ディスプレイメッセージの指示に従って対応し、この取扱説明書の追加の注意事項に従ってください。

特定のディスプレイメッセージには、警告音、または連続音が伴います。イグニッション位置を **0** にすると、重要度の高い一部のメッセージを除いて、メッセージがすべて削除されます。故障の原因が解決すると、重要度の高いメッセージも削除されます。

車両を駐停車するときは、以下に関する注意事項をお守りください。

- ホールド機能（▷243 ページ）
- 駐車（▷215 ページ）

ディスプレイメッセージの消去

▶ ステアリングの OK または ⮌ スイッチを押して、ディスプレイメッセージを非表示にします。

ディスプレイメッセージが消えます。

マルチファンクションディスプレイには、重要度の高いメッセージが赤色で表示されます。一部の重要度の高いディスプレイメッセージは非表示にはできません。

これらのメッセージは、故障や異常の原因が解決するまでマルチファンクションディスプレイに常時表示されます。

メッセージメモリー

マルチファンクションディスプレイは特定のディスプレイメッセージをメッセージメモリーに保存します。ディスプレイメッセージを呼び出すことができます。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、マルチファンクションディスプレイのメニューから メンテナンス を選択します。

メッセージがある場合は、ディスプレイに メッセージ 2 のように故障の件数が表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、メッセージ 2 を選択します。

▶ OK を押して確定します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、ディスプレイメッセージをスクロールします。

安全システム

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 現在 使用できません 取扱説明書を参照	ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）、ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）、BAS（ブレーキアシスト）、PRE-SAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシストが一時的に使用できない。 アダプティブブレーキライト、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）および PRE-SAFE® ブレーキも故障している。 メーターパネルの警告灯 も点灯している。 アテンションアシストは解除されている。 電圧が低下していることがある。 ⚠ **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。 ステアリング特性やブレーキ特性が著しく影響を受けるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ 注意して運転してください。 ディスプレイメッセージが消えた場合は、上記の機能が再度作動します。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 作動できません 取扱説明書を参照	故障のため、ABS、ESP®、BAS、PRE-SAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。 アダプティブブレーキライト、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）および PRE-SAFE® ブレーキも故障している。 さらに、メーターパネルの 、、、 警告灯も点灯している。 アテンションアシストは解除されている。 **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキ操作が著しく影響を受けることがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 作動できません 取扱説明書を参照	故障のため、ESP®、BAS、PRE-SAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。 アダプティブブレーキライト、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）および PRE-SAFE® ブレーキも故障している。 さらに、メーターパネルの警告灯 と も点灯している。 たとえば、自己診断が完了していないことがある。 アテンションアシストは解除されている。 **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。 緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
作動できません 取扱説明書を参照	故障のため、EBD（エレクトロニック･ブレーキパワー･ディストリビューション）ABS、ESP®、BAS、PRESAFE®、ホールド機能、ヒルスタートアシストが使用できない。 アダプティブブレーキライト、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）および PRE-SAFE® ブレーキも故障している。 さらに、メーターパネルの [ESP] と [ESP OFF]、[ABS] も点灯し、警告音が鳴った。 ⚠ **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。従って、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキ操作が著しく影響を受けることがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
パーキングブレーキ 解除してください	パーキングブレーキを解除しないで走行している。警告音も鳴った。 ▶ パーキングブレーキを解除してください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 すぐにブレーキを踏んでください	ホールド機能が作動しているときに、故障が発生した。 または ホールド機能を作動させて、以下を行なった。 • 運転席ドアを開いて、シートベルトを外した • エンジンを停止した 一定の間隔で警告音も鳴る。車両を施錠しようとすると、警告音がより大きくなる。 エンジンを始動することができない。 ▶ 交通状況に注意しながら、ただちにブレーキペダルをしっかり踏んで、ディスプレイメッセージが消えるまで踏み続けます。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。エンジンを再始動することができます。
 ブレーキ液レベル点検してください	リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。 さらに、メーターパネルの赤色の警告灯 も点灯し、警告音が鳴った。 ⚠ **警告** ブレーキ性能が損なわれるおそれがある。 事故の危険性があります。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。状況を問わず、走行しないでください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。 ▶ ブレーキ液を補給しないでください。このことによって問題が解消されるわけではありません。
 ブレーキパッド摩耗点検してください	ブレーキパッド / ライニングの摩耗が限界に達している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
プレセーフ 作動できません 取扱説明書を参照	PRE-SAFE® の重要な機能に異常がある。エアバッグなどの他の乗員保護装置はすべて機能している。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
プレセーフ 機能が現在 制限されています 取扱説明書を参照	PRE-SAFE® ブレーキまたは CPA（衝突警告システム）のアダプティブブレーキアシストが一時的に作動できない。 考えられる原因： • 激しい雨や雪により機能が損なわれている • ラジエターグリルとバンパーのセンサーが汚れている • 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動できない • AMG 車両：ESP® が解除された • システムが作動温度範囲外にある • バッテリー電圧が低すぎる 上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。 PRE-SAFE® ブレーキが再度作動可能になります。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ ラジエターグリルとバンパーのセンサーを清掃します（▷412 ページ）。 ▶ エンジンを再始動してください。 ▶ AMG 車両：ESP® を設定してください（▷92 ページ）。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
プレセーフ 機能が現在 制限されています 取扱説明書を参照	故障のため、PRE-SAFE® ブレーキまたは CPA（衝突警告システム）のアダプティブブレーキアシストが使用できない。BAS プラスまたは車間距離警告も故障していることがある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
 SRS システム 故障 工場で点検	SRS（乗員保護補助装置）が故障している。メーターパネルの警告灯 も点灯している。 ⚠ **警告** エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。 乗員保護補助装置に関するさらなる情報は、（▷51 ページ）をご覧ください。
 フロント左 SRS システム故障 工場で点検またはフロント右 SRS システム故障 工場で点検	フロント左側またはフロント右側の SRS に異常がある。 メーターパネルの警告灯 も点灯している。 ⚠ **警告** エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 リア左 SRS システム故障 工場で点検またはリア右 SRS システム故障 工場で点検	警告 エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 リア左側またはリア右側の SRS に異常がある。メーターパネルの警告灯 も点灯している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
 リア中央 SRS システム故障 工場で点検	警告 エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 リア中央の SRS に異常がある。メーターパネルの警告灯 も点灯している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
 左ウインドウバッグ故障 工場で点検または右ウインドウバッグ 故障 工場で点検	左側または右側のウインドウバッグが故障している。 メーターパネルの警告灯 も点灯している。 警告 左側または右側のウインドウバッグが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ライト

LED に関するディスプレイメッセージ

すべての LED が故障した場合のみ、ディスプレイメッセージは表示されます。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
左コーナリングライトまたは右コーナリングライト	左または右側のコーナリングライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左ロービームまたは右ロービーム	左側または右側のロービームヘッドライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左リア ウインカーまたは右リア ウインカー	リア左側またはリア右側の方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左フロント ウインカーまたは右フロント ウインカー	フロント左側またはフロント右側の方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左ドアミラー ウインカーまたは右ドアミラー ウインカー	左側または右側のドアミラーの方向指示灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
ハイマウントブレーキライト	ハイマウントストップライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
左テールライト / ブレーキライトまたは右テールライト / ブレーキライト	左側または右側のテールライト / ブレーキライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左ハイビームまたは右ハイビーム	左または右側のハイビームヘッドライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左ライセンスライトまたは右ライセンスライト	左側または右側のライセンスライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
リアフォグランプ	リアフォグライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左フロントパーキングライトまたは右フロントパーキングライト	フロント左側またはフロント右側のパーキングライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左バックライトまたは右バックライト	左側または右側のバックライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
左リアサイドマーカまたは右リアサイドマーカ	リア左側またはリア右側の車幅灯が故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
左デイタイム ドライビングライトまたは右デイタイム ドライビングライト	左側または右側のデイタイムドライビングライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
インテリジェントライト システム 作動できません	インテリジェントライトシステムが故障している。インテリジェントライトシステムを除き、ライトは作動したままになります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
故障 取扱説明書を参照	車外ライトが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
オートライト 作動できません	ライトセンサーが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
ライトを 消してください	車両から離れるときに、ライトが点灯したままである。警告音も鳴っている。 ▶ ライトスイッチを AUTO にまわします。
ｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞ ﾊｲﾋﾞｰﾑ ｱｼｽﾄﾌﾟﾗｽ　現在使用できません 取扱説明書参照	アダプティブハイビームアシスト・プラスが解除され、一時的に作動しない。 考えられる原因： • カメラ部分のフロントウインドウが汚れている • 大雨や雪、霧により、視界が妨げられている ▶ フロントウインドウを清掃してください。 カメラが再度完全に作動可能であることをシステムが検知した場合は、ｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞ ﾊｲﾋﾞｰﾑ ｱｼｽﾄﾌﾟﾗｽ 使用可能になりました というメッセージが表示されます。 アダプティブハイビームアシスト・プラスが再度作動可能になります。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ｱﾀﾞﾌﾟﾃｨﾌﾞﾊｲﾋﾞｰﾑｱｼｽﾄﾌﾟﾗｽ使用できません	アダプティブハイビームアシスト・プラスが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

エンジン

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 冷却水を点検してください取扱説明書を参照	冷却水レベルが低すぎる。 ! エンジン冷却システムの冷却水がかなり不足している状態で長距離走行しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。 ▶ 冷却水補給時の注意事項に従って、冷却水を補給してください（▷402 ページ）。 ▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
	ファンモーターが故障している。 ▶ 冷却水温度が 120℃以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。 ▶ そのときは、山道の走行や発進 / 停止を繰り返す走行など、エンジンへの大きな負荷は避けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
冷却水が減少停車して エンジンを停止	冷却水の温度が高すぎる。 警告音も鳴った。 **警告** エンジンがオーバーヒートした状態では絶対に走行しないでください。エンジンがオーバーヒートした状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがある。 ボンネットを開いたときに発生する、オーバーヒートしたエンジンからの蒸気が致命的な火傷の原因になるおそれがある。 けがの危険性があります。 ▶ 道路や交通状況に注意しながらただちに停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ エンジンが冷えるまで待ってください。 ▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。 ▶ ディスプレイメッセージが消え、冷却水温度が 120℃以下になるまではエンジンを再始動しないでください。 エンジンが損傷することがあります。 ▶ エンジン冷却水温度計で冷却水温度を点検してください。 ▶ 冷却水温度が再び上昇する場合は、ただちにメルセデス·ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。 通常の使用条件下で指定の冷却水レベルでは、冷却水温度が 120℃に上がることがあります。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
	バッテリーが充電されていない。 警告音も鳴った。 考えられる原因： • オルタネーターの故障 • V ベルトが切れている • 電気装備の故障 ▶ 道路や交通状況に注意しながら車両をただちに停車して、エンジンを停止してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ ボンネットを開きます。 ▶ V ベルトが損傷していないか点検してください。 **V ベルトが切れているとき** ! 走行しないでください。 エンジンがオーバーヒートするおそれがあります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。 **V ベルトが損傷していないとき** ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
 給油の際 エンジンオイル量を 点検してください	エンジンオイルレベルが下限まで減っている。 警告音も鳴った。 ▶ 次回の給油時にはエンジンオイルレベルを点検してください（▷400 ページ）。 ▶ 必要であれば、エンジンオイルを補給してください（▷400 ページ）。 ▶ エンジンオイルの減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジンの点検を受けてください。 エンジンオイルに関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンオイルを 1 リッター 補充してください	AMG 車両：エンジンオイルレベルが低すぎる。 ▶ 次回の給油時にエンジンオイルレベルを点検してください（▷400 ページ）。 ▶ 必要であれば、エンジンオイルを補給してください（▷400 ページ）。 ▶ エンジンオイルの減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジンの点検を受けてください。 エンジンオイルに関する情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。
給油してください	燃料の残量が少なくなっている。 ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
	燃料タンク内に非常に少ししか燃料がない。 ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
エアクリーナーエレメントを交換してください	ディーゼルエンジン車両： エンジンエアフィルターが汚れているため、交換する必要がある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
フューエルフィルターを 確認してください	ディーゼルエンジン車両： 燃料フィルターに水が混入している。水を抜く必要がある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
工場で AdBlue を 補充してください 取扱説明書を参照	AdBlue® の残量が減り、補充が必要なレベルになった。警告音も鳴った。 ▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で AdBlue® を補充してください。
... km 以内に AdBlue を 補充してください	AdBlue® の残量が、表示された距離分しか残っていない。 警告音も鳴った。 ▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で AdBlue® を補充してください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ｴﾝｼﾞﾝ始動不可 工場で AdBlue を 補充してください	AdBlue® のタンクが空になっている。警告音も鳴った。エンジンを始動することができない ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
AdBlue を確認 取扱説明書を参照	AdBlue® システムが故障している。警告音も鳴った。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
..km 以内に ｴﾝｼﾞﾝ始動不可	AdBlue® システムが故障している。警告音も鳴った。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
ｴﾝｼﾞﾝ始動できません	AdBlue® システムが故障している。警告音も鳴った。エンジンを始動することができない。 ▶ ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。

走行システム

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
アテンションアシスト 休憩しませんか？	一定の基準に基づいてアテンションアシストが運転者の疲労や注意力低下を検知し、注意を促している。警告音も鳴った。 ▶ 必要であれば、休憩を取ってください。 長距離運転時には、早い時期に休憩を取り、身体を十分に休ませてください。
アテンションアシスト 作動できません	アテンションアシストが作動しない。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
または 車両が あがります	選択された車高に車両が調整されている。
または 車高があがります お待ちください	停車時の車高が下がりすぎている。警告音も鳴った。 ▶ 車高が上がるまで発進しないでください。 メッセージが消えるまで待ってください。
または 停車してください 車高が低すぎます	車高が低すぎる状態で発進した。 しばらくすると、設定された車高に AIR マティックサスペンションが車両を調整します。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ メッセージが消えるまで待ってから発進してください。
	AIR マティックサスペンションに異常がある。警告音も鳴った。 ▶ ステアリングを大きくまわさないでください。ステアリングの動きが非常に大きい場合に、フロントフェンダーまたはタイヤが損傷するおそれがあります。 ▶ 擦れる音がしないか確認してください。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、安全に車両を移動して停車し、より高い車高を選択してください。 故障によっては、車高が上がることがあります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
または 故障	AIR マティックサスペンションの機能が制限される。車両のハンドリング特性を損なうおそれがある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
HOLD オフ	ホールド機能が解除されている。車が横滑りしている。 警告音も鳴った。 ▶ 再度ホールド機能を作動させてください（▷243 ページ）。
	ホールド機能が解除されている。ブレーキペダルを強く踏んだときに、作動条件が満たされていない。 警告音も鳴った。 ▶ ホールド機能の作動条件を確認してください（▷243 ページ）。
アクティブレーンキープアシスト現在使用不可取扱説明書参照	アクティブレーンキーピングアシストが解除され、一時的に作動しない。 考えられる原因： • フロントウインドウのカメラ部分が汚れている • 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている • 車線がない道路を長時間走行している • 車線が汚れや雪などに覆われ、薄くなったり黒ずんだりしている 上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。 アクティブレーンキーピングアシストが再度作動可能になります。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ フロントウインドウを清掃してください。
アクティブ レーンキープアシスト 作動できません	アクティブレーンキーピングアシストが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
アクティブ ブラインドスポット 現在使用できません 取扱説明書参照	アクティブブラインドスポットアシストが一時的に作動しない。 考えられる原因： • センサーが汚れている • 激しい雨や雪により機能が損なわれている • レーダーセンサーシステムが作動温度範囲外にある • 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない ドアミラーの黄色の ▲ 表示灯も点灯する。 上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消えます。 アクティブブラライドスポットアシストは再度作動可能になります。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ センサーを清掃してください（▷412 ページ）。 ▶ エンジンを再始動してください。
アクティブ ブラインドスポット 作動できません	アクティブブラインドスポットアシストが故障している。 ドアミラーの黄色の ▲ 表示灯も点灯する。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
パーキングアシスト中止	運転席ドアが開き、運転席側シートベルトが着用されていない。 ▶ シートベルトを着用し運転席ドアを閉じた状態で、再度駐車操作を行なってください。
	ステアリングの介入動作が行なわれているときに不意にマルチファンクションステアリングに触れた。 ▶ ステアリング介入動作中は、マルチファンクションステアリングに触れないように注意してください。
	車両が横滑りし始め、ESP® が作動した。 ▶ この後で、アクティブパーキングアシストを再度使用してください（▷255 ページ）。
パーキングアシスト作動できません	ステアリング操作や駐車操作を何度も行なった。 約 10 分経過すると、アクティブパーキングアシストの機能が再び作動します（▷255 ページ）。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ エンジンを停止し、再始動してください。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
	パークトロニックが故障している。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
パーキングアシスト終了	車両を駐車した。警告音も鳴った。 メッセージが自動的に消えます。
ディストロニック・プラス オフ	ディストロニック·プラスが解除されている（▷230 ページ）。 運転者によって解除されていない場合は、警告音も鳴ります。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ディストロニック・プラス 再び使用できます	一時的に使用できなくなった後、ディストロニック・プラスが再び使用できる状態になった。ディストロニック・プラスを再び作動させることができる（▷230 ページ）。
ディストロニック・プラス 現在 使用できません 取扱説明書を参照	ディストロニック・プラスが一時的に作動しない。 ディストロニック・プラスのステアリングアシストも一時的に作動しない。 考えられる原因： • 激しい雨や雪により機能が損なわれている • ラジエターグリルとバンパーのセンサーが汚れている • 周囲のテレビ・ラジオ放送局などの設備から発生している電磁波などの影響により、レーダーセンサーシステムが一時的に作動しない • システムが作動温度範囲外にある • バッテリー電圧が低すぎる 警告音も鳴った。 上記の原因が解消すると、ディスプレイメッセージが消える。 ディストロニックが再び作動する。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ ラジエターグリルとバンパーのセンサーを清掃します（▷412 ページ）。 ▶ エンジンを再始動してください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ディストロニック・プラス 作動できません	ディストロニック・プラスが故障している。 BAS プラス（ブレーキアシストプラス）と PRE-SAFE® ブレーキも故障している。 以下も故障していることがある。 • BAS プラス（ブレーキアシストプラス） • PRE-SAFE® ブレーキ • ディストロニック・プラスのステアリングアシスト警告音も鳴った。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
ﾃﾞｨｽﾄﾛﾆｯｸﾌﾟﾗｽ　制御待機中	アクセルペダルを踏んだ。ディストロニック・プラスは車両の速度を制御しなくなっている。 ▶ アクセルペダルから足を放してください。
ディストロニック・プラス - - - km/h	ディストロニック・プラスの作動条件を満たしていない。 ▶ ディストロニック・プラスの作動条件を確認してください（▷230 ページ）。
ディストロニック・プラスと可変ｽﾋﾟｰﾄﾞﾘﾐｯﾀｰ 作動できません	ディストロニック・プラスと可変スピードリミッターが故障している。 そのため、ディストロニック・プラスのステアリングアシストが作動しない。 警告音も鳴った。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄ現在使用できません 取扱説明書参照	ディストロニック・プラスのステアリングアシストが一時的に作動しない。 考えられる原因： • フロントウインドウのカメラ部分が汚れている • 大雨や雪、霧などにより、視界が妨げられている • 車線がない道路を長時間走行している • 車線が汚れや雪などに覆われ、薄くなったり黒ずんだりしている 上記の原因が解消すると､ディスプレイメッセージが消える。 ディストロニック・プラスのステアリングアシストは再度作動可能になります。 ディスプレイメッセージが消えないとき： ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ フロントウインドウを清掃してください。
DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄ 作動できません	ディストロニック・プラスのステアリングアシストが故障している。 ただし、ディストロニック・プラス機能はまだ使用できる。 警告音も鳴った。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
クルーズコントロール と 可変スピードリミッター 作動できません	クルーズコントロールと可変スピードリミッターが故障している。 警告音も鳴った。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
制限速度 — km/h	踏み応えがあるところを越えるまでアクセルペダルを踏んでも（キックダウン）、可変スピードリミッターが作動しない。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
クルーズコントロール ---km/h	クルーズコントロールの作動条件を満たしていない。 たとえば、30 km/h 以下で速度を記憶させようとした。 ▶ 設定可能な状況であれば、30 km/h 以上で走行し、クルーズコントロールを設定してください。 ▶ クルーズコントロールの作動条件を確認してください（▷223 ページ）。

タイヤ

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
タイヤ空気圧 空気圧点検後 タイヤ空気圧	タイヤ空気圧警告システムがタイヤからの急激な空気の漏れを検知した。 警告音も鳴った。 ⚠ **警告** タイヤ空気圧が低すぎると、以下の危険が生じるおそれがある。 • 負荷および車両速度が高まった場合は特に、タイヤがバーストすることがある。 • タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、タイヤの駆動力が著しく損なわれることがある。 • ステアリング操作やブレーキ操作などの走行特性が著しく損なわれることがある。 事故の危険性があります。 ▶ 急ハンドルや急ブレーキを避けて停車してください。そのときは、交通状況に注意してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ タイヤを点検し、必要であれば、タイヤがパンクしたときの指示に従ってください（▷421 ページ）。 ▶ タイヤ空気圧を点検し、必要であれば適正な空気圧に調整してください。 ▶ 適正なタイヤ空気圧に調整した後に、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください（▷448 ページ）。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
タイヤ空気圧 警告システム 警告システム 再始動	タイヤ空気圧警告システムによりディスプレイメッセージが表示された後に、再始動されていない。 ▶ すべてのタイヤの空気圧を適正に調整してください。 ▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動してください（▷448 ページ）。
タイヤ空気圧 警告システム 作動できません	タイヤ空気圧警告システムに異常がある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

車両

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
ブレーキを踏んで P レンジからシフト	ブレーキペダルを踏まずに、トランスミッションのセレクターレバーを **D**、**R**、**N** に動かそうとした。 ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
ｼﾌﾄﾎﾟｼﾞｼｮﾝが P ではないため 車が動く恐れが あります	トランスミッションがポジション **R**、**N**、または **D** のときに運転席ドアを開いた。 警告音も鳴った。 ▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。
シフトチェンジせず 工場で点検	故障のため、トランスミッションのポジションを変更することができない。 警告音も鳴った。 シフトポジション **D** が選択されている場合： ▶ トランスミッションをポジション **D** からシフトしないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行してください。 シフトポジション **R**、**N**、または **P** が選択されている場合： ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
停車中のみ P レンジにシフト できます	車両が動いている。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ トランスミッションをポジション P にシフトしてください。
	セダン：トランクリッドが開いている。 ▶ トランクリッドを閉じてください。
	ステーションワゴン： テールゲートが開いている。 エンジンがかかっているときは、テールゲートが開いている場合に、排気ガスが車内に入るおそれがある。 中毒の危険性があります。 ▶ テールゲートを閉じてください。
	ボンネットが開いている。警告音も鳴った。 車両が動いているときは、開いたボンネットで視界が遮られることがある。 事故の危険性があります。 ▶ 道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全に車両を移動して、停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ ボンネットを閉じてください。
アクティブフード 故障 取扱説明書を参照	故障、またはすでに作動したため、アクティブボンネット（歩行者保護システム）が作動しない。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
	いずれかのドアが開いている。警告音も鳴った。 ▶ すべてのドアを閉じてください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
 左リア バックレスト ロックされていません または 右リア バックレスト ロック されていません	分割可倒式リアベンチシート装備のセダン： 左側または右側のリアバックレストがロックされていない。 警告音も鳴った。 ▶ ロックされるまで、バックレストを後方に押してください。
 パワーステアリング故障 取扱説明書を参照	ステアリングのパワーアシストが故障している。 警告音も鳴った。 ⚠ **警告** ステアリング操作に大きな力を使用することが必要になる。 事故の危険性があります。 ▶ 必要とされる大きな力を加えてステアリングを操作することができるかどうかを確認してください。 ▶ **安全にステアリング操作ができる場合：**メルセデス・ベンツ指定サービス工場まで注意しながら走行してください。 ▶ **安全にステアリング操作ができない場合：**走行しないでください。最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
圏外	車両がネットワークプロバイダーの送受信範囲外にある。 ▶ マルチファンクションディスプレイに電話 待ち受けと表示されるまで待ってください。
 ウォッシャー液を 補充してください	ウォッシャー液リザーブタンクのウォッシャー液レベルが最低レベルまで下がっている。 ▶ ウォッシャー液を補給してください（▷404 ページ）。

キー

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーが違います	エンジンスイッチに別の車両のキーを差し込んでいる。 ▶ 正しいキーを使用してください。
キーを交換してください	キーを交換する必要がある。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
キーの電池を交換してください	キーの電池が消耗している。 ▶ 電池を交換してください（▷107 ページ）。
キーを認識できません（赤色のメッセージ）	キーが車内にない。 警告音も鳴った。 エンジンを停止すると、車の施錠やエンジン始動ができなくなる。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ キーを探してください。
	電磁波などの影響により、エンジンがかかっているときにシステムがキーを認識できない。 警告音も鳴った。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ エンジンスイッチにキーを差し込んで操作を行ってください。

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
キーを認識できません (白色のメッセージ)	システムがキーを認識できない。 ▶ キーレスゴースイッチ操作ができる位置にキーを移動してください。 それでもキーがシステムに認識されないとき： ▶ エンジンスイッチにキーを差し込んで操作を行ってください。
キーが 車内にあります	施錠時にシステムが車内にキーがあると判断している。 ▶ キーを車から遠ざけてください。
スタートボタンを外し キーを入れてください	キーが常時認識されない。 キーレスゴー機能が一時的に故障しているか異常がある。 警告音も鳴った。 ▶ エンジンスイッチにキーを差し込んで操作を行なってください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
ドアを閉めてからロックしてください	いずれかのドアが開いている。 警告音も鳴った。 ▶ すべてのドアを閉じてから、再度施錠操作を行ってください。

メーターパネルの警告灯および表示灯

安全性

シートベルト

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
フロントドアを閉じてエンジンを始動すると、赤色のシートベルト警告灯が点灯する。	運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。 ▶ シートベルトを着用してください（▷62 ページ）。 警告灯が消灯します。
	助手席シートの上に荷物を置いている。 ▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。 警告灯が消灯します。
赤色のシートベルト警告灯が点滅し、断続的な警告音も鳴った。	運転席または助手席の乗員がシートベルトを着用していない。その状態で、約 25 km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25 km/h を超えた。 ▶ シートベルトを着用してください（▷62 ページ）。 警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。
	助手席シートの上に荷物を置いている。 その状態で、約 25 km/h 以上の速度で走行している。または速度が一時的に約 25 km/h を超えた。 ▶ 助手席シートに置いてある荷物を、別の安全な場所に収納してください。 警告灯が消灯し、警告音も鳴り止みます。

安全システム

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンがかかっているときに黄色のブレーキ警告灯が点灯する。	警告 ブレーキシステムが故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えるおそれがある。 事故の危険性があります。 ▶ マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されているときは、そのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
走行中に赤色のブレーキ警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	パーキングブレーキを解除しないで走行している。 ▶ パーキングブレーキを解除します。 警告灯は消灯し、警告音も鳴り止みます。
エンジンがかかっているときに赤色のブレーキシステム警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	警告 ブレーキのブースト機能が故障しているため、ブレーキの作動に影響を与えるおそれがある。 事故の危険性があります。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。状況を問わず、走行しないでください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217ページ）。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
(!) エンジンがかかっているときに赤色のブレーキシステム警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	リザーブタンクのブレーキ液が不十分である。 ⚠ **警告** ブレーキの性能が損なわれるおそれがある。 事故の危険性があります。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに安全な場所に停車してください。状況を問わず、走行しないでください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217ページ）。 ▶ 絶対にブレーキ液を補給しないでください。このことによって問題が解消されるわけではありません。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
(ABS) エンジンがかかっているときに黄色の ABS 警告灯が点灯する。	故障のため、ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）が解除されている。そのため、BAS（ブレーキアシスト）、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）、ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）、PRE-SAFE®、PRE-SAFE® ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトなども解除されている。 アテンションアシストは解除されている。 ⚠ **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには車輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキの作動が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。 ABS コントロールユニットが故障している場合は、ナビゲーションシステム、オートマチックトランスミッションなど、他のシステムも作動しなくなることがある。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
(ABS) エンジンがかかっているときに黄色のABS警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	故障のためEBDが使用できない。そのため、ABS、BAS、BASプラス、CPA（衝突警告システム）、ESP®、PRE-SAFE®、PRE-SAFE®ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトなども使用できない。 アテンションアシストは解除されている。 ⚠ **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキ特性が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP®が作動しない場合は、ESP®が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンがかかっているときに赤色のブレーキ警告灯、黄色の ESP および ESP® 解除警告灯、黄色の ABS 警告灯が点灯する。	故障のため、ABS および ESP® は使用できない。そのため、BAS、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）、EBD、PRE-SAFE®、PRE-SAFE® ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトなども使用できない。 アテンションアシストは解除されている。 ⚠ **警告** 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。そのため、ブレーキを強く効かせた場合などには前輪および後輪がロックするおそれがある。 ステアリング操作やブレーキ特性が大幅に損なわれるおそれがある。緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® が車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
走行中に黄色の ESP® 警告灯が点滅する。	車が横滑りをするおそれがあるか、少なくとも 1 つの車輪が空転し始めているため、ESP® やトラクションコントロールが作動している。 クルーズコントロールやディストロニック・プラスが解除される。 ▶ 発進するときは、アクセルペダルを必要以上に踏み込まないでください。 ▶ 走行中は緩やかに加速してください。 ▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。 ▶ ESP® を解除しないでください。 例外については（▷89 ページ）をご覧ください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
[ESP OFF] エンジンがかかっているときに黄色の ESP® 解除警告灯が点灯する。	ESP® が解除されている。 ⚠ **警告** ESP® が解除されている場合は、ESP® は車両を安定させることはできない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ 再度 ESP® を設定してください。 例外については（▷89 ページ）をご覧ください。 ▶ 路面と天候の状態に合わせて運転してください。 ESP® が設定できない場合： ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で ESP® の点検を受けてください。
SPORT AMG 車両のみ： エンジンがかかっているときに黄色のスポーツハンドリングモード警告灯が点灯する。	スポーツハンドリングモードになっている。 ⚠ **警告** スポーツハンドリングモードがオンになっている場合、ESP® は車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ スポーツハンドリングモードに切り替えるときは、"スポーツハンドリングモードの設定 / 解除" の項目に記載されている条件に必ず従ってください（▷92 ページ）。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンがかかっているときに黄色の ESP® 警告灯と黄色の ESP® 解除警告灯が点灯する。	故障のため、ESP®、BAS、BAS プラス、CPA（衝突警告システム）、PRE-SAFE®、PRE-SAFE® ブレーキ、ホールド機能、ヒルスタートアシストおよびアダプティブブレーキライトが使用できない。 アテンションアシストは解除されている。 ⚠ 警告 上記に挙げた機能を除き、ブレーキシステムは通常通り機能し続ける。 緊急ブレーキの状況で制動距離が伸びることがある。 ESP® が作動しない場合は、ESP® は車両を安定させることができない。 横滑りの危険性や事故の危険性が高まります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
エンジンがかかっているときに赤色の SRS 警告灯が点灯する。	SRS（乗員保護補助装置）に故障がある。 エアバッグやシートベルトテンショナーが不意に作動したり、事故のときに作動しなくなるおそれがある。 けがの危険性が高まります。 ▶ 注意して運転してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で SRS の点検を受けてください。 乗員保護補助装置に関するさらなる情報は、（▷51 ページ）をご覧ください。

エンジン

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンがかかっているときに黄色のエンジン警告灯が点灯する。	以下のシステムが故障している可能性がある。 • エンジン制御システム • 燃料噴射システム • 排気システム • イグニッションシステム（ガソリンエンジン車） • フューエルシステム 排出ガス中の成分が基準値を超えたため、エンジンがエマージェンシーモードになっている可能性がある。 ▶ すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
	ディーゼルエンジン搭載車両:燃料タンクが空になっている。 ▶ 燃料の補給後、エンジン始動操作を 3 ～ 4 回繰り返してください。 黄色のエンジン警告灯が消灯すると、エマージェンシーモードが解除されます。車の点検を受ける必要はありません。
エンジンがかかっているときに黄色の燃料残量警告灯が点灯する。	燃料の残量が少なくなっている。 ▶ 最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。エンジン冷却水温度計の指針が下限にある。	冷却水温度計の温度センサーが故障している。 冷却水温度を確認することができない。 冷却水の温度が高すぎる場合は、エンジンが損傷するおそれがある。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。 状況を問わず、走行しないでください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
[冷却水警告灯マーク] エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。	リザーブタンクの冷却水量がかなり不足している。 冷却水量が正常なときは、ラジエターへの送風が遮られているか、ラジエターの冷却ファンが故障しているおそれがある。 冷却水の温度が高すぎて、エンジンが十分に冷却されていない。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ 車から降り、エンジンが冷えるまで車から安全な距離を確保してください。 ▶ 冷却水の点検･補給時の注意事項（▷402 ページ）に従って、冷却水量を点検の上、冷却水を補給してください。 ▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジン冷却システムの点検を受けてください。 ▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。 ▶ 冷却水温度が約 120℃以下に下がるまではエンジンを再び始動しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。 ▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。 ▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
エンジンがかかっているときに赤色の冷却水警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	冷却水温度が約 120℃を超えている。ラジエターへの送風が遮られているか、冷却水量がかなり不足している可能性がある。 ⚠ **警告** エンジンが十分に冷却されないため、エンジンが損傷するおそれがある。
	エンジンが過熱した状態では絶対に走行しないでください。 エンジンが過熱した状態で走行すると、エンジンルームに漏れたフルード類に引火するおそれがあります。 ボンネットを開いただけで、過熱したエンジンからの蒸気で重度の火傷をするおそれがあります。 けがの危険性があります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのメッセージに従ってください。 ▶ 周囲の道路や交通状況に注意しながら、すみやかに停車し、エンジンを停止してください。 ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷217 ページ）。 ▶ 車から降り、エンジンが冷えるまで車から安全な距離を確保してください。 ▶ 冷却水の点検･補給時の注意事項（▷402 ページ）に従って、冷却水量を点検の上、冷却水を補給してください。 ▶ 冷却水の減りかたが著しい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でエンジン冷却システムの点検を受けてください。 ▶ 雪やほこりなどにより、ラジエターへの送風が遮られていないか確認してください。 ▶ 冷却水温度が約 120℃以下のときは、最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行することができます。 ▶ 山道の走行などでエンジンに大きな負荷をかけたり、発進 / 停止を繰り返したりしないでください。

走行システム

トラブル	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
[警告灯] 走行中に赤色の車間距離警告灯が点灯する。	設定された速度に対し、先行車との車間距離が近すぎる。 ▶ 車間距離を広げてください。
[警告灯] 走行中に赤色の車間距離警告灯が点灯する。警告音も鳴った。	進行方向にいる車両または静止している障害物に急速に接近している。 ▶ ただちにブレーキをかける準備をしてください。 ▶ 交通状況に注意して運転してください。ブレーキ操作や危険回避操作が必要となることがあります。 PRE-SAFE® ブレーキについてのさらなる情報は（▷94 ページ）をご覧ください。 CPA（衝突警告システム）の距離警告機能についてのさらなる情報は（▷86 ページ）をご覧ください。

役に立つ情報…………………………… 350
全体的な注意事項…………………… 350
重要な安全上の注意事項…………… 350
著作権の情報………………………… 350
機能の制限…………………………… 351
COMAND システムの操作システム 351
COMAND オンラインとインターネット
機能…………………………………… 358

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

全体的な注意事項

本章では、COMAND システムの基本操作が記載されています。詳細はデジタル版取扱説明書をご覧ください。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車両のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全なときにのみ、マルチファンクションディスプレイやCOMAND システムを操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMAND システムを操作するときは、関連する法規に従ってください。

COMAND システムは例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他の道路や交通ルール、規則

COMAND システムは地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。COMAND システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

わずか 50km/h の速度でも、車両は 1 秒あたり 14m の距離を進むことを念頭においてください。

著作権の情報

全体的な注意事項

車両やその電子部品で使用されているフリーのオープンソースソフトウェアのライセンスの情報を以下のウェブサイトで見つけることができます：**http://www.mercedes-benz.com/opensource**

機能の制限

安全のために、車両走行中は COMAND システムのいくつかの機能が制限されたり、利用できないことがあります。このことは、例えば、メニュー項目が選択できなかったり、COMAND システムにこの結果に対するメッセージが表示されることで、ご確認いただけます。

COMAND システムの操作システム

概要

① COMAND ディスプレイ（▷352 ページ）
② シングル DVD ドライブ付き COMAND コントロールパネル
③ COMAND コントローラー（▷356 ページ）

COMAND システムを使用して以下の基本機能が操作できます。

- ナビゲーションシステム
- オーディオ機能
- 電話機能
- ビデオ機能
- システムの設定
- COMAND オンラインとインターネット機能
- デジタル版取扱説明書

以下のようにして基本機能を呼び出すことができます。

- 対応する機能スイッチを使用して
- COMAND ディスプレイの基本機能バーを使用して

COMAND ディスプレイ

ディスプレイの概要

ラジオの表示例

①	ステータスバー	時刻および電話機能の現在の状況を表示します。
②	オーディオメニューの呼び出し	選択されている基本機能（ここではオーディオ）が白色で強調されています。三角はこの基本機能に選択可能なサブメニューがあることを示します。
③	基本機能バー	基本機能バーから希望する基本機能を呼び出すことができます。 選択されている基本機能は白色で強調されます。
④	表示 / 選択ウインドウ	作動している基本機能・モード（ここではオーディオ機能のラジオモード）の内容を表示します。
⑤	ラジオメニューバー	作動している基本機能・モード（ここではオーディオ機能のラジオモード）の他の機能を表示します。

メニュー概要

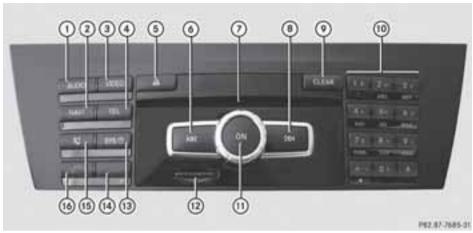
ナビ	オーディオ	電話	TV/ 映像	システム	アイコン
地図表示切替	ラジオ	電話	テレビ	設定メニューを呼び出す	デジタル版取扱説明書を呼び出す
表示形式	ディスク	アドレス帳	DVD ビデオ		COMAND オンラインとインターネットを呼び出す
VICS 表示	メモリーカード		外部入力		
地図アイコン表示	ミュージックレジスター				
設定	USB メモリー				
案内中止 / 案内再開	メディアインターフェース				
コンパス	Bluetooth オーディオ				
	外部入力				

設定メニューの概要

設定	日時	シート	画面オフ
画面設定	☑ 自動時刻設定のオン / オフを切り替える	運転席 / 助手席の設定を変更する	ディスプレイのオフ
音声認識設定	手動時刻設定		
リアビューカメラまたは 360° カメラ	時刻 / 日付形式の設定		

設定	日時	シート	画面オフ
言語 /Language			
フェイバリットボタン			
☑Bluetooth ON			
データインポート / エクスポート			
リセット			

ℹ メニュー項目の 360° カメラ が表示されている場合は、システムから 画面 OFF を呼び出すことができます。

COMAND コントロールパネル

	機能	ページ
①	最後に選択されていたオーディオモード（例：ラジオモード）に切り替える	
②	ナビゲーションモードに切り替える 設定メニューを表示する	
③	最後に選択されていたビデオモード（例：テレビモード）に切り替える	
④	電話基本メニュー（Bluetooth® インターフェースによる電話機能）を呼び出す アドレス帳を呼び出す	
⑤	挿入 / 排出スイッチ	
⑥	放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する 早戻し 前のトラックを選択する	

	機能	ページ
⑦	ディスクスロット • CD/DVD を挿入する • CD/DVD を排出する	
⑧	放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する 早送り 次のトラックを選択する	
⑨	クリアスイッチ • 文字を削除する • 項目を削除する	

	機能	ページ
⑩	テンキー • 放送局プリセットによって放送局を選択する • 手動で放送局を登録する • 携帯電話を認証する • 電話番号の入力 • 文字入力 • メモリーから天気予報の場所を選択する [#] 再生されている現在のトラックを表示する [#] 文字バーのあるリスト：文字の設定を切り替える [#] 選択リストとしてのリスト：文字の設定 （カタカナ / アルファベット）を切り替える [*] 周波数を手動で入力して放送局を選択する [*] トラックを選択する	
⑪	COMAND システムのオン / オフの切り替え 音量の調整	
⑫	SD メモリーカードスロット	
⑬	設定メニューを呼び出す	
⑭	通話を拒否する 通話を終える 保留中の通話を拒否する	

	機能	ページ
⑮	ミュート ハンズフリーマイクのオン / オフを切り替える ナビゲーションの音声案内を停止する	
⑯	通話を受ける 番号をダイヤルする リダイヤル 保留中の通話を受ける	

COMAND コントローラー

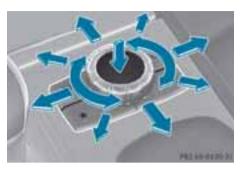
概要

① COMAND コントローラー

COMAND コントローラーを使用して COMAND ディスプレイのメニュー項目を選択できます。

以下のことができます。

- メニューまたはリストの呼び出し
- メニューまたはリスト内のスクロール
- メニューまたはリストの終了

操作

例：COMAND コントローラーを操作する

COMAND コントローラーは以下のようなことができます。

- 軽く押す、または押して保持する ◎
- 時計回り、または反時計回りにまわす ⟲◎⟳
- 左右にスライドする ←◎→
- 前後にスライドする ↑◎↓
- 斜めにスライドする ↗◎↙

操作の例

説明では、操作の順番は以下のような記載になります。

▶ AUDIO スイッチを押します。

最後に選択されていたオーディオソースがオンになります。

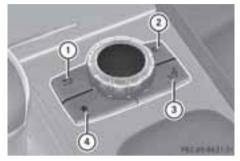
▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ミュージックレジスター のように他のオーディオソースを選択し、押して ◎ 確定します。

ミュージックレジスターがオンになります。

COMAND コントローラーのスイッチ

概要

① リターンスイッチ（▷357 ページ）
② クリアスイッチ（▷358 ページ）
③ シート機能スイッチ
④ お気に入りスイッチ

ℹ 車両にシート機能スイッチがない場合は、2 つのお気に入りスイッチがあります。

ℹ AMG 車両：COMAND コントローラーにはスイッチ ① と ② のみがあります。

リターンスイッチ

⮌ スイッチを使用してメニューを終了したり、現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

▶ **メニューを終了する：** ⮌ スイッチを軽く押します。

COMAND システムは現在の操作モードのなかで、一つ上のメニュー階層に切り替わります。

▶ **基本画面を呼び出す：** ⮌ スイッチを押して保持します。

COMAND システムは現在の操作モードの基本表示に切り替わります。

クリアスイッチ

▶ **個々の文字を削除する：** c スイッチを軽く押します。

▶ **入力全体を削除する：** c スイッチを押して保持します。

シート機能のスイッチ

スイッチを使用して、シートの調整機能を呼び出すことができます。

お気に入りスイッチ

★スイッチにあらかじめ機能を設定し、スイッチを押して呼び出すことができます。

COMAND オンラインとインターネット機能

デジタル版取扱説明書の情報

デジタル版取扱説明書には、以下の項目に関する情報が記載されています。

- インターネットアクセスデータの選択 / 設定
- COMAND オンラインとインターネット
- Google™ ローカル検索
- 目的地 / ルートのダウンロード
- 天気表示
- インターネット

全体的な注意事項

アクセスの条件

⚠ 警告

走行中に車両のマルチファンクションディスプレイや COMAND システムの操作を行なうと、交通状況に対する注意が払われなくなります。また車のコントロールを失うおそれがあります。事故の危険性があります。

交通状況が安全なときにのみ、マルチファンクションディスプレイや COMAND システムを操作するようにしてください。安全が確保されない場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。

COMAND システムを操作するときは、関連する法規に従ってください。

オンライン機能とインターネットアクセスは、Bluetooth® インターフェースを介して利用することができます。

機能を使用するには、以下の条件が必要です。

- 携帯電話が DUN Bluetooth® プロファイル（**D**ial-Up **N**etworking：ダイヤルアップネットワーク）をサポートしていて、Bluetooth® 経由で COMAND システムに接続されている。DUN Bluetooth® プロファイルは携帯電話のインターネットへのダイヤルアップ接続を確立させることができます。
- 携帯電話でデータ通信が可能である。
- 接続されている携帯電話用の携帯電話ネットワークプロバイダーのアクセスデータが、COMAND システムで設定されている （▷360 ページ）。

ℹ 接続されている携帯電話が PAN Bluetooth® プロファイル（パーソナルエリアネットワーク）をサポートしている場合は、自動設定機能を使用できます (▷363 ページ)。

ℹ 適合している携帯電話の詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ℹ 携帯電話によっては、DUN Bluetooth® プロファイルをオンにしなければならないものもあります（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

ℹ 携帯電話の中には同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートするものがあります（例：Bluetooth® 電話機能のハンズフリープロファイルおよびオーディオストリーミングの Bluetooth® オーディオプロファイル）。さらにインターネット接続を確立させたときは、Bluetooth® オーディオ経由での再生が停止することがあります。

ℹ 不適切なアクセスデータを使用すると、追加の費用が発生することがあります。これは、契約と違う項目や、他の契約 / データパッケージの項目を使用したときに発生します。

ℹ 利用規約は、COMAND システムが初めて使用されたとき、およびそれ以降年に 1 度表示されます。車両が停止しているときにのみ、利用規約を読んで同意してください。

ℹ 車両が動いている間は、インターネットのページは表示できません (▷367 ページ)。

インターネットデータ オプションを選択し、データをインポート / エクスポートしたときは、携帯電話のネットワークプロバイダーのパスワードは保存**されません**。

インターネットに再度接続するときは、以下のように進めます。

▶ **ステップ 1：**携帯電話のネットワークプロバイダーを削除します。

▶ **ステップ 2：**携帯電話のネットワークプロバイダーを再度選択する（オプション 1）か、手動で設定します（オプション 2）。

車両が走行している間の接続障害

以下の場合は、接続が切断されることがあります。

- 特定の地域において、携帯電話のネットワーク範囲が不十分なとき
- 携帯電話の送信 / 受信エリア（携帯電話の基地局）を他に移動して空いているチャンネルがないとき
- 使用可能なネットワークに適していない SIM カードを使用しているとき

機能の制限

以下の状況のときは、携帯電話を使用できなかったり、携帯電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMAND システムの "Bluetooth®" 機能がオフになっているとき
- 携帯電話の "Bluetooth®" 機能がオフになっているとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき
- 携帯電話ネットワークと携帯電話がともに、電話とインターネット接続の同時使用が認められていないとき

ⓘ 使用している携帯電話と携帯電話ネットワークによっては、インターネットに接続しているときは着信できないことがあります。

ローミング

ローミングで COMAND システムのインターネットおよびオンライン機能を使用しているときは、追加の費用が発生することがあります。このときは、SIM カードがデータローミングをできるようにしなければなりません。携帯電話のネットワークプロバイダーがローミングパートナーとデータローミングの契約を結んでいない場合は、インターネット接続を確立できないことがあります。データローミングを避けたい場合は、携帯電話のデータローミングの機能を非作動にしてください。

アクセスデータの設定

概要

接続された携帯電話のインターネットアクセスデータは、携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。COMAND システムでのインターネットアクセスデータに必要な設定は、以下に記載されています。

選択された / 手動で設定された携帯電話のネットワークプロバイダーは、選択 / 設定されたときに接続されている携帯電話のみで有効です。再接続されたときは携帯電話のネットワークプロバイダーは自動的に設定されます。

ⓘ ローミングにより、COMAND オンラインとインターネット機能を使用すると、追加料金が発生することがあります。

ⓘ 車両が停止しているときにアクセスデータを設定してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

インターネットアクセスデータの選択 / 設定

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストを呼び出す

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ◎ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↓◎、まわして 〔◎〕、設定を選択し、押して ◎ 確定します。

携帯電話を初めて COMAND システムに接続するときは、あらかじめ選択されている携帯電話のネットワークプロバイダーはありません。プロバイダー：に選択されていませんというメッセージが続きます。

携帯電話が接続されていて、携帯電話のネットワークプロバイダーが選択されている場合は、携帯電話のネットワークの名称が プロバイダー： の後に表示されます。

▶ COMAND コントローラーを押します ⊛。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

ネットワークプロバイダーを追加する場合は、プロバイダー追加を選択します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定するためには、以下のオプションがあります。

オプション 1：

携帯電話のネットワークプロバイダーのあらかじめ設定されたアクセスデータを選択する（▷361 ページ）。

オプション 2：

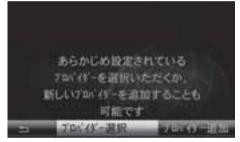
自動設定を選択する。このオプションは、接続されている携帯電話が Bluetooth® PAN（パーソナルエリアネットワーク）プロファイルをサポートしている場合にのみ、プロバイダーのリストに表示されます（▷363 ページ）。

オプション 3：

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを手動で設定する（▷363 ページ）

オプション 1：携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択

プロバイダーの検索

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストでプロバイダー追加を選択し、押して ⊛ 確定します（▷360 ページ）。

▶ プロバイダー選択を選択します。

使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

ℹ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータが接続している携帯電話で一度選択されると、携帯電話が接続されるたびに再び読み込まれます。

ⓘ 接続している携帯電話の SIM カードおよび関連するデータパッケージ（アクセス設定）を提供している携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定してください。他のネットワークのアクセスデータは選択**しないでください。**

携帯電話のネットワークプロバイダーによっては、複数のアクセスデータを提供していることがあります。これは、使用しているデータパッケージなどによって異なります。

携帯電話のネットワークプロバイダーに 1 つのアクセス設定のみがある場合：

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーを選択し、押して ⊛ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ **あらかじめ設定されているアクセスデータを確認する：** 編集 を選択し、⊛ で確定します。アクセスデータのリストが表示されます。

アクセスデータを確認します（▷363 ページ）。

▶ 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受信します。

▶ **アクセスデータを編集する：**" 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定 "（▷363 ページ）に記載されているように進めてください。

編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。

携帯電話のネットワークプロバイダーに複数のアクセス設定がある場合：

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、適切なアクセス設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ **アクセス設定を確認する：** 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。

アクセスデータのリストが表示されます。

アクセスデータを確認します（▷363 ページ）。

▶ 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受信します。

▶ **アクセスデータを編集する：**" 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定 "（▷363 ページ）に記載されているように進めてください。

編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。

選択したプロバイダーがある携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト

現在選択されているアクセス設定（項目の前の•で示されています）が接続されている携帯電話で使用されています。

オプション 2：アクセスデータの自動設定

要件：Bluetooth® 経由で電話が COMAND システムに接続されていて、Bluetooth® PAN プロファイルをサポートしていなければなりません。

オプション 1：

電話がまだインターネットアクセスに設定されていない場合

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ◎ 確定します。

自動設定が可能であることを知らせるメッセージが表示されます。

▶ はい を選択し、押して ◎ 確定します。

オプション 2：

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで 自動設定 を選択し、押して ◎ 確定します （▷360 ページ）。

携帯電話から設定データが転送されます。設定が成功した場合は、ドット •が 自動設定 の前に表示されます。

オプション 3: 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストでプロバイダー追加を選択し、押して ◎ 確定します （▷360 ページ）。

アクセスデータのリストを呼び出す

▶ プロバイダー追加を確定します。アクセスデータのリストが表示されます。標準的な名前 provider <x> が プロバイダ名：欄に自動的に入力されます。ここで項目を作成することができます。

アクセスデータの説明

入力欄	意味
プロバイダ名：	携帯電話のネットワークプロバイダーのリストに表示されるプロバイダーの名前。名前を自由に選択できます。 標準的な項目は provider <x> です。
電話番号	接続を確立するためのアクセス番号 ℹ アクセス番号はプロバイダーによって異なります。
アクセスポイント：	APN アクセスポイントネーム（Access Point Name：アクセスポイント名） ℹ ネットワークのアクセスポイントは入力されている必要はありません。
PDP Type	アクセスポイントに接続する際の設定です。
ユーザー ID：	ユーザー ID は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力が必要なわけではありません。
パスワード	パスワードは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力が必要なわけではありません。 ℹ パスワードはデータをインポート / エクスポートすると失われます。

入力欄	意味
DNS アドレス:	DNS アドレス (Domain Name Service: ドメインネームサービス) は自動的に決めるか、手動で入力することができます。必要な情報は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ⓘ ほとんどの携帯電話のネットワークプロバイダーは自動機能をサポートしています。マニュアルオプションを選択すると、通常は DNS アドレスを入力する必要があります。
DNS 1 : DNS 2 :	DNS サーバーのアドレスを手動で入力するための欄。アドレスは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます

接続の確立 / 終了

接続を確立する

接続の確立の条件は、" 全体的な注意事項 " (▷358 ページ) に記載されています。

▶ **オプション 1**：COMAND コントローラーをまわして、基本機能バーで アイコンを選択し、押して確定します。

カルーセルビュー (マルチウインドウ) が表示されます。

▶ Mercedes-Benz Apps または お気に入り パネルが前面になるまで COMAND コントローラーをまわすか、スライドします。

▶ **オプション 2**：ウェブアドレス（▷367 ページ）を入力します。

▶ どちらのオプションも、COMAND コントローラーを押します。

インターネットの接続が確立されます。

作動しているインターネット接続はマーク ① で識別されます。例は、メルセデス・ベンツアプリメニューを示しています。

▶ **接続を中止する**：接続を確立している間に、押して ⓦ 中止 を確定します。

または

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

ℹ インターネット接続の作動と同時に電話の通話が行われる場合は、☎ マークが ① に表示されます。使用されている携帯電話および携帯電話のネットワークによっては、インターネット接続は作動したままになります。

接続を終了する

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

または

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）の右下にあるハサミマークを選択して、押して ⓦ 確定します。

ℹ 携帯電話でインターネット接続を中止すると、COMAND システムは再接続しようとします。そのため、COMAND システム、またはマルチファンクションステアリング経由で接続を常に閉じるようにしてください。

インターネットラジオ

全体的な注意事項

オーディオデータを効果的に送信するためには、良好なインターネット接続が必要です。

インターネットラジオを使用しているときは、比較的大きな量のデータが送信されることを念頭においてください。1 秒当たり平均 128kbit のデータ転送速度で、1 時間当たり 56MB のデータが転送されます。

データを受信している間は、放送局のデータ転送速度が表示されます。

インターネットラジオの呼び出し

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ⓦ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾗｼﾞｵ のパネルを前面にし、押して ⓦ 確定します。

インターネットラジオのメニューが表示されます。

放送局検索

▶ インターネットラジオのメニューで検索を選択します。

検索条件のあるリストが表示されます。

▶ 条件を選択し、押して ⊛ 確定します。

ⓘ 検索条件としての例として、ナビゲーションの目的地の近くにあるインターネットラジオの放送局を設定することができます。

放送局への接続

▶ 放送局を検索します。

▶ メニューでインターネットラジオ ▶（再生）を選択し、押して ⊛ 確定します。

呼び出しが行なわれます。

データストリームが中断された場合は、接続を再確立するための試みが自動的に行なわれます。

接続の手動再確立

▶ メニューでインターネットラジオ ▶（再生）を選択し、押して ⊛ 確定します。

データ転送の終了

▶ メニューでインターネットラジオ ■（停止）を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ 例えば ディスク のような、他のオーディオソースに切り替えます。

ナビゲーションなどのオーディオソースでない基本機能に切り替えた場合は、データ接続はオンのままになります。設定した放送局を聴き続けることができます。

インターネット

表示制限

インターネットのページは走行中は表示できません。

ウェブサイトを呼び出す

カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出す

P82.87-9383-31

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◖◎◗、基本機能バーで 🌐 アイコンを選択し、押して ⊛ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

ウェブアドレスを入力することができます。

ウェブアドレスの入力

P82.87-7204-31

文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレスを入力できます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ◎、www を選択し、押して ◎ 確定します。

入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーを使用して入力する：**入力行にウェブアドレスを入力します。

最初の文字を入力行に入力するとすみやかに、リストがその下に表示されます。入力した文字で始まるウェブアドレスと、すでに呼び出されたウェブアドレスがリストに表示されます。

初めて呼び出したときはリストは空欄です。

▶ ウェブアドレスを入力した後に、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ◎、ok マークを選択し、押して ◎ 確定します。

ウェブサイトが呼び出されます。

ウェブサイトを操作する

手順	動作
▶コントローラーをまわす ◎。	リンク、文字欄または選択リストなどの選択可能な項目が移動し、強調されます。
コントローラーをスライドする ▶左右 ←◎→ ▶前後 ↑◎↓ ▶斜め ◎	ページのポインターを動かします。
▶コントローラーを押す ◎。	メニューを呼び出す、または選択した項目を開きます。
▶ ↩ を押す	前のページを呼び出します。
▶ c を押す	インターネットのブラウザーを、または複数が開いているときは現在のウインドウを閉じます。

役に立つ情報……………………………… 370
収納エリア………………………………… 370
機能………………………………………… 387

役に立つ情報

ⓘ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ⓘ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

収納エリア

積載のガイドライン

⚠ **警告**

荷物や重い荷物が固定されていない、または十分に固定されていないと、すべったり、放り出されて乗員にぶつかるおそれがあります。特にブレーキ操作時や急な進路変更時にけがをする可能性があります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。走行前に、荷物や積載物などがすべったりひっくり返ったりしないように固定されていることを確認してください。

⚠ **警告**

エンジンは、一酸化炭素などの有毒な排気ガスを排出します。エンジンをかけた状態（特に車両が走行中）でトランクリッド / テールゲートが開いたままになっていると、排気ガスが車内に入る可能性があります。中毒を起こすおそれがあります。

トランクリッド / テールゲートを開く前に、必ずエンジンを停止してください。トランクリッド / テールゲートを開いたまま走行しないでください。

荷物の積み方は車両の走行安定性に大きく影響します。荷物を積むときは、以下の点に注意してください。

- 荷物を運搬するときは、最大車両総重量および許容軸重（乗員を含む）を超えないようにしてください。
- 荷物はトランク / ラゲッジルームに積むことをお勧めします。
- 重い物はできるだけラゲッジルームの前方の低い位置に積んでください。
- 荷物を車内に積むときは、シートのバックレストよりも高く積み上げないでください。
- トランクに荷物を積むときは、必ずリアシートまたはフロントシートのバックレストに接するように積んでください。シートバックレストがしっかりと固定されていることを確認してください。
- なるべく乗員のいない席の後方に荷物を積み込んでください。
- 荷物固定用リングおよびラゲッジネットを荷物や積載物を運搬するために使用してください。

- 荷物の大きさと重さに適した荷物固定用リングおよび固定具のみを使用してください。
- ラゲッジルームに荷物を運び込むときは、ネットー体式ラゲッジルームカバーを必ず取り付けてください。
- 強度のある耐摩耗性の荷物固定用ストラップなどを使用して、荷物を確実に固定してください。鋭い角のある荷物は、角の部分にカバーをしてください。

ℹ 荷物固定用のアクセサリーは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でお求めください。

収納スペース

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

車内の荷物が適切に積載されていないと、荷物がずれたり投げ出されたりして乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な進路変更をすると、けがのおそれがあります。

- このような状況でも荷物が投げ出されないように積載してください。
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようにしてください。
- 走行中は、ロック可能な小物入れは閉じてください。
- 重たいもの、硬いもの、とがっているもの、鋭利なもの、壊れやすいもの、大きなものは必ずトランク / ラゲッジルームに積載してください。

積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

グローブボックス

▶ **開く：**ハンドル ① を引き、グローブボックスのカバー ② を開きます。

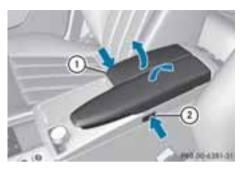
▶ **閉じる：**固定されるまで、グローブボックスのカバー ② を起こします。

ℹ グローブボックス内を換気することができます（▷184 ページ）。

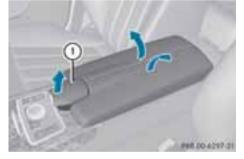
エマージェンシーキーでグローブボックスを施錠 / 解錠できます。

▶ **施錠する：**エマージェンシーキーをキーシリンダーに差し込んで、時計回りに 90°まわし、施錠位置 2 にします。

▶ **解錠する：**エマージェンシーキーをキーシリンダーに差し込んで、反時計回りに 90°まわし、解錠位置 1 にします。

アームレスト下の小物入れ

AMG 車両

▶ **開く：**左側のスイッチ ② または右側のスイッチ ① を押します。

小物入れが開きます。

AMG 車両を除く全車種

▶ **開く：**ハンドル ① を上に引きます。アームレストが開きます。

ℹ アームレスト内の小物入れには、USB ポート、およびメディアインターフェースが装備されています。メディアインターフェースは、iPod® または MP3 プレーヤーなどの携帯オーディオ機器用の汎用インターフェースです（デジタル版取扱説明書をご覧ください）。

フロントシート下の小物入れ

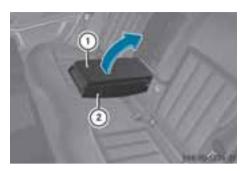
⚠ **警告**

小物入れの最大積載量を超えた場合は、カバーが収納物の飛び出しを防ぐことができない可能性があります。収納物が小物入れから飛び出し、乗員にぶつかる可能性があります。特に急ブレーキや急な進路変更をすると、けがのおそれがあります。

小物入れの最大積載量を決して超えないようにしてください。重い荷物はトランク / ラゲッジルームに固定して収納してください。

小物入れの最大積載量は 1.5kg です。

▶ **開く：**ハンドル ① を引き上げ、カバー ② を前方に引き出します。

後席の小物入れ

▶ **開く：** アームレスト ② を引き下げます。

▶ アームレストカバー ① を引き上げます。

収納ネット

収納ネットは、助手席足元およびトランク / ラゲッジルーム左側および右側にあります。

積載のガイドライン（▷370 ページ）および収納スペースに関する安全上の注意事項（▷371 ページ）をお守りください。

スキーバッグ

スキーバッグを開き、スキーを積載する

⚠ **警告**

固定用ストラップと組み合わせたスキーバッグはスキー板以外の物を固定することはできません。

以下のような場合は、たとえば急ブレーキまたは事故のときに車両乗員が衝撃を受けるおそれがあります。

- スキーバッグで他の重い物または鋭利な形状の物を運搬する
- 固定用ストラップでスキーバッグを固定していない

事故やけがの危険性があります。スキーバッグにはスキー板のみを収納してください。動き回らないようにスキーバッグを固定用ストラップで常に固定してください。

▶ リアシートのアームレストを引き出します。

▶ ロック解除ノブ ② を同時に押し、カバー ① を下に倒します。

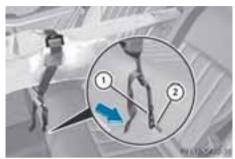
▶ スキーバッグ ① を車内に引き、広げます。

▶ トランクリッドを開きます。

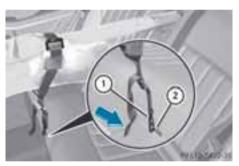
▶ ロック解除スイッチ ① を押し下げます。

カバーが下方に開きます。

▶ トランク内から、スキー板をスキーバッグに通します。

▶ スキーバッグの内部でスキーが確実に固定されるまで、結んでいない端でストラップ ① を引いて締めます。

▶ フック ① を固定リング ② に固定します。

▶ ストラップを引いて締め付けます。

スキーを取り出し、スキーバッグを収納する

▶ 2 本のストラップを緩めます。

▶ フック ① を固定リング ② から外します。

▶ スキーバッグからスキー板を取り出します。

▶ トランク奥にあるカバーを閉じます。

▶ スキーバッグのしわを伸ばしてたたみます。

▶ スキーバッグをバックレストに収納します。

▶ カバーを閉じます。

ℹ スキーバッグを使用しないときは、必ずトランク奥にあるカバーを閉じてください。車内からトランクへのアクセスを防止することができます。

スキーバッグを取り外す

清掃または乾燥させたい場合は、スキーバッグを取り外すことができます。

▶ トランクリッドを開きます。

▶ カバー①のロック解除スイッチを押し下げます。

　カバーが開きます。

▶ ロック解除タブ ② を引きます。

　スキーバッグがフレーム ③ ごと外れます。

後席のスルーローディング

スルーローディングは、トランクから開きます。

▶ リアシートのアームレストを引き下げます。

▶ ロック解除スイッチ ① を押し下げます。

　カバーが下方に開きます。

積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

リアシートのスルーローディング（セダン）

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

リアベンチシート / リアシートとシートバックレストが固定されていない場合、急ブレーキまたは事故のときに、前に倒れる可能性があります。

- これにより、乗員はリアベンチシート / リアシートまたはシートバックレストによってシートベルトに押さえ込まれます。シートベルトは、充分な保護効果を発揮することができず、さらにけがをするおそれがあります。

- トランクの荷物や重い荷物はシートバックレストで固定することはできません。

けがをする危険性が高まります。

走行前に、必ずシートバックレストおよびリアベンチシート / リアシートが固定されていることを確認してください。

積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

左右リアシートのバックレストを別々に倒して、トランク容量を拡大することができます。

シートのバックレストを前方に倒す

ℹ リアシートバックレストの一方または両方を倒すと、接触を防ぐために、対応する側のフロントシートが必要に応じて少し前方に移動します。

▶ 必要であれば、運転席または助手席シートを前方に移動してください。

▶ トランクを開きます。

▶ 左右いずれかのリアシートバックレストのロック解除ハンドル ① を手前に引きます。

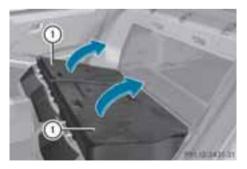
対応する側のリアシートバックレストのロックが解除されます。

後席のシートバックレストのヘッドレストが下がります。

▶ リアシートバックレスト ② を前方に倒します。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。

シートのバックレストを起こす

! リアシートバックレストを起こすときは、シートベルトが挟まれていないことを確認してください。損傷するおそれがあります。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席シートを前方に移動します。

▶ リアシートバックレスト①を起こしてロックします。

リアシートバックレストが確実にロックされていないときは、メーターパネル内のマルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

▶ 必要に応じて、ヘッドレストの高さを調整します（▷137 ページ）。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。

ℹ 分割可倒式シートを使用しないときは、必ずリアシートバックレストをロックしてください。車内からトランクへのアクセスを防止することができます。

リアシートの EASY-PACK スルーローディング（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

リアシートのバックレストがロックされていない場合は、急ブレーキまたは事故のときに前に倒れる可能性があります。

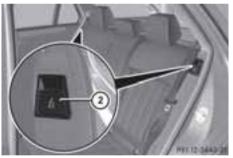
- これにより、リアシートのバックレストにより乗員が挟まれるおそれがあります。シートベルトは、充分な保護効果を発揮することができず、さらにけがをするおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物や重い荷物は、バックレストで固定することはできません。

けがをする危険性が高まります。

走行前に、必ずバックレストがロックされていることを確認してください。

積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。

リアシートのバックレストを前方に倒す

❗ リアシートバックレストを前方に倒すときは、シートクッションの上に荷物が置かれていないことを確認します。荷物やリアシートが損傷するおそれがあります。

ラゲッジルーム容量を拡大するため、左右リアシートのバックレストは別々に倒すことができます。

ラゲッジルームカバーとネットを取り付けた状態で、バックレストを倒すことができます。

ℹ リアシートバックレストの一方または両方を前方に倒すときは、必要であればヘッドレストも下げてください。また、後方のシートとの接触を防ぐために、対応するフロントシートが少し前方に移動します。

▶ 必要であれば、運転席または助手席シートを前方に移動してください。

▶ ラゲッジルーム後部左右 ① または バックレスト左右端部付近 ② にあるロック解除ハンドルを引きます。

ロック解除ハンドルを引いた側のバックレストが前方に倒れます。

▶ 必要であれば、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。

リアシートのバックレストを起こす

! リアシートバックレストを起こすときは、シートベルトが挟まれていないことを確認してください。損傷するおそれがあります。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席シートを前方に移動します。

▶ シートバックレスト ① を起こしてロックします。

リアシートバックレストが確実にロックされていないときは、メーターパネル内のマルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

▶ 必要であればヘッドレストを調整します（▷137 ページ）。

▶ 必要に応じて、運転席または助手席側のシートバックレストを移動します。

荷物の固定

フック（セダン）

分割可倒式リアシート非装備車両には、トランクルーム内に 6 個の荷物固定用フックがあります。

荷物固定用リング

全体的な注意事項

荷物を固定するときは、以下の点に注意してください。

- 積載のガイドライン（▷370 ページ）をお守りください。
- 荷物固定用リングを使用して、荷物を固定してください。
- 荷物固定用リングには均等に力がかかるようにしてください。
- 伸縮性のあるストラップやネットは軽い荷物のずれを防ぐためのものです。これらを使用して荷物を固定しないでください。
- 固定用具が荷物のとがった部分や角に当たらないようにしてください。
- 鋭い角のある荷物は、角の部分にカバーをしてください。

トランク / ラゲッジルーム

固定用リング ①（セダン）

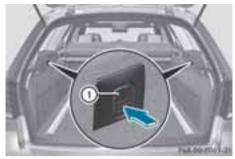
固定用リング ①（ステーションワゴン）

バッグフック

⚠ 警告

バッグフックは重い荷物やラゲッジルームの積載物を固定することはできません。荷物やラゲッジルームの積載物が飛び出す可能性があり、ブレーキ操作や急な進路変更で乗員にぶつかる可能性があります。けがの危険性があります。

バッグフックには軽い荷物のみをかけてください。バッグフックに硬いもの、鋭利なもの、壊れやすい物をかけないでください。

! バッグフックには、約 3kg 以上の荷物をかけないでください。バッグフックは、荷物を固定する目的で使用しないでください。

ステーションワゴン

▶ **引き出す：**バッグフック ① の矢印部分を押します。

バッグフック ① が引き出されます。

▶ **格納する：**バッグフック ① を押してロックします。

EASY-PACK ラゲッジルームカバー（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

ラゲッジルームカバーは、重い荷物やラゲッジルームの積載物、重量物などを固定することはできません。固定されていない積載物が、急な進路変更やブレーキ操作または事故のときなどにぶつかる可能性があります。けがや致命的なけがをする危険性が高まります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。ラゲッジルームカバーを使用していても、重い荷物やラゲッジルームの積載物、重量物などがすべったり、放り出されることを防ぐために、荷物固定用ストラップなどで固定してください。

! 荷物を車内に積むときは、ラゲッジルーム内の荷物をサイドウインドウ下端より高く積み上げないでください。ラゲッジルームカバーの上に重い物を載せないでください。

ラゲッジルームカバーとセーフティネットは、ネット一体式ラゲッジルームカバーとして、ラゲッジルーム左右の固定部に取り付けられています。

テールゲートを開くと、ラゲッジルームカバーが自動で上がり、荷物を容易に収納できます。テールゲートを閉じると、ラゲッジルームカバーが自動で下がります。

ラゲッジルームカバーを使用しているときは、テールゲートが閉じてラゲッジカバーが下がるときに、動きを妨げる障害物がラゲッジルーム内にないようにします。障害物があるときは､ラゲッジルームカバーが再度上がります。

ラゲッジルームカバーの展開 / 収納

▶ **展開する：**グリップハンドル ② でラゲッジルームカバー ① を後方に引き、左右の固定部に掛けます。

▶ **収納する：**ラゲッジルームカバー ① を左右のフックから外し、完全に収納されるまで、グリップハンドル ② を持ちながら収納します。

ネット一体式ラゲッジルームカバーの取り付けと取り外し

ネット一体式ラゲッジルームカバーの取り付け / 取り外しを行なう際は、シートバックレストを前方に倒して左側リアドアから作業を行ないます。

▶ セーフティネットとラゲッジルームカバーが収納されていることを確認してください。

▶ **取り外す：**左右リアシートのバックレストを倒します。

▶ スイッチ ② を押します。

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバーの左側を前方に動かした後、後方に引き、左側の固定部 ① から外します。

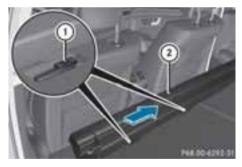
▶ ネット一体式ラゲッジルームカバーを右側の固定部 ③ から外します。

▶ **取り付ける：**ネット一体式ラゲッジルームカバーを押し上げて右側の固定部 ③ に取り付けます。

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバーを左側の固定部 ① に押し込んで、ロックさせます。

▶ 赤色のロックステータスインジケーター ④ が見えないことを確認してください。インジケーターが見える場合は、ネット一体式ラゲッジルームカバーが確実にロックされていません。

リアシートバックレストへのネット一体式ラゲッジルームカバーの取り付け

! 前方に倒したリアシートのバックレストにネット一体式ラゲッジルームカバーを取り付けた場合は、バックレストを起こさないでください。

▶ 左右リアシートのバックレストを前方に倒します（▷377 ページ）。

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバー ② を 2 箇所のガイド ① に差し込み、停止するまで矢印の方向に押し上げます。

セーフティネット（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

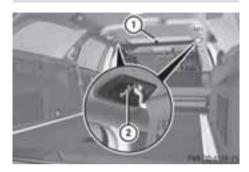
セーフティネットは、重い荷物やラゲッジルームの積載物、重量物などを固定することはできません。固定されていない積載物が、急な進路変更やブレーキ操作または事故のときなどにぶつかる可能性があります。けがや致命的なけがをする危険性が高まります。

荷物は放り出されないように、必ず収納してください。セーフティネットを使用していても、荷物や重い荷物がすべったり、放り出されることを防ぐために、荷物固定用ストラップなどで固定してください。

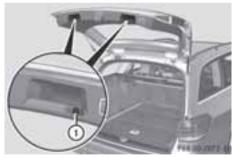
シートのバックレストの高さを超える小物を車両に積載する場合は、セーフティネットを使用することが特に重要になります。安全上の理由により、荷物を運搬するときは常にセーフティネットを使用してください。

ラゲッジルームを拡大しないときのセーフティネットの取り付け

▶ タブ ① でセーフティネットを引き上げ、固定部 ② に掛けます。

ラゲッジルームを拡大したときのセーフティネットの取り付け

▶ セーフティネットがリアシートバックレスト（▷381 ページ）に取り付けられていることを確認します。

▶ タブ ① でセーフティネットを引き上げ、固定部 ② に掛けます。

テールゲートのコートフック

① コートフック

EASY-PACK コンビニエンスボックス（セダン）

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

積載面が上に動くときに、EASY-PACK コンビニエンスボックスのフレームに手が挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

積載面が上に動くときは、積載面の作動範囲内に手を入れていないことを確認してください。誰かが挟まれた場合は、積載面の中央を下方に慎重に押してください。

! EASY-PACK コンビニエンスボックスを引き出すときは、ボックスのフレームに物が触れていないことを確認してください。また、上からフレームが押されないように注意してください。ボックスが損傷するおそれがあります。

! 鋭利な形状の物や先の尖った物、または壊れやすい物は、EASY-PACK コンビニエンスボックスを損傷し、そして投げ出されることがあります。けがの危険性があります。

EASY-PACK コンビニエンスボックスでは、鋭利な形状の物や先の尖った物、または壊れやすい物は運搬しないでください。これらの、または類似の物は常に、EASY-PACK コンビニエンスボックスの外側のトランクに収納し、固定してください。

! EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大積載量を超えた場合は、物が EASY-PACK コンビニエンスボックスから投げ出され、車内の乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な進路変更をすると、けがのおそれがあります。

常に EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大積載量に従ってください。重い物は常に、EASY-PACK コンビニエンスボックスの外側のトランクに収納し、固定してください。

EASY-PACK コンビニエンスボックスの最大積載量は 10kg です。約 5kg 以上の荷物では、トランクフロアマットに接するまでボックスの底面を下方に動かします。そのようにして、ボックスの過荷重を防ぎます。

様々な位置への高さ調整

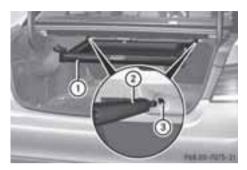
▶ ハンドル ① で、矢印の方向に停止するまでボックスを引き出します。

▶ **積載面を下げる：**積載面 ② が好みの位置になり、ボックスが好みの大きさになるまで、積載面 ② の中央部を矢印の方向に手で押し下げます。

▶ **積載面を上げる：**スイッチ ③ を押します。

ボックスの積載面 ② が自動的に上がります。

▶ **ボックスを収納する：**停止するまでハンドル ① でボックスを押します。

取り外しと取り付け

▶ **取り付ける：**ボックス ① のリテーナー ② を取り付け穴 ③ に差し込みます。

▶ ボックス ① を持ち上げて、フック ⑤ を固定部 ④ にいっぱいまで差し込みます。

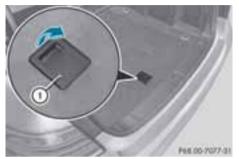
▶ 左側のノブ ⑥ を時計回りに、右側のノブ ⑥ を反時計回りにそれぞれ 90°まわします。

▶ **取り外す：**左側の回転ノブ ⑥ を反時計回りに、右側の回転ノブ ⑥ を時計回りに 90° まわします。

▶ ボックス ① を下げ、手前に引いて固定部 ④ から外します。

ⓘ 取り外した EASY-PACK コンビニエンスボックスは、棚などの平らな場所に保管してください。

トランクフロアボード下の収納スペース（セダン）

❗ トランクリッドを閉じる前にハンドルを外し、ハンドルがはみ出さないように確実に戻します。ハンドルが損傷するおそれがあります。

トランクフロアボード下の収納スペースには、タイヤフィットキット、車載工具などが収納されています。

▶ **開く：**ハンドル ① を上に引きます。

▶ ハンドル ① をウェザーストリップ ② にかけます。

EASY-PACK フロアボード（ステーションワゴン）

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

EASY-PACK フロアボードが開いているときに運転する場合は、障害物が投げ出され、車両乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な進路変更をすると、けがの危険性があります。

走行前に EASY-PACK フロアボードを常に閉じてください。

! EASY-PACK フロアボードが完全に開いているときは、無理な力を加えないでください。EASY-PACK フロアボードのヒンジが損傷するおそれがあります。

! B&O サウンドシステム装備車両：EASY-PACK フロアボードは取り外さないでください。アンプモジュールが EASY-PACK フロアボードの下側にねじ止めされているため、EASY-PACK フロアボードを取り外すと、ケーブル類またはアンプが損傷する原因となります。

フロアボードの開閉

インサートの下には、タイヤフィットキットまたは応急用スペアタイヤおよび車載工具キットなどがあります。

▶ **開く：**テールゲートを開きます。

▶ 凹凸部を押さえながら、ハンドル ① を下方 ② に押します。

ハンドル ① が浮き上がります。

▶ ハンドル ① で EASY-PACK フロアボード ③ を矢印の方向に引き、側面 ④ の好みの位置に固定します。

▶ **閉じる：**EASY-PACK フロアボードを固定部から外して後方に引きます。

▶ ロックされるまで、EASY-PACK フロアボードを下方に押します。

フロアボードの取り付けと取り外し

▶ ネット一体式ラゲッジルームカバー（▷381 ページ）を取り外します。

▶ **取り外す：**EASY-PACK フロアボード ① を上図の位置に持ち上げます。

▶ **取り付ける：**EASY-PACK フロアボード ① を上図の位置にして、音がして固定されるまで押し込みます。

EASY-PACK テールゲートシルプロテクター（ステーションワゴン）

! テールゲートを閉じる前に、EASY-PACK テールゲートシルプロテクターを EASY-PACK フロアボードの下側に固定してください。

EASY-PACK テールゲートシルプロテクターが損傷する原因になります。

EASY-PACK テールゲートシルプロテクターは、EASY-PACK フロアボード下側にマグネットで取り付けられています。

荷物を積むときに衣服が汚れたり、塗装面に傷がつくのを防止します。

▶ EASY-PACK フロアボードを開きます。（▷385 ページ）

▶ タブ ② を使用して EASY-PACK テールゲートシルプロテクター ① をマグネットから外し、ローディングシルの上に置きます。

▶ EASY-PACK フロアボードを閉じます。

ルーフキャリア

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

ルーフに荷物を積むと、車両の重心位置が上がり、走行特性が変化します。ルーフの最大積載量を越える場合、走行特性や、ステアリング操作、ブレーキ操作が大幅に損なわれるおそれがあります。事故の危険性があります。

運転スタイルを状況に合わせ、ルーフの最大積載量を決して超えないでください。

! ルーフラックは、メルセデス・ベンツ車用に認定された推奨品の使用をお勧めします。推奨品以外の製品を取り付けると車両を損傷するおそれがあります。

ルーフラックに荷物を積むときは、走行中に車両を損傷しないように確実に固定してください。

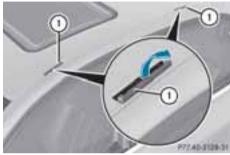
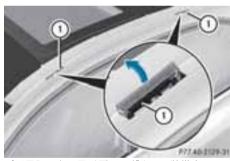
ルーフラックを取り付けるときは、以下の点を確認してください。

- スライディングルーフ / パノラミックスライディングルーフをチルトアップしたときに接触しないこと
- トランクリッド / テールゲートを開いたときに接触しないこと
- ルーフのアンテナがルーフラックに接触しないこと

! カバーやルーフの損傷を防ぐため、カバーを開くために金属製の物やかたい物を使用しないでください。

最大積載量は 100kg です。

ルーフラックが正しく固定されていない、またはルーフの積載量が適切でない場合は、車両から脱落する場合があります。必ず、ルーフラックメーカーの装着説明書の指示に従ってください。

ルーフキャリアを取り付ける（セダン）

スチールルーフまたはスライディングルーフ装備車両（イラスト）

パノラミックスライディングルーフ装備車

▶ カバー ① を矢印の方向に注意して開きます。

▶ カバー ① を上方に起こします。

▶ ルーフラックはカバー ① の下のマウント部に装着します。

▶ ルーフラックの装着方法については、製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

ルーフキャリアを取り付ける（ステーションワゴン）

▶ ルーフラックをルーフレールに固定します。

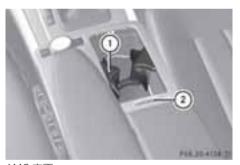
▶ ルーフラックの装着方法については、製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

機能

カップホルダー

重要な安全上の注意事項

! カップホルダーのサイズに合ったフタ付きの容器をお使いください。飲み物がこぼれるおそれがあります。

フロントセンターコンソールのカップホルダー

AMG 車両
① カップホルダー
② カバー

▶ **開く：**カバー ② を後方にスライドします。

DIRECT SELECT レバー装備車両

▶ **開く：**ロックされるまでカバー ③ を前方にスライドします。

▶ **取り外す（DIRECT SELECT レバー装備車両）：**キャッチ ② を前方にスライドし、カップホルダー ① を引き出します。

▶ **差し込む（DIRECT SELECT レバー装備車両）：**カップホルダー ① を差し込み、キャッチ ② を後方にスライドします。

▶ **閉じる：**カバー ③ を前方に軽く押します。

カバー ③ が後方に動きます。

カップホルダーを取り外して清掃することができます。きれいなぬるま湯でのみ、清掃してください。

フロントセンターコンソールのカップホルダーの取り付け / 取り外し（AMG車両）

▶ **取り外す：**適切な工具を使用して、ラグ ③ が見えるようになるまで助手席側の溝 ② を慎重にこじ開けます。

▶ カップホルダーを停止するまで上方に少し引きます。

▶ 適切な工具を使用して、運転席側の溝 ① を慎重にこじ開けます。同時に、カップホルダーを停止するまで上方に軽く引きます。

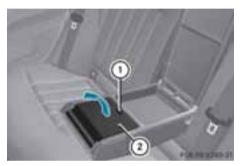
▶ 運転席側 ① および助手席側 ② の溝を交互にこじ開けます。そうするときは、取り出されるまでカップホルダーを持ち上げます。

▶ **取り付ける：**カップホルダーの左右の溝 ② を側面の突起 ③ へ差し込みます。カップホルダー ① の上部の角が前方を向くようにカップホルダーを差し込みます。

▶ 助手席側が固定されるまでカップホルダーを下方に押します。

リアシートのアームレストのカップホルダー

❗ リアアームレストを倒しているときに、アームレストに腰をかける、体重を支えるなど無理な力を加えないでください。アームレストが損傷する原因になります。

❗ リアシートのアームレストを格納する前にカップホルダーを閉じてください。カップホルダーが損傷するおそれがあります。

▶ リアシートのアームレストを引き出します。

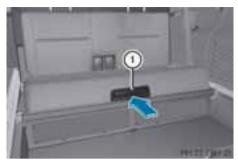
▶ **開く：**リアシートアームレストのカバーを上げます。

▶ ロック解除ボタン ① を押します。

カップホルダー ② が前方に開きます。

▶ 必要であれば、リアシートアームレストのカバーを再度倒して戻します。

▶ **閉じる：**リアシートアームレストのカバーを上げます。ロックされるまでカップホルダー ② を戻します。

フロア格納式サードシートのカップホルダー

▶ **開く：**カップホルダー ① の前側を押します。

カップホルダー ① のロックが解除されます。

▶ カップホルダー ① を止まるまで引き出します。

ボトルホルダー

" 収納スペース "（▷371 ページ）の " 重要な安全上の注意事項 " に従ってください。

⚠ 警告

車内の荷物が適切に積載されていないと、荷物がずれたり投げ出されたりして乗員にぶつかるおそれがあります。特に急ブレーキや急な進路変更の際に、けがのおそれがあります。

- このような状況でも荷物が投げ出されないように積載してください。
- 収納物は必ず小物入れ、収納ネットまたはラゲッジネットからはみ出さないようにしてください。

- 走行中は、ロック可能な小物入れを閉じてください。
- 以下のものは必ずトランク / ラゲッジルームに積載してください。
  - 重い物
  - 尖っている物
  - 鋭利な物
  - 壊れやすい物
  - 大きな物

! 収納されているボトルが車両のフロア上に接していることを確認してください。ボトルホルダーを損傷するおそれがあります。

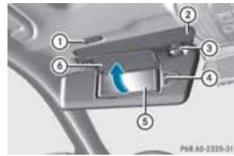
▶ ストッパー ① を矢印の方向にスライドして、ボトルを固定できるスペースを作ります。

▶ ボトルホルダーにボトルを収納します。

ボトルホルダーは 0.7 ℓ ～ 1.5 ℓ の容量のボトルに適しています。

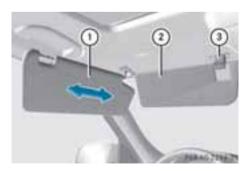
ボトルホルダーは、ボトルの転倒を防止するためのもので、ボトルを完全に固定することはできません。

サンバイザー

概要

① ミラーライト
② 補助サンバイザー
③ フック
④ クリップ
⑤ バニティミラー
⑥ バニティミラーカバー

サンバイザーのバニティミラー

ミラーライト ① は、サンバイザーがフック ③ で固定されている状態で、ミラーカバー ⑥ が開いているときにのみ点灯します。

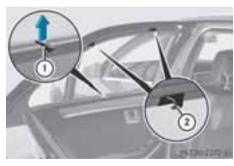
横方向からの眩しさを防ぐ

▶ サンバイザー ① を下げます。

▶ サンバイザー ① をフック ③ から外します。

- サンバイザー ① を横にまわします。
- **補助サンバイザー装備車両：**サンバイザー ① を希望するように水平にスライドします。
- 補助サンバイザー ② をフロントウインドウに下げます。

リアサイドウインドウのブラインド

! ブラインドを格納するときは、必ず手で保持しながらゆっくり格納してください。タブから手を放して急激に格納すると、ブラインドや格納機構が損傷するおそれがあります。

! リアサイドウインドウを開いた状態で走行しているときは、ブラインドを格納してください。高速道路などで走行速度が上がると、走行風によりブラインドがフックから外れて急激に格納されるおそれがあり危険です。また、ブラインドや格納機構が損傷する原因になります。そのため、高速で走行するときは、事前にリアサイドウインドウを閉じるか、ブラインドを格納してください。

- **展開する：**タブ ① を持ってブラインドを引き出し、ウインドウ上端にあるフック ② にかけます。

リアウインドウの電動ブラインド（セダン）

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

電動ブラインドが展開または収納しているときに、身体の一部が電動ブラインドの動いている部分に挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

展開または収納動作の間は、身体を電動ブラインドの動いている部分に近づけないようにしてください。挟まれた場合は、スイッチを軽く押してください。開閉動作が少し停止した後に、反対方向に展開または格納します。

! 電動ブラインドがスムーズに動くことを確認してください。スムーズに動かない場合は、ブラインドや周辺の物が損傷するおそれがあります。

電動ブラインドの展開 / 格納

- イグニッション位置を **2** にします（▷ 190 ページ）。
- **展開または格納する：**スイッチ ① を軽く押します。

  電動ブラインドが自動で展開または格納します。

▶ **停止する：**スイッチ ① を再度軽く押します。

電動ブラインドが少し停止し、反対の方向に作動します。

灰皿

前席の灰皿

❗ 灰皿の下の小物入れは耐熱性ではありません。火のついたタバコを灰皿に置くときは、灰皿が確実に固定されていることを確認してください。小物入れが損傷するおそれがあります。

▶ **開く：**固定されるまでカバー ① を前方にスライドします。

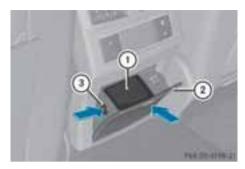
▶ **灰皿を取り外す：**灰皿 ③ 両脇の凹凸部をつまみ、矢印の方向 ② に引き上げます。

▶ **インサートを取り付ける：**固定されるまでインサート ③ をホルダーに押し込みます。

▶ **閉じる：**カバー ① を前方に軽く押します。

カバーが閉じます。

ℹ 灰皿を取り外して、そのスペースを小物入れとして使用できます。

後席灰皿

▶ **開く：**カバー ② の上部を軽く押します。

灰皿が開きます。

▶ **インサートを取り外す：**ロック解除ボタン ③ を押し、インサートを持ち上げて取り外します。

▶ **インサートを取り付ける：**上方からインサート ① をホルダーに取り付け、ロックされるまでホルダーに押し込みます。

ライター

⚠ **警告**

ライターのヒーター部や熱くなっているホルダー部に触れると、火傷をするおそれがあります。

以下のとき、可燃性の素材が燃える可能性があります。

- 熱くなっているライターを落としたとき
- 子供などが熱くなっているライターを荷物の上に置いたとき

火災およびけがの危険性があります。

ライターは必ずノブの部分を持ってください。子供がライターを触らないように常に気をつけてください。付き添いのない状態で子供を車内に残さないでください。

常に交通状況に注意してください。道路および交通状況が許されているときにのみ、ライターを使用してください。

▶ イグニッション位置を **2** にします（▷ 190 ページ）。

▶ **開く：**固定されるまでカバー ① を前方にスライドします。

▶ ライター ② を押し込みます。

ヒーター部が熱せられると、ライター ② は自動的に元の位置に戻ります。

▶ **閉じる：**カバー ① を前方に軽く押します。

カバーが閉じます。

12V 電源ソケット

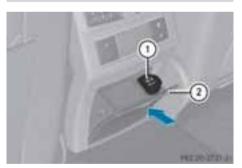
全体的な注意事項

▶ イグニッション位置を **1** にします（▷ 190 ページ）。

ソケットは最大電力 180W（15A）のアクセサリーに使用できます。アクセサリーには、ライトまたは携帯電話用充電器のようなアイテムが含まれます。

エンジンが停止しているときにソケットを長時間使用した場合は、バッテリーが放電することがあります。

ℹ 緊急カットオフにより、バッテリーの電圧が過度に降下しないようにします。バッテリーの電圧が過度に低い場合は、ソケットの電源が自動的に停止します。これにより、エンジンを始動するために十分な電力が確保されます。

後席センターコンソール内の電源ソケット

▶ カバー ② の上部を少し押します。

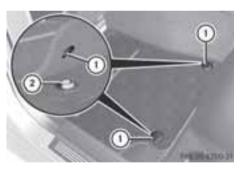
カバーが開きます。

▶ ソケット ① のカバーを上げます。

フロアマット

⚠ **警告**

運転席足元に物がある場合は、ペダルの自由な動きを制限したり、または踏んだペダルを妨げることがあります。車両の操作および走行安全性に影響を与えます。事故の危険性があります。

運転席足元に入り込まないように、すべての物を確実に収納してください。ペダル周囲に常に十分な空間があり、操作の妨げにならないように、フロアマットはペダルから離して所定の位置に確実に装着してください。確実に装着されていないフロアマットを使用したり、フロアマットを重ねて置かないでください。

▶ シートを後方に動かします。

▶ **取り付ける：**フロアマットを足元に敷きます。

▶ 凹部 ① を凸部 ② に押し込みます。

▶ **取り外す：**凸部 ② からフロアマットを引いて外します。

▶ フロアマットを取り外します。

後付けした防眩フィルム

ウインドウの内側に遮光フィルムなどを貼り付けると、携帯電話やラジオなどの電波受信に影響を与えるおそれがあります。導電性フィルムや金属コーティングが施されたフィルムを貼り付けた場合は、特に電波受信への影響が懸念されます。遮光フィルムについて、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

役に立つ情報……………………………… 396
エンジンルーム………………………… 396
点検整備………………………………… 405
手入れ…………………………………… 407

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

エンジンルーム

ボンネット

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

ボンネットのロックを解除すると、走行中にボンネットが開いて視界の妨げとなり危険です。事故の危険性があります。

走行中にボンネットのロックを解除しないでください。

⚠ **警告**

開閉を行なっているときは、ボンネットが急に下がる場合があります。ボンネットの動作範囲では、けがの危険性があります。

ボンネットの動作範囲に誰もいないことを確認して、ボンネットを開閉してください。

⚠ **警告**

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームから炎が発生した場合は、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。火傷の危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにして、消防局に連絡してください。

⚠ **警告**

エンジンルームには作動する構成部品があります。ラジエターファンなどの特定の構成部品は、イグニッションをオフにしても、動き続けるか、自動的に作動を開始します。けがの危険性があります。

エンジンルームで作業を行わなければならない場合は、以下に従ってください：

- イグニッションをオフにしてください
- ファンの回転範囲などの可動範囲は危険なので決して近づかないでください
- 動いている部品に衣類が触れないようにしてください

⚠ **警告**

イグニッションシステムおよび燃料噴射システムは高電圧下で作動しています。高電圧を発生している構成部品に接触すると、感電するおそれがあります。けがの危険性があります。

イグニッションをオンにした場合は、イグニッションシステムまたは燃料噴射システムの構成部品に決して触れないでください。

⚠ **警告**

HYBRID 車両：必ず "HYBRID" 補足版をお読みください。危険を認識できないことがあります。

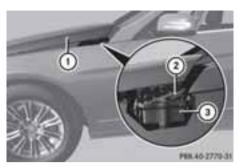
アクティブボンネット（歩行者保護）

作動原理

❗ 一度作動したアクティブボンネットは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理してください。アクティブボンネット機能は再度作動可能になり、歩行者を補助的に保護できるようになります。

❗ 持ち上がったボンネット後部を手で押し下げないでください。ボンネットが損傷するおそれがあります。

ℹ アクティブボンネットは AMG 車両以外のすべてのモデルで作動します。

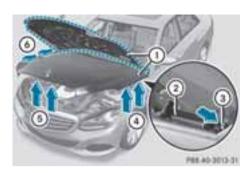
アクティブボンネットは、特定の状況下で歩行者のけがの危険性を軽減するシステムです。アクティブボンネットが上がることにより、エンジンなどのかたい構成部品との間隔が広がります。

アクティブボンネット ① が作動した場合は、後部が約 50mm 上がります。そしてカバー ② が収納部 ③ にかぶさらなくなります。アクティブボンネットは火薬によって作動します。

作動したアクティブボンネットはお客様自身でリセットすることができます。

アクティブボンネットが作動した後でも走行を続けることができますが、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でリセット作業を行なってください。ボンネットロック解除レバーを引いた場合は、走行前にボンネットのリセット作業を行なわなければなりません。

リセット

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

▶ ボンネットを開きます（▷398 ページ）。

▶ 両手でボンネットの中央 ⑤ を持ち上げます。ボンネットリフターの両方のカバー ② が動かなくなったときに、ボンネットは十分に開いています。カバーを押し戻したときに、手応えを感じます。

▶ ボンネット ① から手を放します。

▶ ボンネットリフターのカバー ② が収納部 ③（矢印部）にかぶさっていることを確認します。

▶ **カバー ② が収納部にかぶさっているとき：**ボンネット ①（▷398 ページ）を閉じます。

または

▶ **ボンネットリフターのカバーが ② が収納部にかぶさっていないとき：**最初に左側 ④ の、そして右側 ⑥ のボンネット ① を持ち上げます。対応するボンネットリフターのカバー ② が動かなくなるまで、ボンネット ① を持ち上げます。

ボンネットリフターのカバー ② が収納部 ③（矢印部）にかぶさります。

▶ ボンネット ① を閉じます（▷398 ページ）。

ボンネット ① を閉じることができない場合、またはマルチファンクションディスプレイに [車両マーク] マークが表示される場合は、手順を繰り返します。

ボンネットが確実に閉じないときや、マルチファンクションディスプレイに [車両マーク] マークが表示されているときは、走行しないでください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

アクティブボンネット ① が作動した場合は、後部が約 50mm 上がります。

そしてカバー ② は収納部 ③ にかぶさらなくなります。アクティブボンネットは火薬によって作動します。

ボンネットを開く

⚠ 警告

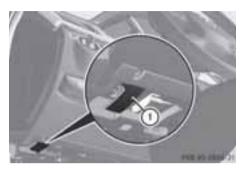
エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動状態のままにしていると、作動したワイパーのリンケージでけがをするおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ワイパーアームを起こしたままでボンネットを開かないでください。ボンネットとワイパーが接触して、損傷するおそれがあります。

▶ フロントウインドウワイパーが停止していることを確認します。

▶ ボンネットロック解除レバー ① を引きます。

ボンネットのロックが解除されます。

▶ 隙間に手を入れ、ボンネット固定ハンドル ② を引き上げながらボンネットを持ち上げます。

ボンネットを約 40cm 持ち上げると、ガス封入式の支柱によりボンネットは自動的に開き、開いたまま保持されます。

ボンネットを閉じる

▶ ボンネットを押し下げます。

▶ ボンネットが確実にロックされていることを確認します。

ボンネットがわずかに持ち上がる場合は、確実にロックされていません。再度開き、少し力を入れて閉じます。

ラジエター

ディーゼルエンジン搭載車両：ラジエターにカバーをしないでください。保温マットやインセクトプロテクションカバー、または類似の物を使用しないでください。車両診断システムに不正確な数値が表示されるおそれがあります。一部の数値は法的に必要な数値であり、常に正確である必要があります。

エンジンオイル

全体的な注意事項

! エンジンオイルに添加剤などを使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

! エンジンオイルは使用している間に汚れたり劣化するだけでなく、消費され減少します。定期的にエンジンオイル量を点検し、必要に応じて補給または交換してください。

運転スタイルによって、車両は 1,000km 毎に 0.8 ℓ のオイルを消費します。新車のときや頻繁にエンジン回転数を上げて走行する場合は、オイル消費量はこれより増加します。

エンジンによって、エンジンオイルレベルゲージの取り付け位置が異なる場合があります。

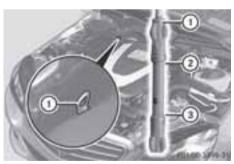
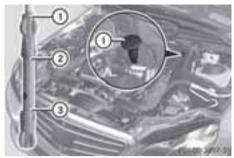
エンジンオイルレベルを点検するときは、以下の点に注意してください。

- 車を水平な場所に停車している。
- エンジンが温まっている場合は、エンジンを停止してから約 5 分以上経過している。
- エンジンを短時間のみ始動した場合など、エンジンが通常の作動温度でない場合は、計測を実行するまでに約 30 分以上経過している。

オイルレベルゲージを使用してオイルレベルを点検する

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

例：ガソリンエンジン装備車両

例：ディーゼルエンジン装備車両

▶ オイルレベルゲージ ① をオイルレベルゲージチューブから引き抜きます。

▶ オイルレベルゲージ ① を拭きます。

▶ オイルレベルゲージ ① をオイルレベルゲージチューブにいっぱいまでゆっくり差し込んで、再び引き抜きます。

レベルが MIN マーク ③ と MAX マーク ② の間にある場合は、オイルレベルは適正です。

▶ オイルレベルが MIN マーク ③、またはそれ以下まで下がっている場合は、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。

エンジンオイルの補給

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ **警告**

エンジンオイルがエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

エンジンオイルが補給口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを冷やし、エンジンを始動する前に、エンジンオイルで汚れた構成部品を清掃してください。

環境保護に関する注意事項

エンジンオイルを補給するときは、こぼさないように注意してください。エンジンオイルが地面や排水溝に流れると、環境に悪影響を与えます。

! 承認されているエンジンオイルとオイルフィルターのみを使用してください。メルセデス･ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

以下により、エンジンまたは排気システムを損傷するおそれがあります。

- 承認されていないエンジンオイルやオイルフィルターの使用
- 交換期間を過ぎた後のエンジンオイルやオイルフィルターの交換
- エンジンオイル添加剤の使用

! オイルを過剰に補給しないでください。エンジンオイルを過剰に補給すると、エンジンまたは触媒が損傷する可能性があります。余分なエンジンオイルは抜き取ってください。

例：エンジンオイルフィラーキャップ

▶ キャップ ① を反時計回りにまわして取り外します。

▶ エンジンオイルを補給します。オイルレベルがオイルゲージの MIN マーク、またはそれ以下の場合は、エンジンオイルを 1.0 ℓ 補充してください。

▶ キャップ ① を補給口に合わせ、時計回りにまわして取り付けます。キャップが元の場所に固定されていることを確認します。

▶ オイルレベルゲージを使用してオイルレベルを再度点検します（▷400 ページ）。

エンジンオイルについての詳しい情報は、（▷488 ページ）をご覧ください。

定期的なオイルの交換

エンジンオイルおよびエンジンオイルフィルターは定期的に交換することをお勧めします。メンテナンスインジケーター表示により、標準的な交換時期が示されます。ただし、交換時期は使用状況に左右されます。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

冷却水

冷却水レベルの点検

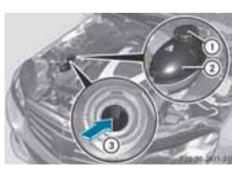
⚠ 警告

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ 警告

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。火傷の危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜いてください。

▶ 車両を水平な場所に停めます。

車両が水平な場所にあり、エンジンが冷えているときにのみ冷却水レベルを点検してください。

▶ イグニッション位置を **2** にします。

▶ メーターパネルのエンジン冷却水温度表示を確認します。冷却水温度は70℃以下でなければなりません。

▶ イグニッション位置を **0** にします。

▶ キャップ ① を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

▶ キャップ ① をさらに反時計回りにまわして取り外します。

水温が低いときに、冷却水レベルが補給口のマーカーバー ③ の高さにあれば、リザーブタンク ② 内に十分な冷却水があります。

水温が温かいときに、冷却水レベルが補給口のマーカーバー ③ から約1.5cm 以上にある場合は、リザーブタンク ② 内に十分な冷却水があります。

▶ キャップ ① を合わせ、時計回りにいっぱいまでまわします。

冷却水についての詳しい情報は、（▷489ページ）をご覧ください。

冷却水の補給

⚠ 警告

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

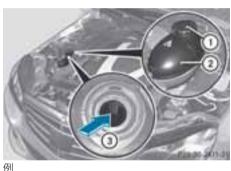
できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ **警告**

不凍液がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

不凍液を補給する前にエンジンを冷やしてください。不凍液の濃縮液が補給口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、不凍液で汚れた構成部品を清掃してください。

! 冷却水が塗装面に付着しないように注意してください。塗装面が損傷するおそれがあります。

例

冷却水リザーバータンク ② 内のレベルが低すぎる場合は、水平な場所に停止し、エンジンが冷えているときに冷却水を補給してください。

▶ キャップ ① を反時計回りにゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

▶ キャップ ① をさらに反時計回りにまわして取り外します。

▶ 冷却水をマーカーバー ③ まで補給してください。使用状況 (▷490 ページ) に合わせた水道水と不凍液 / 腐食防止剤の濃度で使用します。

▶ キャップ ① を合わせ、時計回りにいっぱいまでまわします。

▶ エンジンを始動し、約 5 分後に再度停止して冷まします。

▶ 冷却水レベル（▷402 ページ）を点検し、必要であれば補給します。

定期的な冷却水の交換

冷却水の品質は時間とともに劣化します。整備手帳の指示に従い、定期的に冷却水を交換してください。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

エンジンのオーバーヒート

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ **警告**

エンジンがオーバーヒートしたときにボンネットを開いたり、エンジンルームから炎が発生した場合は、高温のガスやその他のサービスプロダクトに触れるおそれがあります。火傷の危険性があります。

ボンネットを開く前に、オーバーヒートしたエンジンを冷やしてください。エンジンルームで火災が発生したときは、ボンネットを閉じたままにして、消防局に連絡してください。

⚠ **警告**

エンジンが温まっている場合は特に、エンジン冷却システムに圧力がかかっています。キャップを開くとき、高温の冷却水が吹き出す可能性があります。火傷の危険性があります。

キャップを開く前に、エンジンを冷ましてください。開くときは、手袋と保護メガネを着用してください。キャップをゆっくり半回転まわして、余分な圧力を抜きます。

オーバーヒートしたときは：

- 冷却水温度表示が 120℃以上になります。
- マルチファンクションディスプレイに冷却水が減少停車してエンジンを停止というメッセージが表示されます。
- エンジンがかかっているときに、メーターパネルに赤色の冷却水警告灯 [冷却水警告灯] が表示されます。
- エンジンルームから蒸気が発生します。

他のサービスプロダクト

ウインドウウォッシャーシステムの補給

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

⚠ **警告**

ウインドウウォッシャー液の濃縮液は高い可燃性です。熱いエンジン部品または排気システムに触れると、発火することがあります。火災および火傷の危険性があります。

ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。

▶ **開く**：タブを持ってキャップ ① を引き上げます。

▶ 混合しておいたウォッシャー液を補給します。

▶ **閉じる**：キャップ ① を補給口に押し付けて、固定します。

ウォッシャー液量が 1 ℓ 以下に下がっている場合は、ウォッシャー液を補充するように促すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます（▷ 333 ページ）。

ウインドウウォッシャー液 / 凍結防止液についての詳細は（▷490 ページ）をご覧ください。

ブレーキ液レベル

⚠ **警告**

エンジン、ラジエター、排気システムなどのエンジンルームの特定の構成部品は、非常に高温になります。エンジンルームで作業を行なう場合、火傷の危険性があります。

できるだけエンジンを冷やし、以下に記載する構成部品のみに触れるようにしてください。

! ブレーキ液リザーバータンクのブレーキ液レベルが MIN マークまたはそれ以下まで低下しているときは、ただちにブレーキシステムの漏れを点検してください。ブレーキパッド / ライニングの厚みも点検してください。ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

絶対にブレーキ液を補給しないでください。このことによって問題が解消されるわけではありません。

例

ブレーキ液レベルの点検は、必ず水平な場所に停車した状態で行なってください。レベルがブレーキ液リザーバータンクの MIN マーク ② と MAX マーク ① の間にあれば、ブレーキ液レベルは適正です。

点検整備

定期点検には以下のものがあります。

- 日常点検

  点検時に異常を発見した場合は、できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の点検を受けてください。メルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。日常点検に関する情報は、別冊の整備手帳をご覧ください。

- 1 年ごとの法定点検
- 2 年ごとの法定点検

  法定点検の次回期日を記したステッカーは、フロントウインドウに貼付してあります。

メンテナンスインジケーター

メンテナンスメッセージ

ℹ メンテナンスインジケーターは、法定点検の期日は考慮しません。

メンテナンスインジケーターは、次回の点検期日を表示します。点検の種類と点検時期に関する情報は、別冊の整備手帳をご覧ください。

さらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

ℹ メンテナンスインジケーターは、エンジンオイル量に関するいかなる情報も表示しません。エンジンオイル量に関する注意事項に従ってください (▷399 ページ)。

マルチファンクションディスプレイに以下のようなメンテナンスメッセージが数秒間表示されることがあります。

- 次のﾒﾝﾃﾅﾝｽ A あと ... 日です
- メンテナンス A 期限が切れます
- メンテナンス A ... 日超過しました

車両の使用条件により、点検整備時期より前に残りの時間や距離が表示されます。

数字、または他の文字を伴うことがある文字 A または B は、メンテナンスの種類を表しています。A は小規模なメンテナンス、B は大規模なメンテナンスを示しています。

詳細な情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

メンテナンスインジケーターは、バッテリーの接続を外している間の期日を考慮しません。

時期に左右されるメンテナンススケジュールは、以下のように管理してください。

▶ バッテリーの接続を外す前に、マルチファンクションディスプレイに表示されているメンテナンス予定期日をメモしてください。

または

▶ バッテリーを再度接続した後に、ディスプレイに表示されているメンテナンス予定期日からバッテリーの接続を外していた期間を引いてください。

メンテナンスメッセージを非表示にする

▶ ステアリングの OK または ⮌ スイッチを押します。

メンテナンスメッセージを表示する

▶ イグニッションをオンにします。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、メンテナンスメニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、サブメニューのメンテナンスを選択し、OK スイッチを押して確定します。

マルチファンクションディスプレイにメンテナンス予定期日が表示されます。

メンテナンスに関する情報

メンテナンスインジケーターのリセット

! メンテナンスインジケーターは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修整することができます。

整備手帳に記載されているように点検作業を実施してください。さもなければ、部品の摩耗が進んだり、損傷するおそれがあります。

点検作業の実施後、メルセデス・ベンツ指定サービス工場はメンテナンスインジケーターのリセットを行ないます。メンテナンス作業などに関する詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

特別な点検が必要なとき

所定のメンテナンス間隔は、通常の状態で車両を使用した条件を元にしています。過酷な使用条件や、負荷のかかる以下のような状態で車両が使用されたときは、より頻繁にメンテナンス作業を行なう必要があります。

- 通常の市街地走行であっても頻繁に停止を繰り返すとき
- 主に短い距離を走行するとき
- 頻繁に山間地や路面の悪いところを走行するとき
- エンジンを長い時間アイドリングさせることが多いとき

上記または同様の使用条件下では、エアフィルター、エンジンオイルおよびオイルフィルターなどを短い周期で交換してください。車両に高い負荷がかかっているときには、タイヤはより短い周期で交換する必要があります。詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

AdBlue® サービスインジケーター

ⓘ BlueTEC 車両のみ：排気ガス後処理装置を正しく機能させるためには還元剤 AdBlue® とともに作動させなければなりません。整備の一部として AdBlue® を補充します。通常の作動状況では、最大量まで補充した AdBlue® は、次の点検整備予定期日までもちます。

車両の使用状況や使用場所によっては、AdBlue® の消費量が増え、次の点検整備時期が早まることがあります。

以下のような特定のディスプレイメッセージにより、AdBlue® を補充しなければならないことが示されることがあります。

工場で AdBlue を補充してください取扱説明書を参照

...km 以内に AdBlue を補充してください

警告音も鳴ります。

AdBlue® がなくなると、エンジンを始動することができなくなります（▷322 ページ）。

! AdBlue® タンクへの補充はメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ行なってください。車両が損傷したり、汚損するおそれがあります。

AdBlue® に関する注意は（▷487 ページ）をご覧ください。

BlueTEC 排気ガス後処理装置および AdBlue® に関するさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

手入れ

全体的な注意事項

環境保護に関する注意事項

空の容器や使用済みのクリーニングクロスは、環境に配慮した方法で廃棄してください。

! 車両の手入れを行なう場合は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 乾いた布や目の粗い布、硬めの布など
- 研磨剤を含む洗剤
- 溶剤
- 溶剤を含む洗剤

強く擦らないでください。

指輪やスクレーパーなどのかたい物が、塗装面やシールに触れないようにしてください。塗装面やシールが損傷するおそれがあります。

! 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキ制動によりブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングを加熱して乾燥させます。その後で駐車してください。

定期的な車の手入れにより、長い期間車両の品質を保つことができます。

メルセデス・ベンツが推奨し、承認した手入れ用品およびクリーナーを使用してください。

洗車および塗装の清掃

自動洗車機

⚠ **警告**

自動洗車機で洗車した直後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。事故の危険性があります。

車両を洗車した後は、完全にブレーキの性能が元に戻るまでは道路および交通状況に注意して慎重にブレーキ操作を行ってください。

! ディストロニック・プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

! 注意：

- サイドウインドウおよびパノラミックスライディングルーフが完全に閉じていること
- 送風が停止していること
- ワイパースイッチが停止の位置になっていること

車両を損傷するおそれがあります。

! けん引装置付きの洗車機では、以下の従ってシフトポジションを **N** にしてください。車両が損傷するおそれがあります。

▶ キーレスゴー装備車両ではキーレスゴースイッチを使用せずに、エンジンスイッチにキーを差し込みます。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわし、シフトポジションを **N** にします。

▶ キーをエンジンスイッチから抜かないようにします。

! ハンズフリーアクセス装備車両では、キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況ではトランク / テールゲートが不意に開くおそれがあります。

- 洗車機の使用
- 高圧式スプレーガンの使用

キーが車両から少なくとも 2m 離れていることを確認してください。

最初から自動洗車機で洗車することができます。

ひどい汚れは、自動洗車機で洗車をする前に洗ってください。

自動洗車機を使用した後は、ウインドウやワイパーブレードのワックスを拭いてください。残留物に起因する汚れを防ぎ、ワイパーのノイズを低減します。

手洗い

▶ 熱いお湯は使用せず、直射日光の下で洗車しないでください。

▶ 柔らかいスポンジを使用して清掃してください。

▶ メルセデス・ベンツにより承認されたカーシャンプーなどの中性洗剤を使用してください。

▶ 低圧の水流で車両全体に水をかけてください。

▶ 外気取り入れ口には直接水をかけないでください。

▶ スポンジをこまめにすすぎながら、十分な量の水を使用します。

▶ 車両をきれいな水で洗い流した後、セーム皮で全体を拭きます。

▶ 洗浄液が残っている状態で乾燥させないでください。

冬に車両を使用したときは、注意しながら道路の塩分堆積物のすべての跡をできるだけ早く除去してください。

高圧洗浄機器

⚠ **警告**

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。

車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧洗浄機器を使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

! 車両と高圧洗浄機器のノズルの間には、常に最低でも約 30cm 以上の距離を空けてください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。

車両を清掃するときは、高圧式洗浄機器のノズルを円を描くように動かしてください。

以下のものには直接向けないでください。

- タイヤ
- ドアの隙間、ルーフの隙間、継ぎ目など
- 電気装備
- バッテリー
- コネクター
- ライト
- シール
- トリム部品
- 換気口

上記のものが損傷して、水漏れや故障につながります。

! ハンズフリーアクセス装備車両では、キーがキーレスゴーの後方検知範囲内にある場合は、例えば以下の状況ではトランク / テールゲートが不意に開くおそれがあります。

- 洗車機の使用
- 高圧式スプレーガンの使用

キーが車両から少なくとも 2m 離れていることを確認してください。

塗装面の清掃

! ボディの表面には、以下のものを貼り付けないでください。

- ステッカー
- フィルム
- マグネット

塗装面が損傷するおそれがあります。

誤って傷を付けたり、誤った手入れにより錆などが発生したときは、補修が困難になる場合があります。このような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

▶ 可能であれば、不純物は強くこすらないようにしてただちに取り除いてください。

▶ 虫の死がいは、インセクトリムーバーをしみこませ、手入れを行なった範囲を洗い流してください。

▶ 鳥のふんは、水をしみこませ、手入れを行なった範囲を洗い流してください。

▶ 冷却水、ブレーキ液、樹液、オイル、燃料、グリースなどは、エーテルやライターオイルを染み込ませた布で軽く拭いて、取り除いてください。

▶ タールの汚れは、タール除去剤を使用して取り除いてください。

▶ ワックスは、シリコン除去剤を使用して取り除いてください。

マットペイントの手入れと取り扱い

! 塗装面や軽合金ホイールを磨かないでください。磨くと光沢がある仕上がりの原因になります。

! 以下により塗装に艶が出て、マット効果が減少することがあります。

- 不適切な素材での力強い研磨
- 洗車機の頻繁な使用
- 直射日光の下での洗車

! 塗装クリーナーや研磨・艶出し用品、ワックスのような光沢復活剤を使用しないでください。これらの製品は、高い艶がある表面のみに適したものです。これらの製品をマットペイント部分に使用すると、表面の著しい損傷（光沢のあるシミ部分）につながります。

塗装面の補修は、常にメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

! ホットワックス仕上げによる洗車サービスは絶対に利用しないでください。

車両がマットペイント仕様である場合はこれらの注意に従ってください。適切でない取り扱いにより塗装に損傷を与えることを防ぐのに役立ちます。

これらの注意はマットペイント仕上げの軽合金ホイールにも当てはまります。

i 車両は、柔らかいスポンジやカーシャンプー、たくさんの水を使用して手で洗うようにしてください。

i インセクトリムーバーおよびカーシャンプーは、メルセデス・ベンツが推奨し、承認した製品のみを使用してください。

車両部品の清掃

車輪の清掃

! ホイールには酸性ホイールクリーナーを絶対に使用しないでください。ホイールボルトやブレーキ部品が損傷するおそれがあります。

! 特にホイールクリーナーでホイールを清掃した後は、清掃したままで車両を長い間駐車しないでください。ホイールクリーナーが、ブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングの錆を増加させる原因になるおそれがあります。このため、清掃した後は数分間走行してください。ブレーキ制動によりブレーキディスクやブレーキパッド / ライニングを加熱して乾燥させせます。その後で駐車してください。

ウインドウの清掃

⚠ **警告**

ワイパーを作動の位置のままにしていると、ウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ウインドウの内側を清掃する場合は、乾いた布や、研磨剤、有機溶剤や有機溶剤を含むクリーナーを使用しないでください。アイススクレーパーや指輪などの硬質のものがウインドウの内側に触れないようにしてください。ウインドウを損傷する危険性があります。

! フロントウインドウおよびリアウインドウの排水口を定期的に清掃してください。特定の状況では、葉、花びら、花粉などの堆積物により排水が行なわれなくなり、腐食による損傷や電子部品の損傷につながるおそれがあります。

▶ 湿らせた布とメルセデス・ベンツが推奨し、承認したクリーナーでウインドウの内側と外側を清掃してください。

ワイパーブレードの清掃

⚠ **警告**

ワイパーを作動の位置のままにしていると、ウインドウまたはワイパーブレードの清掃中に、挟まれるおそれがあります。けがの危険性があります。

ウインドウまたはワイパーブレードを清掃する前に、必ずワイパーを停止し、イグニッションをオフにしてください。

! ワイパーブレードを持って引っ張らないでください。ワイパーブレードが損傷するおそれがあります。

! ワイパーブレードを頻繁に清掃したり、強く擦ったりしないでください。グラファイトコーティングが損傷するおそれがあります。ワイパーからノイズが発生する原因になります。

! ワイパーアームをウインドウガラスに当てないようにしてください。ウインドウガラスに傷が付くおそれがあります。

▶ ワイパーアームをフロントウインドウから起こします。

▶ 湿らせた布を使用して、注意してワイパーブレードを清掃します。

▶ イグニッションをオンにする前に、ワイパーを元の位置に戻します。

車外ライトの清掃

! プラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用してください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、車外ライトのプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

▶ 湿らせたクリーニングクロスやスポンジと、メルセデス純正シャンプーなどを使用して車外ライトのプラスチック製レンズを清掃してください。

ドアミラー方向指示灯

! プラスチック製レンズに適した洗剤やクリーニングクロスのみを使用してください。適切でない洗剤やクリーニングクロスは、ドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを傷つけたり、損傷するおそれがあります。

▶ 湿らせたクリーニングクロスやスポンジと、メルセデス純正シャンプーなどを使用してドアミラーユニットにあるドアミラー方向指示灯のプラスチック製レンズを清掃してください。

センサーの清掃

! 高圧洗浄機器を使用してセンサーを清掃するときは、高圧洗浄機器のノズルと車体の距離を約 30cm 以上離してください。適正な距離については、製品のメーカーにご確認ください。

▶ 走行システムのセンサー ① は、カーシャンプーを混ぜた水で汚れを落とし、柔らかい布で拭き取ってください。

パーキングアシストリアビューカメラの清掃

! 高圧洗浄機器を使用して、カメラのレンズやパーキングアシストリアビューカメラの周囲を洗掃しないでください。

▶ **パーキングアシストリアビューカメラを清掃する：**清潔な水に浸した柔らかい布でカメラレンズ ① を拭き取ってください。

360° カメラの清掃

! 高圧洗浄機器を使用し、カメラのレンズや 360° カメラの周囲を清掃しないでください。

▶ **360° カメラを清掃する**：清潔な水に浸した柔らかい布でカメラレンズ ① を拭き取ってください。

マフラーの清掃

! ホイールクリーナーなど、酸性のクリーナーでマフラーを清掃しないでください。

路面の小石や腐食性の環境物質などが混ざった不純物が、マフラーの表面に発生する錆の原因になることがあります。特に、冬の間や洗車後などは、定期的に清掃することにより、マフラーの元来の輝きを取り戻すことができます。

▶ メルセデス・ベンツによりテストされ、承認されたケア製品でマフラーを清掃してください。

車内の手入れ

ディスプレイの清掃

! ディスプレイの手入れには、以下のものは絶対に使用しないでください。

- アルコールやシンナー、ガソリン
- 研磨剤を含む洗剤
- 市販の家庭用洗剤

これらを使用すると、ディスプレイ表面のコーティングを傷付けるおそれがあります。ディスプレイ表面を強くこすらないでください。ディスプレイが損傷して修理できなくなるおそれがあります。

▶ 清掃する前に、ディスプレイがオフになっていて、冷めていることを確認します。

▶ 市販のマイクロファイバークロスと TFT 液晶ディスプレイクリーナーを使用して、ディスプレイ表面を清掃します。

▶ 乾いたマイクロファイバークロスを使用してディスプレイ表面を拭きます。

プラスチックトリムの清掃

⚠ **警告**

手入れおよび清掃の際に、溶剤を含む洗剤を使用すると、ダッシュボードの表面がもろくなります。エアバッグが作動するときに、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。けがの危険性があります。

ダッシュボードの手入れおよび清掃の際は、溶剤を含む洗剤を使用しないでください。

! プラスチックの表面には、以下のものを貼り付けないでください。

- ステッカー
- フィルム
- 芳香ボトルや類似のもの

プラスチックを損傷するおそれがあります。

! 化粧品、殺虫剤、日焼け止めなどが樹脂製トリムに付着しないようにしてください。表面の光沢や質感が損なわれるおそれがあります。

▶ 湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布で樹脂製トリムを拭きます。

▶ **汚れがひどいとき：**メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。表面が一時的に変色することがあります。表面が再度乾くまでお待ちください。

ステアリングおよびセレクターレバーの清掃

▶ 湿らせた布、またはメルセデスベンツによって推奨され承認された手入れ用品を使用して全体を拭いてください。

ウッドトリムおよびトリムの部品の清掃

! タール除去剤、ホイールクリーナー、光沢剤、ワックスなどの有機溶剤を絶対に使用しないでください。トリム表面を傷つけるおそれがあります。

▶ ウッドトリムやトリム部品は、湿らせたマイクロファイバークロスなどの柔らかい布で拭いてください。

▶ **汚れがひどいとき：**メルセデス・ベンツにより推奨され、承認されたカーケア用品および清掃用品を使用してください。

シート表皮の清掃

全体的な注意事項

! 純正本革、人工皮革またはアルカンタラ®の表皮の清掃には、マイクロファイバークロスを使用しないでください。頻繁に使用すると、表皮を損傷するおそれがあります。

i シートの外観と快適性をいつまでも保つには、定期的な手入れが大切です。

本革シート表皮

革は自然の素材です。

以下のような自然の特長を持っています。

- 凹凸のある組織
- 成長痕および傷跡
- 微妙な色の違い

これらは皮革の特長であり、製品の欠陥ではありません。

! 革本来の特性を保つには、以下の日常の手入れに従ってください。

- 純正本革の表皮は、湿らせた布で注意して清掃し、その後に乾いた布で表皮を拭きます。
- 革が濡れないように注意してください。硬化やひび割れにつながります。
- メルセデス・ベンツがテストし、承認したレザーケア用品のみを使用してください。詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

そのほかの素材のシート表皮

! 清掃するときは、以下のことに注意してください。

- 人工皮革の表皮は、1% の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせた布で清掃します。
- 布の表皮は、1% の洗剤（洗濯液など）を含む溶液で湿らせたマイクロファイバークロスで清掃します。注意深く汚れを落とし、シート全体をまんべんなく拭き取り、拭き跡が残らないようにします。その後、シートを乾燥させます。清掃の効果は、汚れの種類およびどの程度の期間汚れていたかによります。
- アルカンタラ ® の表皮は、湿らせた布で清掃します。目に見える線が残らないように、シート全体をまんべんなく拭きます。

シートベルトの清掃

警告

シートベルトは漂白や染色によって劣化する可能性があります。その結果、シートベルトが事故のときに損傷したり、機能しなくなる可能性があります。これにより、けがまたは致命的なけがの危険性が高まります。

シートベルトを漂白したり、染色しないでください。

! シートベルトの手入れには、化学洗剤を使用しないでください。約 80℃以上の温度や直射日光に当てて乾燥させないでください。

▶ ぬるま湯と中性洗剤を使用します。

ルーフライニングとカーペットの清掃

▶ **ルーフライニング：**非常に汚れている場合は、柔らかいブラシ、またはドライシャンプーを使用します。

▶ **カーペット：**メルセデス･ベンツによって推奨および承認されてるカーペットや布用のクリーナーを使用します。

役に立つ情報…… 418
車載品の収納場所…… 418
パンク…… 421
バッテリー…… 426
ジャンプスタート…… 431
けん引およびけん引始動…… 434
ヒューズ…… 438

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

車載品の収納場所

非常信号用具

車内には懐中電灯が装備されています。運転席ドアまたは助手席ドアのいずれかの小物入れに収納されています。

ℹ 新品の懐中電灯には電池の自然放電を防ぐため、電池の間に紙片が挟まれています。初めて使用する前に、紙片を取り除いてください。

ℹ 懐中電灯が十分な明るさで点灯することを定期的に点検してください。電池が放電した場合は交換してください。

停止表示板

停止表示板の取り外し

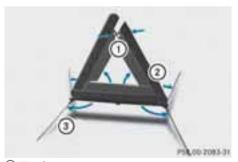
▶ **セダン**：トランクリッドを開きます。

▶ 停止表示板ホルダー ① のクリップを矢印の方向に下に押し、停止表示板ホルダーを開いて停止表示板を取り外します。

▶ **ステーションワゴン**：テールゲートを開きます。

▶ 右側のサイドトリムパネルを開きます。

▶ 停止表示板 ① を取り出します。

停止表示板の組み立て

① フック
② 反射板
③ スタンド

▶ 脚部 ③ を引き出します。

▶ 側方の反射板 ② を引き上げて三角形を作り、上部のフック ① で固定します。

救急セット

セダン：救急セットは、トランク内右側の小物入れにあります。

▶ トランクリッドを開きます。

▶ 収納ネットを下にスライドします。

▶ 小物入れのカバーを開きます。

▶ 固定ストラップ ① を外します。

▶ 救急セット ② を取り出します。

収納ネット内の救急セット

サイドトリムパネル内の救急セット

ステーションワゴン：車両の装備によって、救急セットは収納ネット内、またはサイドトリムパネル内にあります。

▶ テールゲートを開きます。

▶ 救急セットがサイドトリムパネル内に収納されている場合は、右側のサイドトリムパネルを開きます。

▶ 救急セット ① を取り出します。

ⓘ 最低 1 年に 1 度、救急セットの使用期限を確認してください。なくなった物を補充し、必要であれば内容物を交換してください。

車載工具

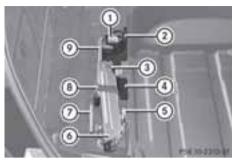
全体的な注意事項

車載工具はトランクフロアボード / ラゲッジルームフロアボード下の収納スペースにあります。

車載工具には、以下のものなどが含まれることがあります。

- 輪止め
- ヒューズ配置表
- ジャッキ
- ガイドボルト
- 一組の手袋
- ホイールレンチ
- けん引フック

※車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

タイヤフィット装備車両

例：左側収納スペースの車載工具

① タイヤフィットのボトル
② 輪止め
③ ジャッキ、手袋
④ 電動エアポンプ
⑤ けん引フック
⑥ ジャッキ
⑦ ガイドボルト
⑧ ヒューズ配置表
⑨ ホイールレンチ

※車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

▶ トランクリッド / テールゲートを開きます。

▶ トランクフロアボード（▷384 ページ）または EASY-PACK フロアボード（▷385 ページ）を上方に開きます。

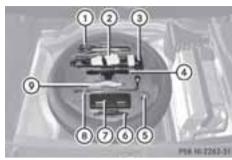
スペアタイヤ / 応急用ミニスペアタイヤ装備車両

① 車載工具トレイ
② 収納トレイ
③ スペアタイヤ / 応急用ミニスペアタイヤ

※車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

▶ トランクリッド / テールゲートを開きます。

▶ トランクフロアボード（▷384 ページ）または EASY-PACK フロアボード（▷385 ページ）を上方に開きます。

コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両

① けん引フック
② 手袋
③ ジャッキ
④ 輪止め
⑤ ガイドボルト
⑥ 不具合がある車輪用のシート
⑦ 電動エアポンプ
⑧ ホイールレンチ
⑨ ヒューズ配置表

※車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

▶ トランクリッド / テールゲートを開きます。

▶ トランクフロアボード（▷384 ページ）または EASY-PACK フロアボード（▷385 ページ）を上方に開きます。

パンク

車両の準備

車両によって、以下の装備があります。

- MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）（▷422 ページ）

MOExtended タイヤ装備車両の場合、車両の準備作業は必要ありません。

- タイヤフィット（▷423 ページ）
- 応急用スペアタイヤ（▷476 ページ）

  車輪の交換 / 装着に関する情報は（▷450 ページ）をご覧ください。

▶ 走行中にタイヤがパンクしたときは、交通の妨げにならず、地面がかたくて滑らない水平な場所に停車します。

▶ 非常点滅灯を点滅させます。

▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷216 ページ）。

▶ なるべく前輪を直進位置にしてください。

▶ **AIR マティックサスペンション装備車両：**標準の車高が選択されていることを確認します（▷247 ページ）。

▶ エンジンを停止します。

▶ **キーレスゴーを使用していないとき：**エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ **キーレスゴーを使用しているとき：**運転席ドアを開きます。

車両の電気装備が、キーを抜いたことと同様の、**0** の状態になります。

▶ **キーレスゴーを使用しているとき：**エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。

▶ 乗員全員を車両から降ろします。そのとき、彼らが危険にさらされていないことを確認してください。

▶ 車輪交換をするときは、危険な範囲に誰もいないことを確認してください。作業者以外は、安全な場所に避難してください。

▶ 運転者も車両から降ります。降車時は周囲の交通状況に注意してください。

▶ 運転席ドアを閉じます。

▶ 適切に離れた距離に停止表示板を置きます（▷418 ページ）。法規に従ってください。

ℹ 高速道路や自動車専用道路で駐停車する場合は、周囲に注意を促すため、停止表示板を置くことが法律で義務付けられています。

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）

全体的な注意事項

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）により、1 本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。影響を受けたタイヤには明らかに目に見える損傷があるとは限りません。

タイヤウォールの MOExtended マークで MOExtended タイヤを識別できます。このマークはタイヤサイズ表示などの横に表示されています。

MOExtended タイヤは、タイヤ空気圧警告システムが作動しているときにのみ使用することができます。

マルチファンクションディスプレイに空気圧に関する警告メッセージが表示された場合：

- ディスプレイメッセージの指示に従ってください（▷330、331 ページ）。
- タイヤに損傷があるかを確認してください。
- 走行を続ける場合は、以下の注意事項に従ってください。

最大走行可能距離は、車両にいっぱいまで積載している場合は約 30km、それ以外の場合は約 80km です。

走行可能距離は、積載状況に加えて、以下により異なります。

- 走行速度
- 道路状況
- 外気温度

MOExtended タイヤで走行可能な距離は、厳しい走行状況では短くなったり、穏やかな運転スタイルでは長くなることがあります。

走行可能距離は、タイヤ空気圧警告システムの警告メッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されたときが起点になります。

最高速度が約 80km/h を超えないようにしてください。

ℹ 1 本または 4 本全てのタイヤを交換するときは、必ず以下のみを使用してください。

- 車両に指定されたタイヤサイズ
- "MOExtended" マーク付きのタイヤ

タイヤがパンクし、MOExtended タイヤと交換できない場合は、一時的な措置として標準タイヤを使用してください。必ず適正なサイズと適正な種類（サマータイヤまたはウィンタータイヤ）を使用してください。

ℹ MOExtended タイヤ装備車両には、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど､ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

MOExtended タイヤから空気が抜けた状態で走行する場合は、コーナリングや急加速、ブレーキ時などに走行特性が低下します。事故の危険性があります。

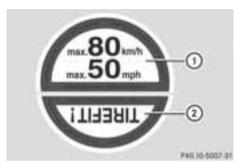
規定の最高速度を超えないでください。急激なステアリング操作、運転操作、障害物（縁石、穴、オフロード）を超える運転を避けてください。これは特に荷物積載時にあてはまります。

以下の場合は、走行を中止してください。

- 大きな異音が聞こえるとき
- 車両に振動が発生しているとき
- 煙やタイヤの焦げる臭いが発生しているとき
- ESP® が作動し続けるとき
- タイヤのサイドウォールに裂け目があるとき

MOExtended タイヤから空気が抜けた状態で走行したあとは、さらに使用できるかを確認するためにホイールリムをメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検してください。不具合のあるタイヤは新品と交換してください。

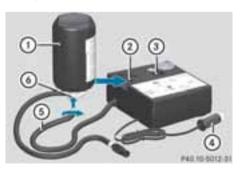
タイヤフィット

タイヤフィットの使用

2 つの部分に分けられたタイヤフィットステッカー

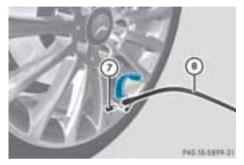
▶ タイヤに刺さったクギやネジなどは取り除かないでください。

▶ トランクフロアボード / ラゲッジルームフロアボード下の収納スペースからタイヤフィットのボトル、付属のステッカーおよび電動エアポンプを取り出します（▷420 ページ）。

▶ ステッカーの ① 部分を運転者の視界内に貼ります。

▶ ステッカーの ② 部分を不具合のあるタイヤのホイールのバルブ付近に貼ります。

▶ ケーブル付き電源プラグ ④ とホース ⑤ をハウジングから取り出します。

▶ ホース ⑤ をタイヤフィットのボトル ① のフランジ ⑥ にしっかり取り付けます。

▶ フランジ ⑥ を下にして、タイヤフィットのボトル ① を電動エアポンプの凹部 ② にはめます。

▶ パンクしたタイヤのバルブ ⑦ からキャップを取り外します。

▶ タイヤフィットのホース ⑧ をパンクしたタイヤのバルブ ⑦ に締め込みます。

▶ 電源プラグ ④ を車両の 12V 電源ソケットに差し込みます。12V 電源ソケットの注意事項に従ってください (▷393 ページ)。

▶ イグニッション位置を **1** または **2** にします (▷190 ページ)。

▶ 電動エアポンプの電源スイッチ ③ を **I** の位置にします。電動エアポンプが作動し始めます。応急用スペアタイヤに空気が送り込まれます。

ⓘ 最初に、タイヤにタイヤフィットが送り込まれます。空気圧が一時的に約 500kPa（5bar/73psi）まで上がることがあります。

この間は、電動エアポンプを停止しないでください。

▶ 電動エアポンプを約 5 分間作動させます。その後にタイヤは約 180kPa（1.8bar/26psi）以上の空気圧になっていなければなりません。

約 5 分後に、空気圧が 180kPa（1.8bar/26psi）に達している場合は、" タイヤ空気圧が十分なとき "（▷425 ページ）をご覧ください。

約 5 分後に、空気圧が 180kPa（1.8bar/26psi）に達していない場合は、" タイヤ空気圧が不十分なとき "（▷424 ページ）をご覧ください。

ⓘ タイヤフィットが漏れ出た場合は、そのまま乾燥させてください。フィルム状になり、剥がすことができます。衣類にタイヤフィットが付着した場合は、できるだけ早くクリーニングしてください。

タイヤ空気圧が不十分なとき

約 5 分後に空気圧が約 180kPa（1.8bar/26psi）に達していない場合。

▶ 電動エアポンプを停止します。

▶ パンクしたタイヤのバルブからホースを外します。

▶ ごく低速で約 10m 前進または後退します。

▶ 再度、タイヤに空気を注入します。約 5 分後までにタイヤ空気圧が 180kPa（1.8bar/26psi）以上にならなければなりません。

⚠ **警告**

規定の時間までに、十分なタイヤ空気圧に達していない場合は、タイヤが著しく損傷しており、タイヤフィットによるタイヤ修理はできません。

損傷したタイヤや著しく低下したタイヤ空気圧により、車両のブレーキや走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

それ以上走行を続けないで、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

タイヤ空気圧が十分なとき

⚠ **警告**

タイヤフィットで一時的に修理したタイヤは車両操縦性が損なわれ、高速走行には適していません。事故の危険性があります。

そのため、状況に応じて運転スタイルを合わせ、慎重に走行してください。タイヤフィットで修理したタイヤで走行する場合は、規定された最高速度を超過しないでください。

! 使用後は、ホースから余分なタイヤフィットが漏れ出ることがあります。タイヤフィットが付着すると、シミの原因になります。

そのため、ホースはタイヤフィットが収納されていた袋に収納してください。

環境保護に関する注意事項

使用済みのタイヤフィットのボトルを廃棄処分する場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご依頼ください。

約 5 分後に、タイヤ空気圧が 180kPa（1.8bar/26psi）に達している場合：

▶ 電動エアポンプを停止します。

▶ パンクしたタイヤのバルブからホースを外します。

▶ タイヤフィットのボトル、電動エアポンプおよび停止表示板を収納します。

▶ ただちに発進します。

タイヤフィットで修理されたタイヤの最高速度は約 80km/h です。ステッカーの上部は運転者が容易に視認できる位置に貼り付けてください。

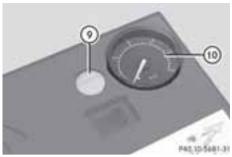
▶ 約 10 分間走行した後で車両を停止し、電動エアポンプを取り付けてタイヤ空気圧を点検してください。この時、タイヤ空気圧は 130kPa（1.3bar/19psi）以上でなければなりません。

⚠ **警告**

短時間の走行後に規定タイヤ空気圧に達していない場合は、タイヤが著しく損傷しています。この場合は、タイヤフィットでタイヤを修理することができません。タイヤの損傷およびタイヤ空気圧が低すぎることにより、車両のブレーキ操作や操縦性が著しく損なわれるおそれがあります。事故発生の危険性があります。

それ以上走行を続けずに、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

▶ タイヤ空気圧が 130kPa（1.3bar/19psi）以上の場合は、規定のタイヤ空気圧に修正します。数値は燃料給油口フラップ裏側のタイヤ空気圧ラベルをご覧ください。

▶ **タイヤ空気圧を上げる：**電動エアポンプを作動させます。

▶ **タイヤ空気圧を下げる：**空気圧ゲージ ⑩ の横にある空気圧調整スイッチ ⑨ を押します。

▶ タイヤ空気圧が適切になったら、タイヤのバルブからホースを外します。

▶ タイヤのバルブにバルブキャップを締め付けます。

▶ タイヤフィットのボトルを電動エアポンプから取り外します。ホースはタイヤフィットのボトルに留まったままになります。

▶ タイヤフィットのボトル、電動エアポンプおよび停止表示板を収納します。

▶ 最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。

▶ できるだけ早くメルセデス・ベンツ指定サービス工場でタイヤフィットのボトルをお買い求めください。

▶ タイヤフィットのボトルは 4 年ごとにメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

バッテリー

重要な安全上の注意事項

取り外し、または取り付けなどのバッテリーの作業は、専門的な知識および専用工具の使用が必要です。そのため、バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ **警告**

バッテリーに不適切な作業を行なうと、ショートなどにつながり、車両の電子部品を損傷します。これにより、ライトシステム、ABS（アンチロック・ブレーキング・システム）または ESP®（エレクトロニック・スタビリティ・プログラム）のような安全に関連したシステムの機能の制限につながるおそれがあります。車両の操作安全性が制限されるおそれがあります。

例えば、以下のときに車両のコントロールを失うおそれがあります。

- ブレーキ時
- 急なステアリング操作時、および / または車両速度が道路の状態に合っていないとき

事故の危険性があります。

ショート、または似たようなトラブルが発生した場合は、すぐにメルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。それ以上走行しないでください。バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。

ABS および ESP® に関するさらなる情報は、（▷83 ページ）および（▷89 ページ）をご覧ください。

⚠ **警告**

身体に静電気が帯電していると、火花が発生してバッテリーから発生する高可燃性のガスに引火することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱う前に、車体に触れて身体の静電気を放電させてください。

バッテリーを充電している間、およびジャンプスタートを行なっているときは、可燃性の高い混合ガスが発生します。

お客様にも、そしてバッテリーにも静電気が帯電していないことを常に確認してください。静電気の帯電は以下のときなどに発生します。

- 合成繊維製の衣服を着用することにより
- 衣服とシートの間の摩擦により
- カーペットまたは他の化学製品の上でバッテリーを押す、または引いたとき
- バッテリーを布で拭いたとき

⚠ **警告**

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- バッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子を接続したり、接続を外さないでください。

⚠ **警告**

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

環境保護に関する注意事項

電池には環境汚染物質が含まれています。電池を家庭用ゴミとして廃棄することは法律で禁じられています。使用済みの電池は個別に回収し、環境に適合するリサイクル方法で処分してください。

電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。使用済みの電池は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお持ちいただくか、スイッチ電池専用の回収箱に廃棄してください。

! メルセデス・ベンツ指定サービス工場でバッテリーの点検を定期的に受けてください。詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

! バッテリーに関する作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。例外的な状況で、どうしてもお客様自身でバッテリーの接続を外す必要がある場合は、以下に従ってください。

- エンジンを停止して、キーを抜きます。キーレスゴーを使用している場合は、メーターパネルのすべての表示灯が消灯していて、イグニッション位置が **0** になっていることを確認します。オルタネーターのような電子部品を損傷するおそれがあります。
- まずマイナス端子を外して、次にプラス端子を外します。端子を入れ替えないでください。車両の電子部品を損傷するおそれがあります。
- バッテリーの接続を外した後、トランスミッションはポジション **P** でロックされます。車両は走り出さないように固定されます。車両を動かすことができなくなります。

走行するときは、バッテリーおよびプラス端子のカバーをしっかり取り付けてください。

バッテリーを取り扱うときは、安全上の注意事項および防護措置を守ってください。

	警告
	バッテリーを取り扱うときは、火気や裸火、タバコは禁止です。火花の発生は避けてください。
	バッテリー液は腐食性があります。皮膚、眼または衣服への付着を防いでください。 手袋やエプロン、マスクなど、適切な保護衣を着用してください。 清潔な水で、ただちに飛散した酸を洗い流してください。必要であれば、医師の診察を受けてください。
	保護眼鏡を着用してください
	子供を近付けないでください。
	取扱説明書の指示に従ってください

HYBRID 車両："HYBRID" 補足版をお読みください。高電圧によるものなどの危険を認識できないことがあります。

安全上の理由のため、メルセデス・ベンツは、お客様のメルセデス・ベンツ車のためにテストされ、承認されたバッテリーのみを使用することを推奨します。これらのバッテリーは衝撃保護性能に優れており、事故などでバッテリーが損傷した際に乗員が酸で火傷をする危険性を低減します。

バッテリーの性能を長期にわたって最大限に発揮させるためには、バッテリーが常に十分に充電されていることが必要です。

車両のバッテリーは他のバッテリーと同様に、使用しないと徐々に放電する可能性があります。そのような場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でバッテリーの接続を外す作業を依頼してください。メルセデス・ベンツにより推奨されたバッテリー充電器でバッテリーを充電することもできます。詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

主に車両を短距離の走行で使用している場合や、車両を長期間使用しない場合は、より頻繁にバッテリーの充電状態を点検してください。車両を長期間駐車したままにする場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

i 駐車するとき、電気装備を必要としない場合は、キーを抜いてください。エンジンスイッチにキーを差したままのときは、車両はわずかな電力を消費しているため、これによりバッテリーの放電を防ぎます。

i バッテリーが放電した場合など、電力供給が中断した場合は、以下のことを行なってください。

• ミラーを一度展開することによる、ドアミラーの自動展開 / 格納機能のリセット（▷147 ページ）。

バッテリーの充電

⚠ 警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

⚠ 警告

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリーを解凍してください。

! 必ず最大充電電圧が 14.8V のバッテリー充電器を使用してください。

! バッテリーを充電する場合は、必ずジャンプスタート用端子を使用してください。

ジャンプスタート用端子は、エンジンルーム内（▷433 ページ）にあります。

▶ ボンネットを開きます。

▶ ジャンプスタートで救援用バッテリーを接続するときと同じ順序で、バッテリー充電器をプラス端子とアース端子に接続してください（▷433 ページ）。

低温時に、表示灯 / 警告灯が点灯しない場合は、放電したバッテリーが凍結している可能性があります。このような場合は、バッテリーを充電することも車両をジャンプスタートすることもできないことがあります。凍結したバッテリーの寿命は短くなることがあります。特に低温時の始動性能が損なわれることがあります。メルセデス・ベンツ指定サービス工場でバッテリーの点検を受けてください。

車両に装着したままのバッテリーを充電するときは、メルセデス・ベンツにより承認されたバッテリー充電器のみを使用してください。メルセデス・ベンツ車両用に特別に適合され、メルセデス・ベンツによりテストおよび承認されたバッテリー充電器はアクセサリーとして入手できます。この充電器は、車両に装着されたままでのバッテリーの充電が許可されています。詳しくは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。バッテリーを充電する前に、バッテリー充電器の取扱説明書をお読みください。

ジャンプスタート

ジャンプスタートには、エンジンルーム内のプラス端子とアース端子で構成されているジャンプスタート用端子のみを使用してください。

 警告

バッテリー液は腐食性があります。火傷をするおそれがあります。

皮膚や眼、衣服に付着しないように注意してください。バッテリーから発生するガスを吸い込まないでください。バッテリーをのぞき込まないでください。バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。バッテリー液が付着したときはただちに水洗いし、医師の診察を受けてください。

警告

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、可燃性のガスがバッテリーから発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーを取り扱うときは、特に火気や裸火、火花、タバコなどを近付けないでください。バッテリーの充電やジャンプスタートを行なうときは、十分な換気を確保してください。バッテリーをのぞき込まないでください。

警告

充電中はバッテリーから水素ガスが発生します。バッテリーのショートや火花の発生により、水素ガスに引火するおそれがあります。爆発の危険性があります。

- バッテリーのプラス端子が車両部品と接触していないことを確認してください。
- 金属製の工具などをバッテリーの上に置かないでください。
- バッテリーを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが重要です。
- ジャンプスタートを行なうときは、同じ極のバッテリー端子を接続していることを確認してください。
- ブースターケーブルを接続するとき、または接続を外すときは、記載された手順に従うことが特に重要です。
- エンジン作動中は、決してバッテリー端子を接続したり、または接続を外さないでください。

⚠ **警告**

放電したバッテリーは、気温が氷点下になると凍結するおそれがあります。ジャンプスタートやバッテリーの充電を行なうときは、バッテリーからガスが発生することがあります。爆発の危険性があります。

バッテリーの充電やジャンプスタートを行なう前に、凍結したバッテリーを解凍してください。

! ガソリンエンジン車両：繰り返しての、および長時間にわたるエンジン始動は避けてください。未燃焼燃料によって触媒コンバーターを損傷するおそれがあります。

HYBRID 車両："HYBRID" 補足版をお読みください。高電圧によるものなどの危険を認識できないことがあります。

車両の始動のために急速充電機器を使用しないでください。

車両のバッテリーが放電したときは、ブースターケーブルを使用して他車や他のバッテリーからエンジンをジャンプスタートすることができます。以下の点に注意してください。

- 手の届きにくい位置にバッテリーが装着されている車両もあります。他車のバッテリーに手が届かないときは、他のバッテリーまたはジャンプスタート機器を使用して、車両をジャンプスタートしてください。
- **ガソリンエンジン車両：**エンジンおよび排気システムが冷えているときにのみ、ジャンプスタートを行なってください。
- バッテリーが凍結している場合は、ジャンプスタートはできません。まずバッテリーを解凍してください。
- ジャンプスタートは、公称電圧 12V のバッテリーで行なってください。
- 十分な容量と太さのある絶縁されたブースターケーブルを使用してください。
- バッテリーが完全に放電している場合は、ケーブルを接続してすぐにエンジン始動を試みるのでなく、数分置いてから始動操作を行なってください。これにより、放電したバッテリーが若干充電されます。
- 自車と救援車が接触していないことを確認します。

以下のことを確認してください。

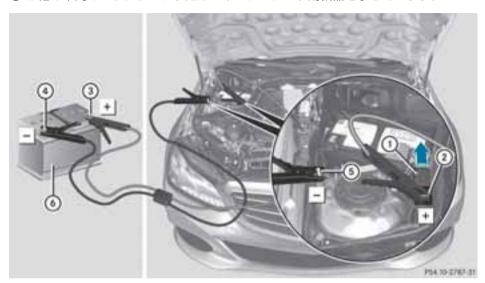
- ブースターケーブルが損傷していない。
- ブースターケーブルをバッテリーに接続している間に、端子の絶縁されていない部分が他の金属部品と接触していない。
- エンジンがかかっているときに、ブースターケーブルが V ベルトプーリーやファンなどの部品に接触しない。

▶ パーキングブレーキを確実に効かせます。

▶ トランスミッションをポジション P にシフトします。

▶ リアデフォッガー、ライトなどすべての電気装備を停止します。

▶ ボンネットを開きます。

⑥ は他の車両のバッテリー、またはジャンプスタート用機器を示しています。

▶ プラス端子 ② のカバー ① を矢印の方向に動かして開きます。

▶ ブースターケーブルを使用して、車両のプラス端子 ② を救援用バッテリー ⑥ のプラス端子 ③ に接続します。常にまず自車のプラス端子 ② から始めます。

▶ 救援車両のエンジンを始動し、アイドリング状態にします。

▶ 救援用バッテリー ⑥ に最初にブースターケーブルを接続するようにして、ブースターケーブルを使用して救援用バッテリー ⑥ のマイナス端子 ④ を自車のアース端子 ⑤ に接続します。

▶ エンジンを始動してください。

▶ ブースターケーブルを外す前に、エンジンを数分間作動させてください。

▶ 最初にブースターケーブルをアース端子 ⑤ とマイナス端子 ④ から、次にプラス端子 ② とプラス端子 ③ から取り外します。その際は、いずれも自車の端子から開始してください。

▶ ブースターケーブルを取り外した後に、プラス端子 ② のカバー ① を閉じます。

▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でバッテリーの点検を受けてください。

ⓘ ジャンプスタートは、正常な操作状態とはみなされていません。

ℹ ブースターケーブルおよびジャンプスタートに関するさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

けん引およびけん引始動

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

以下の場合は、安全性に関連する機能が制限されるか、または使用できなくなります。

- エンジンが作動しない
- ブレーキシステムまたはパワーステアリングに不具合がある
- 電圧供給または車両の電気システムに不具合がある

車両をけん引する場合は、ステアリング操作、またはブレーキ操作により大きな力が必要になることがあります。事故の危険性があります。

そのような場合は、けん引バーを使用してください。けん引する前に、ステアリングが自由に動くことを確認してください。

⚠ 警告

自車の許容総重量より重い車両をけん引またはけん引始動しようとすると、以下にようになるおそれがあります。

- けん引フックが外れる。
- トレーラーを連結した車両が横転する。

事故の危険性があります。

他車をけん引またはけん引始動するときは、自車の許容総重量より軽い車両でなければなりません。

! ディストロニック･プラスまたはホールド機能が作動すると、特定の状況で車両に自動的にブレーキが効きます。車両の損傷を防ぐため、次のような状況ではディストロニック・プラスおよびホールド機能を解除してください：

- けん引されるとき
- 洗車時

! けん引ロープやロッドは､けん引フック以外にはかけないでください。車体が損傷するおそれがあります。

! けん引ロープを使用してけん引を行なう場合は、必ず以下の点に注意してください。

- ロープは、両車とも同じ側につないでください。
- けん引ロープの長さは 5m 以内である必要があります。その中間に白い布（30x30cm）を付けて、けん引中であることが周囲から明確にわかるようにしてください。
- 走行中は、けん引する車両のブレーキライトに注意してください。常に車間距離を維持しつつ、ロープをたるませないように走行してください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンは使用しないでください。車体に傷が付くおそれがあります。

! スタックした車両を救出する場合は、けん引フックを使用しないでください。クレーンを使用して救出してください。

! けん引やけん引始動を行なうときは、ゆっくり発進し、車両に過大な力をかけないでください。車両が損傷するおそれがあります。

! けん引するときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開いたときにシフトポジションが **P** にならないように、以下の手順を行なってください。万一、走行中にシフトポジションが **P** になると、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

▶ キーレスゴー装備車両ではキーレスゴースイッチを使用せずに、エンジンスイッチにキーを差し込みます。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわし、シフトポジションを **N** にします。

▶ キーをエンジンスイッチから抜かないようにします。

! 車両は最長で約 50km までけん引できます。けん引する際の速度は、30km/h を超えないようにしてください。

距離が約 50km を超える場合は、必ず車両全体をリフトアップして、車両運搬車を利用してください。

HYBRID 車両："HYBRID" 補足版をお読みください。高電圧によるものなどの危険を認識できないことがあります。

けん引やけん引始動を行なうときは、関連する法規に従ってください。けん引はできるだけ避け、車両を搬送してください。

トランスミッションが損傷している場合は、運搬車両またはトレーラーで運搬してください。

車両をけん引するときは、オートマチックトランスミッションはポジション **N** になければなりません。

バッテリーが接続されていて、十分に充電されていることを確認してください。以下のようになります。

- エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわすことができない
- トランスミッションをポジション **N** にシフトできない

i 車両をけん引してもらう前に、車速感応ドアロックを解除してください（▷111 ページ）。車両を押したり、またはけん引するときに、閉め出されるおそれがあります。

車両をけん引する前に、けん引防止機能を解除してください（▷98 ページ）。

i 非常点滅灯を作動させてけん引しているときに、進行方向変更の合図を行なうときは通常通りにコンビネーションスイッチを使用してください。このときは、希望の方向の方向指示灯のみが点滅します。コンビネーションスイッチを元に戻すと、非常点滅灯が再度点滅し始めます。

けん引フックの取り付け / 取り外し

⚠ 警告

マフラーは非常に熱くなることがあります。リアのカバーを取り外すときに火傷の危険性があります。

マフラーには触れないでください。リアのカバーを取り外すときは特に注意してください。

けん引フックカバー（例：セダン）

けん引フックの取り付け部は、フロントおよびリアバンパーのカバー内部にあります。

▶ 車載工具（▷419 ページ）からけん引フックを取り出します。

▶ カバー ① のマークを矢印の方向に押します。

▶ カバー ① を開口部から取り外します。

▶ 内部のネジ穴にけん引フックをねじ込み、時計回りに止まるまで締め込みます。

けん引フックの取り外し

▶ けん引フックを緩めて取り外します。

▶ カバー ① をバンパーに取り付け、固定するまで押し込みます。

▶ けん引フックを車載工具に収納します。

リアアクスルを上げて車両をけん引する

リアアクスルを上げて車両をけん引するときは、安全指示に従うことが重要です（▷434 ページ）。

! リアアクスルを上げてけん引を行なうときは、必ずイグニッションをオフにしてください。ESP® の介入によりブレーキが損傷するおそれがあります。

4MATIC 非装備車両のみ

▶ 非常点滅灯スイッチを押します（▷157 ページ）。

▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ 車両から離れるときは、キーを閉じ込めないよう注意してください。

両アクスルを接地させて車両をけん引する

車両をけん引するときは、安全に関する指示に従うことが重要です（▷434 ページ）。

イグニッション位置によっては運転席または助手席ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを取り外したときは、オートマチックトランスミッションが自動的にポジション **P** にシフトされます。

車両をけん引するときに、オートマチックトランスミッションをポジション **N** のままにするためには、以下に従わなければなりません。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にします。キーレスゴー装備車両では、キーレスゴースイッチの代わりにキーを使用します（▷190 ページ）。

▶ ブレーキペダルを踏んで保持します。

▶ オートマチックトランスミッションをポジションを **N** にシフトします。

▶ ブレーキペダルを放します。

▶ パーキングブレーキを解除します。

▶ 非常点滅灯を作動させます（▷157 ページ）。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にしたままにします。

車両を運搬する

! 車両を固定するときは、固定具をアクスルやステアリング構成部品などにかけずに、ホイールにのみかけてください。車体を損傷するおそれがあります。

けん引フックは、車両を運搬する目的でトレーラーや車両運搬車に車両を引き上げるときにも使用できます。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわします。

▶ オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトします。

車両を積載したら、以下を行なってください。

▶ 車両が動き出すのを防止するため、パーキングブレーキを効かせてください。

▶ オートマチックトランスミッションをポジション **P** にシフトします。

▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ 車両を固定します。

4MATIC 装備車両に関する注意事項

! 4MATIC 装備車両は、フロントまたはリアアクスルを持ち上げてけん引しないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

車両のトランスミッションが損傷したり、フロントまたはリアアクスルが損傷した場合は、運搬車両またはトレーラーで運搬してください。

電気装備が損傷しているとき

バッテリーに不具合がある場合は、オートマチックトランスミッションはポジション **P** でロックされます。オートマチックトランスミッションをポジション **N** にシフトするためには、ジャンプスタート時と同じ方法で車両の電気装備に電力を供給しなければなりません（▷431 ページ）。

運搬車両またはトレーラーで車両を運搬してください。

けん引始動（エンジン緊急始動）

! けん引始動は行なわないでください。トランスミッションが損傷するおそれがあります。

" ジャンプスタート " に関する情報は（▷431 ページ）にあります。

ヒューズ

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

切れたヒューズを使用したり、ブリッジしたり、またはより高いアンペア数のヒューズと交換すると、ケーブルに過負荷がかかります。火災の原因になります。事故やけがの危険性があります。

切れたヒューズは、必ず正しいアンペア数の指定された新品のヒューズと交換してください。

! ヒューズは必ずメルセデス・ベンツ車に適合し、該当する電気装備の規定容量を満たすものを使用してください。適切でないヒューズを使用すると、構成部品や電気装備を損傷するおそれがあります。

車両のヒューズは、異常のある回路への接続を遮断する働きをします。ヒューズが切れると、回路上のすべての構成部品とそれらの機能が作動しなくなります。

切れたヒューズを交換するときは、ヒューズの色と数字で確認し、必ず同じ定格のヒューズと交換してください。ヒューズの定格は、ヒューズ配置表に記載されています。

新しいヒューズに交換してもすぐに切れる場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で原因究明および修理を行なってください。

ヒューズを交換する前に

重要な安全上の注意事項に従ってください（▷438 ページ）。

- ▶ 車両が動き出さないように固定してください（▷216 ページ）。
- ▶ すべての電気装備を停止します。
- ▶ エンジンスイッチのキーを **0** の位置にまわして、取り外します（▷190 ページ）。

または

- ▶ キーレスゴー装備車両では、イグニッションがオフであることを確認します（▷191 ページ）。メーターパネル内のすべての表示灯が消灯します。

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります。

- エンジンルーム内運転席側のヒューズボックス
- 進行方向に見たときのトランク / ラゲッジルーム内右側のヒューズボックス

ヒューズ配置表は、トランク / ラゲッジルームフロアボード下の車載工具内にあります（▷419 ページ）。

エンジンルーム内のヒューズボックス

重要な安全上の注意事項に従ってください（▷438 ページ）。

⚠ **警告**

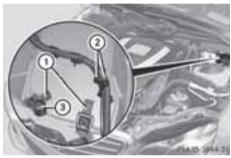
ボンネットを開いているとき、ワイパーを作動位置のままにしていると、ワイパーリンケージでけがをするおそれがあります。けがの危険性があります。

ボンネットを開く前に、必ずワイパーを停止し、イグニッション位置を **0** にしてください。

❗ カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

❗ カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定されていることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。

▶ フロントワイパーが停止していることを確認します。

▶ ボンネットを開きます。

▶ 乾いた布を使用して、ヒューズボックスに付着している水分を拭き取ります。

▶ **開く：**左ハンドル車両ではホース ② をガイドから取り出します。

▶ ホース ② を接続部分 ③ の前方に寄せます（左ハンドル車両のみ）。

▶ 固定クリップ ① を外します。

▶ ヒューズボックスのカバーを前方に取り外します。

▶ **閉じる：**ラバーシールがカバーの正しい位置にあることを確認してください。

▶ カバーをヒューズボックス後部の挿入部に差し込みます。

▶ カバーを下ろし、クリップ ① で固定します。

▶ ホース ② をガイドに固定します。

▶ ボンネットを閉じます。

トランク内のヒューズボックス

重要な安全上の注意事項に従ってください（▷438 ページ）。

❗ カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が侵入しないように注意してください。

❗ カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定していることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。

▶ トランクリッドを開きます。

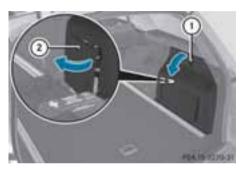
▶ **開く：**平らな物を使用して、右側カバー ① の上部を引き出します。

▶ カバー ① を矢印の方向に下方に開きます。

ラゲッジルーム内のヒューズボックス

! カバーを開く際に、ヒューズボックス内部に水が浸入しないように注意してください。

! カバーを閉じる時は、ヒューズボックスに確実に固定していることを確認してください。ヒューズボックスの中に水分や異物が入ると、ヒューズの機能に障害が発生するおそれがあります。

▶ テールゲートを開きます。

▶ **開く：**カバーのハンドル ① を引きます。

▶ カバーを下方に開きます。

▶ トリム ② を前方に開きます。

役に立つ情報…………………………… 442
重要な安全上の注意事項……………… 442
使用…………………………………… 443
冬季の使用…………………………… 445
タイヤ空気圧………………………… 447
車輪の交換…………………………… 450
ホイールとタイヤの組み合わせ…… 457
応急用スペアタイヤ………………… 476

役に立つ情報

ⓘ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ⓘ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

誤ったサイズのホイールやタイヤを使用すると、ブレーキまたはサスペンションの部品を損傷することがあります。事故の危険性があります。

純正部品の仕様に適合するホイールやタイヤと必ず交換してください。ホイールを交換する場合、正しく取り付けるために以下を確認してください。

- 型式
- タイプ

タイヤを交換する場合、正しく取り付けるために以下を確認してください。

- 型式
- メーカー
- タイプ

⚠ **警告**

パンクは車両の走行、ステアリング、ブレーキの特性を著しく損なうことがあります。事故の危険性があります。

ランフラット特性のないタイヤは以下に従ってください。

- パンクしたタイヤで走行しないでください。
- ただちにパンクしたタイヤを応急用スペアタイヤまたはスペアタイヤと交換するか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

ランフラットタイヤは、MOExtendedタイヤ（ランフラットタイヤ）に関する情報と警告注意に注意してください。

メルセデス・ベンツにより車両への使用が承認されていないアクセサリーを装着したり、アクセサリーが正しく使用されていないと、操作安全性を損なうおそれがあります。

承認されていないアクセサリーを購入し、ご使用になる前に、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で以下をご確認ください。

- 適合性
- 合法性
- 推奨品

車両のホイールとタイヤのサイズおよび種類に関する情報は "ホイールとタイヤの組み合わせ"（▷457 ページ）に記載されています。

車両のタイヤ空気圧に関する情報は、以下にあります。

- 燃料給油口フラップにあるタイヤ空気圧ラベル（▷448 ページ）。
- " タイヤ空気圧 " の項目（▷447 ページ）。

ブレーキシステムおよびホイールの改造は許可されていません。ホイールスペーサーブラケットまたはブレーキダストシールドの使用は許可されていません。このような改造を行なった場合は、不具合が生じても保証の適用外になります。

i ホイールおよびタイヤについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

使用

走行に関する情報

車両に重い荷物を積んでいるときは、タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整してください。

走行中は、振動、騒音、および片側に寄るなどの、通常ではないハンドリング特性に注意してください。このような症状の原因には、タイヤやホイールの損傷が考えられます。タイヤに異常を感じたら、速度を落として慎重に運転してください。すみやかに安全な場所に停車して、タイヤとホイールに損傷がないか点検してください。

タイヤが損傷すると、車両操縦性が損なわれる原因になります。損傷が何も認められない場合、メルセデス・ベンツ指定サービス工場でタイヤおよびホイールの点検を受けてください。

車両を駐車するときは、タイヤが縁石または他の障害物によって変形していないことを確認してください。また、縁石や路面の段差などを乗り越える必要がある場合は、速度を落とし、縁石や段差に対してタイヤをできるだけ直角にして乗り越えてください。タイヤ、特にサイドウォールが損傷するおそれがあります。

ホイールとタイヤの定期点検

⚠ **警告**

タイヤが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。その結果として、車両のコントロールを失うおそれがあります。事故発生の危険性があります。タイヤに損傷がないか定期的に点検を行ない、損傷したタイヤはただちに新品と交換してください。

ホイールとタイヤの定期点検は、少なくとも月に 1 度、またオフロードや不整路の走行後にも行ない、タイヤに損傷がないか確認してください。ホイールが損傷すると、タイヤ空気圧が低下する原因になります。特に、以下のような損傷にご注意ください。

- タイヤの傷
- 刺し傷などの穴
- タイヤの裂け目
- タイヤの突起
- ホイールの変形や腐食

タイヤのトレッドの深さやタイヤの幅全体にわたるトレッドの状態を定期的に点検してください。必要であれば、タイヤ表面の内側を点検するために、前輪をいっぱいまでまわしてください。

ほこりや水分の侵入を防ぎバルブを保護するため、すべてのホイールにバルブキャップを必ず装着してください。純正品または承認された製品以外のバルブキャップをバルブに装着しないでください。純正品以外のバルブキャップまたはタイヤ空気圧モニタリングシステムなどのシステムを装着しないでください。

長距離走行の前は特に、定期的にすべてのタイヤの空気圧を点検してください。必要であれば、タイヤ空気圧を調整してください（▷447 ページ）。

応急用スペアタイヤに関する注意事項に従ってください（▷476 ページ）。タイヤの耐用年数は、以下を含むさまざまな要因に左右されます。

- 走行スタイル
- タイヤ空気圧
- 走行距離

タイヤトレッドに関する重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

タイヤのトレッドが不十分であると、タイヤのグリップが低下します。このようなタイヤは水を排出することができなくなり、濡れた路面で、特に走行状況に適していない速度で走行すると、ハイドロプレーニング現象が生じる危険性が高くなります。事故発生の危険性があります。

タイヤ空気圧が高すぎたり低すぎたりすると、トレッド面の位置によって偏摩耗が生じることがあります。タイヤの定期点検を行なうときは、タイヤの溝の深さだけでなく、タイヤの内側の摩耗状態も点検してください。

タイヤの溝の深さの最小値：

- サマータイヤ：3mm
- ウィンタータイヤ：4mm

安全維持のために、タイヤの溝の深さが法律で定められた最小値に達する前に、該当するタイヤを新品と交換してください。

タイヤの選択、装着および交換

- タイヤとホイールは、4 輪とも同一種類、同一銘柄のものを装着してください。

  例外：パンクした場合は、違う種類、違う銘柄の使用が認められています。"MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）"（▷422 ページ）の項目に注意してください。
- 適正なサイズのタイヤをホイールに装着してください。

- 新しいタイヤでは最初の約 100km は控えめな速度で走行してください。この距離を走行後にのみ、最高の性能に達します。
- タイヤトレッド部の残り溝が不足したタイヤで走行しないでください。濡れた路面ではタイヤのグリップが著しく低下します（ハイドロプレーニング現象）。
- 摩耗の程度に関わらず、6 年以上経過したタイヤは新品と交換してください。

応急用スペアタイヤに関する注意事項に従ってください（▷476 ページ）。

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）は、1 本または複数のタイヤの空気圧がすべて損失しても、車両の走行を続けることができます。

ランフラットタイヤは、作動しているタイヤ空気圧警告システムと必ず組み合わせ、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で専用の点検を受けたタイヤのみを使用してください。

パンクしたタイヤで走行するときの注意事項は（▷422 ページ）をご覧ください。

ℹ MO Extended タイヤ装備車両は、タイヤフィットを標準装備していません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお求めください。

冬季の使用

全体的な注意事項

冬になる前にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で車両の寒冷時対応を実施してください。

" 車輪の交換 "（▷450 ページ）に記載されている注意事項を守ってください。

サマータイヤでの走行

約 7℃以下の温度では、サマータイヤは弾力性を失い、接地性と制動力が低下します。車両のタイヤをウィンタータイヤと交換します。寒冷時にサマータイヤを装着したまま走行すると、タイヤ側面に亀裂が生じ、破損する原因になります。このようなタイヤの損傷は、保証の対象外になります。

M+S タイヤ

⚠ **警告**

ウィンタータイヤの溝の深さが約 4mm 以下になったときは、冬季用のタイヤとして不適切になり、十分な接地性を確保できなくなります。事故につながるおそれがあります。

ウィンタータイヤの溝の深さが約 4mm 以下になったときは、必ず新品と交換してください。

温度が約 7℃以下の場合は、ウィンタータイヤまたはオールシーズンタイヤを使用してください。どちらの種類のタイヤにも M+S マークが付いています。

ABS および ESP® などの走行安全システムが冬季に適切に機能できるようにするのは、これらのタイヤだけです。これらのタイヤは、特に雪道走行用に開発されています。

走行安全性を確保するため、ウィンタータイヤは、指定されたサイズで 4 輪とも同じ銘柄のものを装着してください。

装着されたウィンタータイヤの指定された許容最高速度を常に守って走行してください。

ウィンタータイヤの装着時は、以下の手順に従ってください。

▶ タイヤ空気圧を点検します（▷447 ページ）。

▶ タイヤ空気圧警告システムを再起動してください（▷449 ページ）。

応急用スペアタイヤでの走行についての詳しい情報は、（▷476 ページ）をご覧ください。

スノーチェーン

⚠ **警告**

スノーチェーンが前輪に装着されている場合は、車体またはシャーシの部品に引き込まれることがあります。これにより、車両またはタイヤが損傷するおそれがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるために

- スノーチェーンを前輪に装着しないでください。
- スノーチェーンは必ずペアで後輪に装着してください。

! スチールホイール装備車両：スチールホイールにスノーチェーンを装着する場合は、まず各車輪のホイールキャップを確実に取り外してください。ホイールキャップが損傷する原因になります。

安全な走行のため、スノーチェーンはメルセデス・ベンツ指定品、または同等の品質基準を満たしたものを使用してください。

スノーチェーンを装着するときは、以下の点に注意してください。

- スノーチェーンはすべてのホイールとタイヤの組み合わせに装着できるわけではありません。許容されるホイールとタイヤの組み合わせをご覧ください（▷457 ページ）。
- 路面が完全に冠雪しているときは、必ずスノーチェーンを使用してください。冠雪していない路面を走行しようとするときは、できるだけ早くスノーチェーンを取り外してください。
- 法令でスノーチェーンの使用が制限されている地域があります。スノーチェーンを取り付けようとする場合は、法令に従ってください。
- 最大許容速度の約 50km/h を超えないようにしてください。
- AIR マティックサスペンション装備車両の場合、スノーチェーン装着時は車高を上げる必要があります（▷247 ページ）。

ⓘ スノーチェーン装着中は、ESP® を解除したほうが走行しやすい場合があります（▷91､92 ページ）。車輪の空転を制御し、駆動力を向上させることができます。

応急用スペアタイヤでの走行についての詳しい情報は、（▷476 ページ）をご覧ください。

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧規定値

⚠ 警告

タイヤ空気圧が不足または過剰な場合、以下の危険があります。

- 荷重が大きく車両速度が高い場合は特に、タイヤが破裂するおそれがある。
- タイヤが過度に、また不均一に摩耗し、それによってタイヤの駆動力が損なわれるおそれがある。
- ステアリング操作やブレーキ操作などの車両操縦性が大幅に損なわれるおそれがある。

事故の危険性があります。

指定のタイヤ空気圧に従い、以下のときにはスペアタイヤを含むすべてのタイヤの空気圧を点検してください。

- 走行を開始する前の毎日
- 荷重が変化したとき
- 長距離走行を開始する前
- オフロード走行のように使用状況が変わったとき

必要であれば、適正なタイヤ空気圧に調整してください。

⚠ 警告

適切でないアクセサリーをバルブに取り付けると、バルブに過負荷がかかって誤作動し、タイヤ空気圧が不足する原因となります。設計上、タイヤ空気圧モニターシステムを後装着すると、バルブが開いたままになり、タイヤ空気圧が不足するおそれもあります。事故発生の危険性があります。

標準仕様のバルブキャップまたはメルセデス・ベンツ純正の車両専用バルブキャップのみをバルブに取り付けてください。

⚠ 警告

タイヤ空気圧が何度も低下する場合は、ホイール、バルブまたはタイヤが損傷している可能性があります。タイヤ空気圧が不十分であると、タイヤが破裂するおそれがあります。事故発生の危険性があります。

- タイヤに異物がないか点検します。
- ホイールやバルブからの空気漏れがないか点検します。

損傷を修理できない場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

環境保護に関する注意事項

少なくとも 2 週間に 1 度、タイヤ空気圧の点検を行なってください。

燃料給油口フラップ裏側には、走行状況に応じた空気圧が記載されたタイヤ空気圧ラベルが貼られています。

応急用スペアタイヤのタイヤ空気圧は（▷ 480 ページ）をご覧ください。

燃料給油口フラップの裏側の表には、さまざまな乗員数および積載量でのタイヤ空気圧が記載されていることがあります。実際の座席数は異なる場合があります。詳しくは、車両の登録書類を参照してください。

タイヤサイズの指定がない場合、タイヤ空気圧ラベルに記載されているタイヤ空気圧は車両に承認されているすべてのタイヤに適用されます。

P40.00-2183-31

タイヤのサイズに応じて空気圧を調整する場合は、以下の空気圧に関する情報は、そのタイヤサイズのみに有効となります。

タイヤ空気圧を点検するためには、適切な空気圧ゲージを使用してください。タイヤの外観を点検しても空気圧を正しく判断することはできません。

タイヤ空気圧の調整は、できるだけタイヤが冷えているときに行なってください。

以下のときは、タイヤの温度が低い状態です。

- 車両に直射日光が当たらない状態で最低約 3 時間駐車している

および

- 約 1.6km 以上車両が走行していない

外気温度、走行速度およびタイヤの荷重によって、タイヤの温度およびタイヤ空気圧は 10℃ごとに約 10kPa（0.1bar/1.5psi）ずつ変化します。温まっているタイヤの空気圧を点検するときは、このことを考慮に入れてください。そのときの使用条件に対して非常に低いときにのみ、タイヤ空気圧を修正してください。

空気圧が適正でないタイヤで走行すると、以下のような状態になります。

- タイヤの寿命が短くなります。
- タイヤが損傷を受けやすくなります。
- 車両操縦性や走行安全性に悪影響を与えます（例：ハイドロプレーニング現象）。

ⓘ 低負荷時の空気圧は、快適な乗り心地を得るために必要な空気圧の下限値を示しています。

ただし、高負荷時の空気圧に調整することもできます。これらは空気圧許容値であり、車両の走行安全性に悪影響を与えることはありません。

タイヤ空気圧警告システム

全体的な注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、走行中に 4 輪すべてのホイール回転速度を検知することによりタイヤ空気圧をモニターします。システムは､タイヤ空気圧の著しい低下を検知することができます。タイヤ空気圧の低下にともないホイールの回転速度が変化すると、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージを表示します。

マルチファンクションディスプレイのメンテナンスメニューに表示されるメッセージタイヤ空気圧 警告システム オン OK スイッチで再始動によってタイヤ空気圧警告を認識することができます。メッセージ表示に関する情報は、" タイヤ空気圧警告システムを再起動する " の項目にあります。

重要な安全上の注意事項

タイヤ空気圧警告システムは、適切でないタイヤ空気圧の設定には警告を行ないません。タイヤ空気圧に関する注意事項に従ってください（▷447 ページ）。

タイヤ空気圧警告システムは、タイヤ空気圧点検を定期的に行なうものではありません。タイヤ空気圧警告システムは、複数のタイヤから同量の空気が漏れた場合などは検知できません。

タイヤ空気圧警告システムは、タイヤに異物が刺さった場合など急激に空気圧が低下した場合は、警告を行なうことができません。空気圧が突然低下した場合、ブレーキを慎重に効かせて車両を停止します。急激なステアリング操作をしないようにしてください。

タイヤ空気圧警告システムは、以下の状況では正常に作動しなくなったり、反応が遅れることがあります。

- スノーチェーンを装着しているとき
- 積雪路や凍結路を走行しているとき
- 砂地や砂利道を走行しているとき
- スポーティな走行をしているとき（高速コーナリング、急加速など）。
- 大型または超重量級のトレーラーをけん引しているとき
- 重い荷物を車内やルーフに積載しているとき

タイヤ空気圧警告システムを再起動する

以下のような作業を行なったときは、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

- タイヤ空気圧を調整したとき
- タイヤやホイールを交換したとき
- 新しいタイヤやホイールを装着したとき

▶ 再起動する前に、4 本すべてのタイヤ空気圧が使用状況に対応していて、適正に設定されていることを確認してください。推奨タイヤ空気圧は燃料給油口フラップのタイヤ空気圧表にあります。

タイヤ空気圧警告システムは、適切なタイヤ空気圧に設定したときのみ信頼性のある警告を行なうことができます。適切でないタイヤ空気圧に設定されている場合は、これらの適切でない値がモニターされます。

▶ タイヤ空気圧に関する注意事項に従ってください（▷447 ページ）。

▶ イグニッション位置を **2** にします。

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、メンテナンスメニューを選択します。

▶ ステアリングの ▲ または ▼ を押して、タイヤ空気圧メニューを選択します。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 警告システム オン OK スイッチで再始動というメッセージが表示されます。

再起動を確定するには、以下の操作を行なってください。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 正常ですか？というメッセージが表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、はいを選択します。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 警告システム 再始動しましたというメッセージが表示されます。

再起動をキャンセルするには、以下の操作を行なってください。

▶ ⮌ スイッチを押します。

または

▶ タイヤ空気圧 正常ですか？というメッセージが表示されたときに、▲ または ▼ スイッチを押して、キャンセルを選択します。

▶ OK スイッチを押します。

車輪の交換

パンク

タイヤがパンクしたときの対処方法に関する情報は、" 万一のとき " の章に記載されています（▷421 ページ）。

タイヤがパンクしたときに MOExtended タイヤで走行する際の情報は、" 万一のとき " の章をご覧ください（▷422 ページ）。

応急用スペアタイヤ装備車両：タイヤがパンクした場合は、" 車輪の取り付け "（▷451 ページ）の記載にしたがって応急用スペアタイヤを装着してください。

車輪のローテーション

⚠ **警告**

ホイールまたはタイヤのサイズが異なる場合に、フロントとリアの車輪を入れ替えると、走行特性が著しく損なわれることがあります。車輪のブレーキまたはサスペンションの部品も損傷することがあります。事故の危険性があります。

ホイールとタイヤが同じサイズの場合にのみ、フロントとリアの車輪を入れ替えてください。

異なるサイズのフロントとリアの車輪を入れ替えると、一般使用許可が無効になることがあります。" 車輪の取り付け "（▷451 ページ）の説明および安全上の注意事項に従ってください。

タイヤは、走行状況によって前輪と後輪で摩耗具合に差が生じ、偏摩耗を起こします。これを防止するため、タイヤが摩耗し始めたら早めにタイヤローテーションを行なってください。一般的に、前輪はショルダー部の摩耗が起こりやすく、後輪ではセンター部の摩耗が起こりやすい傾向があります。

前後同じサイズの車輪を持つ車両は、タイヤの摩耗具合に応じて約 5、000 ～ 10、000km ごとに車輪を入れ替えることができます。回転方向が維持されていることを確認します。

タイヤを入れ替えるときは、ホイールの接触面とブレーキディスクを十分に清掃してください。空気圧を点検し、必要であればタイヤ空気圧警告システムを再起動します。

回転方向

タイヤの回転方向が指定されているタイヤは、例えばハイドロプレーニング現象のおそれがある状況などで補助的な効果を発揮します。回転方向が指定されているタイヤは、指定された回転方向になるように装着することで性能を十分発揮できます。

タイヤのサイドウォールにある矢印は、正しい回転方向を示しています。

車輪の保管

タイヤは、乾燥した冷暗所に保管してください。また、タイヤにオイルやグリース、ガソリン、軽油などが付着しないように保護してください。

車輪の清掃

⚠ 警告

円形ジェットノズル（粉塵グラインダー）の水流は、タイヤまたはシャーシの部品に外見からは目に見えない損傷を引き起こすおそれがあります。このようにして損傷した部品は予期せず故障するおそれがあります。事故の危険性があります。

車両の清掃をするときに円形ジェットノズル付きの高圧式洗浄機器を使用しないでください。損傷したタイヤまたはシャーシの部品はすぐに交換してください。

車輪の取り付け

車両の準備

▶ 固くて、滑らない水平な地面に車両を停車します。

▶ パーキングブレーキを効かせます。

▶ 前輪を直進位置にします。

▶ トランスミッションをポジション **P** にシフトしてください。

▶ AIR マティックサスペンション装備車両：標準の車高が選択されていることを確認してください（▷247 ページ）。

▶ エンジンを停止します。

▶ **キーレスゴーを使用していないとき：**エンジンスイッチからキーを抜きます。

▶ **キーレスゴーを使用しているとき：**運転席ドアを開きます。

車両の電気装備が、キーを抜いたときと同様の、**0** の状態になります。

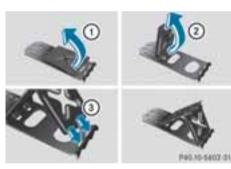
▶ **キーレスゴーを使用しているとき：**エンジンスイッチからキーレスゴースイッチを取り外します。

▶ 車載工具を車両から取り出します（▷ 419 ページ）。

車載工具には、以下のものなどが含まれることがあります。

- 輪止め
- ヒューズ配置表
- ジャッキ
- ガイドボルト
- 一組の手袋
- ホイールレンチ
- けん引フック

車種や仕様により、車載工具の内容は異なります。

車両が動き出さないように固定する

輪止めを使用して、車両が動き出さないように固定します。

▶ 両側のプレートを上方に起こします ①。

▶ 下側のプレートを引き出します ②。

▶ 下側のプレートの凸部をベースプレートの開口部に差し込みます ③。

水平な地面で車両に輪止めをする（例：セダン）

▶ **水平な場所で車両に輪止めをする：**交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、輪止めまたは適切な物を挟みます。

緩い下り坂で車両に輪止めをする（例：セダン）

▶ **緩い下り坂で車両に輪止めをする：**前輪と後輪の前方に輪止めまたは適切な物を挟みます。

車両のジャッキアップ

⚠ **警告**

車両の適切なジャッキポイントに正しくジャッキを設置しないと、車両をジャッキアップした時にジャッキが倒れるおそれがあります。負傷するおそれがあります。

必ず車両の適切なジャッキポイントにジャッキを設置してください。ジャッキの底面は車両のジャッキポイントの真下に来るように設置してください。

車両をジャッキアップするときは、以下に従ってください。

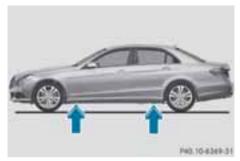
- 車両をジャッキアップするときは、メルセデス・ベンツによりテストされ、承認された車両専用ジャッキのみを使用してください。ジャッキを正しく使用しないと、車両をジャッキアップしている間に倒れることがあります。
- ジャッキは、この車両の車輪交換で一時的に車両をジャッキアップするためだけに設計されています。車両の下回りのメンテナンス作業を行なう目的には適していません。
- 上り坂や下り坂での車輪交換は行なわないでください。
- 車両をジャッキアップする前にパーキングブレーキを効かせて輪止めをし、車両が動き出さないように固定してください。車両をジャッキアップしている間は絶対にパーキングブレーキを解除しないでください。
- ジャッキは、固く平らで滑らない地面の上に設置してください。柔らかい地面の上では、大型の耐荷重マットを使用してください。滑りやすい地面の上では、ラバーマットなどの滑り止めマットを敷いてください。
- ジャッキの下に木片などを置いてジャッキアップしないでください。高さ制限により本来の耐荷重性能を得られない可能性があります。
- タイヤ下面と地面との間の距離が3cmを超えていないことを確認してください。
- ジャッキアップした車両の下には、絶対に身体を入れないでください。
- 車両をジャッキアップしているときは、絶対にエンジンを始動しないでください。
- 車両をジャッキアップしているときは、絶対にドアやトランクリッド／テールゲートを開閉しないでください。
- 車両をジャッキアップしているときは、車両に人が乗っていないことを確認してください。

ハブキャップ装備車両：ホイールボルトはハブキャップに覆われています。ホイールボルトを緩める前に、まずハブキャップを取り外さなければなりません。

▶ **取り外す：**ハブキャップ①を反時計回りにまわして、取り外します。

▶ **取り付ける：**ハブキャップ①を位置に合わせ、固定された音が聞こえるまでハブキャップを時計回りにまわします。

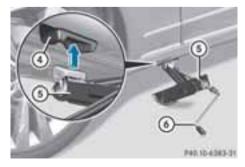
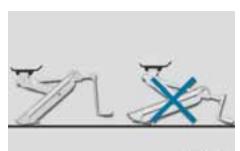
▶ ハブキャップ①が正しく取り付けられていることを確認してください。

▶ ホイールレンチ②を使用して、交換する車輪のホイールボルトを約1回転緩めます。この時点では、ホイールボルトを完全に緩めません。

ジャッキポイント（例：セダン）

ジャッキポイントは、前輪のすぐ後ろと、後輪のすぐ前にあります（矢印部分）。

ジャッキポイントカバー装備車両：車両には、サイドスカートのジャッキポイント横に車体を保護するためのカバーが装着されています。

カバー、フロント

▶ **ジャッキポイントカバー装備車両：**カバー③を上方に引き上げます。

▶ ジャッキ ⑤ をジャッキポイント ④ の位置に合わせます。

左側：適切なジャッキ位置
右側：不適切なジャッキ位置

▶ ジャッキの底面がジャッキポイントの真下にくるように設置してください。

▶ クランク ⑥ を時計回りにまわして、ジャッキ ⑤ がジャッキポイント ④ に確実にはまり、ジャッキの底面が地面に水平に接地していることを確認します。

▶ タイヤが地面から最大 3cm 上がるまで、クランク ⑥ をまわします。

車輪の取り外し

! AMG カーボンセラミックブレーキ装備車両：車輪の脱着の際に、ホイールリムがセラミック製ブレーキディスクに当たると、ブレーキディスクが損傷するおそれがあり、必ず大人 2 人で注意して作業を行ってください。必要に応じて、ガイドボルトを 2 本使用してください。

! 砂などの異物が付着しないように注意してください。ホイールボルトを取り付ける際に、ボルトやハブのネジ山が損傷するおそれがあります。

▶ 上側のホイールボルトを 1 本外します。

▶ ホイールボルトの代わりにガイドボルト ① を取り付けます。

▶ 残りのホイールボルトを完全に外します。

▶ 車輪を取り外します。

新しい車輪の取り付け

⚠ 警告

オイルやグリースが付着した、または損傷したホイールボルト / ハブのネジ山は、ホイールボルトが緩む原因になります。その結果、走行中にホイールが緩むおそれがあります。事故の危険性があります。

ホイールボルト / ハブのネジ山には、絶対にオイルやグリースを塗布しないでください。ネジ山が損傷している場合は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。それ以上は走行を続けないでください。

⚠ **警告**

車両をジャッキアップしている時にホイールボルトを締め付けると、ジャッキが倒れることがあります。けがの危険性があります。

車両が接地している場合にのみ、ホイールボルトを締め付けてください。

" 車輪の交換 "（▷450 ページ）にある指示や安全上の注意事項に常に注意を払ってください。ホイールボルトは、必ずホイールと車両に適合した製品を使用してください。安全のため、ホイールボルトは純正品または承認されている製品を使用することをお勧めします。

！AMG カーボンセラミックブレーキ装備車両：車輪の脱着の際に、ホイールリムがセラミック製ブレーキディスクに当たると、ブレーキディスクが損傷するおそれがあり、必ず大人 2 人で注意して作業を行ってください。必要に応じて、ガイドボルトを 2 本使用してください。

車輪の取り付け（例：応急用スペアタイヤ装備車両）。

- ▶ ホイールおよびハブの接合面の汚れを拭き取ります。
- ▶ 装着する車輪をガイドボルトにスライドさせて押し込みます。
- ▶ ホイールボルトを取り付けて、指の力で締めます。
- ▶ ガイドボルトを取り外します。
- ▶ 最後のホイールボルトを取り付けて、指の力で締めます。
- ▶ **コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両：**コラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れます（▷478 ページ）。

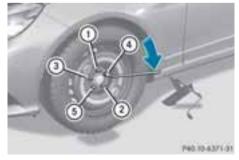
  その後でのみ、車両を下げてください。

車両のジャッキダウン

⚠ **警告**

ホイールボルトが規定の締め付けトルクで締め付けられていないと、ホイールが緩むおそれがあります。事故の危険性があります。

タイヤを交換した後は、ただちにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で締め付けトルクの点検を受けてください。

！コラプシブル応急用スペアタイヤ装備車両：車高を下げる前に電動エアポンプを使用してコラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れてください。ホイールリムを損傷するおそれがあります。

ホイールボルトの締め付け（例：応急用スペアタイヤ装備車両）。

▶ 車両が再度接地するまで、ジャッキハンドルを反時計回りにまわします。

▶ ジャッキを横に置きます。

▶ 示されている対角パターンの順番（①～⑤）で、ホイールボルトを均一に締めます。規定の締め付けトルクは **130Nm** です。

▶ ジャッキをまわして元の状態に戻します。

▶ ジャッキや他の車載工具をトランク / ラゲッジルームに再度収納します。

▶ **ジャッキポイントカバー装備車両：** サイドスカートにカバーを取り付けます。

▶ 新しく取り付けたタイヤの空気圧を点検し、必要な場合は調整します。規定のタイヤ空気圧に従ってください（▷ 447 ページ）。

ホイールとタイヤの組み合わせ

全体的な注意事項

! 安全に走行するため、タイヤとホイールは必ず純正品および承認されている製品を使用してください。

それらのタイヤは、ABS や ESP® などの走行安全システムに適応しており、以下のマークが付いています。

- MO=Mercedes-Benz Original
- MOE=Mercedes-Benz Original Extended（ランフラットタイヤ）。
- MO1=Mercedes-Benz Original（特定の AMG タイヤ）。

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）は、純正品および承認されたホイールのみに装着できます。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリーを使用しないでください。車両操縦性や騒音、排出物、燃料消費などに悪影響を与えるおそれがあります。また、乗車人数や荷物が増えた場合などには、タイヤやホイールが車体やサスペンションに接触するおそれがあり、タイヤや車両の損傷につながるおそれがあります。

純正品および承認された製品以外のタイヤやホイール、アクセサリーを装着した場合は、損傷が生じても保証の対象外になります。

タイヤやホイール、および指定された組み合わせなどについての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお尋ねください。

! 再生タイヤは、以前の使用状況を確認することが難しいため、使用をお勧めできません。再生タイヤを装着した場合、安全性の保証はできなくなります。中古タイヤは、過去の使用状況が確認できない場合は装着しないでください。

! 大径ホイール：悪路での乗り心地や走行快適性および安定性が低下します。さらに路面の障害物を乗り越える際にホイールやタイヤが損傷する危険性が高くなります。

以下のタイヤ一覧表にある略号

- BA：前後の車輪
- FA：前輪
- RA：後輪

さまざまな使用条件での規定タイヤ空気圧の表は、車両の燃料給油口フラップの内側にあります。タイヤ空気圧に関してのさらなる情報は（▷447 ページ）をご覧ください。定期的に、かつタイヤが冷えているときのみにタイヤ空気圧を点検してください。

タイヤおよびホイールは、以下の点を確認して正しく装着してください。

- 左右には必ず同サイズのタイヤを装着してください。
- サマータイヤ、ウィンタータイヤ、MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）など、異なる種類のタイヤを同時に装着しないでください。

MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）装備車両には、出荷時はタイヤフィットキットは装備されていません。ウィンタータイヤなど、ランフラット特性を持たないタイヤを装着するときは、タイヤフィットを追加で装備することをお勧めします。タイヤフィットはメルセデス・ベンツ指定サービス工場でお買い求めください。

タイヤ

E250

サマータイヤ

R16

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95W[2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95W[2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL[3]	BA：8.5Jx18 H2 ET48
FA：245/40R18 97Y XL RA：265/35R18 97Y XL[5]	FA：8.5Jx18 H2 ET48 RA：9.0Jx18 H2 ET54

ウィンタータイヤ

R16

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S	BA：8.5Jx18 H2 ET48

E300

サマータイヤ

R16

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95W[2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95W[2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL[3]	BA：8.5Jx18 H2 ET48
FA：245/40R18 97Y XL RA：265/35R18 97Y XL[5]	FA：8.5Jx18 H2 ET48 RA：9.0Jx18 H2 ET54

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：245/35R19 93Y XL[6、7、8] RA：275/30R19 96Y XL[5、6、7、8]	FA：8.5Jx19 H2 ET48 RA：9.5Jx19 H2 ET48

ウィンタータイヤ

R16

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
6 AIR マティックサスペンション（コード 489）、DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）またはスポーツパッケージ（コード 950）との組み合わせのみ。
7 フロア格納式サードシート（コード 844）（ステーションワゴン）との組み合わせを除く。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S	BA：8.5Jx18 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。

E300 4MATIC

サマータイヤ

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL	BA：8.5Jx18 H2 ET48

R19[2]

タイヤ	軽合金ホイール
FA：245/35R19 93Y XL[6、7、8] RA：275/30R19 96Y XL[5、6、7、8]	FA：8.5Jx19 H2 ET48 RA：9.5Jx19 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
6 AIR マティックサスペンション（コード 489）、DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）またはスポーツパッケージ（コード 950）との組み合わせのみ。
7 フロア格納式サードシート（コード 844）（ステーションワゴン）との組み合わせを除く。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。

ウィンタータイヤ

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95H M+S ⛰ [2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95H M+S ⛰ [2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S ⛰	BA：8.5Jx18 H2 ET48

E350

サマータイヤ

R16[9]

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95W[2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
9 スポーツパッケージ（コード 950）またはエクステリアスポーツパッケージ（コード P96）との組み合わせを除く。

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95W[2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL[3]	BA：8.5Jx18 H2 ET48
FA：245/40R18 97Y XL RA：265/35R18 97Y XL[5]	FA：8.5Jx18 H2 ET48 RA：9.0Jx18 H2 ET54

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：245/35R19 93Y XL[6、7、8] RA：275/30R19 96Y XL[5、6、7、8]	FA：8.5Jx19 H2 ET48 RA：9.5Jx19 H2 ET48

ウィンタータイヤ

R16[9]

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95H M+S [2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
6 AIR マティックサスペンション（コード 489）、DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）またはスポーツパッケージ（コード 950）との組み合わせのみ。
7 フロア格納式サードシート（コード 844）（ステーションワゴン）との組み合わせを除く。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。
9 スポーツパッケージ（コード 950）またはエクステリアスポーツパッケージ（コード P96）との組み合わせを除く。

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95H M+S [2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S [3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S	BA：8.5Jx18 H2 ET48

E350 BlueTEC

サマータイヤ

R16[9]

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95W[2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95W[2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99W XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99Y XL[3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
9 スポーツパッケージ（コード 950）またはエクステリアスポーツパッケージ（コード P96）との組み合わせを除く。

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95W[2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL[3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99Y XL MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL[3]	BA：8.5Jx18 H2 ET48
FA：245/40R18 97Y XL RA：265/35R18 97Y XL[5]	FA：8.5Jx18 H2 ET48 RA：9.0Jx18 H2 ET54

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：245/35R19 93Y XL[6、7、8] RA：275/30R19 96Y XL[5、6、7、8]	FA：8.5Jx19 H2 ET48 RA：9.5Jx19 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
6 AIR マティックサスペンション（コード 489)、DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）またはスポーツパッケージ（コード 950）との組み合わせのみ。
7 フロア格納式サードシート（コード 844）（ステーションワゴン）との組み合わせを除く。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。

ウィンタータイヤ

R16[10]

タイヤ	軽合金ホイール
BA：225/55R16 95H M+S ⛰ [2]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：7.5Jx16 H2 ET45.5
BA：225/55R16 95H M+S ⛰ [2]	BA：8.0Jx16 H2 ET46
BA：225/55R16 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：8.0Jx16 H2 ET46

R17

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/45R17 95H M+S ⛰ [2]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ MOExtended[4]	BA：8.0Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 95H M+S ⛰ [2]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ [3]	BA：8.5Jx17 H2 ET48
BA：245/45R17 99H XL M+S ⛰ MOExtended[4]	BA：8.5Jx17 H2 ET48

2 セダンのみ。
3 ステーションワゴンのみ。
4 MOExtended タイヤ（ランフラットタイヤ）はタイヤ空気圧警告システムが作動しているときのみ使用することができます。
10 スポーツパッケージ（コード 950）またはエクステリアパッケージ（コード P96）との組み合わせを除く。

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S	BA：8.5Jx18 H2 ET48

E550

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97Y XL[3]	BA：8.5Jx18 H2 ET48
FA：245/40R18 97Y XL RA：265/35R18 97Y XL[5]	FA：8.5Jx18 H2 ET48 RA：9.0Jx18 H2 ET54

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：245/35R19 93Y XL[6、7、8] RA：275/30R19 96Y XL[5、6、7、8]	FA：8.5Jx19 H2 ET48 RA：9.5Jx19 H2 ET48

ウィンタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
BA：245/40R18 97H XL M+S	BA：8.5Jx18 H2 ET48

3 ステーションワゴンのみ。
5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
6 AIR マティックサスペンション（コード 489）、DIRECT CONTROL サスペンション（コード 677）またはスポーツパッケージ（コード 950）との組み合わせのみ。
7 フロア格納式サードシート（コード 844）（ステーションワゴン）との組み合わせを除く。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。

E63 AMG

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/40ZR18（99Y）XL MO1[11] RA：285/35ZR18（101Y）XL MO1[5、11]	FA：9.0Jx18 H2 ET37 RA：9.5Jx18 H2 ET52

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35ZR19（96Y）XL[8] RA：285/30ZR19（98Y）XL[5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

ウィンタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/40R18 99V XL M+S [11] RA：255/40R18 99V XL M+S [11]	FA：9.0Jx18 H2 ET37 RA：9.5Jx18 H2 ET52

5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。
11 AMG カーボンセラミックブレーキとの組み合わせを除く。

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35R19 96V XL M+S 8、12 RA：255/35R19 96V XL M+S 8、12、13	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52
FA：255/35R19 96V XL M+S 8 RA：285/30R19 98V XL M+S 5、8	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

E63 AMG S

サマータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/40ZR18（99Y）XL MO1[11] RA：285/35ZR18（101Y）XL MO1[5、11]	FA：9.0Jx18 H2 ET37 RA：9.5Jx18 H2 ET52

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35ZR19（96Y）XL[8] RA：285/30ZR19（98Y）XL[5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

5 スノーチェーンの使用は許可されていません。" スノーチェーン " の注意事項に従ってください。
8 " ホイールとタイヤの組み合わせ " の " 全体的な注意事項 " にある大型ホイールの注意事項に従ってください。
11 AMG カーボンセラミックブレーキとの組み合わせを除く。
12 ステーションワゴン：最高許容速度 220km/h
13 ファインリンクスノーチェーンのみ使用することができます。

ウィンタータイヤ

R18

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/40R18 99V XL M+S [11] RA：255/40R18 99V XL M+S [11]	FA：9.0Jx18 H2 ET37 RA：9.5Jx18 H2 ET52

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35R19 96V XL M+S [8、12] RA：255/35R19 96V XL M+S [8、12、15]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52
FA：255/35R19 96V XL M+S [8] RA：285/30R19 98V XL M+S [5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

E63 AMG 4MATIC

サマータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35ZR19（96Y）XL[8] RA：285/30ZR19（98Y）XL[5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

5 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の注意事項に従ってください。
8 "ホイールとタイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある大型ホイールの注意事項に従ってください。
11 AMG カーボンセラミックブレーキとの組み合わせを除く。
12 ステーションワゴン：最高許容速度 220km/h
15 ファインリンクスノーチェーンのみ使用することができます。

ウィンタータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35R19 96V XL M+S [8、12] RA：255/35R19 96V XL M+S [8、12、16]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52
FA：255/35R19 96V XL M+S [8] RA：285/30R19 98V XL M+S [5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

E63 AMG S 4MATIC

サマータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35ZR19（96Y）XL[8] RA：285/30ZR19（98Y）XL[5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

ウィンタータイヤ

R19

タイヤ	軽合金ホイール
FA：255/35R19 96VXL M+S [8、12] RA：255/35R19 96VXL M+S [8、12、16]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52
FA：255/35R19 96VXL M+S [8] RA：285/30R19 98VXL M+S [5、8]	FA：9.0Jx19 H2 ET37 RA：9.5Jx19 H2 ET52

5 スノーチェーンの使用は許可されていません。"スノーチェーン"の注意事項に従ってください。
8 "ホイールとタイヤの組み合わせ"の"全体的な注意事項"にある大型ホイールの注意事項に従ってください。
12 ステーションワゴン：最高許容速度 220km/h
16 ファインリンクスノーチェーンのみ使用することができます。

応急用スペアタイヤ

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

スペアタイヤ / 応急用スペアタイヤと、交換した車輪のホイールまたはタイヤでは、サイズやタイヤの種類が異なることがあります。スペアタイヤ / 応急用スペアタイヤを装着すると、走行特性が著しく損なわれることがあります。事故の危険性があります。

危険な状態を避けるため、以下に注意してください。

- 道路や交通状況に運転スタイルを合わせ、慎重に運転してください
- サイズの異なるスペアタイヤ / 応急用スペアタイヤを 1 つ以上装着しないでください
- サイズの異なるスペアタイヤ / 応急用スペアタイヤは一時的にのみ使用してください
- ESP® を解除しないでください
- サイズの異なるスペアタイヤ / 応急用スペアタイヤは最寄りのメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。タイヤの種類とともに、ホイールとタイヤのサイズが正しいことに注意してください。

サイズの異なるスペアタイヤ / 応急用スペアタイヤを使用するときは、最高速度が 80km/h を超えないようにしてください。

応急用スペアタイヤには、スノーチェーンを装着しないでください。

全体的な注意事項

特に長距離走行の前には、応急用スペアタイヤを含めて、すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要であれば空気圧を調整してください（▷447 ページ）。

応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている制限速度を守って正しく使用してください。

摩耗の程度に関わらず、6 年以上経過したタイヤは新品と交換してください。これは応急用スペアタイヤにも該当します。

ℹ 応急用スペアタイヤを装着して走行するときは、タイヤ空気圧警告システムは正常に作動しません。パンクしたタイヤを交換してから、タイヤ空気圧警告システムを再起動してください。

応急用ミニスペアタイヤ / コラプシブル応急用スペアタイヤの取り外し

収納スペースを開く

セダン：応急用スペアタイヤはトランクフロアボード下の収納スペースにあります。

▶ トランクフロアボードを上げます（▷ 384 ページ）。

ステーションワゴン：応急用スペアタイヤは、EASY-PACK フロアボード下の収納スペースにあります。

▶ **フロア格納式サードシート非装備車両：**EASY-PACK フロアボード（▷ 385 ページ）を上げます。

▶ **フロア格納式サードシート装備車両：** サードシートのシートクッションを取り外します（▷141 ページ）。

例：フロア格納式サードシート非装備ステーションワゴン

▶ **フロア格納式サードシート非装備車両：** 小物入れ ① を取り外します。

▶ **フロア格納式サードシート装備車両：** ラゲッジルームフロアボードを上げます。

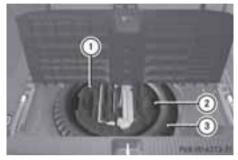
応急用スペアタイヤの取り外し（セダンおよびフロア格納式サードシート非装備ステーションワゴン）。

例：セダン

▶ 車載工具トレイ ① を取り外します。

▶ 収納トレイ ② を反時計回りにまわし、取り外します。

▶ 応急用ミニスペアタイヤ ③ またはコラプシブル応急用スペアタイヤを取り外します。

応急用スペアタイヤの取り外し（フロア格納式サードシート装備ステーションワゴン）。

▶ 凹部 ② を持って車載工具キットのトレイ ① を取り外します。

▶ 応急用ミニスペアタイヤまたはコラプシブル応急用スペアタイヤ ③ を取り外します。

" 車輪の取り付け "（▷451 ページ）の説明および安全上の注意事項に従ってください。

使用したコラプシブル応急用スペアタイヤを収納する

! コラプシブル応急用スペアタイヤは、必ず乾いてから収納してください。車内が湿気を帯びる原因になります。

使用したコラプシブル応急用スペアタイヤを収納するためには、以下の手順を行ないます。さもなければ、スペアタイヤのスペースに収納することができません。この作業は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼することをお勧めします。

▶ バルブキャップをバルブから外します。

▶ バルブキャップの裏側を使用してバルブインサートをバルブから外し、空気を抜きます。

ℹ タイヤを完全にしぼませるには数分かかります。

▶ 空気が抜けたら、バルブインサートをバルブに取り付けます。

▶ バルブキャップを取り付けます。

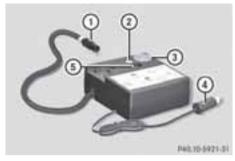
▶ 車載工具から保護シートを取り出し、コラプシブル応急用スペアタイヤにかぶせます。

▶ コラプシブル応急用スペアタイヤを、フロアボード下の専用スペースに収納します。

コラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れる

❗ 車両をジャッキダウンする前に、電動エアポンプでコラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れていない場合は、ホイールリムを損傷するおそれがあります。

❗ 電動エアポンプは、一度に約 8 分以上連続して作動させると、ポンプがオーバーヒートするおそれがあります。

電動エアポンプが冷えたら、再び作動させることができます。

▶ コラプシブル応急用スペアタイヤを記載されているように取り付けます（▷451 ページ）。

空気を入れる前にコラプシブル応急用スペアタイヤを取り付けてください。

▶ 電源プラグ ④ とエアホースをハウジングから取り出します。

▶ コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを取り外します。

▶ エアホースのユニオンナット ① をコラプシブル応急用スペアタイヤのバルブに取り付けます。

▶ 電動エアポンプの電源スイッチ ⑤ が **0** の位置になっていることを確認します。

▶ コネクター ④ を車内のライターソケットまたは 12V 電源ソケットに差し込みます。

ライターの注意事項（▷392 ページ）、または 12V 電源ソケットの注意事項（▷393 ページ）に従ってください。

▶ イグニッション位置を **1** にします。

▶ 電動エアポンプの電源スイッチ ⑤ を **I** の位置にします。

電動エアポンプが作動し始めます。コラプシブル応急用スペアタイヤに空気が送り込まれます。タイヤ空気圧は、空気圧ゲージ ③ に表示されます。

- 指定空気圧になるまで、コラプシブル応急用スペアタイヤに空気を入れます。

  指定空気圧は、コラプシブル応急用スペアタイヤの黄色のラベルに記載されています。

- 指定空気圧に達したら、電動エアポンプの電源スイッチ ⑤ を **0** の位置にします。電動エアポンプが停止します。
- イグニッション位置を **0** にします。
- 指定空気圧を超えたときは、空気圧調整スイッチ ② を押して、適正な空気圧になるまで空気を抜きます。
- エアホースのユニオンナット ① をコラプシブル応急用スペアタイヤのバルブから外します。
- コラプシブル応急用スペアタイヤのバルブキャップを取り付けます。
- 電源プラグ ④ とエアホースをハウジングの下部に収納します。
- 電動エアポンプを車内に収納します。

サービスデータ

全車両（AMG 車両を除く）

応急用ミニスペアタイヤ

タイヤ	軽合金ホイール
T155/70R17 110M[18] タイヤ空気圧：420kPa（4.2bar/61psi)	4.0Bx17 H2 ET34[18]
T155/60R18 107M[19] タイヤ空気圧：420kPa（4.2bar/61psi)	4.5Bx18 H2 ET36[19]

AMG 車両

コラプシブル応急用スペアタイヤ

タイヤ	軽合金ホイール
175/50-19 97P タイヤ空気圧：350kPa(3.5bar/51psi)	6.5Bx19 H2 ET14

18 E550 を除く
19 E550

役に立つ情報………………………… 482
車両の電子制御部品………………… 482
ビークルプレート / 車台番号 …… 482
サービスプロダクトと容量………… 483
車両データ…………………………… 491

役に立つ情報

ℹ この取扱説明書は発行時点で利用可能な、車両のすべてのモデルやシリーズ、オプション装備を記載しています。お客様の車両には記載されている全ての機能が装備されていないことがあることにご留意ください。これは安全に関するシステムや機能の場合もあります。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場で情報をご覧ください（▷28 ページ）。

車両の電子制御部品

エンジン電子制御部品の改造

❗ コントロールユニット、センサー、コネクターケーブルなど、電子制御部品およびその関連部品に関わる点検整備や修理などの作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に依頼してください。車両の構成部品が通常より早く摩耗したり、車両の使用許可が無効になることがあります。車両に該当するデータは、車両のビークルプレートで確認できます。

無線機の装着（RF 送信機）

RF 送信機の装着については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ビークルプレート / 車台番号

ビークルプレート

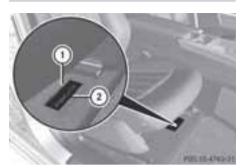
例：ビークルプレート（右ハンドル車）

▶ 運転席ドアを開きます。

ビークルプレート ① が確認できます。

例：ビークルプレート
① 車台番号

ℹ 車両のビークルプレートに記されているデータは一例です。このデータは車両ごとに異なりますので、ここに示すデータとは異なることがあります。

車台番号

▶ 右側前席をいっぱいまで後方に動かします。

▶ フロアカバー ① をめくりあげます。車台番号 ② が確認できます。

車台番号はビークルプレートでも確認できます。

エンジン番号

エンジン番号は、エンジンブロックに打刻されています。詳細はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

サービスプロダクトと容量

重要な安全上の注意事項

⚠ 警告

サービスプロダクトは健康に有害で危険です。けがの危険性があります。

サービスプロダクトの使用、保管および廃棄については、容器のラベルの指示に従ってください。サービスプロダクトは必ず元の容器に密閉して保管してください。サービスプロダクトは子供の手の届かないところに保管してください。

環境に関する注意事項

燃料および油脂類は、環境に配慮した方法で廃棄してください。

サービスプロダクトには以下のものが含まれます。

- 燃料（ガソリン、軽油など）
- 排気ガス後処理装置の添加剤、AdBlue®など
- 潤滑剤（エンジンオイル、オートマチックトランスミッションオイルなど）
- 冷却水
- ブレーキ液
- ウォッシャー液
- エアコンディショナーの冷媒

サービスプロダクトの取り扱い、保管および廃棄については、法令に従ってください。

メルセデス・ベンツが承認するサービスプロダクトは、容器に以下のようなマークが付いています。

- MB-Freigabe（MB-Freigabe229.51など）
- MBApproval（MBApproval229.51 など）

これ以外のマークや記載は、MB シート番号（MB229.5 など）に準拠した品質レベルまたは仕様を示しています。これらは、メルセデス・ベンツによる承認は必要としません。

さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

燃料

重要な安全上の注意事項

⚠ **警告**

燃料は可燃性の高いものです。燃料を不適切に扱った場合は、火災および爆発の危険性があります。

火気、裸火、火花の発生および喫煙は避けてください。給油の前にはエンジンを停止してください。

⚠ **警告**

燃料は健康に有毒で危険です。けがの危険性があります。

燃料は決して飲み込まないでください。また目や衣服に付着させないでください。気化した燃料を吸い込まないでください。燃料は子供から離してください。

お客様または他の方が燃料に触れた場合は、以下に従ってください。

- 石鹸および水道水を使用して、ただちに肌から燃料を洗い流してください。
- 燃料が目に入った場合は、ただちに清潔な水で十分にすすいでください。ただちに医師の診察を受けてください。
- 燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。吐かせないでください。
- 燃料が付着した衣服はただちに替えてください。

タンク容量

車両装備に応じて、燃料タンクの全容量は異なることがあります。

モデル	全容量
AMG 車両	66.0 ℓ または 80.0 ℓ
他の全モデル	59.0 ℓ または 80.0 ℓ

モデル	予備燃料量
全容量 59.0 ℓ のモデル	8.0 ℓ
全容量 80.0 ℓ のモデル	9.0 ℓ
AMG 車両	14.0 ℓ

ガソリンエンジン搭載車両

燃料のグレード

! ガソリンエンジン車両に給油するために軽油を使用しないでください。誤って異なる燃料を給油した場合は、イグニッションをオンにしないでください。燃料が燃料システムに入るおそれがあります。少量の誤った燃料でも、燃料システムやエンジンの損傷につながるおそれがあります。メルセデス·ベンツ指定サービス工場に連絡して、燃料タンクや燃料系統から完全に抜き取ってください。

! 無鉛プレミアムガソリンのみを使用して給油してください。エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷する原因になります。

! 必ず指定の燃料を使用してください。その他の燃料で車両を使用すると、エンジンの不具合の原因になります。

! 以下のような燃料を使用しないでください。

- E85（エタノール配合率 85% のガソリン）
- E100（エタノール 100%）
- M15（メタノール配合率 15% のガソリン）
- M30（メタノール配合率 30% のガソリン）
- M85（メタノール配合率 85% のガソリン）
- M100（メタノール 100%）
- 金属を含む添加剤を含有したガソリン
- 軽油

このような燃料を車両に推奨されている燃料と混合しないでください。

添加剤を使用しないでください。エンジンの損傷につながるおそれがあります。ただし、スラッジの生成を抑制・除去する効果のある添加剤を除きます。ガソリンにはメルセデス・ベンツで推奨された添加剤のみを混合してください。さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

通常、燃料のグレードは給油ポンプに記載されています。給油ポンプにラベルが見当たらないときは、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。

i E10 には最大 10% のバイオエタノールが含まれています。お客様の車両は E10 燃料の使用に適しています。E10 燃料を使用してお客様の車両に給油することができます。

i 推奨燃料が使用できない場合は、一時的な手段として無鉛レギュラーガソリンを使用することができます。これにより、エンジン性能が低下したり、燃料消費が増加することがあります。フルスロットルでの走行および急加速は避けてください。

給油に関する情報は（▷210 ページ）をご覧ください。

AMG 車両

! 燃料を給油するときは、無鉛プレミアムガソリンを使用してください。

指定以外の燃料を給油すると、エンジンの出力が低下したり、エンジンが損傷するおそれがあります。

! 緊急時で指定燃料が入手できないときに限り、無鉛レギュラーリンも使用できます。

その結果燃料消費量が著しく増大し、エンジン出力は著しく低下します。アクセルをいっぱいに踏み込んで運転することは避けてください。

E250、E300、E300 4MATIC および E350

! 触媒コンバーターの損傷を防ぐために、必ず無鉛プレミアムガソリンを給油してください。

エンジンの作動に問題がある場合は、ただちに点検および修理を受けてください。余分な未燃焼燃料が触媒コンバーターに流入すると、触媒コンバーターが過熱し火災の原因になります。

添加剤

! 燃料添加剤を加えてエンジンを作動させると、エンジン故障につながるおそれがあります。燃料に燃料添加剤を混ぜないでください。これには、生成堆積物除去および防止のための添加剤は含まれません。ガソリンにはメルセデス・ベンツにより承認された添加物のみを混合してください。製品の容器に記載された使用上の注意をお守りください。推奨添加剤に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

メルセデス・ベンツは、添加剤が含まれている燃料ブランドの使用を推奨します。

燃料の中には、品質の劣るものがあります。このような燃料を使用すると、エンジン内部にスラッジが形成されるおそれがあります。その場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談の上、純正の洗浄添加剤をガソリンに注入してください。常に容器に記載された注意事項および配合率に従ってください。

ディーゼルエンジン搭載車両

燃料のグレード

⚠ 警告

ディーゼル燃料をガソリンと混ぜると、引火点は純粋なディーゼル燃料のものよりも低くなります。エンジンがかかっているときに、排気システムの部品が気付かないうちに過熱することがあります。火災の危険性があります。ガソリンを給油しないで下さい。ガソリンをディーゼル燃料と混ぜないでください。

! 以下のような燃料を使用しないでください。

- 船舶機用ディーゼル燃料
- 暖房用軽油
- バイオディーゼル
- 植物油
- ガソリン
- パラフィン油
- 灯油 / 白灯油

これらの燃料をディーゼル燃料に混ぜたり、いかなる特殊な添加剤も使用しないでください。エンジンの損傷につながるおそれがあります。

! 硫黄含有量が高い燃料を使用しないでください。エミッションコントロールシステムが損傷するおそれがあります。

通常、燃料のグレードは給油ポンプに記載されています。給油ポンプにラベルが見当たらないときは、ガソリンスタンドのスタッフにおたずねください。給油に関する情報は（▷210 ページ）をご覧ください。

外気温度が低いとき

冬季の始まりには、車両には冬季用ディーゼルを給油してください。

冬季の間は、低温流動性を改善したディーゼル燃料を入手することができます。

気候要件に対応するディーゼル燃料を給油することで故障を防ぐことができます。

外気温度が低い場合、ディーゼル燃料の流動特性が不十分になる可能性があります。そのため、温暖地で販売されているディーゼル燃料は、寒冷地での使用には適していません。

燃料消費に関する情報

環境保護に関する注意事項

CO_2（二酸化炭素）の排出は、地球温暖化の主な原因となります。車両の CO_2 排出量は、燃料消費と直接関係があり、以下によって変化します。

- エンジンの燃焼効率
- 走行スタイル
- 環境の影響や道路状況、交通の流れのような、技術的ではない他の要因

緩やかな運転を心がけ、定期的に点検整備を行なうことにより、CO_2 排出量を最小限に抑えることができます。

以下のような状況では、燃料消費量が増加します。

- 外気温が非常に低いとき
- 市街地を走行するとき
- 短距離を走行するとき
- 山道や坂道を走行しているとき

AdBlue®

重要な安全上の注意事項

AdBlue® を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷483 ページ）。

AdBlue® はディーゼルエンジンの排気ガス後処理装置用の水溶性の液体です。以下のような特徴があります。

- 無毒
- 無色および無臭
- 不燃性

AdBlue® タンクを開くと、少量のアンモニアの気体が放たれることがあります。アンモニアの気体は刺激臭があり、特に皮膚、粘膜そして目に刺激を与えます。目、鼻および喉に燃えるような感覚を感じることがあります。咳き込んだり、涙目になる可能性があります。

アンモニアの気体が発生したときは、吸い込まないでください。AdBlue® タンクの補充は、必ず換気の行き届いた場所で行なってください。

外気温度が低いとき

AdBlue® は約-11℃の温度で凍結します。車両には AdBlue® 予熱ヒーターが標準装備されています。そのため、-11℃以下の温度でも冬季の作動が保証されています。

グレード

! ISO22241 に準拠した AdBlue® のみを使用してください。添加剤を AdBlue® に加えたり、AdBlue® を水で薄めたりしないでください。排気ガス後処理装置が故障する場合があります。

純度

! AdBlue® 内に不純物（他のサービスプロダクト、クリーナー、ほこりなど）が混入すると、以下のトラブルが起こるおそれがあります。

- 排出ガス値の増加
- 触媒コンバーターの損傷
- エンジンの損傷
- 排気ガス後処理装置の故障

排気ガス後処理装置の故障を防ぐためには、AdBlue® の純度が特に重要になります。

補修作業などで AdBlue® を AdBlue® タンクから汲み出したときは、この AdBlue® をタンクに戻さないでください。液体の純度が保証できなくなります。

容量

モデル	全容量
E 350 BlueTEC	24.5 ℓ

エンジンオイル

全体的な注意事項

エンジンオイルを取り扱うときは、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷483 ページ）。

エンジンオイルの性質は、エンジンの性能や使用寿命に大きな影響を与えます。広範囲に渡る試験の末、メルセデス・ベンツでは最新の技術基準に適合するエンジンオイルのみを承認しています。

そのため、メルセデス・ベンツ車のエンジンには必ず承認されたエンジンオイルを使用してください。

テストされ、承認されたエンジンオイルについてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。エンジンオイルの交換はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことを、メルセデス･ベンツはお勧めします。

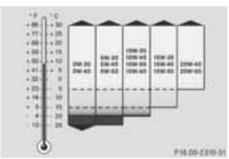
AMG 車両には、SAE 0W-40 または SAE 5W-40 のエンジンオイルのみを使用してください。

容量

以下の数値は、オイルフィルター分を含むオイル交換のものです。

モデル	交換容量
E 250	5.8 ℓ
E 550 E 350 BlueTEC	8.0 ℓ
AMG 車両	8.5 ℓ
他の全モデル	6.5 ℓ

添加剤

! エンジンオイルに添加剤を使用しないでください。エンジンを損傷するおそれがあります。

エンジンオイルの粘度

粘度は、液体の流動性を示します。エンジンオイルの粘度が高い場合はゆっくりと流れ、粘度が低いほど速く流れます。

エンジンオイルの選択は、外気温度および SAE グレード（粘度）に応じたものに基づいてください。

表は、使用するべき SAE グレードを示しています。低温の環境では、使用に伴う劣化や煤、添加剤などによりエンジンオイルの特性が著しく損なわれます。そのため、適切な SAE グレードで承認されたエンジンオイルを使用して、定期的にオイル交換を行なってください。

ブレーキ液

 警告

ブレーキ液は使用している間に大気中の湿気を吸収して劣化します。ブレーキ液の沸点を下げます。ブレーキ液の沸点が低すぎる場合、ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ液が沸騰して気泡が発生します。ブレーキ液が劣化しベーパーロックが起こると、ブレーキの性能が損なわれます。事故の危険性があります。ブレーキ液は、定期的にメルセデス・ベンツ指定サービス工場で交換してください。

ブレーキ液を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷483 ページ）。

ブレーキ液の交換時期は、整備手帳で確認してください。承認されたブレーキ液に関する情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ⓘ ブレーキ液はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換し、整備内容を整備手帳で確認してください。

冷却水

重要な安全上の注意事項

 警告

冷却水がエンジンルームの熱くなっている構成部品に触れると、発火する可能性があります。火災および火傷の危険性があります。

冷却水を補充する前にエンジンを冷やしてください。冷却水が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。エンジンを始動する前に、冷却水が付着した構成部品を清掃してください。

! 冷却水は、必ず指定の不凍液を混合したものを補給してください。エンジンを損傷するおそれがあります。

冷却水についての詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

! 必ず適切な冷却水を使用してください。不適切な冷却水を使用すると、エンジン冷却システムの腐食やオーバーヒートを防ぐことができなくなります。

ⓘ 冷却水はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で定期的に交換し、整備内容を整備手帳で確認してください。

冷却水を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷483 ページ）。

冷却水は水と不凍液 / 防錆剤の混合液です。以下の役割があります。

- 防錆保護
- 凍結防止
- 沸点の上昇

不凍液 / 防錆剤が適切な濃度の場合は、作動中の冷却水の沸点は約 130℃になります。エンジン冷却システム内の不凍液 / 防錆剤の濃度は、

- 50% 以上にしてください。

  これにより、約 -37℃までエンジン冷却システムを凍結から保護します。

- 55%（-45℃までの凍結防止保護）を超えないようにしてください。

  熱が効果的に発散しません。

冷却水が不足している場合は、必ず補充してください。

ⓘ 車両の納車時には、適切な凍結防止および防錆保護を行なうことができる濃度の冷却水が充填されています。

ⓘ 冷却水は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場での定期整備時に点検が行なわれます。

ウインドウウォッシャーシステム

重要な安全上の注意事項

> ⚠ **警告**
>
> ウインドウウォッシャー液の濃縮液は高い可燃性です。熱いエンジン部品または排気システムに触れると、発火することがあります。火災および火傷の危険性があります。ウインドウウォッシャー液の濃縮液が補充口の脇に飛散していないことを確認してください。

! 蒸留水や脱イオン水をウォッシャー液リザーブタンクに入れないでください。レベルセンサーを損傷するおそれがあります。

! 夏季用または冬季用の純正ウォッシャー液を混合して使用します。純正品以外のウォッシャー液を使用すると、噴射ノズルが詰まるおそれがあります。

ウォッシャー液を取り扱う場合は、サービスプロダクトの重要な安全上の注意事項に従ってください（▷483 ページ）。

気温が 0℃以上のとき

▶ 夏用のウォッシャー液と水を混ぜて、ウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

  夏用のウォッシャー液と水を 1：100 の混合比に混ぜます。

気温が 0℃以下のとき

▶ 冬用のウォッシャー液と水を混ぜて、ウォッシャー液リザーブタンクに補充します。

  外気温度に応じて混合比を調整してください。

  - -10℃まで：水の量 2 に対して冬用ウォッシャー液の量 1 を混合します。
  - -20℃まで：水の量 1 に対して冬用ウォッシャー液の量 1 を混合します。
  - -29℃まで：水の量 1 に対して冬用ウォッシャー液の量 2 を混合します。

ⓘ 1 年を通して、夏用または冬用のウォッシャー濃縮液を水で薄めたウォッシャー液を使用してください。

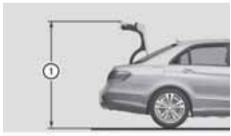
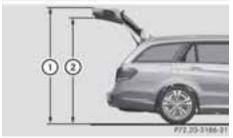
車両データ

全体的な注意事項

記載の車両データについては、以下の点にご注意ください。

- 記載の全高は、以下の条件に応じて異なります。
  - タイヤ
  - 積載状況
  - サスペンションの状態
  - オプション装備
- オプション装備は最大積載量を減少させます。

以下に記載の数値は本国仕様のものであり、日本仕様とは異なる場合があります。また、記載のないモデルや車種の数値については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

寸法および重量

モデル	① 開いたときの高さ	② 最大ヘッドルーム
セダン	1742mm-1763mm	-
ステーションワゴン	2046mm-2055mm	1923mm-1932mm
AMG 車両(セダン)	1744mm-1764mm	-
AMG 車両(ステーションワゴン)	2086mm-2106mm	-

ルーフとトランクの最大積載量

モデル	ルーフの最大最大積載量
全車種	100kg

AMG 車両	トランクの最大積載量
セダン	-
ステーションワゴン	-

他の全モデル	トランクの最大積載量
セダン	100kg
ステーションワゴン	-

バッテリー

E350BlueTEC、セダン	
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	95Ah

他の全モデル	
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	80Ah

⚠ お車をご使用になる前に必ずお読みください

デジタル版取扱説明書の訂正事項

デジタル版取扱説明書の訂正事項

以下では、デジタル版取扱説明書に該当する訂正事項を記載しています。

安全性

乗員の安全性

エアバッグ

ペルビスバッグ

記載内容	訂正内容
車両が横転した場合、ペルビスバッグは通常は作動しません。システムが横方向の車両の高い減速または加速を検知し、サイドバッグの作動によってシートベルトによりもたらされるものに補助的な保護を与えると判断した場合に、サイドバッグは作動します。	車両が横転した場合、ペルビスバッグは通常は作動しません。システムが横方向の車両の高い減速または加速を検知し、ペルビスバッグの作動によってシートベルトによりもたらされるものに補助的な保護を与えると判断した場合に、ペルビスバッグは作動します。

シートベルト

シートベルトテンショナー、ベルトフォースリミッター

記載内容	訂正内容
エアバッグが作動した場合は、爆発音が聞こえ、少量の粉が発生することもあります。爆発音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。発生した粉は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。ぜんそくや肺疾患のある方は、この粉により一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な空気を車内に取り込んでください。SRS 警告灯 が点灯します。	シートベルトテンショナーが作動した場合は、作動音が聞こえ、少量の粉末が放出されることもあります。作動音は、ごくまれに聴力に影響を与えることがあります。放出された粉末は一般的には健康を害する性質はなく、車内に火災があることを示すものでもありません。ぜんそくや肺疾患のある方は、この粉末により一時的に呼吸障害を起こすおそれがあります。潜在的な呼吸困難を防止するため、安全であればすぐに車両から離れてください。または、ウインドウを開いて新鮮な空気を車内に取り込んでください。SRS 警告灯 が点灯します。

子供を乗せるとき

チャイルドセーフティシート

重要な安全上の注意事項

記載内容 **訂正内容**

記載内容

⚠ 警告

急な進路変更時やブレーキ時、衝突時などに子供が致命的なけがをするのを防ぐため、以下の点に注意してください。

- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルトガイドの前部に向って通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。

訂正内容

⚠ 警告

急な進路変更時やブレーキ時、衝突時などに子供が致命的なけがをするのを防ぐため、以下の点に注意してください。

- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向かうようにシートベルトの高さを調整します。

助手席でのチャイルドセーフティシート

記載内容

訂正内容

記載内容

⚠ 警告

助手席フロントエアバッグの機能が解除されていないときは、以下のように対処してください。

- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、車両のシートベルトアウトレットのショルダーシートベルトをチャイルドセーフティシートのショルダーシートベルトガイドの前部に向って通すようにしてください。シートベルトが底部に沿って前部に向うようにシートベルト高さ調整を設定します。

アクティブフロントエアバッグによって保護されているシートには後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。これにより子供に致命的な、または重大なけがにつながるおそれがあります。

訂正内容

⚠ 警告

急な進路変更時やブレーキ時、衝突時などに子供が致命的なけがをするのを防ぐため、以下の点に注意してください。

- 助手席シートに前向きのチャイルドセーフティシートを固定する場合は、助手席シートをできるだけ後方に移動しなければなりません。その際、シートベルト引き出し口から出ている車両のシートベルトがチャイルドセーフティシートのショルダーベルトガイドに向かって前方に向いていることを確認してください。シートベルトが底部に沿って前部に向かうようにシートベルトの高さを調整します。

無効になっていないエアバッグによって保護されているシートには後ろ向きチャイルドセーフティシートを使用しないでください。これにより子供に致命的な、または重大なけがにつながるおそれがあります。

リアシートの ISOFIX 対応チャイルドセーフティシート固定装置

記載内容 訂正内容

記載内容

警告

子供の体重が 22 kg 以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定される ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーベルトでも固定してください。

訂正内容

警告

子供の体重が 22 kg 以上の場合は、必ず子供が車両のシートベルトでも固定される ISOFIX 対応チャイルドセーフティシートを使用してください。使用可能であれば、チャイルドセーフティシートをテザーアンカーでも固定してください。

テザーアンカー

記載内容 訂正内容

記載内容

重要な安全上の注意事項

警告

トップテザーアンカーを取り付けた後は、常にリアシートのバックレストをロックしてください。ロック確認インジケーターに注意してください。垂直になるようにリアシートのバックレストを調整します。

リアシートのバックレストが固定されていなく、ロックされていない場合は、メーターパネル内のマルチファンクションディスプレイにこれが表示されます。

警告音も鳴った。

訂正内容

重要な安全上の注意事項

警告

トップテザーアンカーを取り付けた後は、常にリアシートのバックレストをロックしてください。マルチファンクションディスプレイの警告メッセージに注意してください。

リアシートのバックレストがロックされていない場合は、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告音も鳴ります。

オープン / クローズ

トランク / ラゲッジルーム

トランクリッド / テールゲートのリバース機能

記載内容 訂正内容

記載内容

以下のとき、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じる動作の最後の 8 mm を超えている

訂正内容

⚠ 警告

以下では、リバース機能は反応しません：

- 小さな指などの、やわらかく、軽く、薄いもの
- 閉じるまで残り 8mm 以下となったとき

トランクの独立施錠（セダン）

補足内容

トランクの独立施錠機能は、特定の国でのみ使用できます。

トランクを独立施錠することができます。トランクを独立施錠しているときは、セントラルロックシステムで車を解錠しても、トランクは施錠されたままで開くことはできません。

▶ トランクリッドを閉じます。

▶ キーからエマージェンシーキーを取り外します。

1 基本位置

2 施錠

▶ エマージェンシーキーをトランクリッドのキーシリンダーに確実に差し込みます。

▶ エマージェンシーキーを時計回りにまわして、1 の位置から 2 の位置にします。

▶ エマージェンシーキーを抜きます。

▶ エマージェンシーキーをキーに収納します。

シート、ステアリングとミラー

シート

パワーシートの調整

記載内容 **訂正内容**

記載内容：
ⓘ メモリー機能付パワーシートおよび分割可倒式シート装備車両：リアシートのバックレストを倒した場合は、必要な場合はそれぞれのフロントシートが前方に少し移動します。

訂正内容：
ⓘ メモリー機能付パワーシートおよび分割可倒式シート装備車両：リアシートのバックレストのロックを解除したときは、状況によってはそれぞれのフロントシートが前方に少し移動します。

ヘッドレストの調整

リアシートのヘッドレスト

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

リアシートのヘッドレストの脱着

▶ **取り付ける：**進行方向に見て、支柱の切り欠きが左側になるようにして、ヘッドレストを差し込みます。

訂正内容：

リアシートのヘッドレストの脱着

▶ **取り付ける：**支柱の切り欠きが進行方向右側になるようにして、ヘッドレストを差し込みます。

ラゲッジルームの収納式シート（ステーションワゴン）

ラゲッジルームの収納式シートを展開する

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

▶ ヘッドレストを上方に引き出します。

訂正内容：

▶ ヘッドレストを上方に引き出します。

▶ ヘッドレストを上方に起こして固定します。

ステアリング

イージーエントリー機能

イージーエントリー機能が作動しているときのステアリングの位置

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

以下を行なうと、ステアリングが上方に移動します。

- **キーレスゴーで：**運転席ドアを開く、エンジンスイッチのキーレスゴーは 1 の位置になければなりません。

訂正内容:

以下を行なうと、ステアリングが上方に移動します。

- **キーレスゴーで：**運転席ドアを開く。キーレスゴーは 0 または 1 の位置になければなりません。

運転のためのステアリングの位置

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

以下を行なうと、ステアリングは以前設定した位置に戻ります。

- 運転席ドアを閉じる
- **キーレスゴーで：**キーレスゴー装備車両では、キーレスゴースイッチを 1 度押します。

  または
- **キーで：**キーをエンジンスイッチに差し込みます。

訂正内容:

以下を行なうと、ステアリングは以前設定した位置に戻ります。

- 運転席ドアが閉じているときに、エンジンスイッチにキーを差し込む
- 運転席ドアを閉じて、イグニッション位置を 0 から 1、または 1 から 2 にする

ミラー

自動防眩ミラー

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

シフトポジションがリバースのとき、またはルームライトが点灯しているときは、自動防眩機能は解除されます。

訂正内容:

シフトポジションがリバースのときは、自動防眩機能は解除されます。

リバースポジション機能付ドアミラー（助手席側）

駐車位置の設定と記憶

記載内容 訂正内容

記載内容

メモリースイッチを使用して

▶ ドアミラーがその位置から動いた場合は、手順を繰り返します。

訂正内容

メモリースイッチを使用して

▶ ドアミラーがその位置から動いた場合は、手順を繰り返します。

▶ 助手席側ドアミラーを走行時の位置に調整します。

メモリー機能

メモリーの設定

記載内容 訂正内容

記載内容

メモリー機能で、例えば 3 人の方のために、3 つまでの異なる設定を記憶させることができます。

以下の項目がひとつの設定として記憶されます。

- シート、バックレストおよびヘッドレストの位置
- アクティブマルチコントロールシートバック：シートの形状、ドライビングダイナミックシートのレベル
- 運転席側：運転席および助手席側のドアミラーの角度

訂正内容

メモリー機能で、例えば 3 人の方のために、3 つまでの異なる設定を記憶させることができます。

以下の項目がひとつの設定として記憶されます。

- シート、バックレストおよびヘッドレストの位置
- アクティブマルチコントロールシートバック：シートの形状、ドライビングダイナミックシートのレベル
- 運転席側：運転席および助手席側のドアミラーの角度、ステアリングの位置

ライトおよびフロントワイパー

車外ライト

車外ライトの設定

ライトスイッチ

記載内容 訂正内容

記載内容

操作

車外ライト（車幅灯 / パーキングライト以外）は、以下の操作を行なうと自動的に消灯します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- キーが **0** の位置のときに運転席ドアを開く

ヘッドライトのオートモード

- エンジンがかかっているとき：マルチファンクションディスプレイでデイタイムドライビングライト機能を作動させている場合は、周囲の明るさの明るさ度合いよって、デイタイムドライビングライトまたは車幅灯およびロービームヘッドライトの点灯または消灯が切り替わります。

訂正内容

操作

車外ライト（ヘッドライト）は、エンジンを停止すると自動的に消灯します。

車外ライト（車幅灯）は、以下の操作を行なうと自動的に消灯します。

- エンジンスイッチからキーを抜く
- キーが **0** の位置のときに運転席ドアを開く

ヘッドライトのオートモード

- エンジンがかかっているとき：マルチファンクションディスプレイでデイタイムドライビングライト機能を作動させていない場合は、周囲の明るさによって、車幅灯およびロービームヘッドライトの点灯または消灯が自動的に切り替わります。

アダプティブハイビームアシスト・プラス

全体的な注意事項

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
パーシャルハイビーム照明は、他の道路使用者を越すようなハイビームの配光になっています。このようにして、他の道路使用者はハイビームの範囲外になります。これにより眩しさを防ぎます。先行車両がある場合は、例えばハイビームヘッドライトはその右または左の範囲を照射し、先行車両はロービームヘッドライトによって照射されます。	パーシャルハイビーム照明は、他の道路使用者を避けるようなハイビームの配光になっています。このようにして、他の道路使用者はハイビームの範囲外になります。これにより眩しさを防ぎます。先行車両がある場合は、例えばハイビームヘッドライトはその右または左の範囲を照射し、先行車両はロービームヘッドライトによって照射されます。

フロントワイパー

フロントワイパーの作動 / 停止の切り替え

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
ワイパーブレードが劣化すると、ウインドウの水滴を十分に拭き取ることができません。視界を妨げて、周囲の交通状況を把握できないおそれがあります。ワイパーブレードは春と秋の年に 2 回交換してください。	ワイパーブレードが劣化すると、ウインドウの水滴を十分に拭き取ることができません。視界を妨げて、周囲の交通状況を把握できないおそれがあります。

フロントワイパーのトラブル

ワイパーに引っかかりがある。

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ エンジンスイッチを操作してエンジンを停止し、運転席ドアを開いてください。	▶ キーレスゴースイッチを操作してエンジンを停止し、運転席ドアを開いてください。

エアコンディショナー

エアコンディショナーシステムの概要

オートエアコンディショナー（2 ゾーン）の使用に関する情報

オートエアコンディショナー

記載内容 **訂正内容**

記載内容

以下には、オートエアコンディショナー（2 ゾーン）の最適な使用に関する注意事項と推奨が含まれています。

- ゾーン機能を使用して、助手席側の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

訂正内容

以下には、オートエアコンディショナー（2 ゾーン）の最適な使用に関する注意事項と推奨が含まれています。

- ゾーン機能を使用して、助手席側の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。連動しているときは、ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

オートエアコンディショナー（3 ゾーン）の使用に関する情報

オートエアコンディショナー

記載内容 **訂正内容**

記載内容

以下に、オートエアコンディショナー（3 ゾーン）を最大限利用するための指示や推奨事項が記載されています。

- ゾーン機能を使用して、助手席側および後席の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

訂正内容

以下に、オートエアコンディショナー（3 ゾーン）を最大限利用するための指示や推奨事項が記載されています。

- ゾーン機能を使用して、助手席側および後席の設定温度を個別に調整したり、運転席側の設定温度に連動させることができます。連動しているときは、ZONE スイッチの表示灯が消灯します。

エアコンディショナーシステムの操作

ゾーン機能の設定 / 解除の切り替え

記載内容 訂正内容

記載内容:

▶ **オンにする：** ZONE スイッチを押します。
AUTO スイッチ ZONE の表示灯が点灯します。

訂正内容:

▶ **オンにする：** ZONE スイッチを押します。
ZONE スイッチの表示灯が点灯します。

フロントウインドウの曇り取り

補足内容

以下の操作では、フロントウインドウデフロスターは解除できません。

▶ オートエアコンディショナー（2 ゾーン）：送風量スイッチ⑪を上または下に押します。
オートエアコンディショナー（3 ゾーン）：送風量スイッチ⑫を上または下に押します。

内気循環モードの設定 / 解除

作動 / 解除

記載内容 訂正内容

記載内容:

▶ **作動させる：** スイッチを押します。
AUTO スイッチ の表示灯が点灯します。

訂正内容:

▶ **作動させる：** スイッチを押します。
スイッチの表示灯が点灯します。

内気循環スイッチを使用してのコンビニエンスオープニング / クロージング

記載内容 訂正内容

記載内容:

▶ その後に、スライディンググルーフ / パノラミックスライディンググルーフを開くためには、 スイッチを引き戻します。

訂正内容:

▶ その後に、スライディンググルーフ / パノラミックスライディンググルーフを開くためには、 スイッチを後方に引きます。

走行と駐車

走行

重要な安全上の注意事項

記載内容 訂正内容

記載内容

⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを妨げたり、または踏んだペダルをロックすることがあります。これは車両の操作および走行安全性を脅かします。事故の危険性があります。

訂正内容

⚠ 警告

運転席の足元の荷物は、ペダルの自由な動きを制限したり、または踏んだペダルを妨げることがあります。これは車両の操作および走行安全性をおびやかします。事故の危険性があります。

ECO スタートストップ機能

全体的な注意事項

記載内容 訂正内容

記載内容

キーまたはエンジンスイッチを使ってエンジンを始動させるたびに、ECO スタートストップ機能が作動します。

訂正内容

キーまたはキーレスゴースイッチを使ってエンジンを始動させるたびに、ECO スタートストップ機能が作動します。

オートマチックトランスミッション

走行モード選択スイッチ

全体的な注意事項

記載内容 訂正内容

記載内容

▶ 走行モード選択スイッチ①を押しながら、マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードを表示させます。

ℹ 連続走行モード M に関する詳細な情報。

この連続走行モード M と同様に、連続走行モード M も作動させることができます。

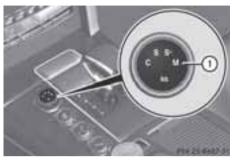
訂正内容

▶ 走行モード選択スイッチ①を繰り返し押して、マルチファンクションディスプレイに希望の走行モードを表示させます。

ℹ 連続走行モード M に関する詳細な情報。

この恒常的な走行モード M と同様に、一時的な走行モード M も作動させることができます。

AMG 車両

記載内容 訂正内容

マニュアル走行モード装備車の走行モード選択ダイヤル

ⓘ 連続走行モード M に関する詳細な情報。

この連続走行モード M と同様に、連続走行モード M も作動させることができます。

AMG 車両の走行モード選択ダイヤル

ⓘ 連続走行モード M に関する詳細な情報。

オートマチック走行モード

マニュアル走行モード M

記載内容 訂正内容

ギアのシフト

ⓘ 惰性走行時の自動的なシフトダウンの発生

ギアのシフト

ⓘ 惰性走行時には自動的にシフトダウンが行なわれます。

マニュアル走行モード（AMG 車両および AMG スポーツパッケージ装備車両）

全体的な注意事項

記載内容 訂正内容

ⓘ この恒常的な走行モード M と同様に、一時的な走行モード M も作動させることができます。

ⓘ AMG スポーツパッケージ装備車両は、この恒常的な走行モード M と同様に、一時的な走行モード M も作動させることができます。

運転のヒント

ECO インジケーター

記載内容	訂正内容
パーセンテージ数は、3 本つのバーの値の平均値です。3 つのバーおよび平均値は 50 % の値を起点としてます。高いパーセンテージ数はより経済的な運転スタイルを示しています。	パーセンテージ数は、3 つのバーの値の平均値です。3 つのバーおよび平均値は 50 % の値を起点としています。高いパーセンテージ数はより経済的な運転スタイルを示しています。
運転スタイルに加えて、消費は以下のような他の多くの要因に影響されます。	運転スタイルに加えて、消費は以下のような他の多くの要因に影響されます。
• 積載状況 • タイヤ空気圧 • 冷間始動 • ルートの選択 • 電気消費物の使用	• 積載状況 • タイヤ空気圧 • 冷間始動 • ルートの選択 • 電気装備の使用
運転スタイルの評価には、以下の 3 つのカテゴリーが考慮されます。	運転スタイルの評価には、以下の 3 つのカテゴリーが考慮されます。
• アクセル操作（すべての加速行為の評価） - バーが一番上に来ているとき：特に高い速度での適度な加速 - バーが一番下に来ているとき：スポーツ走行時の加速	• アクセル操作（すべての加速行為の評価） - バーが満たされているとき：特に高い速度での適度な加速 - バーに空白があるとき：スポーツ走行時の加速
• 平均（運転操作の常時評価） - バーが一番上に来ているとき：一定の速度、および不必要な加速および減速の回避 - バーが一番下に来ているとき：速度に変動がある	• 平均（運転操作の常時評価） - バーが満たされているとき：一定の速度、および不必要な加速および減速の回避 - バーに空白があるとき：速度に変動がある

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
• ブレーキ操作（すべての減速過程の評価） - バーが一番上に来ているとき：距離を保ちながらの予期走行およびアクセルの早期開放。車両はブレーキを使用することなく惰性走行できます。 - バーが一番下に来ているとき：ブレーキを繰り返し踏んでいる	• ブレーキ操作（すべての減速過程の評価） - バーが満たされているとき：距離を保ちながらの予期走行およびアクセルの早期開放。車両はブレーキを使用することなく惰性走行できます。 - バーに空白があるとき：ブレーキを繰り返し踏んでいる
ECO ディスプレイは走行の開始から完了までの特性曲線を要約しています。そのため、走行開始時点ではバーに活発な変化があります。長い運転時間の間では、これらの変化は小さくなります。変化の動きを見たい場合は手動でリセットしてください。	ECO 表示は走行の開始から完了までの走行特性を要約しています。そのため、走行開始時点ではバーに活発な変化があります。長い運転時間の間では、これらの変化は小さくなります。変化の動きを見たい場合は手動でリセットしてください。

ブレーキ

AMG セラミック強化ブレーキシステム

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
交換された新しいブレーキパッド / ブレーキパッドおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ性能を発揮します。	交換された新しいブレーキパッド / ライニングおよびディスクは、数百キロメートルの走行後にのみ最適なブレーキ性能を発揮します。
過度に負担があるブレーキ操作は、応じたブレーキの高い摩耗につながります。メーターパネルのブレーキパッド磨耗警告灯 を遵守し、マルチファンクションディスプレイのブレーキ状況のメッセージに注意してください。	過度に負担があるブレーキ操作は、応じたブレーキの高い摩耗につながります。マルチファンクションディスプレイのブレーキパッド磨耗警告 を遵守し、マルチファンクションディスプレイのブレーキ状況のメッセージに注意してください。

走行システム

クルーズコントロール

重要な安全上の注意事項

記載内容 **訂正内容**

記載内容：クルーズコントロールは単なる支援に過ぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時レーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

訂正内容：クルーズコントロールは単なる支援に過ぎません。運転者には車間距離を確保し、速度を調整し、適時ブレーキを効かせ、車線を維持する責任があります。

スピードリミッター

可変スピードリミッター

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

可変スピードリミッターの選択

▶ LIM 表示灯①が点灯しているか確認してください。

点灯しているときは、可変スピードリミッターはすでに選択されています。

消灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印②の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯①が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

現在の速度の記憶

▶ クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く操作します。

現在の速度が記憶され、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

マルチファンクションディスプレイのセグメントは、記憶された速度から上の部分が点灯します。

訂正内容：

可変スピードリミッターの選択

▶ LIM 表示灯①が点灯しているか確認してください。

点灯しているときは、可変スピードリミッターはすでに選択されています。

点灯していないときは、クルーズコントロールレバーを矢印②の方向に押します。

クルーズコントロールレバーの LIM 表示灯①が点灯します。可変スピードリミッターが選択されます。

現在の速度の記憶

▶ クルーズコントロールレバーを上①または下②に軽く操作します。

現在の速度が記憶され、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

マルチファンクションディスプレイのセグメントは、最初の目盛りから記憶された速度までの部分が点灯します。

ディストロニック・プラス

重要な安全上の注意事項

記載内容		訂正内容
以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください： • 滑りやすい路面ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。 速度は以下のようになるおそれがあります： • 変更される車線や滑りやすい道路で非常に高くなりすぎる • 左を走行している車両を追い越すときの右車線で高くなりすぎる（右側走行の国） • 右を走行している車両を追い越すときの左車線で高くなりすぎる（左側走行の国） 運転者を交代する場合は、次の運転者に記憶されている制限速度を伝えてください。		以下のときは、ディストロニック・プラスを使用しないでください： • 滑りやすい路面。ブレーキや加速により駆動輪が駆動力を失い、車両が滑るおそれがあります。 速度は以下のようになるおそれがあります： • 車線変更時や滑りやすい道路で速度が速すぎる • 左を走行している車両を右車線で追い越すときの速度が速すぎる（右側通行の国） • 右を走行している車両を左車線で追い越すときの速度が速すぎる（左側通行の国） 運転者を交代する場合は、交代する運転者に記憶されている速度を伝えてください。

スピードメーターのディストロニック・プラスの表示

記載内容		訂正内容
ディストロニック・プラスが非作動のときの表示 ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、距離ディスプレイ表示 機能を選択します。		**ディストロニック・プラスが非作動のときの表示** ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧 機能を選択します。
ディストロニック・プラスが作動しているときの表示 ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、距離ディスプレイ表示 機能を選択します。		**ディストロニック・プラスが作動しているときの表示** ▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧 機能を選択します。

ステアリングアシスト付ディストロニック・プラス

記載内容 訂正内容

記載内容

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、フロントウインドウ上部のカメラシステム①によって、車両の先方エリアをモニターします。

訂正内容

全体的な注意事項

ディストロニック・プラスのステアリングアシストは、フロントウインドウ上部のカメラシステム①によって、車両の前方エリアをモニターします。

記載内容 訂正内容

記載内容

重要な安全上の注意事項

以下の場合は、システムが待機状態に切り替わり、ステアリングの介入を実行することによる支援を行なわなくなります。

- 頻繁に車線を変更している。
- 方向指示灯をさせた。
- 長時間ステアリングから手を放している、またはステアリング操作をしていない。

ステアリングアシストの解除

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ディストロニック・プラスのステアリングアシストを解除します。

マルチファンクションディスプレイに DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄ オン というメッセージが表示されます。ディストロニック・プラスのステアリングアシストが解除されます。

訂正内容

重要な安全上の注意事項

以下の場合は、システムが待機状態に切り替わり、ステアリングの介入を実行することによる支援を行なわなくなります。

- 頻繁に車線を変更している。
- 方向指示灯を操作した。
- 長時間ステアリングから手を放している、またはステアリング操作をしていない。

ステアリングアシストの解除

▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、ディストロニック・プラスのステアリングアシストを解除します。

マルチファンクションディスプレイに DTR+: ｽﾃｱﾘﾝｸﾞ ｱｼｽﾄ オフ というメッセージが表示されます。ディストロニック・プラスのステアリングアシストが解除されます。

ホールド機能

ホールド機能を解除する

記載内容 訂正内容

記載内容

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます。

- 加速した。オートマチックトランスミッション装備車両：トランスミッションがシフトポジション D または R のときのみ。

訂正内容

ホールド機能は以下のときに自動的に解除されます。

- アクセルペダルを踏んだ：トランスミッションがシフトポジション D または R のときのみ。

レーススタート

作動条件

記載内容 訂正内容

記載内容

以下の場合にレーススタートを作動させることができます。

- エンジンがかかっていて、作動温度が約 80℃に達している。これは、マルチファンクションディスプレイのエンジンオイル温度が点滅し終わった場合です。

訂正内容

以下の場合にレーススタートを作動させることができます。

- エンジンがかかっていて、エンジンオイルの温度が約 80℃に達している。これは、マルチファンクションディスプレイのエンジンオイル温度が点滅し終わった場合です。

レーススタートを作動させる

記載内容 訂正内容

記載内容

ⓘ 2 秒以内にアクセルペダルをいっぱいまで踏まない場合は、レーススタートは中断されます。RACE START 使用できません 取扱説明書を参照 というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

訂正内容

ⓘ 約 2 秒以内にアクセルペダルをいっぱいまで踏み込まない場合でも、レーススタートは解除されません。

AIR マティックサスペンション

車高

記載内容

高い車高に設定する

▶ エンジンを始動してください。

表示灯②が点灯していない場合

▶ スイッチ②を押します。

表示灯①が点灯します。車高が高い車高に設定されます。

ディスプレイに車高があがりますというメッセージが表示されます。

訂正内容

高い車高に設定する

▶ エンジンを始動してください。

表示灯①が点灯していない場合

▶ スイッチ②を押します。

表示灯①が点灯します。車高が高い車高に設定されます。

ディスプレイに車高があがりますというメッセージが表示されます。

アクティブパーキングアシスト

駐車

記載内容

▶ 車両が停止している間に、トランスミッションをポジション D にシフトします。

アクティブパーキングアシストは、ただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中 ｱｸｾﾙとﾌﾞﾚｰｷを操作というメッセージが表示されます。

駐車手順が完了するとすぐに、マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト 終了というメッセージが表示され、音が聞こえます。

訂正内容

▶ 車両が停止している間に、トランスミッションをポジション D にシフトします。

アクティブパーキングアシストは、ただちに逆方向にステアリング操作を行ないます。

マルチファンクションディスプレイにﾊﾟｰｷﾝｸﾞｱｼｽﾄ作動中 ｱｸｾﾙとﾌﾞﾚｰｷを操作 周囲を確認というメッセージが表示されます。

駐車手順が完了するとすぐに、マルチファンクションディスプレイにパーキングアシスト オフというメッセージが表示され、音が聞こえます。

駐車スペースからの退出

記載内容		訂正内容
駐車スペースから完全に出たら、ステアリングを直進位置に動かします。音が聞こえ、マルチファンクションディスプレイに パーキングアシスト 終了というメッセージが表示されます。		駐車スペースから完全に出たら、ステアリングを直進位置に動かします。音が聞こえ、マルチファンクションディスプレイに パーキングアシスト オフというメッセージが表示されます。

パーキングアシストリアビューカメラ

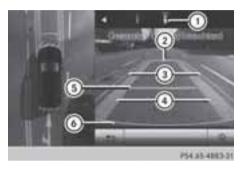
パーキングアシストリアビューカメラの作動 / 解除

記載内容		訂正内容
▶ **作動させる：**エンジンスイッチのキーが **2** の位置になっていることを確認します。 ▶ COMAND システムで " リバース連動機能 " 設定が作動していることを確認します。別冊の COMAND システムの取扱説明書をご覧ください。		▶ **作動させる：**エンジンスイッチのキーが **2** の位置になっていることを確認します。 ▶ COMAND システムで " リバース連動 " 設定が作動していることを確認します。デジタル版取扱説明書をご覧ください。

COMAND ディスプレイの表示

記載内容		訂正内容
パーキングアシストリアビューカメラは、障害物の歪んだ画像を表示したり、それらを正しく、または全く表示しないことがあります。以下の場所では、リアビューカメラでは障害物は表示されません： • テールゲートハンドルのすぐ上の範囲。		パーキングアシストリアビューカメラは、障害物の歪んだ画像を表示したり、それらを正しく、または全く表示しないことがあります。以下の場所では、リアビューカメラでは障害物は表示されません： • トランクハンドルのすぐ上の範囲。

360° カメラ

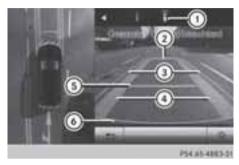
COMAND ディスプレイの表示

記載内容 → 訂正内容

記載内容

上面表示（フロントカメラからの映像）

① 上面表示とフロントカメラ映像の分割画面の設定アイコン
② 車両後部から約 4.0 m の距離の黄色のガイドライン
③ そのときのステアリング操舵角でのドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
④ そのときのステアリング操舵角でのタイヤの進路を示す黄色のレーンマーク（可変）
⑤ 車両後部から約 1.0 m の距離の黄色のガイドライン
⑥ 車両後部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン

訂正内容

上面表示（フロントカメラからの映像）

① 上面表示とフロントカメラ映像の分割画面の設定アイコン
② 車両前部から約 4.0 m の距離の黄色のガイドライン
③ そのときのステアリング操舵角でのドアミラーを含む車幅を示す黄色のガイドライン（可変）
④ そのときのステアリング操舵角でのタイヤの進路を示す黄色のレーンマーク（可変）
⑤ 車両前部から約 1.0 m の距離の黄色のガイドライン
⑥ 車両前部から約 0.30 m の距離の赤色のガイドライン

デジタル版取扱説明書の訂正事項

アテンションアシスト

重要な安全上の注意事項

記載内容		訂正内容
以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります。 • ディストロニック・プラスのアクティブステアリングアシストを作動させて走行している場合		以下のときは、アテンションアシストの機能が制限されたり、警告が遅れる、またはまったく行なわれないことがあります。 • ディストロニック・プラスのステアリングアシストを作動させて走行している場合

アテンションレベルの表示

記載内容		訂正内容
▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アテンションアシストのアシストグラフィック表示を選択します。		▶ マルチファンクションディスプレイを使用して、アシスト一覧を選択します。

アテンションアシストの作動

記載内容		訂正内容
センシティブを選択：感度がより高く設定されます。それに従ってアテンションアシストにより検知されたアテンションレベルが合わされ、運転者に早く知らされます。 アテンションアシストが解除されたときは、エンジンが停止した後に自動的に再作動します。選択される感度は、最後に作動させた選択に対応します（標準 / センシティブ）。		**高感度を選択：**感度がより高く設定されます。それに従ってアテンションアシストにより検知されたアテンションレベルが合わされ、運転者に早く知らされます。 アテンションアシストが解除されたときは、エンジンが停止した後に自動的に再作動します。選択される感度は、最後に作動させた選択に対応します（標準 / 高感度）。

アクティブドライビングアシスタンスパッケージ

アクティブレーンキーピングアシスト

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
車線修正ブレーキの適用 アクティブレーンアシストは、与えられた交通状況の判断を誤る可能性があります。不適切なブレーキの適用は、以下のときにいつでも中断されます。	**車線修正ブレーキの適用** アクティブレーンキーピングアシストは、与えられた交通状況の判断を誤る可能性があります。不適切なブレーキの適用は、以下のときにいつでも中断されます。

マルチファンクションディスプレイと表示

ディスプレイおよび操作

マルチファンクションディスプレイ

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
LIM スピードリミッター	LIM 可変スピードリミッター

メニューおよびサブメニュー

トリップメニュー

トリップコンピューター " スタート後 " または " リセット後 "

記載内容 訂正内容

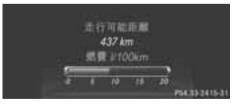
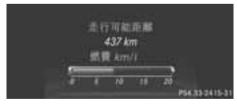
例:"スタート後"のトリップコンピューター
① 距離
② 時計
③ 平均速度
④ 平均燃費

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、スタート からまたはリセット後を選択します。

例:"スタート後"のトリップコンピューター
① 距離
② 時間
③ 平均速度
④ 平均燃費

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、スタート後またはリセット後を選択します。

走行可能距離と現在の燃料消費の表示

記載内容 訂正内容

可能となる概算の航続距離は、燃料の量やそのときの運転スタイルによって変わります。燃料タンク内に残っている燃料の量が少ないときは、給油中の車両のマーク が、走行可能距離の代わりにディスプレイに表示されます。

可能となる概算の走行可能距離は、燃料の量やそのときの運転スタイルによって変わります。燃料タンク内に残っている燃料の量が少ないときは、給油中の車両のマーク が、走行可能距離の代わりにディスプレイに表示されます。

オーディオメニュー

オーディオプレーヤーまたはオーディオメディアの操作

記載内容

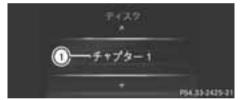
訂正内容

例：CD/DVD チェンジャー画面
① 現在のトラック

例：CD モード表示
① 現在のトラック

DVD ビデオの操作

記載内容

訂正内容

例：CD/DVD チェンジャー画面
① 現在のシーン

例：DVD モード表示
① 現在のシーン

アシストメニュー

PRE-SAFE® ブレーキの設定 / 解除

記載内容

訂正内容

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、ﾌﾟﾚｾｰﾌﾌﾞﾚｰｷを選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、PRE-SAFE ﾌﾞﾚｰｷを選択します。

アクティブブラインドスポットアシストの設定 / 解除

記載内容 **訂正内容**

記載内容	訂正内容
▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、ブラインドスポットアシストを選択します。	▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、ブラインドスポットを選択します。

設定メニュー

メーターパネル

記載内容 **訂正内容**

記載内容	訂正内容
距離単位の設定 • ナビメニューのナビゲーション案内	**距離単位の設定** ナビメニューのナビゲーション案内には適用されません。

ライト

記載内容 **訂正内容**

記載内容	訂正内容
ロケイターライティング / 車外ランプ残照機能の設定 / 解除	**ロケイターライティング / 車外ライト残照機能の設定 / 解除**
• **車外ランプ残照機能**：エンジンを停止した後、約 60 秒間点灯し続けます。 すべてのドアとトランクリッド / テールゲートを閉じると、約 5 秒に車外ランプが消灯します。	• **車外ライト残照機能**：エンジンを停止した後、約 60 秒間点灯し続けます。 すべてのドアとトランクリッド / テールゲートを閉じると、約 15 秒後に車外ライトが消灯します。
ⓘ ロケイターライティングおよび車外ライト残照機能を設定してあるときは、車両の装備に応じて以下のライトが点灯します。 • 車幅灯 • ロービームヘッドライト • デイタイムドライビングライト • ドアミラーのロケイターライティング	ⓘ ロケイターライティングおよび車外ライト残照機能を設定してあるときは、以下のライトが点灯します。 • 車幅灯 • ドアミラーのロケイターライティング

車両

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
スノータイヤスピードリミッターの設定 ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、10 km/h 単位（230 km/h ～ 160 km/h）でスノータイヤスピードリミッターを調整します。オフ 設定で、スノータイヤスピードリミッターは解除されます。	**スノータイヤスピードリミッターの設定** ▶ ▼ または ▲ スイッチを押して、10 km/h 単位（240 km/h ～ 160 km/h）でスノータイヤスピードリミッターを調整します。オフ 設定で、スノータイヤスピードリミッターは解除されます。

工場出荷時の設定に初期化する

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
安全のため、全ての設定が初期化されるわけではありません。スピードリミッターの制限速度（ウィンタータイヤ）機能は、車両サブメニューでのみ設定できます。ライト サブメニューの デイタイムドライビングライト を初期化したいときは、イグニッション位置を **1** にしなければなりません。	安全のため、全ての設定が初期化されるわけではありません。スピードリミッターの制限速度（冬タイヤ）：機能は、車両サブメニューでのみ設定できます。ライト サブメニューの デイタイムドライビングライト を初期化したいときは、イグニッション位置を **1** にしなければなりません。

ディスプレイメッセージ

車両

記載内容 訂正内容

記載内容:

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
圏外	車両がネットワークプロバイダーの送受信範囲外にある。 ▶ マルチファンクションディスプレイに携帯電話の作動待機マークが表示されるまで待ってください。

訂正内容:

ディスプレイメッセージ	考えられる原因および影響 ▶ 解決方法
圏外	車両がネットワークプロバイダーの送受信範囲外にある。 ▶ マルチファンクションディスプレイに電話 待ち受けと表示されるまで待ってください。

COMAND システム

各部の名称

COMAND システムの操作システム

COMAND ディスプレイ

ディスプレイの概要

記載内容 **訂正内容**

記載内容	訂正内容
ステータスバー①には、時間、作動しているネットワークプロバイダーおよび電波強度が表示されます。	ステータスバー①には、時間および電波強度が表示されます。

COMAND システムの基本機能

サウンド設定を調整する

バランスとフェーダーの設定

記載内容 **訂正内容**

記載内容	訂正内容
Bang & Olufsen サウンドシステムの装備：最良のサウンドを集中させるためには、0 の設定を選択します。 ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サウンドメニューのﾊﾞﾗﾝｽ / ﾌｪｰﾀﾞｰを選択し、押して ◎ 確定します。 ▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、バランスの設定を選択し、押して ◎ 確定します。	**Bang & Olufsen サウンドシステムの装備**：最良のサウンドを集中させるためには、0 の設定を選択します。 ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サウンドメニューのﾊﾞﾗﾝｽ / ﾌｪｰﾀﾞｰを選択し、押して ◎ 確定します。 ▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→・↑◎↓、バランスとフェーダーの設定を選択し、押して ◎ 確定します。

スプリットビュー

補足内容

日本仕様では、スプリットビューは機能しません。

システムの設定

ディスプレイの設定

照度設定アイコン

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ 押します SYS。	▶ SYS スイッチを押します。
▶ COMAND コントローラーをまわして 、システムを選択し、押して 確定します。	▶ COMAND コントローラーをまわして 、設定を選択し、押して 確定します。

時刻の設定

時刻 / 日付の形式の設定

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ SYS スイッチを押します。	▶ SYS スイッチを押します。
▶ COMAND コントローラーをまわして 、時間を選択し、押して 確定します。	▶ COMAND コントローラーをまわして 、日時設定を選択し、押して 確定します。

お気に入りスイッチの指定

補足内容

車種や仕様により、以下の機能も選択できます。

- 全画面 ' 燃費表示 '：燃費画面を表示することができます。
- サイドビューカメラ：サイドビューカメラを呼び出すことができます。

データのインポート / エクスポート

PIN プロテクションの作動 / 解除

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ PIN ﾌﾟﾛﾃｸｼｮﾝ ｵﾝを選択し、押して 確定します。 PIN プロテクションを作動 ☑ または解除 ☐ します。PIN プロテクションを作動させたときは、PIN を入力するように促されます。	▶ PIN による保護が有効になりましたを選択し、押して 確定します。 PIN による保護が有効になりましたを作動 ☑ または解除 ☐ します。PIN による保護を作動させたときは、PIN を入力するように促されます。

車両機能

オン&オフロード表示

表示を呼び出す

記載内容	訂正内容
▶ 押します SYS。	▶ SYS スイッチを押します。
▶ システムメニューで、表示 / 選択ウインドウが選択されるまで、COMAND コントローラーを上へスライドします ↑◎。	▶ システムメニューで、オプションの全画面表示が選択されるまで、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎。
	▶ COMAND コントローラーを押します ◎。

シートの機能

調節機能

シートクッションの長さを調整する

記載内容	訂正内容
この機能によって、シートクッションの高さを調整できます。	この機能によって、シートクッションの長さを調整できます。

シートバックレストの側面を調整する（バックレストのサイドサポート）

記載内容	訂正内容
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、バックレスト サイドを選択し、押して ◎ 確定します。	▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、サイドを選択し、押して ◎ 確定します。

ドライビングダイナミクスの設定

記載内容	訂正内容
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、ダイナミック マルチコントロール シートを選択し、押して ◎ 確定します。	▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、ダイナミック シートを選択し、押して ◎ 確定します。

ナビゲーション

目的地の入力

目的地の入力の前に

記載内容 訂正内容

記載内容：

ⓘ 安全上の理由のため、車両が動いている間は、目的地（ルート案内非作動）または目的地設定（ルート案内作動）を選択できません。

訂正内容：

ⓘ 安全上の理由のため、車両が動いている間は、目的地（ルート案内非作動）を選択できません。

自宅

自宅住所を入力して登録する

記載内容 訂正内容

記載内容：

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ⬇、まわして ⟲◎⟳、目的地または目的地設定を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 自宅を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 設定を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ ルート案内が作動していないときは目的地が表示され、ルート案内が作動しているときは目的地設定が表示されます。

訂正内容：

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ⬇、まわして ⟲◎⟳、目的地を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 自宅を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 登録を選択し、押して ◎ 確定します。

自宅住所を選択する

記載内容 訂正内容

記載内容：

ⓘ 自宅住所をまだ決定していない場合は、まず設定を使用して、自宅住所を入力して保存しなければなりません。

訂正内容：

ⓘ 自宅住所をまだ決定していない場合は、まず登録を使用して、自宅住所を入力して保存しなければなりません。

目的地プリセット 1 - 3

目的地プリセットを入力し登録する

記載内容 → **訂正内容**

記載内容：
- ▶ 設定を選択し、押して確定します。

訂正内容：
- ▶ 登録を選択し、押して確定します。

目的地プリセットからの目的地の選択

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

ℹ 登録地＜ x ＞をまだ設定していない場合は、まず設定を使用して目的地を入力し、選択したメモリ位置に登録します。

訂正内容：

ℹ 登録地＜ x ＞をまだ設定していない場合は、まず登録を使用して目的地を入力し、選択したメモリ位置に登録します。

地図を使用して目的地を選択する

記載内容 **訂正内容**

記載内容：
- ▶ **メニューを表示する：**COMAND コントローラーを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地設定または目的地を選択し、押して確定します。
- ▶ 地図から設定を選択し、押して確定します。

  地図がクロスカーソルとともに表示されます。
- ▶ 地図をスクロールします。
- ▶ クロスカーソルを目的地の地点に動かして、押して確定します。
- ▶ 前進を選択し、押して確定します。
- ▶ 設定を選択し、押して確定します。

  目的地が設定されます。全ルート図が表示されます。

訂正内容：
- ▶ **メニューを表示する：**COMAND コントローラーを押します。
- ▶ 地図をスクロールします。
- ▶ クロスカーソルを目的地の地点に動かして、押して確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地を選択し、押して確定します。
- ▶ 地図から設定を選択し、押して確定します。

  目的地が設定されます。全ルート図が表示されます。

全ルート図

高速道路の入口や出口を変更する

記載内容 → **訂正内容**

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、全ルート図で IC を選択し、押して 確定します。

▶ 次候補または前候補を選択し、押して 確定します。

訂正内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、全ルート図で IC を選択し、押して 確定します。

▶ 入口または出口を選択し、押して 確定します。

▶ 次候補または前候補を選択し、押して 確定します。

通過点

概要

記載内容

目的地を入力すると、4 箇所までの通過点を入力することによりルートを決定することができます。

通過点の順序はいつでも変更できます。

ルート案内中に通過点を入力する

▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します 。

▶ 前進を選択し、押して 確定します。

▶ 通過 1 を選択し、押して 確定します。

▶ 設定を選択し、押して 確定します。

通過点のメニューが表示されます。

訂正内容

目的地を入力すると、4 箇所までの通過点を入力することによりルートを決定することができます。

通過点の順序はいつでも変更できます。

ルート案内中に通過点を入力する

▶ メニューを表示する：COMAND コントローラーを押します 。

▶ ルートを選択し、押して 確定します。

▶ 通過点を選択し、押して 確定します。

通過点のメニューが表示されます。

通過点の順番を入れ替える

記載内容 訂正内容

記載内容

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して 確定します。

▶ 入れ替えを選択し、押して 確定します。

通過点の順番が変更され、対応するメッセージが表示されます。

訂正内容

▶ 入れ替えを選択し、押して 確定します。

▶ 順番を変更したい通過点を選択し、押して 確定します。

▶ 通過点メニューで、変更したい通過点の順番を設定し、押して 確定します。

通過点の順番が変更され、対応するメッセージが表示されます。

通過点の位置を変更する

記載内容

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して 確定します。

▶ 編集を選択し、押して 確定します。

地図が表示され、選択した通過点が表示されます。

訂正内容

▶ 編集を選択し、押して 確定します。

▶ 位置を変更する通過点を選択します。

地図が表示され、選択した通過点が表示されます。

以下の機能も選択できます。

- Google ストリートビュー

  選択した施設が Google ストリートビューで表示されます。

通過点を削除する

記載内容

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して 確定します。

▶ 削除を選択し、押して 確定します。

確定のメッセージが表示されます。

訂正内容

▶ 削除を選択し、押して 確定します。

▶ 削除する通過点を選択します。

確定のメッセージが表示されます。

ルート情報を表示する

全ルート図での表示

補足内容

▶ **目的地名称に切り替える：**メニューで目的地名称を選択し、押して 確定します。
ルート地点の名称が表示されます。

ルート案内

ルートの再検索

ルート情報を表示する

補足内容

▶ **目的地名称に切り替える：**メニューで目的地名称を選択し、押して 確定します。
ルート地点の名称が表示されます。

目的地の検索

住所検索

記載内容	訂正内容
選択の追加オプション	選択の追加オプション
目的地を設定する： 設定を選択し、押して 確定します。	目的地を設定する：目的地または 設定を選択し、押して 確定します。
メモリ地点としての保存	メモリ地点としての保存
アドレス帳への登録	アドレス帳への登録
目的地住所への電話発信	目的地住所への電話発信
	Google ストリートビューの表示
	スクロール

郵便番号を使用して検索する

記載内容	訂正内容
オプション 2	**オプション 2**
▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。	▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。
▶ 両方のオプションで、COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、数字バーで ok を選択し、押して ◎ 確定します。	7 桁を入力すると、検索結果が表示されます。 該当する郵便番号がないときは、その旨のメッセージが表示されます。

地図操作と地図設定

地図の基準と ETC のバージョンの表示

上記の内容は、"DSRC のバージョン表示 " に読み換えてください（▷510 ページ）。

VICS （道路交通情報通信システム）

VICS 情報の表示形式

記載内容	訂正内容
VICS 情報は 3 つの方法で表示されます。 **1. 文字情報** VICS 情報は COMAND ディスプレイに文字形式で表示されます。 現在の道路および交通情報が文字形式で提供されます。 **2. 図形情報** VICS 情報は COMAND ディスプレイに図形形式で表示されます。 この表示形式は選択された道路の混雑しているルートや所要時間を図形や文字形式で表示します。 **3. 地図情報** VICS 情報は地図に表示されます。受信した情報は車両の位置によって変わります。情報の種類やその表示のオン / オフを切り替えることができます。	VICS 情報には 3 つのメニューがあります。 **1. VICS 高速道** DSRC と周波数 2.5GHz の電波による情報提供が行なわれます。 **2. VICS 一般道** 赤外線信号による情報提供が行なわれます。 **3. VICS FM** FM 多重放送による情報提供が行なわれます。

VICS 情報を表示する

補足内容

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：**COMAND コントローラーを押します ⊛。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ↓、まわして ⟲◎⟳、メニューから VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

VICS メニューが表示されます。

▶ **VICS 高速道を表示する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、VICS 高速道を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **VICS 一般道を表示する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、VICS 一般道を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **VICS FM を表示する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、VICS FM を選択し、押して ⊛ 確定します。

DSRC - 専用狭域通信

DSRC のバージョン表示

記載内容 **訂正内容**

▶ Map/DSRC Version（地図/DSRC バージョン）を選択し、押して ⊛ 確定します。

地図データのバージョンが表示されます。

▶ 地図/DSRC バージョンを選択し、押して ⊛ 確定します。

地図データのバージョンが表示されます。

電話

受話および発話音量

記載内容

- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで接続デバイスを選択し、⊛ を押して確定します。
- まわして ⟲◎⟳ リストから認証された携帯電話を選択します。
- COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

訂正内容

- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで電話を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 音量設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

電話操作

着信

着信を受ける

記載内容

通話する相手の電話番号が移行されている場合は、ディスプレイに表示されます。

電話帳に通話する相手の項目がある場合は、氏名も表示されます。

電話番号が移行されない、または " データ非表示 " 機能が作動している場合は、ディスプレイに不明と表示されます。

訂正内容

通話する相手の電話番号が通知されている場合は、ディスプレイに表示されます。

電話帳に通話する相手の項目がある場合は、氏名も表示されます。

電話番号が通知されない、または " データ非表示 " 機能が作動している場合は、ディスプレイに非通知と表示されます。

複数の人との通話

保留している通話を拒否する、または受ける

記載内容

- **拒否する：**着信拒否を選択し、押して ⊛ 確定します。
- **受ける：**通話を選択し、押して ⊛ 確定します。

訂正内容

- **拒否する：**[☎] を選択し、押して ⊛ 確定します。
- **受ける：**[✆] を選択し、押して ⊛ 確定します。

アドレス帳の使用

連絡先をインポートする

連絡先を削除する

記載内容	訂正内容
▶ アドレス帳でアドレス帳を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ⬇、まわして ⟲◎⟳、電話を選択し、押して ◎ 確定します。	▶ アドレス帳が表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ⬇、まわして ⟲◎⟳、アドレス帳を選択し、押して ◎ 確定します。 または ▶ 電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ⬇、まわして ⟲◎⟳、電話を選択し、押して ◎ 確定します。
▶ 連絡先の削除を選択し、押して ◎ 確定します。	▶ 連絡先の削除を選択し、押して ◎ 確定します。
▶ 以下のオプションの 1 つを選択します。 • COMAND 上で作成した連絡先 • メモリーデバイスの登録データ • Bluetooth 接続機器から • 全て	▶ 以下のオプションの 1 つを選択します。 • システムで作成した連絡先 • 携帯電話から • メモリーデバイスの登録データ • Bluetooth 接続機器から • 全て

オンライン / インターネット

アクセスデータの設定

インターネットアクセスデータの選択 / 設定

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択

記載内容 訂正内容

記載内容

プロバイダーの検索

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストでプロバイダー検索を選択し、押して 確定します。

国のリストが表示されます。

▶ 押して 、日本を確定します。

使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

訂正内容

プロバイダーの検索

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストでプロバイダー追加を選択し、押して 確定します。

携帯電話のネットワークプロバイダーの設定画面が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、プロバイダー選択を選択し、押して 確定します。

使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

記載内容 訂正内容

記載内容： **携帯電話のネットワークプロバイダーは 1 つのアクセス設定のみを持っています**

訂正内容： **携帯電話のネットワークプロバイダーが 1 つのアクセス設定のみを持っている場合：**

記載内容 訂正内容

記載内容： **携帯電話のネットワークプロバイダーには複数のアクセス設定があります。**

訂正内容： **携帯電話のネットワークプロバイダーに複数のアクセス設定がある場合：**

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定

記載内容 訂正内容

記載内容

アクセスデータのリストを呼び出す

▶ COMAND コントローラーを押して、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで新しいプロバイダー作成を確定します。

アクセスデータのリストが表示されます。標準的な名前 プロバイダー <x> がプロバイダー：欄に自動的に入力されます。ここで項目を作成することができます。

訂正内容

アクセスデータのリストを呼び出す

▶ COMAND コントローラーをまわして、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストでプロバイダー追加を選択し、押して確定します。

携帯電話のネットワークプロバイダーの設定画面が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして、プロバイダー追加を選択し、押して確定します。

アクセスデータのリストが表示されます。標準的な名前 Provider <x> がプロバイダ名欄に自動的に入力されます。ここで項目を作成することができます。

アクセスデータの説明

入力欄	意味
PDP Type：	IPv4 方式、または PPP 方式を選択することができます。

▶ **PDP Type を設定する：**アクセスデータのリストで、PDP Type を選択し、押して確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして、IPv4 または PPP を選択します。

デジタル版取扱説明書の訂正事項

Google™ ローカル検索

キーワード検索

検索位置の選択

記載内容	訂正内容
▶ 別の町を選択した後に、住所を入力し確定します。 検索結果が表示されます。	▶ 別の場所を選択した後に、住所を入力し確定します。 検索結果が表示されます。

検索結果を使用する

記載内容	訂正内容
▶ **目的地を呼び出す**：COMAND コントローラーで発信を選択し、押して ⊛ 確定します。 次に電話機能に切り替え、発信します。 次に電話機能に切り替え、発信します。	▶ **電話を発信する**：COMAND コントローラーで発信を選択し、押して ⊛ 確定します。 選択した施設に電話を発信します。
▶ **目的地をインポートする**：COMAND コントローラーで取り込みを選択し、押して ⊛ 確定します。 項目がアドレス帳に保存されます。< 目的地 x> をアドレス帳にインポートしましたというメッセージが表示されます。	▶ **アドレス帳にインポートする**：COMAND コントローラーで取り込みを選択し、押して ⊛ 確定します。 項目がアドレス帳に保存されます。< 目的地 x> をアドレス帳にインポートしましたというメッセージが表示されます。
▶ 押して ⊛、OK を確定します。	▶ 押して ⊛、OK を確定します。

補足内容

検索結果は以下にも利用することができます。

▶ **ナビのルート案内を開く：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ルート案内を選択し、押して ⊚ 確定します。

選択した施設を目的地に設定できます。

▶ **Google ストリートビューを表示する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、Google Street View を選択し、押して ⊚ 確定します。

選択した施設が Google ストリートビューで表示されます。

▶ **Google パノラミオを表示する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、Panoramio by Google を選択し、押して ⊚ 確定します。

選択した施設のに関連する Google パノラミオが表示されます。

検索履歴

記載内容		訂正内容
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ローカル検索メニューで検索履歴を前面にして、押して ⊚ 確定します。		▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ローカル検索メニューで以前に検索したものを選択して、押して ⊚ 確定します。

目的地のダウンロード

ステップ 2: サーバーから目的地をダウンロードする

記載内容		訂正内容
▶ 施設 / ルート情報取得を選択し、押して ⊚ 確定します。		▶ POI のダウンロードを選択し、押して ⊚ 確定します。

ステップ 3: 目的地を使用する

補足内容

Google ストリートビューを表示する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、Google Street View を選択し、押して ◎ 確定します。

選択した施設が Google ストリートビューで表示されます。

Google パノラミオを表示する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、Panoramio by Google を選択し、押して ◎ 確定します。

天気

天気表示のオン / オフを切り替える

記載内容

訂正内容

▶ **現在の天気予報に戻る：**押して ◎、天気状況を確定します。

▶ **週間天気を表示する：**現在を確定してから、5 日間を確定します。

▶ **現在の天気予報に戻る：**5 日間を確定してから、現在を確定します。

追加情報を表示する

記載内容

訂正内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、情報チャートの詳細を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **週間天気を表示する：**現在を確定してから、情報を確定します。

▶ **現在の天気予報に戻る：**情報を確定してから現在を確定します。

場所を選択する

概要

記載内容

天気予報で以下のオプションを選択することができます。

- 現在の車両位置
- ウインタースポーツのエリア
- 世界中のあらゆる場所

訂正内容

天気予報で以下のオプションを選択することができます。

- 現在の車両位置
- ウインタースポーツのエリア
- 目的地または指定した住所
- あらかじめプリセットした場所

オプション 1：については、下記に読み換えてください。

オプション 1：情報チャートで場所を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、情報チャートの場所を選択し、押して ⊙ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ **現在の車両位置を選択する：**押して ⊙、現在地を確定します。

▶ **目的地を選択する：**メニューで目的地を選択し、押して ⊙ 確定します。

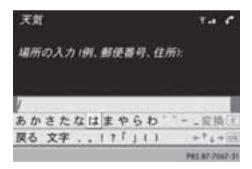
▶ **ウインタースポーツのエリアを選択する：**メニューでスキー場を選択し、押して確定します。

利用可能なウインタースポーツのエリアが表示されます。

▶ ウインタースポーツのエリアを確定してから、スキー場を確定します。

情報チャートが以下の情報などを表示します。

- リフト運転
- 雪の状態
- 気温

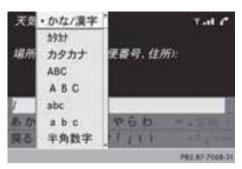
▶ **場所を選択する：**COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メニューで住所周辺を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **場所を入力する：**場所を入力を選択し、押して ◎ 確定します。

入力メニューが表示されます。

または

▶ **履歴から場所を選択する：**最近検索した場所を選択し、押して ◎ 確定します。

ローカル検索などで検索した住所が表示されます。

▶ 表示したい住所を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する**：COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、文字を強調し、押して ◎ 確定します。

使用可能な文字設定のリストが表示されます。

▶ 希望の文字設定を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 検索エリアを入力します。文字入力の説明は、" 文字入力 " にあります。

検索エリアが入力されると情報チャートは天気予報を一緒に表示されます。

項目	例
郵便番号	100-8798
都市	東京都
住所	千代田区霞が関 1-x-x
空港コード	NRT（東京 - 成田空港）

天気図

天気図を呼び出す

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、情報チャートで地図を選択し、押して ◎ 確定します。

20km の縮尺で地図が表示されます。

訂正内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、情報チャートで地図を選択し、押して ◎ 確定します。

200km の縮尺で地図が表示されます。

メモリー機能

メモリーから場所を選択する

記載内容		訂正内容
▶ **天気のメモリーから**：COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、情報チャートで各地の天気を選択し、押して ◉ 確定します。		▶ **天気のメモリーから**：COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、情報チャートで場所を選択し、押して ◉ 確定します。

Merdcedes-Benz Apps の追加事項です。

オプション

概要

COMAND システムはオンライン接続によってニュースを表示したり、駐車場を検索することができます。

ニュースを表示する

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕、基本機能バーでインターネットのアイコンを選択し、押して ◉ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、COMAND Online のパネルを前面にし、押して ◉ 確定します。

Mercedes-Benz Apps メニューが表示されます。

▶ ニュースを選択し、押して ◉ 確定します。

ニュースのカテゴリーを選択する

ニュースでは以下のカテゴリーを表示することができます。

- トップニュース
- 国内のニュース
- 海外のニュース
- スポーツ
- ビジネス
- 政治
- テクノロジー
- エンターテイメント
- サイエンス
- 健康

▶ **ニュースのカテゴリーを表示する：**COMAND コントローラーをまわして ◎、好みのカテゴリーを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **記事を表示する：**好みのカテゴリーを選択します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、好みの記事を選択し、押して ◎ 確定します。

メールで記事を送る：COMAND システムのオンライン接続によって、ニュースを送信することができます。

▶ 好みのニュースを表示します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、リストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メールで記事を送るを選択し、押して ◎ 確定します。

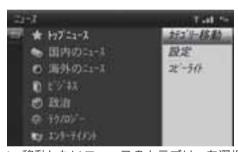
ℹ メールを送信する前に設定でメールアドレスを設定してください。

▶ メールアドレスを入力します。

▶ メールアドレスを入力した後に、COMAND コントローラーをまわして、 ok を選します。

メールが送信されます。

カテゴリーを移動する

ニュースのカテゴリーを移動することができます。

▶ 移動したいニュースのカテゴリーを選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドし ◎➡、押して ◎ 確定します。

▶ カテゴリー移動を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ひとつ上またはひとつ下を選択し、好みの位置に移動します。

ニュースの設定

ニュースでは以下の設定をすることができます。

- 地域
- 言語
- 送信先のメールアドレス

▶ **設定する：**COMAND コントローラーをまわして ◎、設定したい項目を選択し、押して ◎ 選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡ リストマークを選択し、押して ⑤ 確定します。

▶ 設定を選択し、押して ⑤ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、希望の設定を選択し、押して ⑤ 確定します。

駐車場を検索する

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーでインターネットのアイコンを選択し、押して ⑤ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、COMAND Online のパネルを前面にし、押して ⑤ 確定します。

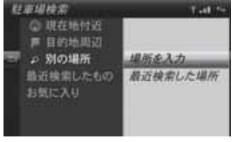
メルセデス・ベンツ アプリケーションメニューが表示されます。

▶ 駐車場検索を選択し、押して ⑤ 確定します。

以下の駐車場を検索することができます。

- 現在地付近
- 目的地周辺
- 別の場所

▶ **現在地付近または目的地周辺の駐車場を検索する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、現在地付近または目的地周辺を選択し、押して ⑤ 確定します。

▶ **好みの場所の駐車場を検索する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、別の場所を選択し、押して ⑤ 確定します。

▶ **場所を入力する：** 場所を入力を選択し、押して ⑤ 選択します。

▶ 検索したい場所を入力し、押して ⑤ 選択します。

▶ **履歴から入力する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、最近検索したものを選択し、押して ⑤ 確定します。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、別の場所を選択し、押して 確定します。

▶ 最近検索した場所を選択し、押して 選択します。

▶ 検索したい場所を入力し、押して 選択します。

検索結果が表示されます。

▶ **お気に入りの駐車場を呼び出す：**COMAND コントローラーをまわして ◎、お気に入りを選択し、押して 確定します。

お気に入りに登録された駐車場が呼び出されます。

駐車場の種別を絞り込む

▶ 検索結果が表示されているときに、COMAND コントローラーをスライドして ◎→ リストマークを選択し、押して 確定します。該当する駐車場の種別が表示されます。

▶ 希望の駐車場種別にのみチェックマーク ☑ を入れます。

▶ 再度、駐車場検索を行ないます。

検索結果を使用する

駐車場検索で以下のオプションを選択することができます。

- 詳細
- ルート案内
- 発信
- Google Street View
- インポート
- お気に入りに追加

▶ **詳細画面を表示する：**COMAND コントローラーを押して ◎、詳細を確定します。

選択した駐車場の住所や電話番号などが表示されます。

▶ **ナビのルート案内を開く：**COMAND コントローラーをまわして ◎、ルート案内を選択し、押して ◎ 確定します。

選択した駐車場を目的地に設定できます。

▶ **電話を発信する：**COMAND コントローラーをまわして ◎、発信を選択し、押して ◎ 確定します。

選択した駐車場に電話を発信します。

▶ **Google ストリートビューを表示する：**COMAND コントローラーをまわして ◎、Google Street View を選択し、押して ◎ 確定します。

選択した駐車場が Google ストリートビューで表示されます。

▶ **アドレス帳にインポートする：**COMAND コントローラーまわして ◎、ｲﾝﾎﾟｰﾄを選択し、押して ◎ 確定します。

選択した駐車場のデータがアドレス帳にインポートされます。

▶ **お気に入りに追加する：**COMAND コントローラーを押して ◎、お気に入りに追加を確定します。

選択した駐車場がお気に入りに追加されます。

ローカル検索のオプションを選択する

記載内容	訂正内容
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、オプションメニューでローカル検索を選択し、押して ◎ 確定します。	▶ ローカル検索の検索場所、または検索条件選択画面で、COMAND コントローラーをスライドして ◎→ リストマークを選択し、押して ◎ 確定します。 ローカル検索のオプション画面が表示されます。

天気表示のオプションを選択する

初期設定の画面を設定する

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして◎、オプションメニューで天気を選択し、押して確定します。

訂正内容

▶ 天気情報画面で、右下のリストマークを選択し、押して確定します。

天気表示のオプション画面が表示されます。

初期設定の場所を設定する

記載内容

以下の設定をすることができます。

- 現在地
- 現在の目的地（目的地が入力されている場合のみ使用可能）
- メモリー（既項目が作成されている場合のみ使用可能）

▶ COMAND コントローラーをまわして◎、オプションメニューで天気を選択し、押して確定します。

メニューは現在の設定を表示します。

訂正内容

以下の設定をすることができます。

- 現在地
- 現在の地域
- プリセット

▶ 天気情報画面で、右下のリストマークを選択し、押して確定します。

天気表示のオプション画面が表示されます。

地図表示の天気データを選択する

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして◎、オプションメニューで天気を選択し、押して確定します。

訂正内容

▶ 天気情報画面で、右下のリストマークを選択し、押して確定します。

天気表示のオプション画面が表示されます。

補足内容

検索履歴を削除する

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、以前に検索した都市名を選択し、押して 確定します。

検索履歴を本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はいまたはいいえを選択し、押して 確定します。

はいを選択すると、検索履歴が削除されます。

いいえを選択すると、処理が中止されます。

目的地のダウンロードの設定オプション

ダウンロード用 ID を指定する

記載内容 訂正内容

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎ 、オプションメニューで施設 / ルート情報取得を選択し、押して 確定します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎ 、オプションメニューでPOI のダウンロードを選択し、押して 確定します。

インターネット

ウェブサイトを呼び出す

オプション 1：ウェブアドレスを入力する

記載内容	訂正内容
▶ COMAND コントローラーを押します ◉。 ウェブサイトが呼び出されます。データ通信 < Provider name > に接続しますというメッセージが表示されます。	▶ COMAND コントローラーを押します ◉。 ▶ COMAND コントローラーを押して ◉、ok を確定します。 ウェブサイトが呼び出されます。

オプション 2：お気に入りを選択する

記載内容	訂正内容
▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）で、COMAND コントローラーをまわすか ◎、スライドして ←◎→、Internet Favourites（インターネット お気に入り）を前面にして、押して ◉ 確定します。	▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）で、COMAND コントローラーをまわすか ◎、スライドして ←◎→、お気に入りを前面にして、押して ◉ 確定します。

お気に入り

お気に入りを作成する

記載内容	訂正内容
オプション 1：カルーセルビュー（マルチウインドウ）に作成する ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、Internet Favourites（インターネット お気に入り）パネルを前面にして、押して ◉ 確定します。	**オプション 1：カルーセルビュー（マルチウインドウ）に作成する** ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、お気に入りパネルを前面にして、押して ◉ 確定します。

オーディオ

ラジオモード

ラジオモードへの切り替え

機能スイッチでオンにする

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。

FM ラジオモードが前回オンだった場合は、ラジオの画面が表示されます。そうでなければ、オーディオメニューを使用してラジオモードをオンにしてください。

訂正内容:

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。

ラジオモードが前回オンだった場合は、ラジオの画面が表示されます。そうでなければ、オーディオメニューを使用してラジオモードをオンにしてください。

放送局の設定

放送局サーチ機能を使用して放送局を設定する

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ **オプション 1：**ラジオ表示のディスプレイ / 選択ウインドウが作動している間に、COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳、またはスライドします ←◎→。

▶ **オプション 2：**⏮ または ⏭ スイッチを押します。

訂正内容:

▶ **オプション 1：**ラジオの表示 / 選択ウインドウが作動している間に、COMAND コントローラーをスライドして保持します ←◎→。

▶ **オプション 2：**⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

周波数を手動で入力して放送局を設定する

補足内容

以下の記載は、日本仕様には該当しません。

ℹ FM または AM の周波数バンドで周波数域から外れた周波数を入力すると、COMAND システムは次に低い周波数を設定します。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モードへの切り替え

オプション 3

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ ディスク、メモリーカード、ミュージックレジスター、USB メモリーまたはメディアインターフェースを選択し、押して 確定します。 希望のオーディオソースに切り替わります。	▶ ディスク、メモリーカード、ミュージックレジスター、USB メモリーまたはメディアインターフェース、Bluetooth オーディオを選択し、押して 確定します。 希望のオーディオソースに切り替わります。

ミュージックレジスター

音楽ファイルのインポート

ステップ 1：音楽 CD モードへ切り替える

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ 押して 、録音を確定します。 ミュージックレジスターが表示されます。	▶ 音楽 CD モードで COMAND コントローラーをスライドしてから ◎ ↓、まわして ◎、録音を選択し、押して 確定します。

Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth® オーディオデバイスの接続

Bluetooth® オーディオ機器を再接続する

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
Bluetooth オーディオ認証されていません。というメッセージが表示された場合、Bluetooth® オーディオ機器を接続するための 2 つのオプションがあります。	Bluetooth オーディオ接続されていません。というメッセージが表示された場合、Bluetooth® オーディオ機器を接続するための 2 つのオプションがあります。

オーディオ AUX モード

オーディオ AUX モードに切り替える

補足内容

以下の記載は、日本仕様には該当しません。

機能スイッチでオンにする

TV/ 映像

基本設定

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、テレビ、DVD ビデオまたは AUX を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

訂正内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、テレビ 1、テレビ 2、DVD または外部入力を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

画面形式を変更する

記載内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、テレビ、DVD ビデオまたは AUX を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ オート、16：9 表示、4：3 表示、またはワイドスクリーンを選択し、押して ◎ 確定します。

項目の前のドットは現在選択されている形式を示します。

訂正内容

▶ COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、テレビ 1、テレビ 2、DVD または外部入力を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ オート（テレビのみ）、16:9 表示、4:3 表示、またはワイドスクリーンを選択し、押して ◎ 確定します。

項目の前のドットは現在選択されている形式を示します。

テレビモード

概要

テレビ機能

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

- 音声言語の選択

オーディオ設定および " 追加オプション " メニューで音声言語を選択することができます。

訂正内容:

- 音声言語の選択

言語と字幕の " 音声言語 " メニューで音声言語を選択することができます。

テレビチャンネルの選択

補足内容

以下の記載は、現在は使用できません。

チャンネルを入力してのチャンネルの選択

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

以下のサービス

機能が解除している：チャンネルは変更されません。これは例えば、重なっている受信地域で車両を運転している場合など有効です。チャンネル間で後や前に頻繁に切り替わることを避けます。

チャンネルを手動で登録する場合は、チャンネルプリセットにはインジケーター FIX が含まれます。

以下の場合、FIX インジケーターがテレビ映像に表示されます。

- 機能が解除されている
- 過去に手動で登録され、インジケーターを含むチャンネルプリセットからチャンネルを選択した

▶ 以下のサービスを選択し、押して ⊛ 確定します。

以前の選択によって、機能のオン ☑ またはオフ □ を切り替えます。

訂正内容:

自動切換え

機能が解除している：チャンネルは変更されません。これは例えば、重なっている受信地域で車両を運転している場合などに有効です。チャンネル間で後や前に頻繁に切り替わることを避けることができます。

チャンネルを手動で登録することはできません。

機能が解除されている場合は、FIX インジケーターがテレビ映像に表示されます。

▶ 自動切換えを選択し、押して ⊛ 確定します。

以前の選択によって、機能のオン ☑ またはオフ □ を切り替えます。

データの受信

データの内容を表示する

記載内容		訂正内容
前のコンテンツのページに戻る ▶ コンテンツのページを表示させて、COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、メニューバーでページアップを選択し、押して ⊛ 確定します。		**前のコンテンツのページに戻る** ▶ コンテンツのページを表示させて、COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、メニューバーで上のページを選択し、押して ⊛ 確定します。

その他の機能

"TV - その他の機能 " メニュー

記載内容		訂正内容
▶ **メニューを終了する**:0. 中止を選択し、押して ⊛ 確定します。		▶ **メニューを終了する**：0. 閉じるを選択し、押して ⊛ 確定します。

言語、字幕およびテロップの選択

記載内容		訂正内容
音声言語の選択 ▶ COMAND と同期または使用可能な音声言語の 1 つを選択します。 COMAND と同期は、COMAND システムに現在設定されているシステム言語を選択します。設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。 英語のような使用可能な音声言語の 1 つを選択した場合は、この設定は現在の番組で使用されます。同様に COMAND と同期が作動している場合は、この設定は以下の番組で使用されます。		**音声言語の選択** ▶ COMAND の言語と連動または使用可能な音声言語の 1 つを選択します。 COMAND の言語と連動は、COMAND システムに現在設定されているシステム言語を選択します。設定をオン ☑ またはオフ □ に切り替えます。 英語のような使用可能な音声言語の 1 つを選択した場合は、この設定は現在の番組で使用されます。同様に COMAND の言語と連動が作動している場合は、この設定は以下の番組で使用されます。
テロップの選択 ▶ テロップを選択し、押して ⊛ 確定します。		**テロップの選択** ▶ 文字ｽｰﾊﾟｰを選択し、押して ⊛ 確定します。

DVD ビデオモード

映像 / タイトルの選択

記載内容		訂正内容
▶ COMAND コントローラーをまわして 【◎】、タイトルサーチを選択し、押して ◎ 確定します。		▶ COMAND コントローラーをまわして 【◎】、タイトル選択を選択し、押して ◎ 確定します。

ビデオ AUX 操作

ビデオ AUX モードに切り替える

補足内容

以下の項目は、日本仕様には該当しません。

▶ メディアインターフェースモードが選択されるまで、AUDIO 機能スイッチを繰り返し押します。

画像ビューワー

画像を表示する

記載内容		訂正内容
▶ **反時計回りに画像をまわす：** COMAND コントローラーをまわして 【◎】、反時計回りを選択し、押して ◎ 確定します。		▶ **反時計回りに画像をまわす：** COMAND コントローラーをまわして 【◎】、左回転を選択し、押して ◎ 確定します。
▶ **画像を拡大する：**COMAND コントローラーをまわして 【◎】、ｽﾞｰﾑを選択し、押して ◎ 確定します。		▶ **画像を拡大する：**COMAND コントローラーをまわして 【◎】、拡大を選択し、押して ◎ 確定します。

リアエンターテインメント

概要

リモコン

ディスプレイのオン / オフを切り替える

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

ⓘ イグニッションがオンのときにのみ、リモコンを使用してディスプレイをオンにできます。

訂正内容:

ⓘ イグニッション位置に関わらず、リモコンを使用してディスプレイをオンにできます。

基本機能

画質の設定

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ どちらの場合も、▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビまたは DVD ビデオを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して明るさ、コントラスト、または色合いを選択し、OK スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

訂正内容:

▶ どちらの場合も、▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビ 1、テレビ 2 または DVD ビデオを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して明るさ、コントラスト、またはカラーを選択し、OK スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

画面形式を変更する

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ ▼ ◀ ▶ スイッチを使用してテレビまたは DVD ビデオを選択し、OK スイッチを押して確定します。

メニュー項目 16:9 表示、4:3 表示またはワイドスクリーンの 1 つ前にあるドットは、現在選択されているフォーマットを示しています。

訂正内容:

▶ ▼ ◀ ▶ スイッチを使用してテレビ 1、テレビ 2 または DVD ビデオを選択し、OK スイッチを押して確定します。

メニュー項目オート、16:9 表示、4:3 表示またはワイドスクリーンの 1 つ前にあるドットは、現在選択されているフォーマットを示しています。

システムの設定

表示言語を選択する

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ ▼ スイッチを使用して、設定を選択し、押して OK 確定します。	▶ ▼ スイッチを使用して、システムを選択し、OK スイッチを押して確定します。

ディスプレイデザインの変更

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ ▼ スイッチを使用して、設定を選択し、押して OK 確定します。	▶ ▼ スイッチを使用して、システムを選択し、OK スイッチを押して確定します。
▶ ▲▼ スイッチを使用して昼画面設定、夜画面設定またはオートを選択し、OK スイッチを押して確定します。 ドットは現在の設定を示します。	▶ ▲▼ スイッチを使用して昼画面設定、夜画面設定またはオートを選択し、OK スイッチを押して確定します。 ドットは現在の設定を示します。

記載内容:

デザイン	意味
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	ディスプレイがメーターパネルの照明に応じて変わります。

訂正内容:

デザイン	意味
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	ディスプレイが周囲の明るさに応じて変わります。

照度設定アイコン

記載内容 訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ ▼ スイッチを使用して、設定を選択し、押して OK 確定します。	▶ ▼ スイッチを使用して、システムを選択し、OK スイッチを押して確定します。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

トラックの選択

トラックリストにより選択する

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、曲（音楽 CD/DVD オーディオモード）またはフォルダ（MP3 モード）を選択し、OK スイッチを押して確定します。

訂正内容:

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、トラックリスト（音楽 CD）、トラック（DVD オーディオモード）またはフォルダ（MP3 モード）を選択し、OK スイッチを押して確定します。

テレビモード

テレビチャンネルの選択

コントロールメニューを使用してチャンネルを選択する

記載内容 **訂正内容**

記載内容:

▶ 表示 / 選択ウインドウがオンになっている間に、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

アルファベット順のチャンネルリストから、前または次のチャンネルが選択されます。

訂正内容:

▶ 全画面表示で、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

数字順のチャンネルリストから、前または次のチャンネルが選択されます。

補足内容

以下の記載は、現在は使用できません。

チャンネル番号を入力してチャンネルを選択する

文字放送

補足内容

仕様により、文字放送の機能はありません。

データの受信を設定する

データ放送のメニュー項目を選択する

記載内容

訂正内容

記載内容	訂正内容
▶ **色を選択する：** ◀ ▶ スイッチを使用して、赤、緑、黄または青を選択し、押して ㊙ 確定します。 選択した色の項目が表示されます。	▶ **色を選択する：** リモコンの赤、緑、黄、青スイッチを押します。 選択した色の項目が表示されます。

DVD ビデオモード

シーン / チャプターの選択

シーン / チャプターを直接選択する

記載内容	訂正内容
▶ シーンサーチを選択して、OK スイッチを押して確定します。	▶ チャプター選択を選択して、OK スイッチを押して確定します。

映像 / タイトルの選択

記載内容	訂正内容
▶ タイトルサーチを選択して、OK スイッチを押して確定します。	▶ タイトル選択を選択して、OK スイッチを押して確定します。
▶ **選択リストを呼び出す：** OK スイッチを押します。	▶ **選択リストを呼び出す：** OK スイッチを押します。
▶ 映像 / トラックを選択します。	▶ ▲ ▼ スイッチを使用して選択し、OK スイッチを押して確定します。

DVD メニュー

DVD メニューを呼び出す

記載内容		訂正内容
▶ メニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。 DVD メニューが表示されます。		▶ DVD メニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。 DVD メニューが表示されます。

字幕とカメラアングル

記載内容		訂正内容
▶ サブタイトルまたはカメラアングルを選択して、OK スイッチを押して確定します。 どちらの場合にも、数秒後にメニューが表示されます。項目の前にあるドット•は現在の設定を示しています。		▶ 字幕言語またはアングルを選択して、OK スイッチを押して確定します。 どちらの場合にも、数秒後にメニューが表示されます。項目の前にあるドット•は現在の設定を示しています。

外部入力モード

外部入力モードに切り替える

ドライブ外部入力端子

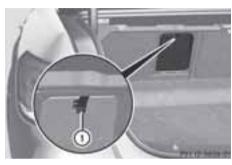
記載内容		訂正内容
▶ 外部ディスクドライブを選択して、OK スイッチを押して確定します。 外部映像機器を CD/DVD ドライブに接続して再生すると、外部映像機器の映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。		▶ プレーヤー接続機器を選択して、OK スイッチを押して確定します。 外部映像機器を CD/DVD ドライブに接続して再生すると、外部映像機器の映像を視聴できます。接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

収納と機能

収納エリア

スキーバッグ

スキーバッグを開き、スキーを積載する

記載内容 訂正内容

▶ ロック解除ボタン①を押します。

カバーが下方に開きます。

▶ ロック解除スイッチ①を押し下げます。

カバーが下方に開きます。

スキーバッグを取り外す

記載内容 **訂正内容**

▶ ロック解除ボタン①を押します。

カバー②が下に倒れます。

▶ キャッチ③を内側に押し、スキーバッグを含むフレーム④を引き出します。

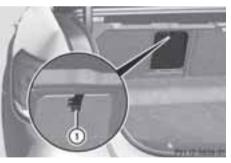
▶ カバー①のロック解除スイッチを押し下げます。

カバーが開きます。

▶ ロック解除タブ②を引きます。

スキーバッグがフレーム③ごと外れます。

後席のスルーローディング

記載内容 **訂正内容**

▶ 解除キャッチ①を押します。

カバーが下方に開きます。

▶ ロック解除スイッチ①を押し下げます。

カバーが下方に開きます。

リアシートの EASY-PACK スルーローディング（ステーションワゴン）

リアシートのバックレストを前方に倒す

記載内容	訂正内容
▶ ラゲッジルーム①後部またはバックレスト②付近の側面にある左側または右側のリリースハンドルを手間に引きます。 リリースハンドルを引いた側バックレストが、前方に倒れます。	▶ ラゲッジルーム後部左右①またはバックレスト左右端部付近②にあるロック解除ハンドルを引きます ロック解除ハンドルを引いた側のバックレストが前方に倒れます。

EASY-PACK ラゲッジルームカバー

一体型ラゲッジカバーとネットの取り付けと取り外し

記載内容	訂正内容
▶ **取り外す：**スイッチ②を押します。	▶ **取り外す：**左右リアシートのバックレストを倒します。
▶ シートバックレストを前方に倒した状態でラゲッジルームカバーとネットの左側を前方に動かした後、シートバックレストを起こしてから後方に引きます。	▶ スイッチ②を押します。
	▶ ネット一体式ラゲッジルームカバーの左側を前方に動かした後、後方に引き、左側の固定部①から外します。
▶ まず、一体型ラゲッジカバーとネットを左側のフック①から外してから、右側の固定部③から外します。	▶ ネット一体式ラゲッジカバーを右側の固定部③から外します。

EASY-PACK テールゲートシルプロテクター（ステーションワゴン）

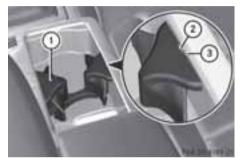
記載内容	訂正内容
▶ EASY-PACK テールゲートを閉じます。	▶ EASY-PACK フロアボードを閉じます。

機能

カップホルダー

センターコンソールのカップホルダーの取り付け / 取り外し

補足内容

取り外し

▶ 適切な工具を使用して、ラグ③が見えるようになるまで助手席側の溝②を慎重にこじ開けます。

▶ カップホルダーを停止するまで上方に少し引きます。

▶ 適切な工具を使用して、運転席側①の溝を慎重にこじ開けます。同時に、カップホルダーを停止するまで上方に軽く引きます。

▶ 運転席側①および助手席側②の溝を交互にこじ開けます。取り出されるまでカップホルダーを持ち上げます。

取り付け

▶ カップホルダーの左右の溝②を側面の突起③へ差し込みます。カップホルダー①の上部の角が前方を向くようにカップホルダーを差し込みます。

▶ 助手席側が固定されるまでカップホルダーを下方に押します。

電動ブラインド（リアウインドウ）（セダン）

電動ブラインドの展開 / 格納

記載内容

▶ **停止する**：スイッチ①を再度軽く押します。

電動ブラインドが少し停止し、使用外の位置に格納します。

訂正内容

▶ **停止する**：スイッチ①を再度軽く押します。

電動ブラインドが少し停止し、操作前の位置に移動します。

メンテナンスおよび手入れ

エンジンルーム

エンジンオイル

エンジンオイルの追加

記載内容

! サービスシステム装備車両のために承認されているエンジンオイルとオイルフィルターのみを使用してください。サービスプロダクトに関するメルセデス・ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

訂正内容

! 承認されているエンジンオイルとオイルフィルターのみを使用してください。メルセデス・ベンツの仕様に適合するためにテストされ、承認されたエンジンオイルとオイルフィルターのリストはメルセデス・ベンツ指定サービス工場で入手できます。

デジタル版取扱説明書の訂正事項

サービス

メンテナンスインジケーター

メンテナンスメッセージ

記載内容

訂正内容

記載内容:

マルチファンクションディスプレイに以下のようなメンテナンスメッセージが数秒間表示されます。

- ﾒﾝﾃﾅﾝｽ A ｱﾄ 999 ﾆﾁ

訂正内容:

マルチファンクションディスプレイに以下のようなメンテナンスメッセージが数秒間表示されます。

- 次のﾒﾝﾃﾅﾝｽ A あと *** 日です

手入れ

洗車と塗装の清掃

自動洗車機

記載内容

訂正内容

記載内容:

! けん引装置付きの洗車機では、オートマチック車の場合シフトポジションを **N** にしてください。車両が損傷するおそれがあります。

- キーレスゴー非装備車：

  エンジンスイッチからキーを抜かないでください。エンジンを停止しているときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開かないでください。オートマチックトランスミッションが自動的に **P** にシフトされ、ホイールがロックします。オートマチックトランスミッションをシフトポジション **N** にすることにより、ホイールのロックを防ぐことができます。

- キーレスゴー装備車：

  エンジンを停止しているときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開かないでください。オートマチックトランスミッションが自動的に **P** にシフトされ、ホイールがロックします。

訂正内容:

! けん引装置付きの洗車機では、以下に従ってシフトポジションを **N** にしてください。車両が損傷するおそれがあります。

▶ キーレスゴー装備車両ではキーレスゴースイッチを使用せずに、エンジンスイッチにキーを差し込みます。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわし、シフトポジションを **N** にします。

▶ キーをエンジンスイッチから抜かないようにします。

車両部品の清掃

パーキングアシストリアビューカメラの清掃

記載内容 → 訂正内容

記載内容：

▶ **パーキングアシストリアビューカメラのカバーを開く**：COMAND システムを起動させて、SYS スイッチを押します。

訂正内容：

ⓘ パーキングアシストリアビューカメラにはカバーはありません。

万一のとき

車載品の収納場所

停止表示板

停止表示板の取り外し

記載内容：

▶ **セダン**：トランクリッドを開きます。

▶ 停止表示板ホルダー①を矢印の方向に上に押し、開いて停止表示板を取り外します。

訂正内容：

▶ **セダン**：トランクリッドを開きます。

▶ 停止表示板ホルダー①を矢印の方向に下に押し、開いて停止表示板を取り外します。

車載工具キット

全体的な注意事項

記載内容：

ⓘ 国による仕様により、車両にはタイヤ交換工具は装備されていません。車輪交換用ツールの中にはその車両専用のものも含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

訂正内容：

ⓘ 国による仕様の違いとは別に、一部の車両にはタイヤ交換工具キットは装備されていません。タイヤ交換用ツールの中にはその車両専用のものも含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

パンク

車両の準備

記載内容 訂正内容

記載内容:

▶ AIR マティックサスペンション装備車: " ノーマル " レベルが選択されていることを確認します。

▶ **キーレスゴー装備車:** 運転席ドアを開きます。

マルチファンクションディスプレイには、**0** が表示されます。キーを抜いたときと同様です。

訂正内容:

▶ **AIR マティックサスペンション装備車:** 標準の車高が選択されていることを確認します。

▶ **キーレスゴーを使用しているとき:** 運転席ドアを開きます。

車両の電気装備が、キーを抜いたことと同様の、**0** の状態になります。

けん引およびけん引始動

重要な安全上の注意事項

記載内容 → 訂正内容

記載内容:

! キーレスゴー装備車のけん引を行なう時は、エンジンスイッチを使用せずにキーを操作します。オートマチック車の場合は、運転席ドアまたは助手席ドアを開くとシフトポジションが **P** になり、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

訂正内容:

! けん引するときは、運転席ドアまたは助手席ドアを開いたときにシフトポジションが **P** にならないように、以下の手順を行なってください。万一、走行中にシフトポジションが **P** になると、トランスミッションを損傷するおそれがあります。

▶ キーレスゴー装備車両ではキーレスゴースイッチを使用せずに、エンジンスイッチにキーを差し込みます。

▶ エンジンスイッチのキーを **2** の位置にまわし、シフトポジションを **N** にします。

▶ キーをエンジンスイッチから抜かないようにします。

両アクスルを接地させて車両をけん引する

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

運転席または助手席ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを取り外したときは、オートマチックトランスミッションは自動的にポジション P にシフトします。車両をけん引するときに、オートマチックトランスミッションをポジション N のままにするためには、以下の点に従わなければなりません。

▶ 停車していることを確認し、エンジンスイッチのキーを 0 の位置にします。

訂正内容：

イグニッション位置によっては運転席または助手席ドアを開いたとき、またはエンジンスイッチからキーを取り外したときに、オートマチックトランスミッションが自動的にポジション P にシフトします。

車両をけん引するときに、オートマチックトランスミッションをポジション N のままにするためには、以下に従わなければなりません。

ヒューズ

ヒューズを交換する前に

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります。

- 進行方向に見たときの車両のエンジンルーム内左側のヒューズボックス
- 進行方向に見たときの車両のトランク / ラゲッジルーム内右側のヒューズボックス

訂正内容：

ヒューズは、以下のヒューズボックス内にあります。

- エンジンルーム内運転席側のヒューズボックス
- 進行方向に見たときのトランク / ラゲッジルーム内右側のヒューズボックス

エンジンルーム内のヒューズボックス

記載内容 **訂正内容**

記載内容：

▶ **開く**：ホース②をガイドから取り出します。

▶ ホース②を片側に動かします。そのためには、接続部分③の後方にホースを通します。

訂正内容：

▶ **開く**：左ハンドル車両ではホース②をガイドから取り出します。

▶ ホース②を接続部分③の前方に寄せます。（左ハンドル車両のみ）

ホイールとタイヤ

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧警告システム

タイヤ空気圧警告システムを再起動する

記載内容 → **訂正内容**

記載内容

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにランフラットインジケーター作動 OK で再始動 というメッセージが表示されます。

再起動を確定するには、以下の操作を行なってください。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧は正常ですか？ というメッセージが表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、はいを選択します。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにランフラットインジケーター再始動 というメッセージが表示されます。

再起動をキャンセルするには、以下の操作を行なってください。

▶ タイヤ空気圧は正常ですか？ というメッセージが表示されたときは、▲ または ▼ スイッチを押して、キャンセルを選択します。

訂正内容

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 警告システム オン OK ボタンで再始動 というメッセージが表示されます。

再起動を確定するには、以下の操作を行なってください。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 正常ですか？ というメッセージが表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、はいを選択します。

▶ OK スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイにタイヤ空気圧 警告システム 再始動しました というメッセージが表示されます。

再起動をキャンセルするには、以下の操作を行なってください。

▶ タイヤ空気圧 正常ですか？ というメッセージが表示されたときは、▲ または ▼ スイッチを押して、キャンセルを選択します。

車輪の交換

車輪の取り付け

車両の準備

記載内容

- AIR マティックサスペンション装備車両 : " ノーマル " の車高が選択されていることを確認してください。
- **キーレスゴー装備車：**運転席ドアを開きます。

  マルチファンクションディスプレイには、0 が表示されます。キーを抜いたときと同様です。

ⓘ 国による仕様の違いとは別に、車両にはタイヤ交換工具は装備されていません。タイヤ交換用ツールの中にはその車両専用のものも含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

訂正内容

- AIR マティックサスペンション装備車両 : 標準の車高が選択されていることを確認してください
- **キーレスゴー装備車：**運転席ドアを開きます。

  車両の電気装備が、キーを抜いたことと同様の、0 の状態になります。

ⓘ 車種や仕様により、車両にはタイヤ交換工具が装備されています。タイヤ交換用ツールの中にはその車両専用のものも含まれています。車両の車輪交換を行なうために必要な工具についてのさらなる情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

応急用スペアタイヤ

全体的な注意事項

記載内容

ただし、応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている使用制限時間と制限速度を守って正しく使用してください。

訂正内容

ただし、応急用スペアタイヤは回転方向とは逆に装着することができます。応急用スペアタイヤに記載されている制限速度を守って正しく使用してください。

サービスデータ

全車両（AMG 車両を除く）

記載内容 訂正内容

記載内容

応急用ミニスペアタイヤ

タイヤ	軽合金アルミホイール
T 155/60 R18 107 M [19] タイヤ空気圧：420 kPa（4.2 bar / 61 psi）	4.5 B x 18 H2 ET 36 [19]

19 E 550 を除く。

訂正内容

応急用ミニスペアタイヤ

タイヤ	軽合金アルミホイール
T 155/60 R18 107 M [19] タイヤ空気圧：420 kPa（4.2 bar / 61 psi）	4.5 B x 18 H2 ET 36 [19]

19 E 550

サービスデータ

ビークルプレート

車台番号（VIN）のあるビークルプレート

記載内容 訂正内容

記載内容

▶ フロント右側のドアを開きます。
ビークルプレート①が確認できます。

▶ 運転席ドアを開きます。
ビークルプレート①が確認できます。

訂正内容

▶ 運転席ドアを開きます。
ビークルプレート①が確認できます。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

http://www.mercedes-benz.co.jp

編集オフィス

"ESP®" は Daimler AG の登録商標です。

※この取扱説明書の内容は、2013 年 07 月現在のものです。